

瑞穂町町民意識調査報告書

～「第4次瑞穂町長期総合計画」策定に向けて～

平成22年3月

瑞 穂 町

目次

第1章 調査の概要

1 調査の目的	3
2 調査方法等	3
3 回収結果	3
4 報告書の注意事項	3
5 回答者の属性	6
(1) 性別	6
(2) 年齢	6
(3) 職業	7
(4) 職場・通学先	8
(5) 居住年数	9
(6) 居住地区	10

第2章 調査結果

1 瑞穂町の生活について	13
(1) 住みよさ	13
(2) 定住意向	15
(3) 住み続けたい理由	17
(4) 引っ越したい理由	18
(5) 生活行動の場所	19
2 瑞穂町の将来像や現状の評価について	27
(1) 将来像	27
(2) 社会が重視すべきこと	32
(3) 町政の各分野に対する評価	36
(4) 町政全体の満足感	51
(5) 行政改革の重点	54
3 瑞穂町において今後力を入れるべきこと	57
(1) 土地利用のありかた	57
(2) 子どもを生ま育てるための環境づくり	59
(3) 高齢社会対策の重点	61
(4) 環境対策の重点	63

(5) 防災対策の重点	65
(6) 教育文化振興の重点	67
(7) 産業振興の重点	69
(8) 余暇・保養サービスのありかた	71
4 行政と町民の役割などについて	73
(1) 行いたい活動	73
(2) 行政への町民参加	75
(3) 町民参加を進める手法	77
(4) 公共施設の活用方法	79

第3章 過去調査結果との比較

1 回答者の属性について	83
(1) 性・年齢	83
(2) 仕事	84
(3) 居住の状況	85
2 瑞穂町の生活について	86
(1) 住みよさ	86
(2) 定住意向	87
(3) 住み続けたい理由	88
(4) 引っ越したい理由	89
3 瑞穂町の将来像や現状の評価について	90
(1) 生活行動の場所	90
(2) 将来像	93
(3) 社会が重視すべきこと	94
(4) 町政の各分野に対する評価	95
(5) 町政全体の満足感	102
(6) 土地利用のありかた	103
4 行政と町民の役割などについて	104
(1) 行政改革の重点	104
(2) 行いたい活動	105
(3) 行政への町民参加	106
(4) 公共施設の活用方法	107

第4章 調査結果のまとめ

1 瑞穂町の生活について	111
2 瑞穂町の将来像や現状の評価について	111
3 今後力を入れるべきことについて	112
4 行政と町民の役割について	112

第5章 自由回答

1 意見のまとめ	115
2 自由回答	120

参考資料

1 調査票	161
-------------	-----

第 1 章 調査の概要

1 調査の目的

平成 23 年度から平成 32 年度の 10 年間を計画期間とする「第 4 次瑞穂町長期総合計画」の策定にあたり、これまで推進してきた第 3 次瑞穂町長期総合計画に対する町民の評価、この間の町民意識の変化等を把握することを目的に本調査を実施した。

このため、第 3 次瑞穂町長期総合計画 後期基本計画の策定にあたり平成 16 年 9 月に実施した町民意識調査と同様の質問事項と、各分野に関する質問事項を中心に調査した。

2 調査方法等

- | | |
|-----------|--|
| (1) 調査項目 | ・ 瑞穂町の生活について
・ 瑞穂町の将来像や現状の評価について
・ 今後力を入れるべきことについて
・ 行政と町民の役割などについて |
| (2) 調査地域 | 瑞穂町全域 |
| (3) 調査対象者 | 瑞穂町在住の 18 歳以上の男女 3,000 人 |
| (4) 抽出方法 | 無作為抽出法 |
| (5) 調査方法 | 郵送配布・郵送回収法(お礼状兼督促状を 1 回郵送) |
| (6) 調査期間 | 平成 21 年 7 月 28 日～平成 21 年 8 月 10 日 |
| (7) 調査機関 | (株)日本コンサルタントグループ |

3 回収結果

- | | |
|-----------|-------|
| (1) 有効回収数 | 1,605 |
| (2) 回収率 | 53.5% |

4 報告書の注意事項

調査結果の比率は、その設問の回答者数を基数として、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出している。四捨五入の関係で、合計が 100%にならない場合がある。

複数回答形式の場合、回答比率の合計は通常 100%を超える。

図表中の「n」(net)とは、その設問への回答者数を表す。小数点以下 1 位まで示した数値は、回答比率(%)である。

選択肢の語句が長い場合、本文や表・グラフ中では省略した表現を用いている。

表において、他と比べ特徴的な回答結果が見られるところには網かけをしている。

地区別の集計にあたっては、以下の6地区に区分した。

地区名	町内会・自治会名
殿ヶ谷地区	安住町、表町、仲町、中芝町
石畑地区	東砂町、西砂町、丸町、神明町、表東町、表上町、上仲町、旭町
箱根ヶ崎地区	東1丁目、西1丁目、2丁目、東3丁目、中3丁目、西3丁目、4丁目、5丁目、6丁目、7丁目、8丁目、9丁目、松原町
長岡地区	長岡町、東長岡町、春日町、愛宕町、水保町
元狭山地区	二本木町、駒形町、高根町、富士山町、栗原町、松山町
武蔵野地区	旭が丘、さかえ町、富士見町、南平町



この調査の標本誤差は、次式によって得られる。ただし、信頼度を 95% とする。

$$b = \pm 1.96 \sqrt{p(1-p) \div \frac{n(N-1)}{N-n}}$$

{

b = 標本誤差

N = 母集団数

n = 基数 (サンプル数)

p = 回答比率

標本誤差の早見表は下表のとおりである。表の見方は、例えばある質問の回答者数が 1,605 人で、回答比率が 50% であった場合、その回答比率の誤差は、最大で ±2.37% 以内となることを示している。

したがって、本報告書中の属性別の分析にあたっては、質問によって回答者数が異なることや、各選択肢への回答比率が各々異なるため、ある属性の回答結果と全体結果との差が 5 ポイント以上あるものを有意差の一つの目安として分析している。

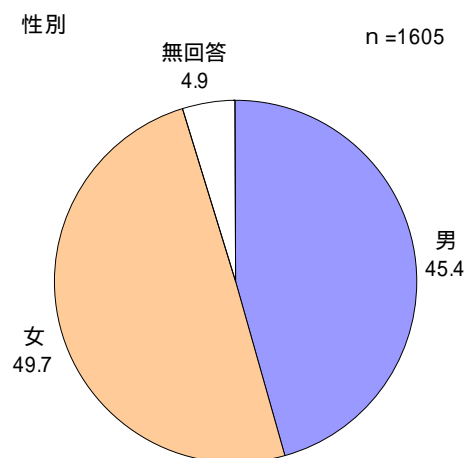
回答比率 基数 (n)	10% または 90% 前後	20% または 80% 前後	30% または 70% 前後	40% または 60% 前後	50% 前後
1,605 人	±1.42	±1.90	±2.18	±2.33	±2.37
1,000 人	±1.83	±2.43	±2.79	±2.98	±3.04
500 人	±2.61	±3.47	±3.98	±4.26	±4.34
100 人	±5.87	±7.83	±8.97	±9.58	±9.78

母集団である 18 歳以上人口を 27,848 人 (住民基本台帳。平成 21 年 1 月現在) で計算。

5 回答者の属性

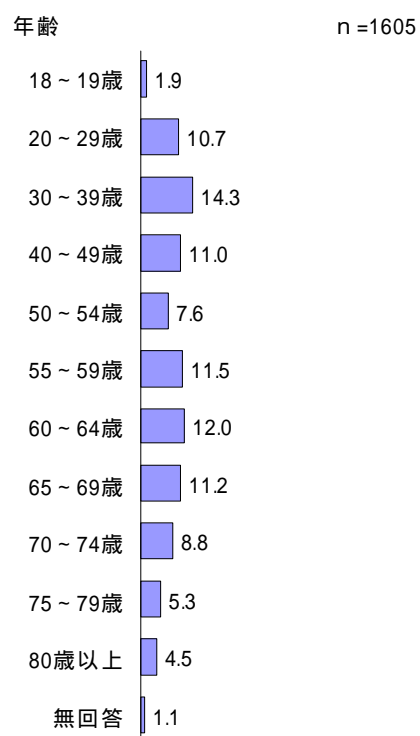
(1) 性別

性別は、「女性」49.7%が「男性」45.4%を約5ポイント上回っている。



(2) 年齢

年齢については、「30～39歳」14.3%が最も多いが、「18～19歳」及び「75～79歳」以上を除き、概ね10%前後となっている。なお、50歳代から70歳代は5歳間隔としており、これらを再計算すると50～59歳19.1%、60～69歳23.2%、70～79歳14.1%となる。

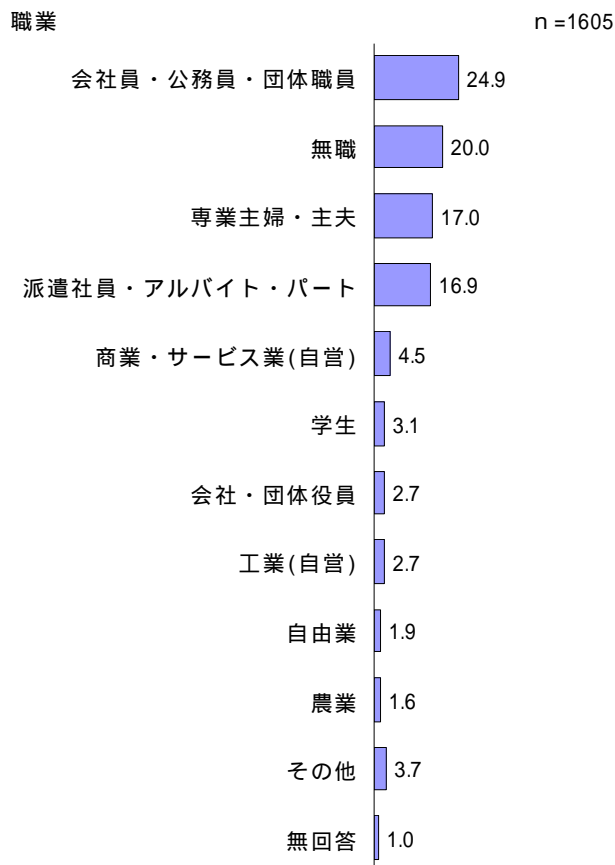


(3) 職業

職業は、「会社員・公務員・団体職員」24.9%が最も多く、ついで「無職」が20.0%、「専業主婦・主夫」「派遣社員・アルバイト・パート」が約17.0%で続いている。

性別では、男性は「会社員・公務員・団体職員」が他を大きく離しているが、女性は「専業主婦・主夫」とともに「派遣社員・アルバイト・パート」も比較的多くなっている。

年齢別では、20歳代以下の若い世代で「学生」が、20歳～50歳代までは「会社員・公務員・団体職員」が多くなっている。なお、あまり多くはないものの75歳以上で「農業」が目立っている。



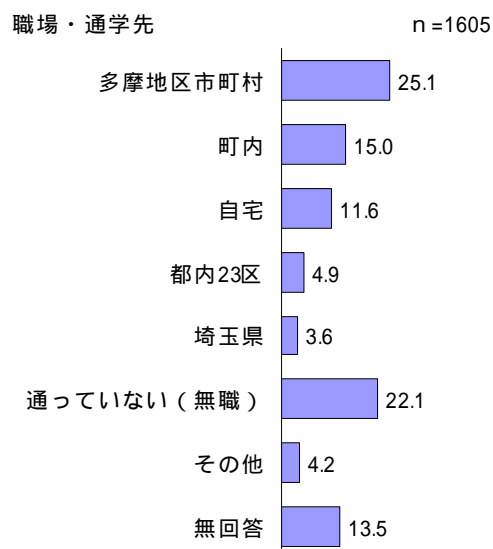
区分		回答者数	会社員・公務員・団体職員	無職	専業主婦・主夫	派遣社員・アルバイト・パート	商業・サービス業(自営)	学生	会社・団体役員	工業(自営)	自由業	農業	その他	無回答
全体		1605	24.9	20.0	17.0	16.9	4.5	3.1	2.7	2.7	1.9	1.6	3.7	1.0
性別	男	729	39.2	24.3	0.1	8.8	5.3	3.6	4.3	4.9	2.5	2.2	4.3	0.5
	女	798	12.8	14.7	32.7	24.9	3.5	3.0	1.1	0.8	1.1	1.0	3.3	1.1
年齢別	18～19歳	31	6.5	3.2	0.0	6.5	0.0	83.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～29歳	172	40.1	9.3	5.8	21.5	2.9	13.4	1.2	0.6	1.7	0.0	2.3	1.2
	30～39歳	229	43.2	4.8	19.2	18.8	2.2	0.4	1.3	2.6	3.1	0.0	3.5	0.9
	40～49歳	177	43.5	3.4	12.4	24.9	4.0	0.0	3.4	2.3	1.1	0.0	4.5	0.6
	50～54歳	122	33.6	3.3	21.3	25.4	6.6	0.0	3.3	3.3	0.8	0.0	1.6	0.8
	55～59歳	184	36.4	7.1	16.8	15.8	3.8	0.0	5.4	6.0	1.1	4.3	2.2	1.1
	60～64歳	193	14.5	17.1	27.5	19.7	7.3	0.0	2.1	3.1	3.1	0.5	4.1	1.0
	65～69歳	179	5.0	36.3	20.7	16.2	6.7	0.0	4.5	4.5	1.1	0.0	4.5	0.6
	70～74歳	142	1.4	48.6	23.2	7.7	5.6	0.0	4.2	1.4	1.4	3.5	2.1	0.7
75～79歳	85	2.4	50.6	16.5	1.2	8.2	0.0	0.0	0.0	1.2	8.2	10.6	1.2	
80歳以上	73	0.0	78.1	2.7	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4	2.7	6.8	5.5	2.7	

網かけは全体より5ポイント以上多いもの(以下同様)

(4) 職場・通学先

職場・通学先は、「多摩地区市町村」25.1%、「町内」15.0%となっている。また、「通っていない(無職)」は22.1%である。

これを職業別に見ると、会社員・公務員・団体職員は「多摩地区市町村」が55.1%と過半数に達する。会社・団体役員は、「町内」が多くなっている。また、派遣社員・アルバイト・パートは、「多摩地区市町村」や「町内」が目立つ。



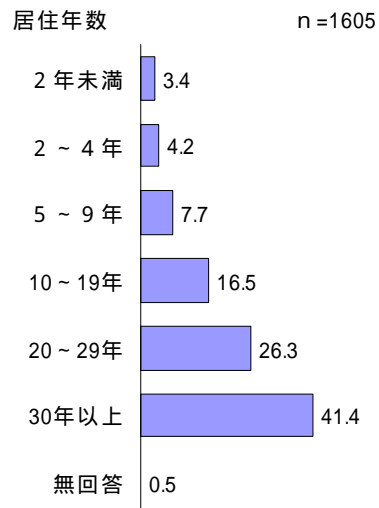
区分		回答者数	自宅	町内	多摩地区市町村	都内23区	埼玉県	通っていない(無職)	その他	無回答
全体		1605	11.6	15.0	25.1	4.9	3.6	22.1	4.2	13.5
性別	男	729	12.6	15.0	31.8	6.9	3.8	18.7	5.9	5.3
	女	798	10.7	14.8	20.4	3.4	3.6	25.1	2.8	19.3
職業別	農業	26	53.8	26.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	19.2
	工業(自営)	43	46.5	20.9	18.6	2.3	2.3	0.0	7.0	2.3
	商業・サービス業(自営)	73	64.4	8.2	13.7	2.7	4.1	0.0	4.1	2.7
	会社・団体役員	44	13.6	34.1	22.7	6.8	13.6	0.0	6.8	2.3
	会社員・公務員・団体職員	399	3.0	17.3	55.1	11.0	5.0	0.0	7.5	1.0
	自由業	30	40.0	10.0	23.3	6.7	3.3	10.0	0.0	6.7
	学生	50	2.0	0.0	22.0	32.0	16.0	2.0	26.0	0.0
	派遣社員・アルバイト・パート	271	1.8	40.6	45.0	3.3	6.3	0.0	1.5	1.5
	専業主婦・主夫	273	14.3	1.1	0.0	0.0	0.4	47.3	0.7	36.3
	無職	321	6.2	0.6	0.3	0.0	0.0	67.0	0.9	24.9
その他	59	15.3	22.0	22.0	3.4	1.7	8.5	11.9	15.3	

(5) 居住年数

町内の居住年数は、「30年以上」41.4%が最も多く、年数が長いほど多くなっている。これを概ね10年間隔で区分けすると、次のとおりとなる。

- ・ 10年未満 15.3%
- ・ 10～19年 16.5%
- ・ 20～29年 26.3%
- ・ 30年以上 41.4%

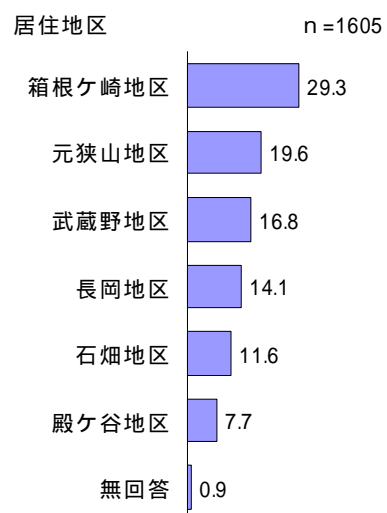
居住地区別でも、いずれの地区も概ね居住年数が長いほど多くなる傾向が見られるが、とりわけ石畑地区では「30年以上」が半数強を占めている。



区分		回答者数	2年未満	2～4年	5～9年	10～19年	20～29年	30年以上	無回答
全体		1605	3.4	4.2	7.7	16.5	26.3	41.4	0.5
居住地区別	殿ヶ谷地区	124	2.4	6.5	8.1	20.2	24.2	37.9	0.8
	石畑地区	186	3.8	1.6	7.0	11.8	18.3	55.9	1.6
	箱根ヶ崎地区	470	3.6	4.3	6.8	14.7	26.4	44.0	0.2
	長岡地区	227	3.1	3.1	7.5	20.3	29.1	37.0	0.0
	元狭山地区	314	4.1	5.4	8.6	14.3	25.8	41.4	0.3
	武蔵野地区	270	2.6	4.4	8.5	19.6	31.5	33.3	0.0

(6) 居住地区

居住地区は、「箱根ヶ崎地区」29.3%を筆頭に、「元狭山地区」19.6%、「武蔵野地区」16.8%、「長岡地区」14.1%、「石畑地区」11.6%、「殿ヶ谷地区」7.7%となっている。

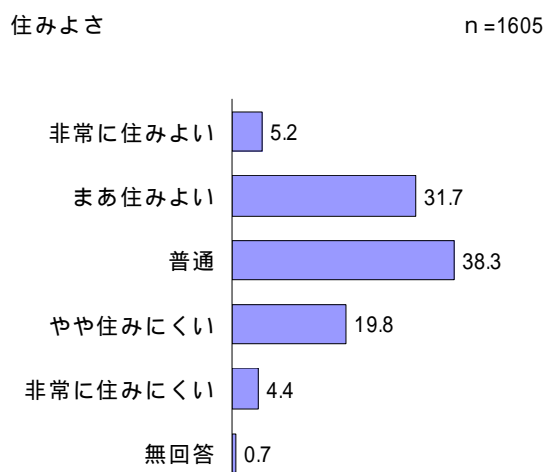


第 2 章 調査結果

1 瑞穂町の生活について

(1) 住みよさ

問1 あなたは、瑞穂町を住みよいと感じていますか、それとも住みにくいと感じていますか。次の中から適当と思われるものを1つ選び、その番号をで囲んでください。



全体結果

町の住みよさは、「普通」が 38.3%を占め最も多くなっている。「非常に住みよい」「まあ住みよい」という“住みよい”評価(合わせて 36.9%)が、「やや住みにくい」「非常に住みにくい」という“住みにくい”評価(合わせて 24.2%)を大きく上回っている。

なお、「普通」を“住みよい”に合わせると、75.2%の人がある程度満足している結果である。

属性別

住みよさを、上記の「住みよい」「普通」「住みにくい」に3区分して属性別に見てみる。

性別では、男女とも「住みよい」が「住みにくい」を上回るが、男性は、女性に比べ「住みよい」が若干多く、また「住みにくい」も下回っており、総じて住み良さを感じている割合が高い。

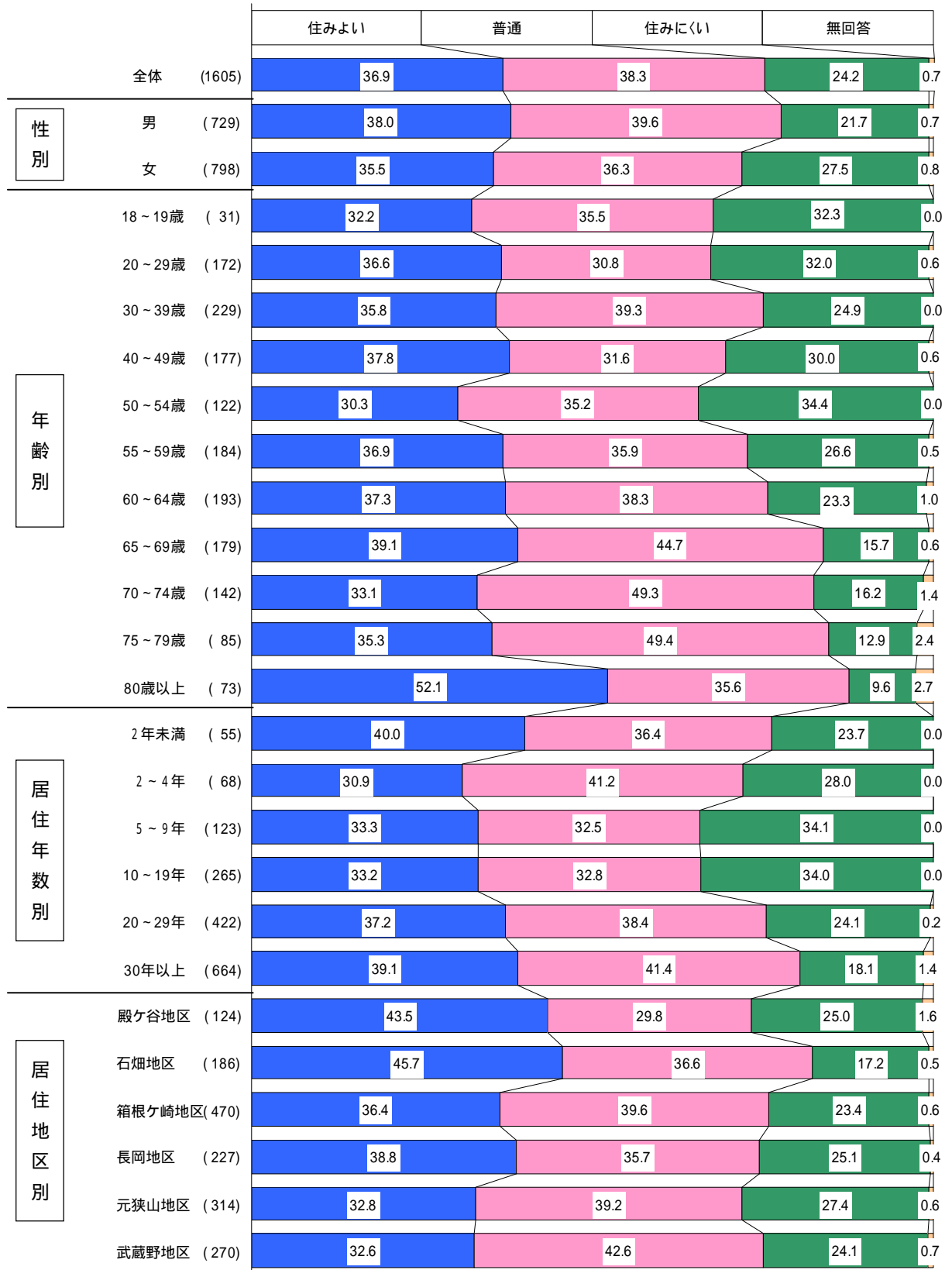
年齢別では、65歳以上で「普通」も合わせた住みよさ感が増し、それぞれ80%以上となっている。一方、「住みにくい」が「住みよい」を上回るのは、18～19歳及び50～54歳である。

居住年数別では、住み始めて間もない層と20年以上で「普通」も合わせた住みよい割合が多くなっているが、5年～19年の層で、「住みにくい」が「住みよい」を上回る。

居住地区別に「普通」も合わせた住みよい割合を見ると、石畑地区が82.3%で最も高く、元狭山地区が72.0%で最も低い結果となっている。

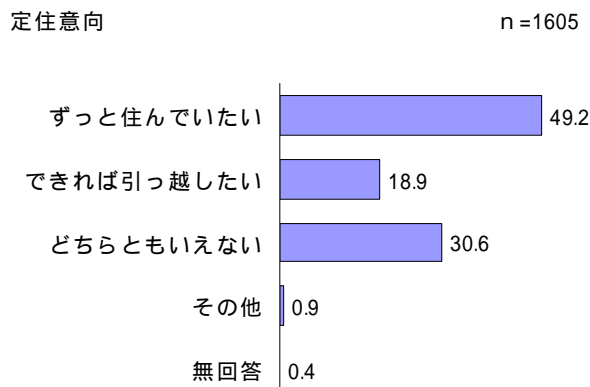
住みよさ(性・年齢・居住年数・居住地区別)

単位: %



(2) 定住意向

問2 あなたは、これからもずっと瑞穂町に住み続けたいと思いますか。それとも他のところへ移りたいと思いますか。次の中から適当と思われるものを1つ選び、その番号を で囲んでください。



全体結果

これからも瑞穂町に住み続けたいかについてたずねたところ、「ずっと住んでいたい」が49.2%と約半数を占め、「できれば引っ越したい」18.9%を大きく上回っている。また、「どちらともいえない」が30.6%と3人に1人近く見られる。

属性別

性別の「ずっと住んでいたい」割合は、男性51.2%、女性46.2%と男性が女性を上回っている。

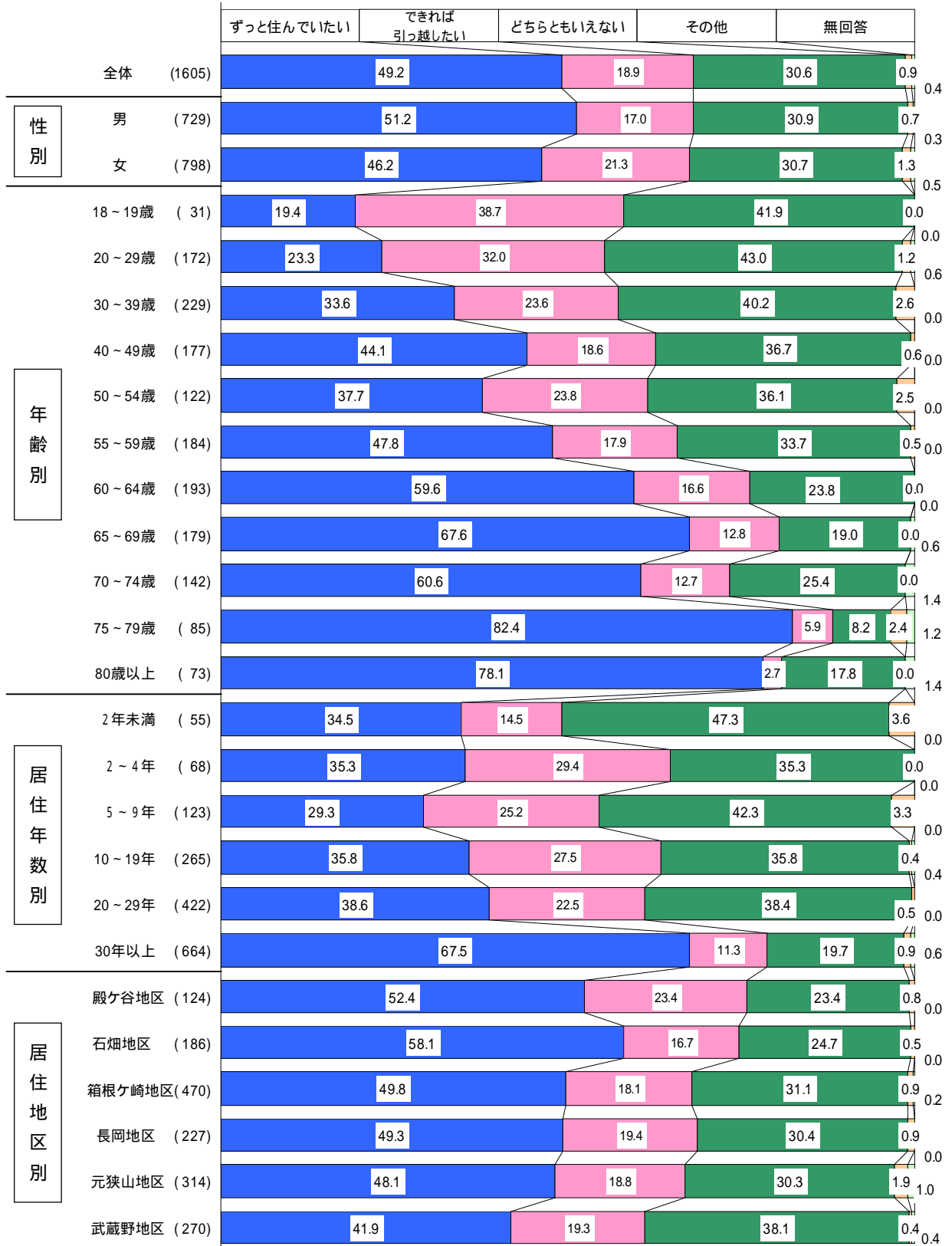
年齢別では、概ね年代が上がるほど「ずっと住んでいたい」割合が顕著に高くなる傾向がある。一方、20歳代以下では「できれば引っ越したい」が「ずっと住んでいたい」を上回っている。

居住年数別では、概ね居住年数が長くなるほど「ずっと住んでいたい」が増える傾向にあるものの、5～9年では「できれば引っ越したい」との差が小さくなっている。10年未満では「どちらともいえない」が40%台で最も多い回答となっている。

居住地区別では、石畑を筆頭に殿ヶ谷、箱根ヶ崎、長岡、元狭山地区の順で「ずっと住んでいたい」が概ね50～60%を占めるが、武蔵野地区では「ずっと住んでいたい」と「どちらともいえない」が同程度となっている。

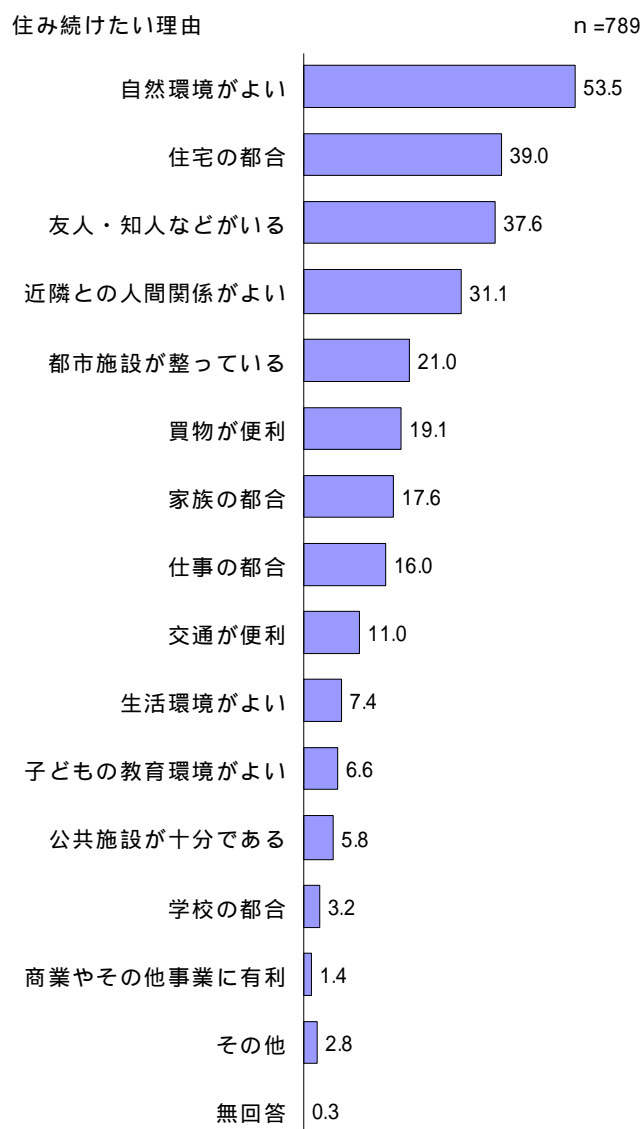
定住意向(性・年齢・居住年数・居住地区別)

単位: %



(3) 住み続けたい理由

問2 - 1 (問2で「1 ずっと住んでいたい」とお答えになった方だけ教えてください) その理由は、主として次のどれに当てはまりますか。当てはまるものをすべて選び、その番号を で囲んでください。

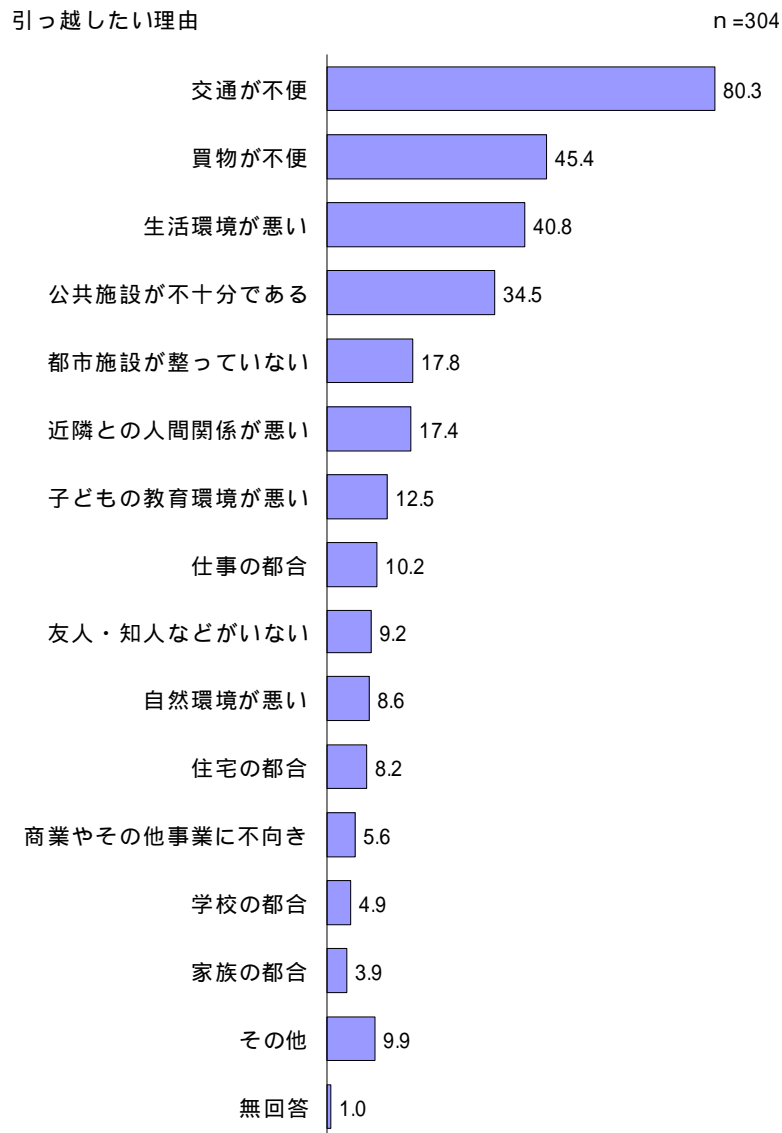


問2で「ずっと住んでいたい」と回答した人(789人)に、その理由をたずねた。

「自然環境がよい」が53.5%と過半数に達し、「住宅の都合」「友人・知人などがある」がともに40%弱、「近隣との人間関係がよい」31.1%などが多くあげられている。自然環境のよさと、地域における人間関係のよさなどが大きな理由となっている。

(4) 引っ越したい理由

問2 - 2 (問2で「2 できれば引っ越したい」とお答えになった方だけ教えてください) その理由は、主として次のどれに当てはまりますか。当てはまるものをすべて選び、その番号を で囲んでください。



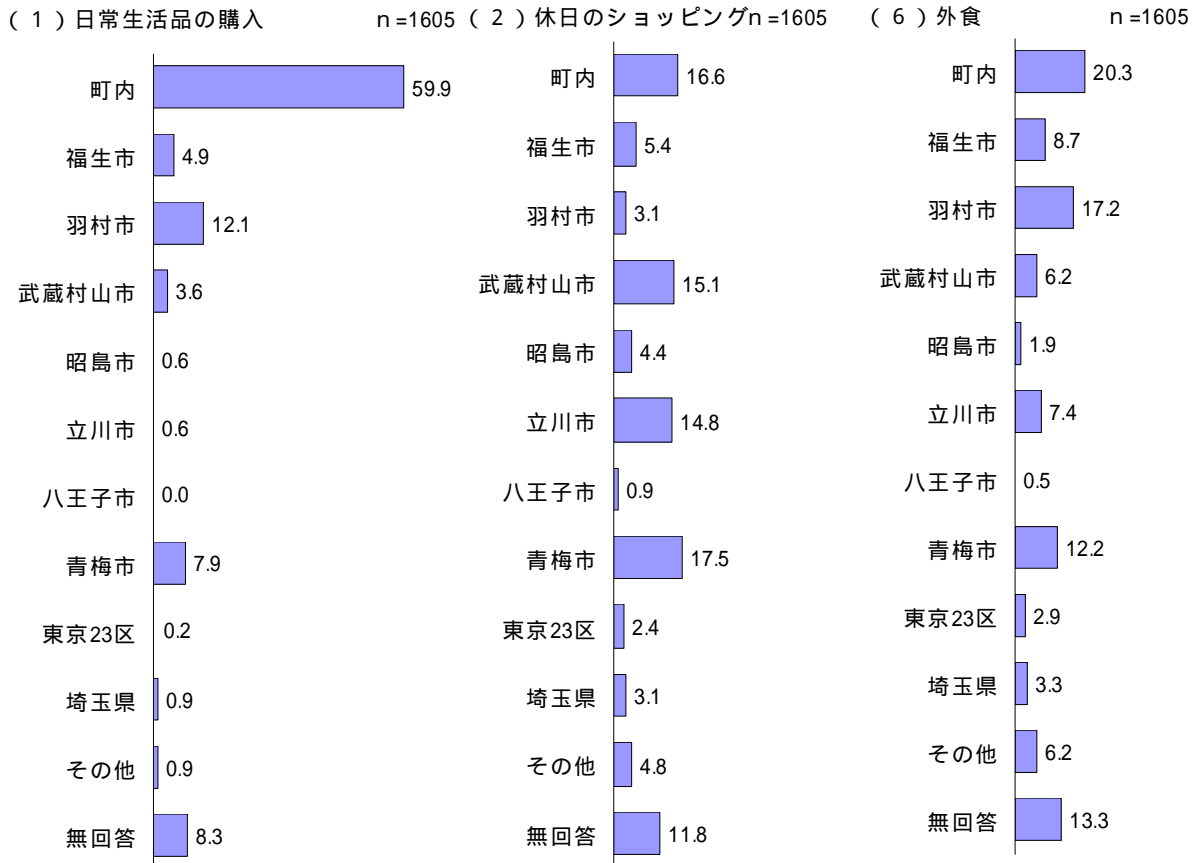
問2で「できれば引っ越したい」と回答した人(304人)に、その理由をたずねた。

「交通が不便」を80.3%の人があげ、最大の理由となっている。次いで、「買物が不便」45.4%、「騒音、悪臭などあり生活環境が悪い」40.8%、「公共施設が不十分である」34.5%などとなっている。

(5) 生活行動の場所

問3 以下のような行動をとる場合、あなたはどこへ出かけますか。(1)～(8)のそれぞれについて、もっともよく行くと思われる地域を1つずつ選び、その番号を で囲んでください。

【買物・外食】



全体結果

日常生活品（食料品・家庭用品など）の購入は、「町内」が59.9%と約6割を占め、大きく開いて「羽村市」が12.1%となっている。

休日のショッピング（医療品、電化製品など）は、「青梅市」「町内」「武蔵村山市」「立川市」の順で、分散傾向にある。

外食については、「町内」が20.3%、次いで「羽村市」17.2%、「青梅市」12.2%などとなっている。

属性別

日常生活品の購入について職場・通学先別で見ると、町内勤務・通学者とともに埼玉県に通っている人でも「町内」が60%強と多い。

居住地区別では、殿ヶ谷、石畑、元狭山地区で「町内」が70%台と特に多い。殿ヶ谷地区では「武蔵村山市」、長岡地区では「羽村市」「青梅市」、武蔵野地区では「福生市」「羽村市」がそれぞれ20%前後とやや多く見られる。

日常生活品の購入

区分		回答者数	瑞穂町内	福生市	羽村市	武蔵村山市	昭島市	立川市	八王子市	青梅市	東京23区	埼玉県	その他	無回答
全体		1605	59.9	4.9	12.1	3.6	0.6	0.6	0.0	7.9	0.2	0.9	0.9	8.3
職場 通学先	自宅	186	58.6	4.3	14.0	2.7	1.1	0.5	0.0	7.0	0.5	0.5	0.0	10.8
	町内	240	67.1	2.9	9.6	4.2	0.4	0.4	0.0	7.1	0.0	1.7	1.3	5.4
	多摩地区市町村	403	58.8	5.7	15.1	5.0	0.7	0.7	0.0	7.9	0.0	0.0	1.0	5.0
	都内23区	79	50.6	8.9	15.2	2.5	2.5	1.3	0.0	8.9	1.3	2.5	1.3	5.1
	埼玉県	58	65.5	1.7	10.3	0.0	0.0	0.0	0.0	13.8	0.0	5.2	0.0	3.4
	通っていない(無職)	354	59.9	4.8	10.5	4.0	0.3	0.6	0.0	7.6	0.0	1.1	0.8	10.5
	その他	68	64.7	4.4	7.4	1.5	0.0	0.0	0.0	8.8	1.5	0.0	4.4	7.4
居住地区	殿ヶ谷地区	124	71.0	0.0	0.8	19.4	0.0	0.0	0.0	1.6	0.8	0.0	0.8	5.6
	石畑地区	186	78.5	0.5	3.2	5.4	1.6	0.5	0.0	1.1	0.0	0.0	1.6	7.5
	箱根ヶ崎地区	470	61.5	3.0	14.9	3.0	1.1	0.9	0.0	5.5	0.2	0.4	0.9	8.7
	長岡地区	227	33.9	0.9	26.4	1.3	0.0	0.9	0.0	26.4	0.0	0.9	0.4	8.8
	元狭山地区	314	75.5	1.0	1.9	1.0	0.0	0.3	0.0	9.2	0.0	3.2	0.3	7.6
	武蔵野地区	270	43.3	21.5	18.5	1.1	0.7	0.7	0.0	3.0	0.4	0.0	1.9	8.9

休日のショッピングについて職場・通学先別に見ると、多摩地区市町村、埼玉県に通っている人で「立川市」が20%前後、町内に通っている人は「青梅市」が多くなっている。

居住地区別では、殿ヶ谷、石畑地区では「武蔵村山市」が、長岡、元狭山地区では「青梅市」が、武蔵野地区では「福生市」がそれぞれやや多くなっている。

休日のショッピング

区分		回答者数	瑞穂町内	福生市	羽村市	武蔵村山市	昭島市	立川市	八王子市	青梅市	東京23区	埼玉県	その他	無回答
全体		1605	16.6	5.4	3.1	15.1	4.4	14.8	0.9	17.5	2.4	3.1	4.8	11.8
職場 通学先	自宅	186	22.6	4.3	3.8	16.7	2.2	11.8	0.5	14.0	1.6	4.3	2.7	15.6
	町内	240	15.8	1.7	2.9	17.5	6.3	10.8	0.8	23.3	1.7	5.0	4.6	9.6
	多摩地区市町村	403	12.4	5.7	3.0	19.6	4.5	20.8	1.0	15.1	2.7	2.7	6.0	6.5
	都内23区	79	8.9	6.3	5.1	13.9	5.1	19.0	1.3	11.4	15.2	2.5	5.1	6.3
	埼玉県	58	13.8	0.0	3.4	17.2	3.4	25.9	0.0	20.7	1.7	5.2	5.2	3.4
	通っていない(無職)	354	18.4	7.3	2.8	10.7	3.4	13.0	0.6	21.2	0.6	1.7	4.8	15.5
	その他	68	11.8	5.9	1.5	17.6	7.4	14.7	2.9	14.7	7.4	1.5	8.8	5.9
居住地区	殿ヶ谷地区	124	18.5	0.8	0.8	41.1	7.3	12.9	0.0	4.0	3.2	0.8	3.2	7.3
	石畑地区	186	21.0	2.2	2.7	20.4	7.0	15.6	2.2	8.6	1.1	3.2	6.5	9.7
	箱根ヶ崎地区	470	17.2	4.5	3.2	14.5	3.8	16.0	1.5	17.9	3.4	2.1	4.9	11.1
	長岡地区	227	12.8	1.3	6.2	11.5	0.9	14.1	0.4	32.2	2.2	2.6	5.3	10.6
	元狭山地区	314	20.4	1.0	1.0	10.2	4.1	12.7	0.0	23.9	1.9	7.3	4.5	13.1
	武蔵野地区	270	10.0	20.4	4.4	10.0	5.9	15.9	0.7	10.0	2.2	1.1	4.1	15.2

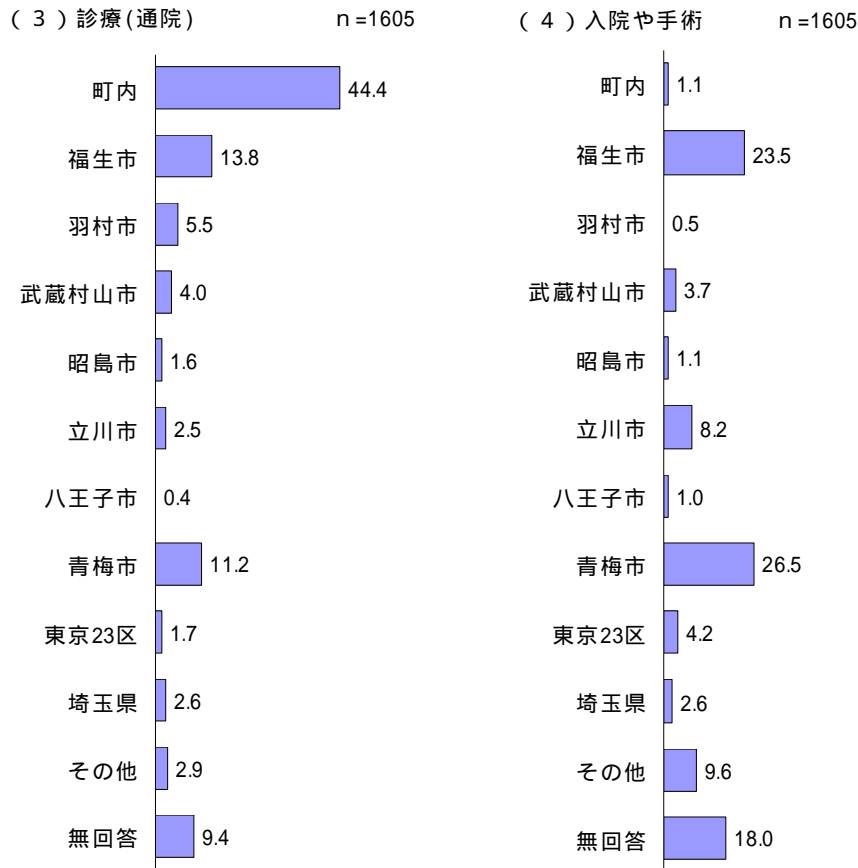
外食については、職場・通学先別では、自宅、町内に通っている人は「町内」、都内 23 区に通っている人は「東京 23 区」、埼玉県に通っている人は「埼玉県」が多くなっている。

居住地区別では、殿ヶ谷、石畑地区は「町内」が目立つとともに、殿ヶ谷地区については「武蔵村山市」が比較的多い。長岡地区では「羽村市」「青梅市」が、武蔵野地区では「福生市」「羽村市」が多くなっている。

外食

区分		回答者数	瑞穂町内	福生市	羽村市	武蔵村山市	昭島市	立川市	八王子市	青梅市	東京 23 区	埼玉県	その他	無回答
全体		1605	20.3	8.7	17.2	6.2	1.9	7.4	0.5	12.2	2.9	3.3	6.2	13.3
職場・通学先	自宅	186	25.3	5.4	15.1	7.0	2.2	8.1	0.0	13.4	1.1	2.2	5.9	14.5
	町内	240	27.5	7.5	15.4	4.6	1.3	3.8	0.0	14.6	1.3	5.0	7.9	11.3
	多摩地区市町村	403	14.9	10.2	21.1	8.2	2.0	11.4	0.5	12.7	2.7	2.5	6.9	6.9
	都内 23 区	79	13.9	10.1	16.5	7.6	5.1	10.1	0.0	2.5	26.6	0.0	2.5	5.1
	埼玉県	58	17.2	8.6	15.5	3.4	5.2	5.2	0.0	10.3	5.2	19.0	3.4	6.9
	通っていない(無職)	354	22.6	7.6	16.7	6.2	2.3	5.1	0.6	13.0	1.1	3.1	5.1	16.7
	その他	68	16.2	10.3	14.7	8.8	0.0	8.8	5.9	13.2	2.9	1.5	11.8	5.9
居住地区	殿ヶ谷地区	124	31.5	3.2	5.6	27.4	2.4	7.3	0.0	0.8	4.0	4.0	8.1	5.6
	石畑地区	186	28.5	6.5	12.9	9.1	1.6	9.1	1.6	5.4	2.2	1.6	7.5	14.0
	箱根ヶ崎地区	470	21.1	5.5	20.4	6.2	1.9	8.3	0.4	12.6	4.3	2.6	5.1	11.7
	長岡地区	227	14.5	2.6	26.4	1.3	0.0	5.3	0.0	26.0	2.2	0.4	6.6	14.5
	元狭山地区	314	22.3	7.3	9.6	3.5	1.6	5.1	0.3	17.2	1.9	8.6	6.7	15.9
	武蔵野地区	270	10.7	24.8	20.7	1.9	3.7	9.3	0.7	4.8	2.2	1.5	5.2	14.4

【医療】



全体結果

診療（通院）については、「町内」が44.4%を占め、差が開いて「福生市」13.8%、「青梅市」11.2%となっている。

入院や手術については、「青梅市」26.5%、「福生市」23.5%が多くなっている。

属性別

診療（通院）について職場・通学先別に見ると、いずれも「町内」が最も多いが、都内23区や埼玉県に通っている人では職場・通学先での通院がやや目立つ。

居住地区別でも、いずれの地区も「町内」が多いが、なかでも石畑、長岡地区では「町内」が半数を超える。武蔵野地区では「福生市」、殿ヶ谷地区では「武蔵村山市」が、元狭山地区では「青梅市」がやや多い。

診療(通院)

区分		回答者数	瑞穂町内	福生市	羽村市	武蔵村山市	昭島市	立川市	八王子市	青梅市	東京23区	埼玉県	その他	無回答
全体		1605	44.4	13.8	5.5	4.0	1.6	2.5	0.4	11.2	1.7	2.6	2.9	9.4
職場 通学先	自宅	186	47.8	13.4	5.9	3.2	1.6	1.1	1.1	10.2	1.1	3.2	0.5	10.8
	町内	240	58.8	9.2	2.1	2.5	0.8	1.7	0.8	9.6	1.3	3.8	2.9	6.7
	多摩地区市町村	403	39.0	14.9	7.7	6.7	2.7	4.2	0.2	12.2	0.7	1.7	4.0	6.0
	都内23区	79	40.5	11.4	8.9	3.8	2.5	2.5	0.0	6.3	15.2	0.0	2.5	6.3
	埼玉県	58	50.0	15.5	1.7	5.2	0.0	0.0	0.0	8.6	1.7	13.8	0.0	3.4
	通っていない(無職)	354	42.1	15.0	5.1	3.4	1.4	2.8	0.3	13.3	0.8	2.0	2.5	11.3
	その他	68	42.6	17.6	1.5	2.9	2.9	2.9	0.0	14.7	0.0	1.5	7.4	5.9
居住地区	殿ヶ谷地区	124	44.4	8.9	4.0	19.4	2.4	5.6	0.0	4.8	1.6	0.8	4.0	4.0
	石畑地区	186	50.5	11.3	1.6	7.0	1.6	2.7	0.5	9.1	0.0	1.1	2.7	11.8
	箱根ヶ崎地区	470	46.4	12.6	6.2	3.0	1.3	1.9	1.3	10.6	2.6	1.7	3.4	9.1
	長岡地区	227	54.6	10.6	7.0	1.3	0.4	2.2	0.0	14.1	0.0	0.0	1.8	7.9
	元狭山地区	314	43.9	8.0	1.9	2.5	0.3	2.2	0.0	17.2	2.5	8.6	3.5	9.2
	武蔵野地区	270	30.0	30.0	10.0	0.7	4.1	2.6	0.0	7.4	1.9	0.7	2.2	10.4

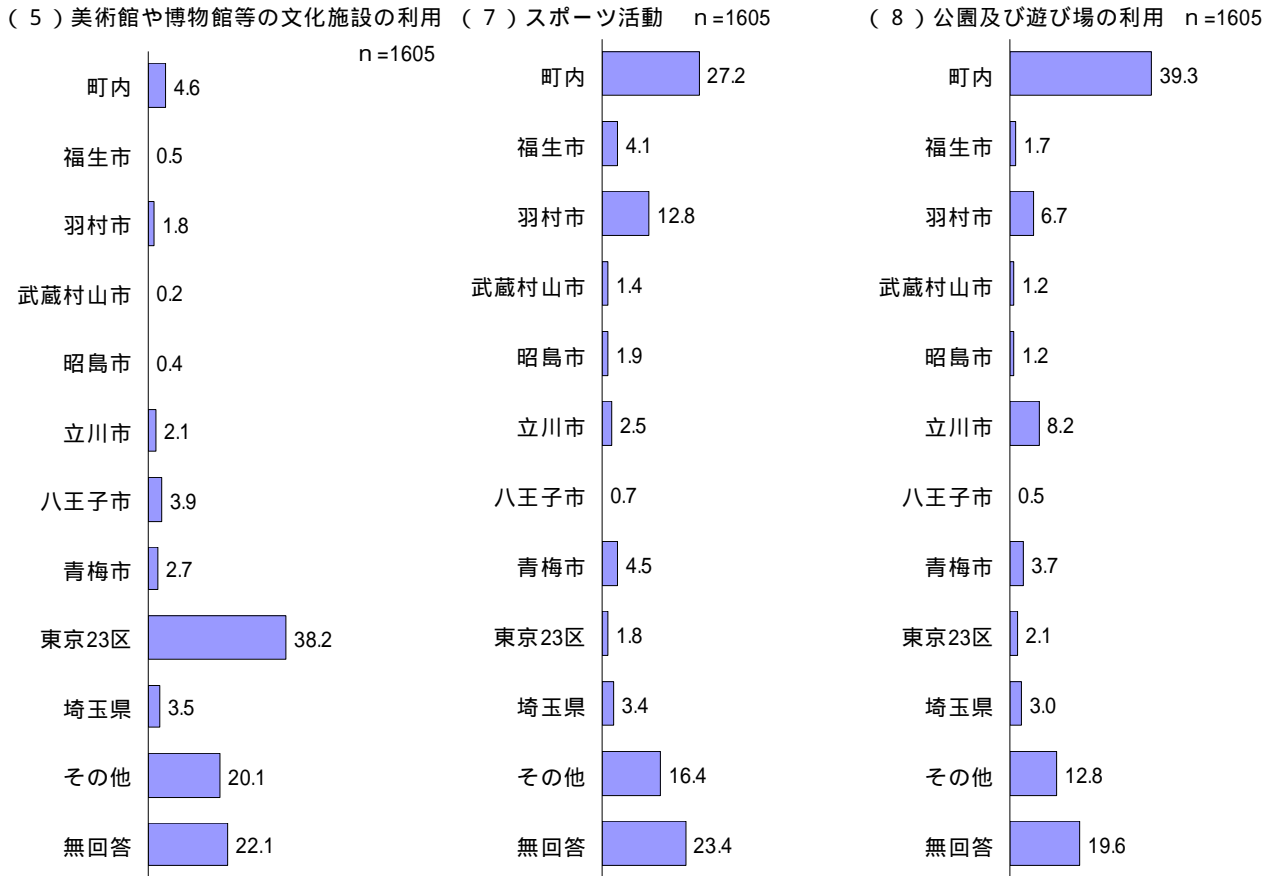
入院や手術について職場・通学先別に見ると、いずれも「青梅市」「福生市」が多いものの、都内23区や埼玉県に通っている人では職場・通学先での入院等がやや目立つ。

居住地区別に見ると、長岡地区を筆頭に、元狭山、箱根ヶ崎地区では「青梅市」が最も多く、武蔵野地区では「福生市」が多くなっている。

入院や手術

区分		回答者数	瑞穂町内	福生市	羽村市	武蔵村山市	昭島市	立川市	八王子市	青梅市	東京23区	埼玉県	その他	無回答
全体		1605	1.1	23.5	0.5	3.7	1.1	8.2	1.0	26.5	4.2	2.6	9.6	18.0
職場 通学先	自宅	186	0.5	19.9	0.0	1.1	1.6	7.5	1.6	30.1	4.8	2.2	8.1	22.6
	町内	240	0.0	25.0	0.8	2.9	1.3	7.5	1.3	31.3	4.2	2.5	7.9	15.4
	多摩地区市町村	403	1.7	22.3	1.0	5.5	1.5	11.2	1.0	25.6	3.2	2.2	12.7	12.2
	都内23区	79	0.0	19.0	1.3	3.8	0.0	8.9	2.5	20.3	15.2	1.3	13.9	13.9
	埼玉県	58	1.7	27.6	0.0	5.2	1.7	6.9	0.0	13.8	5.2	12.1	8.6	17.2
	通っていない(無職)	354	1.7	25.4	0.3	3.1	0.8	6.2	0.6	28.5	4.0	2.8	7.9	18.6
	その他	68	1.5	25.0	0.0	5.9	0.0	14.7	1.5	22.1	2.9	1.5	16.2	8.8
居住地区	殿ヶ谷地区	124	0.8	21.0	0.8	16.9	0.8	12.1	0.8	15.3	4.0	0.0	12.1	15.3
	石畑地区	186	0.5	26.9	0.5	5.4	0.5	14.0	2.2	17.7	2.7	2.2	11.8	15.6
	箱根ヶ崎地区	470	0.6	21.9	0.4	3.2	0.6	8.9	0.4	28.5	5.7	1.5	9.8	18.3
	長岡地区	227	1.3	16.7	0.4	1.3	1.3	5.3	2.2	42.3	4.0	1.8	8.8	14.5
	元狭山地区	314	2.2	15.9	0.3	2.5	1.3	5.7	0.6	31.2	3.5	7.0	11.5	18.2
	武蔵野地区	270	0.7	39.6	0.7	0.7	2.2	6.7	0.7	15.6	4.1	1.5	5.6	21.9

【文化・スポーツ活動等】



全体結果

美術館や博物館等の文化施設の利用については、「東京23区」が38.2%を占め最も多くなっている。

スポーツ活動については、「町内」が27.2%、次いで「羽村市」12.8%となっている。

公園及び遊び場の利用については、「町内」が39.3%を占め最も多く、ほかに「羽村市」や「立川市」がやや多い。

属性別

美術館や博物館等の文化施設の利用について職場・通学先別に見ると、いずれも「東京23区」が最も多いが、都内23区に通っている人では63.3%に達し、また、多摩地区市町村に通っている人も目立つ。

居住地区別では、いずれの地区も「東京23区」が3人に1人程度となっている。元狭山地区では「埼玉県」がやや目立つ。

美術館や博物館等の文化施設の利用

区分		回答者数	瑞穂町内	福生市	羽村市	武蔵村山市	昭島市	立川市	八王子市	青梅市	東京23区	埼玉県	その他	無回答
全体		1605	4.6	0.5	1.8	0.2	0.4	2.1	3.9	2.7	38.2	3.5	20.1	22.1
職場 通学先	自宅	186	5.9	0.5	0.5	0.5	0.0	0.0	2.7	1.6	38.2	3.8	18.8	27.4
	町内	240	3.8	0.4	1.3	0.0	0.0	1.7	3.3	3.3	37.9	4.6	23.3	20.4
	多摩地区市町村	403	2.2	0.5	3.7	0.5	0.2	2.7	3.7	3.5	44.2	2.5	24.8	11.4
	都内23区	79	1.3	1.3	1.3	0.0	1.3	5.1	2.5	2.5	63.3	1.3	15.2	5.1
	埼玉県	58	8.6	0.0	1.7	0.0	0.0	0.0	5.2	1.7	39.7	6.9	22.4	13.8
	通っていない(無職)	354	7.1	0.6	0.8	0.0	0.6	3.4	4.2	1.7	32.8	4.2	17.5	27.1
	その他	68	1.5	0.0	5.9	0.0	1.5	1.5	7.4	0.0	38.2	1.5	35.3	7.4
居住地区	殿ヶ谷地区	124	4.0	0.0	0.0	0.0	0.8	4.0	3.2	2.4	37.1	2.4	25.8	20.2
	石畑地区	186	7.0	0.0	1.1	0.0	0.0	2.2	2.7	1.6	34.4	3.8	23.1	24.2
	箱根ヶ崎地区	470	5.1	0.4	1.3	0.4	0.0	2.8	5.1	2.8	41.1	1.3	19.1	20.6
	長岡地区	227	3.1	0.4	3.5	0.0	0.0	0.9	3.1	4.8	38.8	2.2	20.7	22.5
	元狭山地区	314	6.4	0.6	0.3	0.3	0.3	1.6	2.5	1.9	36.0	9.9	19.7	20.4
	武蔵野地区	270	1.9	1.1	4.1	0.0	1.5	1.9	5.6	1.9	39.6	1.1	17.4	24.1

スポーツ活動について職場・通学先別に見ると、町内や自宅に通っている人は「町内」が多く、多摩地区市町村や都内23区に通っている人は「羽村市」が、埼玉県に通っている人は「埼玉県」がやや多く見られる。

居住地区別では、長岡地区を除きいずれの地区も「町内」が最も多い。また、長岡地区では「羽村市」が、武蔵野地区では「福生市」が目立つ。

スポーツ活動

区分		回答者数	瑞穂町内	福生市	羽村市	武蔵村山市	昭島市	立川市	八王子市	青梅市	東京23区	埼玉県	その他	無回答
全体		1605	27.2	4.1	12.8	1.4	1.9	2.5	0.7	4.5	1.8	3.4	16.4	23.4
職場 通学先	自宅	186	35.5	2.2	10.2	1.1	1.6	1.6	0.5	1.6	1.1	3.8	10.8	30.1
	町内	240	34.6	5.0	10.8	0.0	2.1	1.3	0.8	6.3	2.9	2.9	13.3	20.0
	多摩地区市町村	403	20.1	5.2	18.4	1.7	3.5	4.2	0.7	7.2	1.0	3.5	22.1	12.4
	都内23区	79	16.5	5.1	21.5	0.0	2.5	6.3	0.0	2.5	10.1	2.5	21.5	11.4
	埼玉県	58	27.6	8.6	8.6	0.0	3.4	3.4	0.0	5.2	0.0	13.8	19.0	10.3
	通っていない(無職)	354	32.5	2.8	8.2	2.3	0.8	2.0	0.3	4.0	1.1	3.4	15.5	27.1
	その他	68	29.4	0.0	10.3	4.4	1.5	1.5	5.9	4.4	2.9	2.9	27.9	8.8
居住地区	殿ヶ谷地区	124	31.5	0.8	4.8	8.9	3.2	4.8	0.8	3.2	4.0	1.6	20.2	16.1
	石畑地区	186	34.9	3.2	7.5	2.2	1.1	1.1	0.5	3.8	1.6	2.2	16.7	25.3
	箱根ヶ崎地区	470	27.9	3.2	12.3	0.6	2.8	4.0	0.4	4.3	2.6	3.2	15.1	23.6
	長岡地区	227	22.5	3.5	23.8	0.0	1.3	0.9	1.3	3.1	0.9	3.1	16.7	22.9
	元狭山地区	314	29.0	1.3	10.2	1.0	1.6	1.6	0.3	8.3	1.0	7.0	17.2	21.7
	武蔵野地区	270	21.5	11.5	14.8	0.7	1.1	2.2	1.1	3.0	1.5	0.7	15.9	25.9

公園及び遊び場の利用について職場・通学先別に見ると、いずれも「町内」が最も多いが、自宅に通っている人は「町内」が多く、多摩地区市町村では「立川市」が、都内 23 区や埼玉県に通っている人では、それぞれの職場・通学先での利用がやや目立つ。

居住地区別では、いずれの地区も「町内」が最も多い。また、殿ヶ谷地区では「武蔵村山市」が、長岡地区では「羽村市」が目立つ。

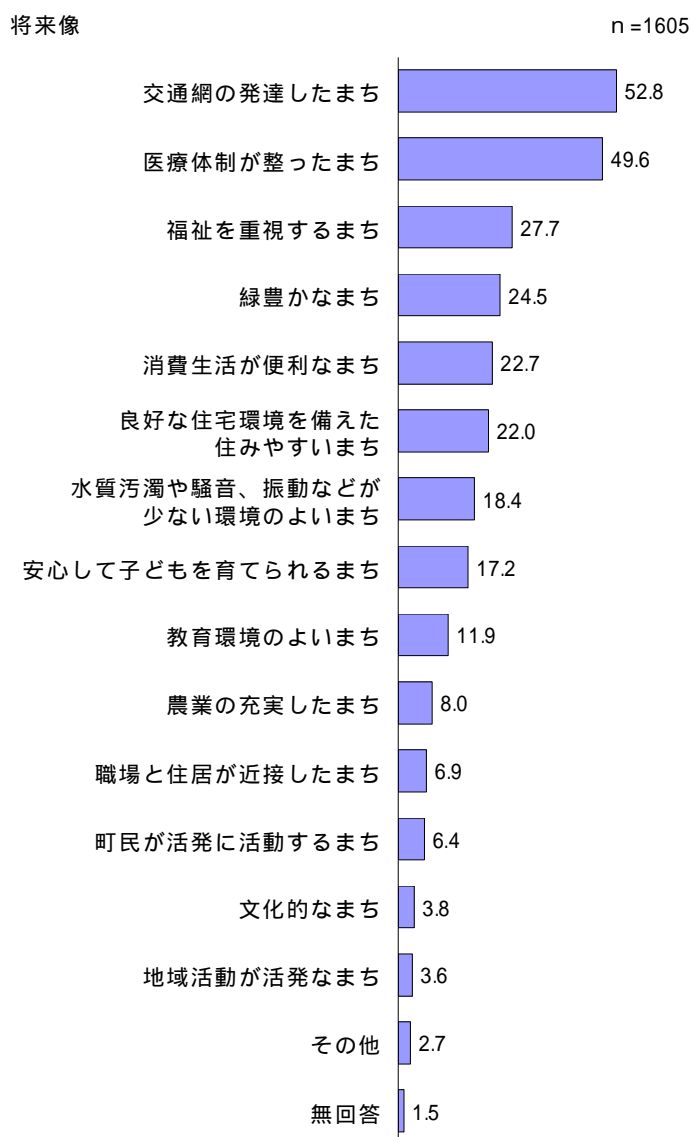
公園及び遊び場の利用

区分		回答者数	瑞穂町内	福生市	羽村市	武蔵村山市	昭島市	立川市	八王子市	青梅市	東京 23 区	埼玉県	その他	無回答
全体		1605	39.3	1.7	6.7	1.2	1.2	8.2	0.5	3.7	2.1	3.0	12.8	19.6
職場・通学先	自宅	186	43.5	0.5	5.9	0.5	1.1	4.3	1.1	4.3	1.1	1.6	11.8	24.2
	町内	240	41.7	1.3	6.3	0.8	0.8	5.0	0.4	5.8	3.3	3.3	14.2	17.1
	多摩地区市町村	403	36.0	2.7	8.9	0.7	1.7	13.2	0.5	4.2	1.0	4.0	17.1	9.9
	都内 23 区	79	39.2	6.3	3.8	0.0	1.3	10.1	0.0	1.3	13.9	0.0	13.9	10.1
	埼玉県	58	39.7	1.7	5.2	1.7	3.4	10.3	0.0	1.7	0.0	8.6	15.5	12.1
	通っていない(無職)	354	43.5	1.1	5.6	0.8	0.3	8.5	0.0	2.3	1.1	3.1	10.2	23.4
	その他	68	26.5	1.5	5.9	7.4	0.0	13.2	4.4	5.9	5.9	2.9	16.2	10.3
居住地区	殿ヶ谷地区	124	33.9	2.4	1.6	8.1	1.6	10.5	0.8	4.0	3.2	3.2	17.7	12.9
	石畑地区	186	40.9	0.0	4.3	2.7	1.1	10.8	0.0	3.2	1.6	2.7	12.9	19.9
	箱根ヶ崎地区	470	41.1	1.3	6.0	0.4	1.1	9.6	0.9	2.8	2.6	2.3	13.4	18.7
	長岡地区	227	42.7	1.3	13.2	0.0	0.4	4.4	0.4	5.3	1.8	1.3	9.7	19.4
	元狭山地区	314	38.2	1.3	2.2	0.6	1.0	8.0	0.0	4.5	1.9	6.7	14.0	21.7
	武蔵野地区	270	37.0	4.4	11.5	0.4	2.2	7.0	0.7	3.3	1.9	1.1	10.7	19.6

2 瑞穂町の将来像や現状の評価について

(1) 将来像

問4 あなたは瑞穂町がどのようなまちになってほしいと思いますか。次の中から適当と思われるものを3つ以内で選び、その番号を で囲んでください。



全体結果

「道路や鉄道などの交通網の発達したまち」が最も多く 52.8%、次いで「病院や診療所など医療体制が整ったまち」が 49.6%と続き、この2項目がともに 50%前後で特に多くあげられている。やや差が開いて、「高齢者や障がいのある人のための施設や生活環境の整った福祉を重視するまち」「公園や緑地、街路樹などが整備された緑豊かなまち」「商業や流通機能が整備され、消費生活が便利なまち」「良好な住宅環境を備えた住みやすいまち」が 20%台となっている。

属性別

性別には、女性で「病院や診療所など医療体制が整ったまち」が目立つ。年齢別には「道路や鉄道などの交通網の発達したまち」は80歳以上を除き、各年齢層で1～2位にランクされている。「病院や診療所など医療体制が整ったまち」は30歳代から70歳代前半及び80歳以上で概ね過半数に達する。また、「高齢者や障がいのある人のための施設や生活環境の整った福祉を重視するまち」は65歳以上で特に多い。若い世代での特徴としては、18～19歳で「公園や緑地、街路樹などが整備された緑豊かなまち」、30歳代は「遊び場や施設が整備され、安心して子どもを育てられるまち」、20歳代を除く40歳代以下で「学校施設や生涯学習施設などが整備された教育環境のよいまち」がそれぞれ、ほかに比べ目立つ。

区分		回答者数	交通網の発達したまち	医療体制が整ったまち	福祉を重視するまち	緑豊かなまち	消費生活が便利なまち	良好な住宅環境を備えた住みやすいまち	環境のよいまち	水質汚濁や騒音、振動などが少ないまち	安心して子どもを育てられるまち	教育環境のよいまち	農業の充実したまち	職場と住居が近接したまち	町民が活発に活動するまち
全体		1605	52.8	49.6	27.7	24.5	22.7	22.0	18.4	17.2	11.9	8.0	6.9	6.4	
性別	男	729	51.4	44.2	25.5	27.2	22.8	24.1	19.1	13.7	11.7	7.1	10.2	7.5	
	女	798	55.1	55.4	28.7	22.2	22.9	19.9	18.4	20.8	12.8	8.6	4.4	5.3	
年齢別	18～19歳	31	58.1	16.1	16.1	41.9	22.6	12.9	22.6	19.4	25.8	6.5	9.7	25.8	
	20～29歳	172	61.6	38.4	15.7	26.2	21.5	19.8	27.9	26.7	9.9	14.0	9.3	6.4	
	30～39歳	229	53.3	49.8	17.0	26.2	19.7	22.7	15.3	41.5	19.2	5.2	3.9	4.8	
	40～49歳	177	57.6	52.0	19.8	19.2	31.6	22.0	17.5	14.7	21.5	6.2	6.2	6.2	
	50～54歳	122	56.6	56.6	18.0	26.2	23.8	23.8	19.7	9.8	12.3	5.7	11.5	2.5	
	55～59歳	184	55.4	51.6	25.5	27.7	19.0	28.3	19.6	11.4	8.7	10.9	5.4	6.5	
	60～64歳	193	44.6	51.3	30.6	23.3	20.2	33.2	21.8	11.4	11.4	6.2	6.7	8.8	
	65～69歳	179	49.2	50.8	42.5	24.6	25.1	15.6	20.1	11.7	6.7	8.4	5.6	7.8	
	70～74歳	142	52.8	56.3	37.3	26.1	27.5	16.2	15.5	7.7	7.7	5.6	6.3	4.2	
	75～79歳	85	50.6	38.8	41.2	24.7	21.2	11.8	5.9	10.6	4.7	8.2	8.2	4.7	
80歳以上	73	35.6	56.2	58.9	12.3	19.2	19.2	9.6	8.2	5.5	11.0	8.2	2.7		

区分		回答者数	文化的なまち	地域活動が活発なまち	その他	無回答
全体		1605	3.8	3.6	2.7	1.5
性別	男	729	3.7	4.5	3.2	1.5
	女	798	4.0	2.4	2.0	0.6
年齢別	18～19歳	31	6.5	0.0	0.0	0.0
	20～29歳	172	3.5	1.7	2.9	0.0
	30～39歳	229	0.4	2.2	3.5	0.4
	40～49歳	177	4.0	4.0	3.4	0.0
	50～54歳	122	4.1	3.3	3.3	0.0
	55～59歳	184	6.0	2.2	3.3	0.0
	60～64歳	193	3.6	2.6	1.0	1.0
	65～69歳	179	4.5	4.5	1.7	2.8
	70～74歳	142	3.5	8.5	1.4	2.1
	75～79歳	85	8.2	5.9	4.7	5.9
80歳以上	73	0.0	2.7	0.0	9.6	

居住年数別では、年数にかかわらず交通や医療が上位にあげられるが、30年以上で「高齢者や障がいのある人のための施設や生活環境の整った福祉を重視するまち」が、9年以下で「遊び場や施設が整備され、安心して子どもを育てられるまち」、2～4年を除く19年以下で「学校施設や生涯学習施設などが整備された教育環境のよいまち」がそれぞれ多い。

区分	回答者数	交通網の発達したまち	医療体制が整ったまち	福祉を重視するまち	緑豊かなまち	消費生活が便利なまち	良好な住宅環境を備えた住みやすいまち	水質汚濁や騒音、振動などが少ない環境のよいまち	安心して子どもを育てられるまち	教育環境のよいまち	農業の充実したまち	職場と住居が近接したまち	町民が活発に活動するまち	
全体	1605	52.8	49.6	27.7	24.5	22.7	22.0	18.4	17.2	11.9	8.0	6.9	6.4	
居住年数	2年未満	55	49.1	50.9	18.2	23.6	18.2	30.9	20.0	34.5	18.2	3.6	7.3	5.5
	2～4年	68	54.4	44.1	13.2	30.9	22.1	19.1	26.5	42.6	10.3	5.9	4.4	8.8
	5～9年	123	53.7	53.7	26.0	13.8	17.9	22.8	17.1	25.2	17.9	10.6	10.6	0.8
	10～19年	265	58.1	44.9	24.2	24.5	21.5	20.4	17.4	18.5	18.1	9.1	8.3	7.5
	20～29年	422	53.3	49.8	26.3	29.4	25.1	24.4	22.5	14.2	9.5	7.8	5.7	6.2
	30年以上	664	50.6	51.4	32.7	22.9	23.0	20.6	15.8	13.1	9.5	7.8	6.8	6.9

区分	回答者数	文化的なまち	地域活動が活発なまち	その他	無回答	
全体	1605	3.8	3.6	2.7	1.5	
居住年数	2年未満	55	0.0	1.8	1.8	3.6
	2～4年	68	1.5	0.0	0.0	1.5
	5～9年	123	4.1	2.4	0.8	1.6
	10～19年	265	1.5	4.5	0.4	3.4
	20～29年	422	3.6	2.4	0.7	4.0
	30年以上	664	4.7	2.6	2.4	4.5

居住地区別では、いずれの地区も交通や医療が上位にあげられるが、殿ヶ谷地区と元狭山地区で「道路や鉄道などの交通網の発達したまち」が、元狭山地区は加えて「病院や診療所など医療体制が整ったまち」が目立つ。また、武蔵野地区で「高齢者や障がいのある人のための施設や生活環境の整った福祉を重視するまち」が、殿ヶ谷地区で「遊び場や施設が整備され、安心して子どもを育てられるまち」がそれぞれ目立つ。

区分	回答者数	まち交通網の発達したまち	まち医療体制が整ったまち	まち福祉を重視するまち	緑豊かなまち	消費生活が便利なまち	良い住宅環境を備えたまち	水質汚濁や騒音、振動などが少ないまち	安心して子どもを育てられるまち	教育環境のよいまち	農業の充実したまち	職場と住居が近接したまち	町民が活発に活動するまち	
全体	1605	52.8	49.6	27.7	24.5	22.7	22.0	18.4	17.2	11.9	8.0	6.9	6.4	
居住地区	殿ヶ谷地区	124	63.7	50.0	29.0	21.0	15.3	19.4	19.4	29.0	15.3	8.9	5.6	5.6
	石畑地区	186	53.2	46.2	29.6	25.3	20.4	23.7	14.5	16.7	10.8	9.7	5.9	8.6
	箱根ヶ崎地区	470	52.8	50.4	25.5	27.7	27.4	21.3	20.0	15.7	10.0	6.0	6.4	6.6
	長岡地区	227	45.4	42.7	26.0	24.2	24.2	21.1	20.7	18.5	15.0	12.8	7.5	8.8
	元狭山地区	314	62.4	54.8	25.2	21.3	18.8	23.6	16.2	15.3	12.4	8.3	8.3	3.5
	武蔵野地区	270	43.0	50.0	34.4	24.4	23.3	22.2	18.5	16.3	11.5	5.9	7.0	5.6

区分	回答者数	文化的なまち	地域活動が活発なまち	その他	無回答	
全体	1605	3.8	3.6	2.7	1.5	
居住地区	殿ヶ谷地区	2.4	5.6	2.4	0.0	2.4
	石畑地区	5.4	3.2	5.9	1.1	5.4
	箱根ヶ崎地区	3.0	2.1	2.6	0.9	3.0
	長岡地区	2.2	4.8	2.2	2.2	2.2
	元狭山地区	3.8	4.1	0.6	1.6	3.8
	武蔵野地区	5.9	3.7	3.3	2.2	5.9

問1の住みよさとの関連を見ると、まちが住みにくいと感じている人では「道路や鉄道などの交通網の発達したまち」が目立ち、先の引っ越したい理由として交通の不便さが特に多かったことと符合している。「病院や診療所など医療体制が整ったまち」については、普通以下はいずれも50%台とやや多くなっている。

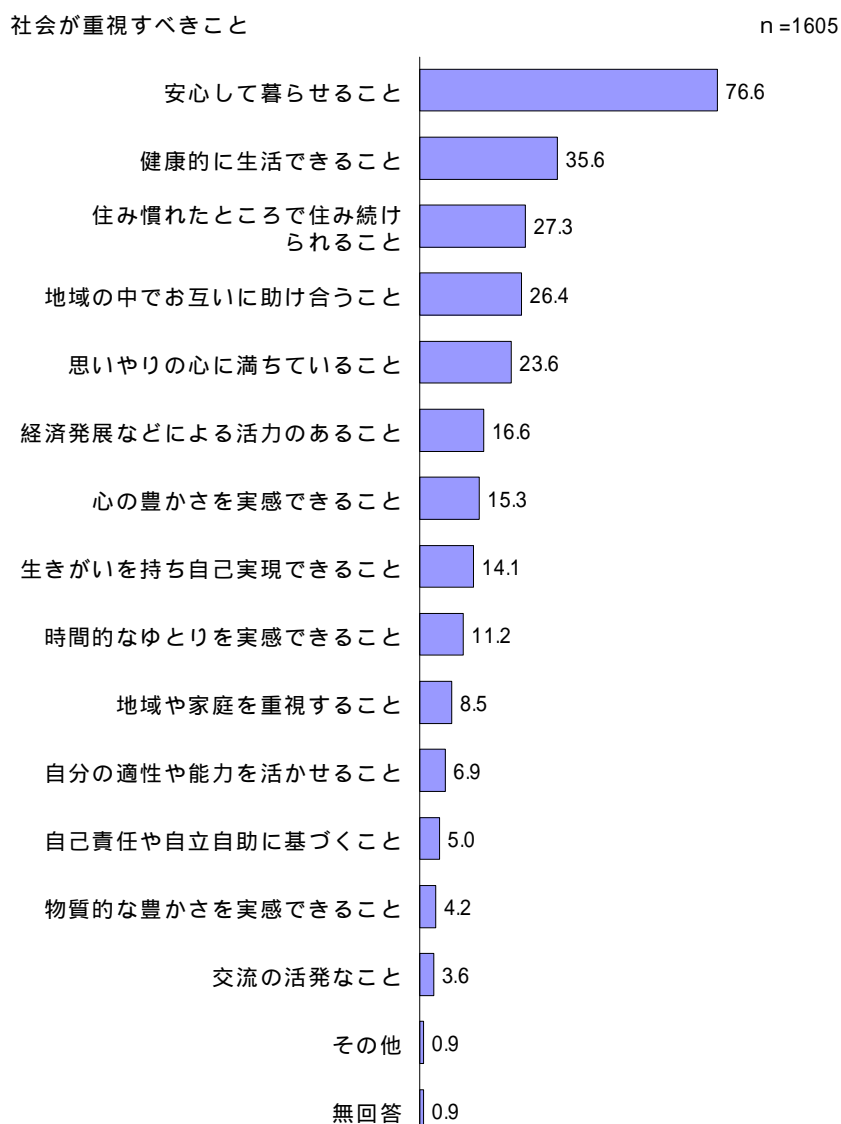
一方、非常に住みよいと感じている人は「高齢者や障がいのある人のための施設や生活環境の整った福祉を重視するまち」や「公園や緑地、街路樹などが整備された緑豊かなまち」が目立つ。なお、「商業や流通機能が整備され、消費生活が便利なまち」は住みにくさが強くなるほど高くなる傾向にある。

区分	回答者数	交通網の発達したまち	医療体制が整ったまち	福祉を重視するまち	緑豊かなまち	消費生活が便利なまち	良好な住宅環境を備えた住みやすいまち	振動などが少ない環境のよいまち	水質汚濁や騒音、育てられるまち	安心して子どもを育てられるまち	教育環境のよいまち	農業の充実したまち	職場と住居が近接したまち	町民が活発に活動するまち
全体	1605	52.8	49.6	27.7	24.5	22.7	22.0	18.4	17.2	11.9	8.0	6.9	6.4	
住み良さ別	非常に住みよい	83	43.4	45.8	33.7	36.1	19.3	16.9	21.7	18.1	10.8	8.4	6.0	6.0
	まあ住みよい	508	47.6	44.5	28.0	31.3	18.7	25.6	17.9	19.1	14.6	10.6	6.9	8.5
	普通	615	51.7	50.7	28.8	22.1	24.4	22.0	18.5	16.1	10.4	7.6	6.2	5.2
	やや住みにくい	317	63.1	56.8	25.6	18.6	23.7	19.9	18.0	16.1	10.7	6.0	6.9	6.0
	非常に住みにくい	70	70.0	50.0	17.1	12.9	35.7	15.7	20.0	15.7	12.9	2.9	15.7	4.3

区分	回答者数	文化的なまち	地域活動が活発なまち	その他	無回答	
全体	1605	3.8	3.6	2.7	1.5	
住み良さ別	非常に住みよい	83	0.0	4.8	3.6	0.0
	まあ住みよい	508	4.5	4.1	1.8	1.0
	普通	615	3.4	4.6	1.8	2.1
	やや住みにくい	317	4.7	0.9	5.0	0.9
	非常に住みにくい	70	2.9	1.4	5.7	0.0

(2) 社会が重視すべきこと

問5 これからの社会は何を重視するべきと考えますか。次の中から適当と思われるものを3つ以内で選び、その番号を で囲んでください。



全体結果

これからの社会は何を重視するべきと考えるかをたずねた。「安心して暮らせること」が76.6%と、4人に3人があげており際立って多い。次いで「健康的に生活できること」が35.6%が続く。また、「住み慣れたところで住み続けられること」「地域の中でお互いに助け合うこと」「思いやりの心に満ちていること」が20%台であり、地域の中での人同士のつながりも重視されている。

属性別

「安心して暮らせること」は、性別、年齢にかかわらず、概ね 60～80% 台の回答割合となっており、共通の認識となっている。「健康的に生活できること」は、65 歳～74 歳で 40% 台とやや多い。65 歳以上、特に 70 歳以上になると、「住み慣れたところで住み続けられること」が重視され、また 65～74 歳で「地域の中でお互いに助け合うこと」が目立つ。

18～19 歳は、「思いやりの心に満ちていること」「生きがいを持ち自己実現できること」が目立ち、特に「交流の活発なこと」が他に比べ多い。また、20 歳代及び 40 歳代では「心の豊かさを実感できること」がやや多くなる。

区分		回答者数	安心して暮らせること	健康的に生活できること	住み慣れたところで住み続けられること	互いに助け合うこと	地域の中でお互いに助け合うこと	思いやりの心に満ちていること	あるよる活力など	経済発展など	と実感できること	心の豊かさ	生きがいを持ち自己実現できること	生きがいを持つこと	時間を有効に活用できること	地域や家庭を重視すること	能力を活かせること	自分の適性や個性を活かせること	自己責任や自立に基づくこと
全体		1605	76.6	35.6	27.3	26.4	23.6	23.6	16.6	15.3	14.1	11.2	8.5	6.9	5.0				
性別	男	729	74.6	35.0	27.7	23.6	22.8	15.9	16.6	14.4	11.9	8.4	8.0	5.2					
	女	798	78.8	36.6	25.3	28.1	24.7	17.9	14.3	14.3	10.4	8.6	6.0	4.8					
年齢別	18～19 歳	31	61.3	35.5	6.5	12.9	35.5	9.7	9.7	32.3	9.7	6.5	12.9	9.7					
	20～29 歳	172	75.6	32.0	9.9	17.4	27.3	15.7	21.5	14.0	15.7	11.0	15.1	5.2					
	30～39 歳	229	76.4	33.6	18.3	19.7	29.7	18.8	13.5	12.2	17.0	10.5	7.4	4.4					
	40～49 歳	177	75.1	32.8	24.3	18.1	24.3	15.8	21.5	12.4	15.3	6.2	9.0	5.6					
	50～54 歳	122	79.5	32.8	11.5	26.2	26.2	16.4	17.2	28.7	9.0	8.2	8.2	4.9					
	55～59 歳	184	80.4	34.8	26.6	28.8	22.8	17.9	16.3	17.4	13.0	7.6	3.8	2.7					
	60～64 歳	193	77.2	33.2	27.5	25.9	22.3	21.8	17.1	13.5	12.4	7.3	5.7	7.8					
	65～69 歳	179	75.4	42.5	38.5	34.1	14.0	19.0	10.1	15.1	8.4	10.6	5.0	5.0					
	70～74 歳	142	73.2	40.8	45.8	45.1	20.4	14.8	8.5	8.5	2.1	7.0	4.2	4.2					
	75～79 歳	85	78.8	36.5	50.6	25.9	15.3	7.1	15.3	2.4	3.5	9.4	1.2	5.9					
80 歳以上	73	79.5	38.4	50.7	34.2	24.7	11.0	5.5	6.8	2.7	4.1	2.7	2.7						

区分		回答者数	できること	物質的な豊かさを実感できること	交流の活発なこと	その他	無回答
全体		1605	4.2	3.6	0.9	0.9	
性別	男	729	5.2	4.5	1.2	0.5	
	女	798	3.8	2.9	0.6	1.0	
年齢別	18～19 歳	31	6.5	25.8	0.0	3.2	
	20～29 歳	172	4.7	8.1	1.2	0.0	
	30～39 歳	229	7.0	3.5	1.3	0.0	
	40～49 歳	177	8.5	2.8	0.6	0.6	
	50～54 歳	122	4.1	1.6	0.8	0.8	
	55～59 歳	184	1.6	2.2	3.3	0.0	
	60～64 歳	193	4.1	3.1	0.5	0.5	
	65～69 歳	179	2.8	0.6	0.0	1.7	
	70～74 歳	142	2.8	4.2	0.7	1.4	
	75～79 歳	85	1.2	2.4	0.0	1.2	
80 歳以上	73	0.0	0.0	0.0	5.5		

「安心して暮らせること」は、居住年数にかかわらず、概ね70～80%台の人があげており、共通の認識となっている。「住み慣れたところで住み続けられること」は概ね居住年数が長くなるにつれ多くなる。

区分	回答者数	安心して暮らせること	健康的に生活できること	住み慣れたところに住み続けられること	住み慣れたところに住み続けられること	互いに助け合えること	地域のなかで助け合えること	思いやりを感じることに満ちていること	経済発展などによる活力があること	実感できること	心の豊かさをきくこと	生きがいを持てること	時間的なゆとりを実感できること	地域や家庭を重視すること	能力を活かせること	自分の適性や個性を活かせること	自立責任や自己責任に基づくこと
全体	1605	76.6	35.6	27.3	26.4	23.6	16.6	15.3	14.1	11.2	8.5	6.9	5.0				
居住年数別	2年未満	55	69.1	36.4	14.5	12.7	25.5	14.5	18.2	18.2	25.5	7.3	12.7	5.5			
	2～4年	68	79.4	33.8	17.6	25.0	25.0	13.2	14.7	5.9	11.8	4.4	11.8	8.8			
	5～9年	123	80.5	39.0	14.6	23.6	25.2	22.0	12.2	10.6	13.0	13.0	8.1	2.4			
	10～19年	265	75.8	36.2	18.5	19.6	27.2	16.6	17.4	16.6	10.9	7.9	9.8	6.0			
	20～29年	422	78.0	36.7	22.0	27.0	25.1	17.3	18.2	13.7	11.4	8.5	6.2	3.1			
	30年以上	664	75.8	34.2	38.6	30.4	20.5	16.0	13.0	14.5	9.8	8.4	5.0	6.0			

区分	回答者数	できること	物質的な豊かさを実感できること	交流の活発なこと	その他	無回答
全体	1605	4.2	3.6	0.9	0.9	
年齢別	2年未満	55	10.9	3.6	1.8	1.8
	2～4年	68	5.9	7.4	1.5	1.5
	5～9年	123	4.1	4.1	0.0	1.6
	10～19年	265	6.4	6.0	1.5	0.4
	20～29年	422	3.3	3.6	1.2	0.0
	30年以上	664	3.3	2.0	0.6	1.2

問1のまちの住みよさとの関連を見ると、住みよさにかかわらず70%以上が「安心して暮らせること」をあげている。なお、住みよさが高まるほど「住み慣れたところで住み続けられること」「地域の中でお互いに助け合うこと」が重視される傾向がある。

区分	回答者数	せ安心 こして 暮ら	で健康 的に生 活	けこ住 らるみ れで慣 れる住 れこと みたと	う互地 こい域 との助 中けで 合お	こに思 と満い ちやて りいの 心	あに経 済こ発 展力な ど	と実 感の豊 かさ を	きち生 る自 己が 実 現を で持	るり時 こを間 と実 感な でゆ と	重地 視域 する 家庭 を	る能自 こと をの 活適 か性 せや	く立自 こ自 助責 に任 基や づ自	
全体	1605	76.6	35.6	27.3	26.4	23.6	16.6	15.3	14.1	11.2	8.5	6.9	5.0	
住み良 さ別	非常に住みよい	83	71.1	37.3	39.8	37.3	24.1	21.7	13.3	18.1	7.2	6.0	4.8	3.6
	まあ住みよい	508	77.0	35.0	30.7	30.9	25.6	16.1	15.2	15.2	9.4	8.7	6.3	4.3
	普通	615	78.2	35.3	29.3	24.4	21.3	15.6	14.3	11.9	12.4	8.9	6.3	4.6
	やや住みにくい	317	76.0	38.2	17.7	22.7	22.7	17.0	17.7	15.8	12.6	9.1	7.9	6.6
	非常に住みにくい	70	71.4	34.3	14.3	14.3	31.4	20.0	17.1	14.3	11.4	4.3	15.7	10.0

区分	回答者数	でか物 きさ質 るを的 こと実 な感豊	な交 流の 活発	そ 他	無 回 答	
全体	1605	4.2	3.6	0.9	0.9	
住み良 さ別	非常に住みよい	83	1.2	1.2	2.4	0.0
	まあ住みよい	508	2.2	3.9	0.2	1.0
	普通	615	4.6	3.1	1.1	0.5
	やや住みにくい	317	6.9	4.4	1.6	1.3
	非常に住みにくい	70	8.6	4.3	0.0	0.0

(3) 町政の各分野に対する評価

問6 あなたは現在、次に掲げる町政分野について、どの程度満足していますか。また、どの程度重視していますか。それぞれの項目ごとにあなたのお気持ちに最も近いものをそれぞれ1つずつ選びその番号を で囲んでください。(カッコ内は施策の例示)

町政の各分野について、満足度と重要度をたずねた。

満足度、重要度とも5段階の選択肢で質問しているが、全体の傾向をより鮮明にするため、それぞれ3段階に区分し直して分析する。3段階の区分は次のとおりである。

〈満足度〉

「満足している」 _____
「どちらかといえば満足している」 _____

→ 満足

「どちらともいえない」 _____ → 「どちらともいえない」

「どちらかといえば不満である」 _____
「不満である」 _____

→ 不満

〈重要度〉

「非常に重要である」 _____
「どちらかといえば重要である」 _____

→ 重要

「どちらともいえない」 _____ → 「どちらともいえない」

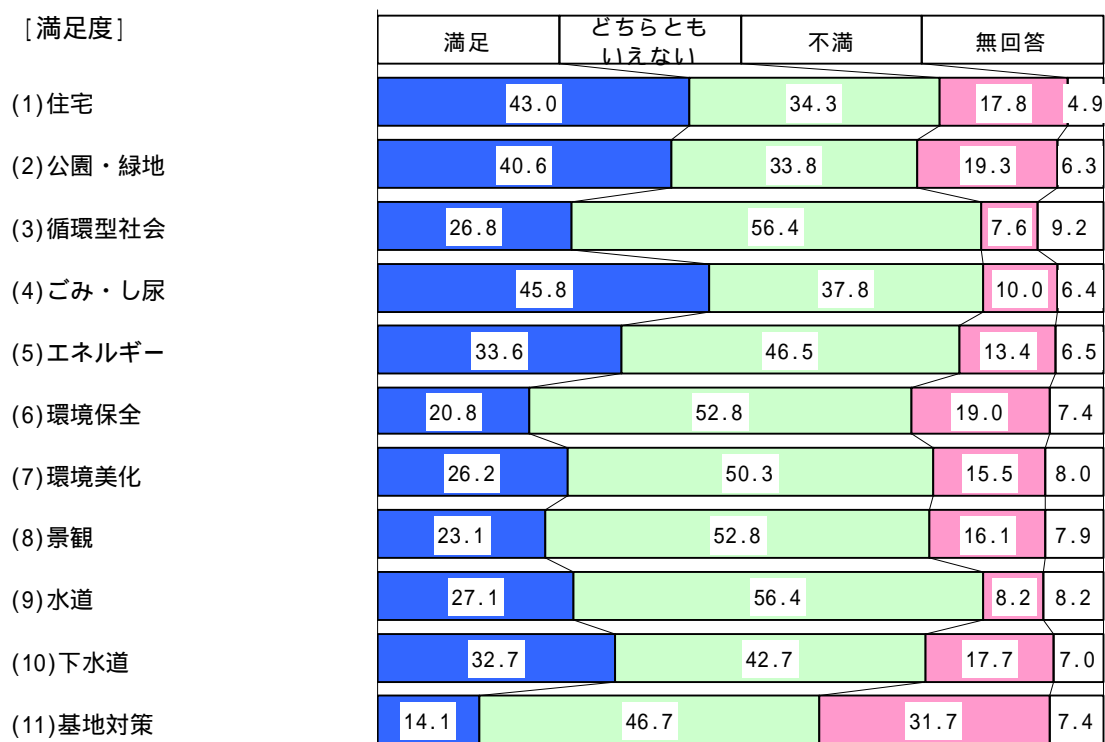
「どちらかといえば重要ではない」 _____
「重要ではない」 _____

→ 重要でない

分野ごとの満足度と重要度

[良好な居住空間づくり]

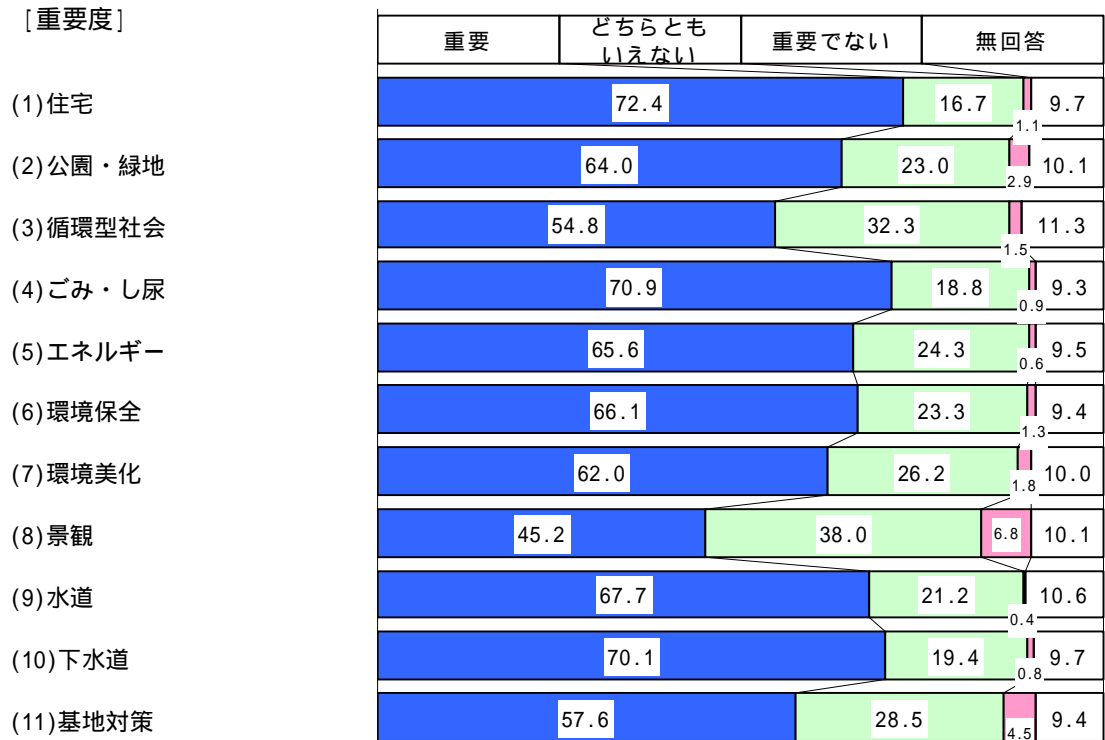
[満足度]



満足度の高い分野は、「ごみ・し尿」45.8%、「住宅」43.0%、「公園」40.6%などであり、逆に「基地対策」は「不満」が31.7%と高い。

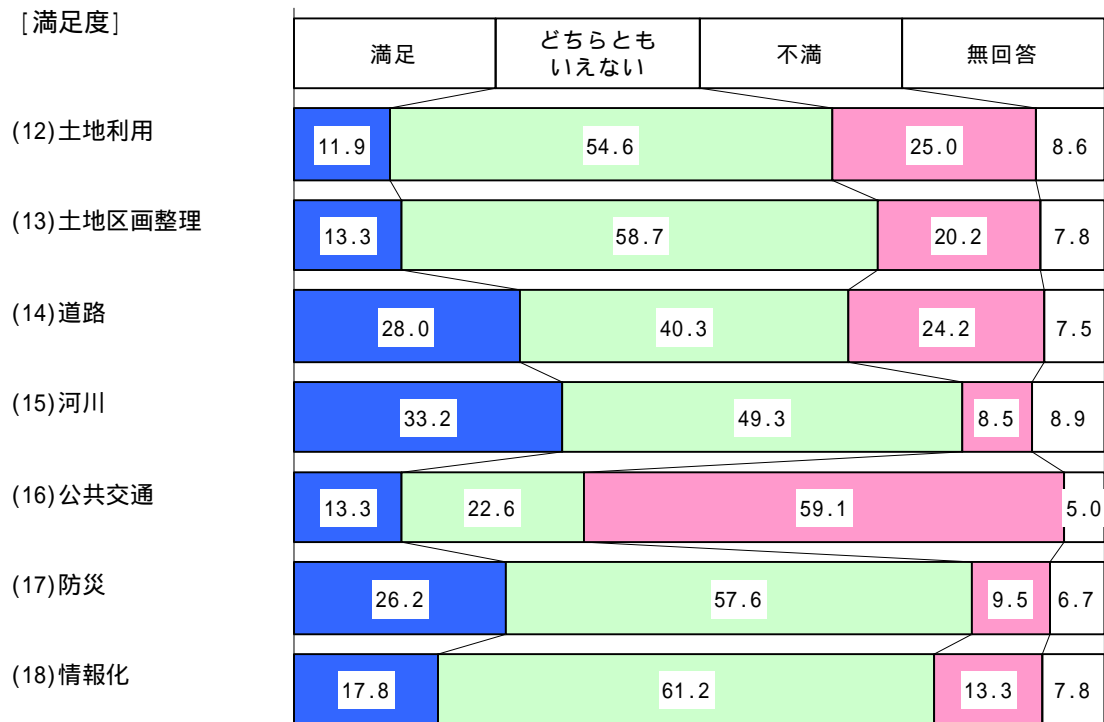
重要度は、概ね60～70%台と高いが、「景観」や「循環型社会」はやや低くなっている。

[重要度]



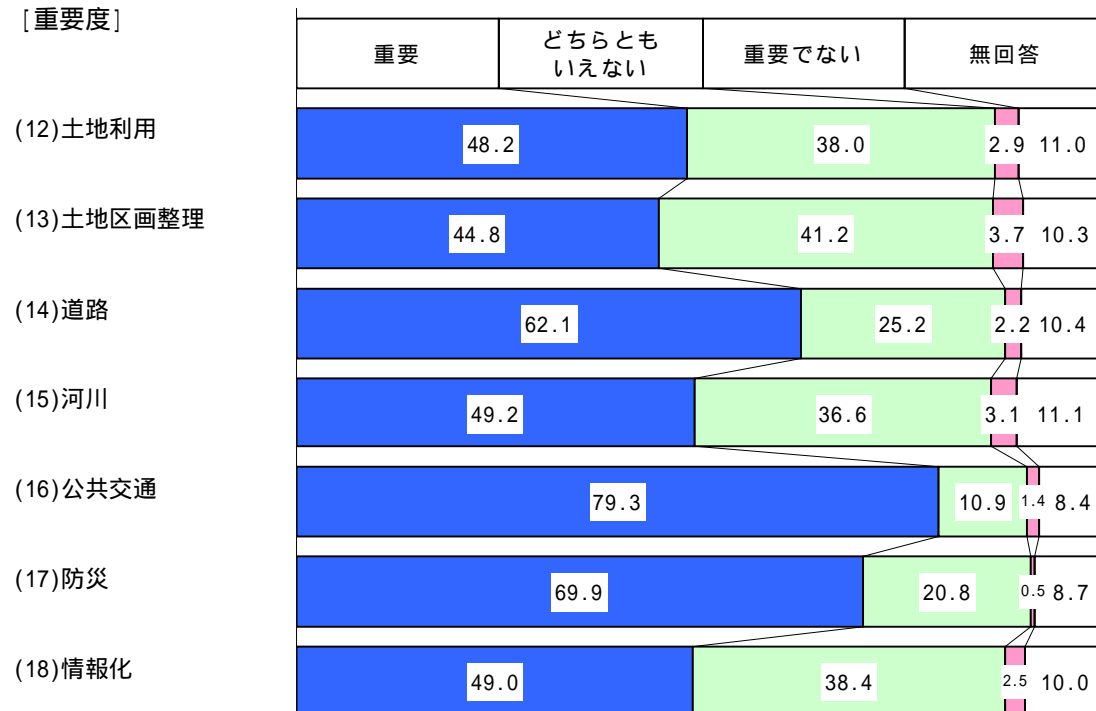
[快適で便利な都市基盤づくり]

[満足度]



多くの分野で「どちらともいえない」が 50%台を占めるものが多くなっているが、「公共交通」は「不満」が 59.1%に達し特に高く、先に見た引っ越したい理由等によらされているのと同様の結果である。

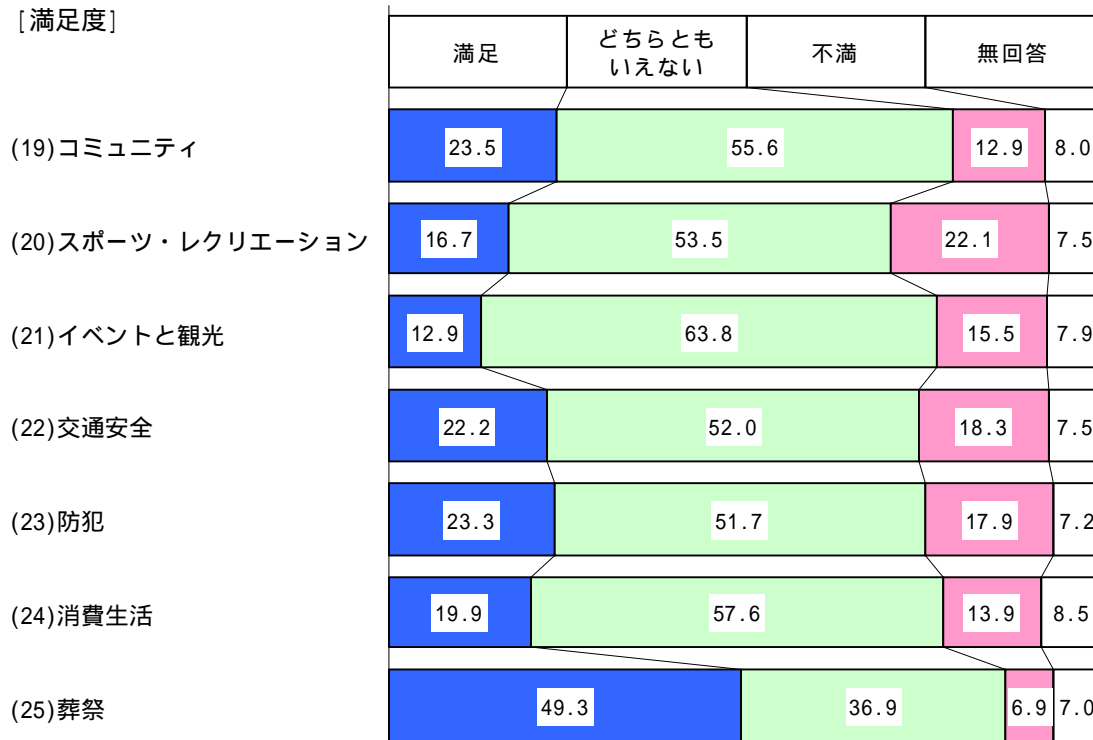
[重要度]



重要度は、「公共交通」で 79.3%、「防災」「道路」で 60%台と特に高い。その他は 50%弱となっている。

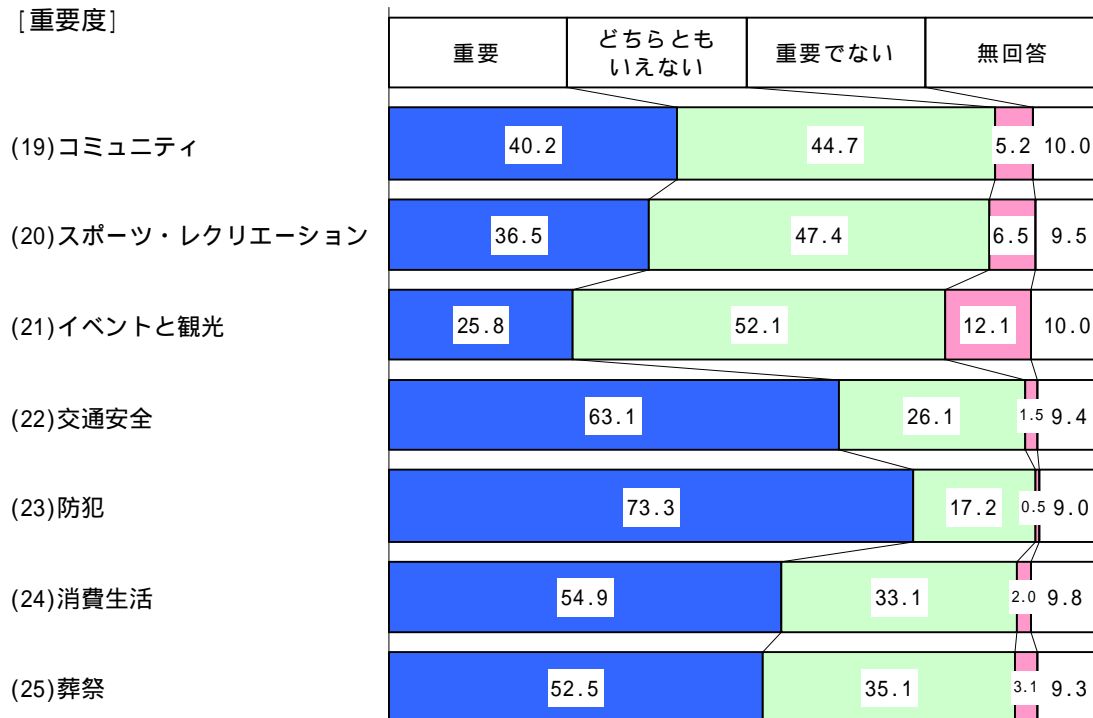
[安全でいきいきとした生活環境づくり]

[満足度]



満足度は「どちらともいえない」が、多くの分野で半数前後と高い中で、「葬祭」は半数の人が「満足」としている。

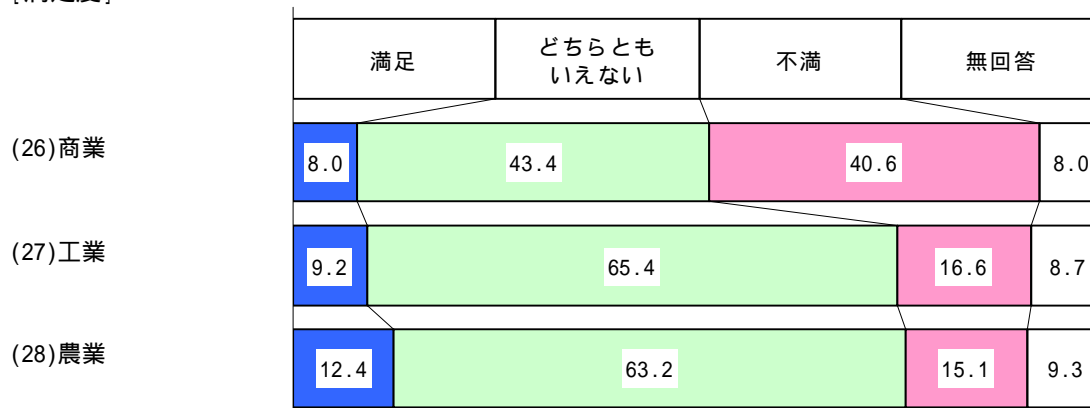
[重要度]



重要度については、「防犯」が73.3%と特に高い。次いで、「交通安全」が続き安全に係る分野が重視されている。一方、「イベントと観光」や「スポーツ・レクリエーション」は「どちらともいえない」が半数前後を占めている。

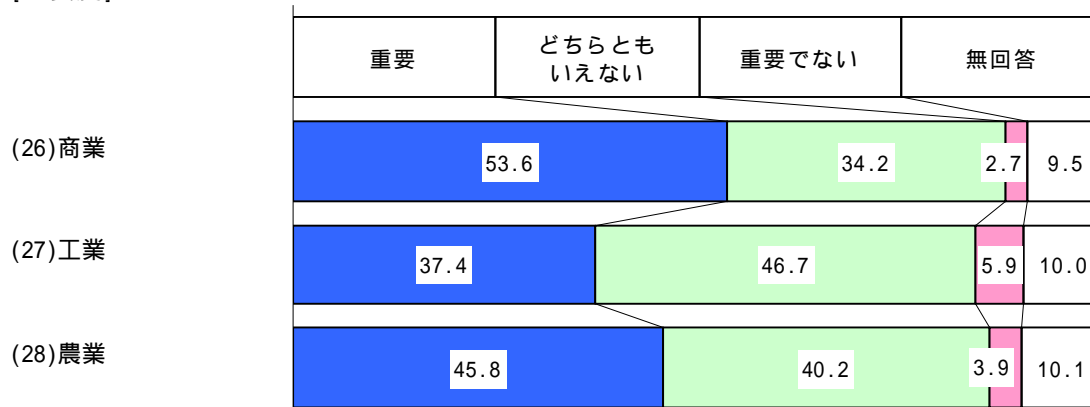
[特色のある産業づくり]

[満足度]



「工業」「農業」は、「どちらともいえない」がともに約 65% と多い。「商業」は、「どちらともいえない」と「不満」がともに 40% 台となっている。

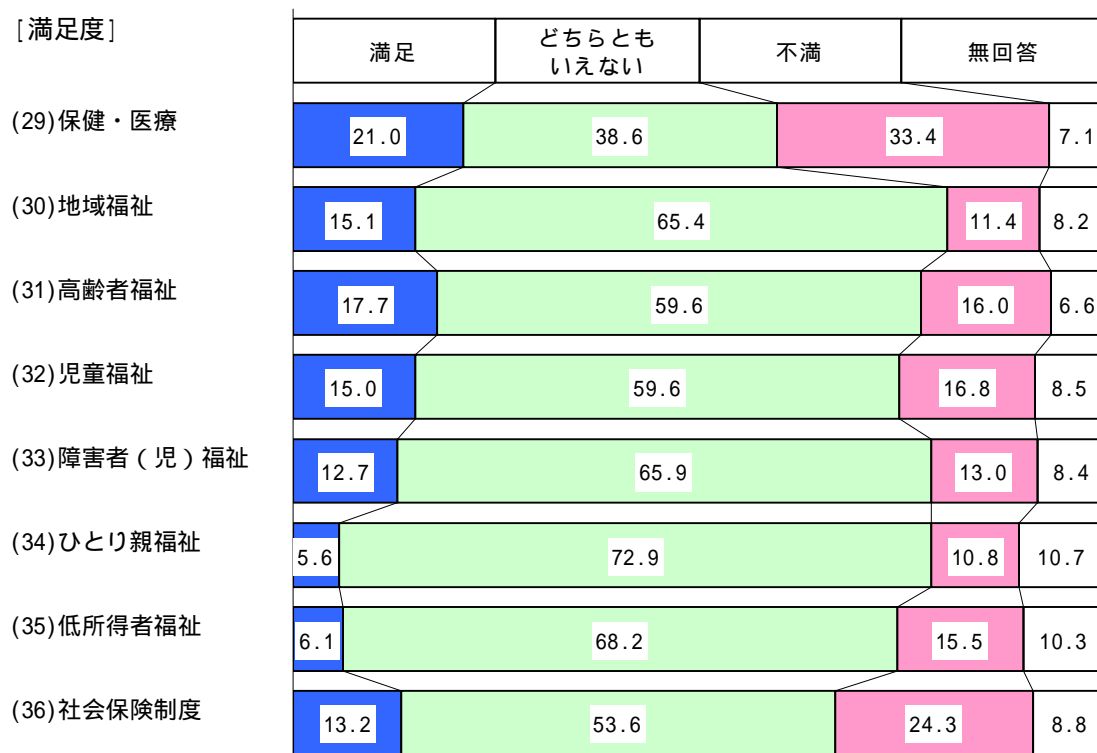
[重要度]



重要度は、「商業」で半数強と高い。「農業」も「どちらともいえない」に対し「重要」が上回っている。

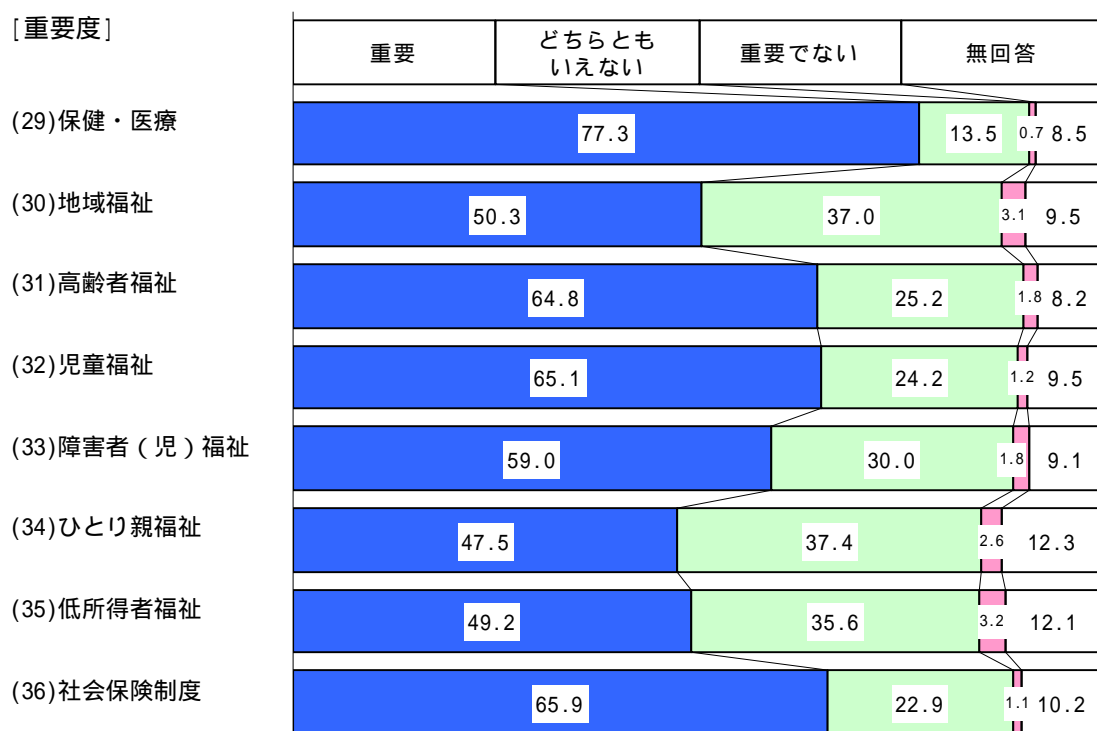
[安心感のある保健・医療・福祉づくり]

[満足度]



「どちらともいえない」が概ね50～70%台を占めている中で、「保健・医療」は「不満」が33.4%と高く、また、「社会保険制度」の「不満」も目立っている。

[重要度]



重要度は、「保健・医療」で77.3%と最も高く、次いで「社会保険制度」が65.9%、「高齢者福祉」が64.8%と高くなっている。なお、ほかのいずれの項目も「重要」「どちらともいえない」「重要でない」のうち「重要」の割合が最も高くなっている。

[個性とやさしさを育む教育・文化づくり]

[満足度]	満足	どちらとも いえない	不満	無回答
(37)学校教育	15.4	56.9	17.0	10.8
(38)生涯学習	9.9	66.7	12.9	10.5
(39)社会教育	12.8	63.2	13.7	10.3
(40)青少年健全育成	9.1	67.9	12.5	10.5
(41)国際化	9.4	70.7	8.5	11.4
(42)文化・芸術	11.3	67.2	11.4	10.2
(43)町民総参画社会	10.8	72.0	7.1	10.1

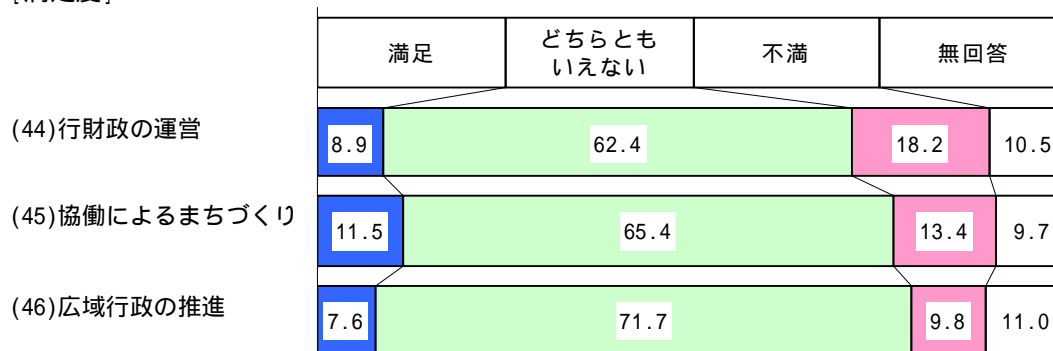
いずれも「どちらともいえない」が半数以上を占め多くなっている。また、「不満」と「満足」は同程度であるが、「学校教育」や「青少年健全育成」などは、わずかながら「不満」の方が多くなっている。

[重要度]	重要	どちらとも いえない	重要でない	無回答
(37)学校教育	60.0	26.7	1.1	12.1
(38)生涯学習	41.0	42.2	4.4	12.3
(39)社会教育	42.5	42.6	2.9	12.1
(40)青少年健全育成	45.5	40.0	2.2	12.2
(41)国際化	25.7	50.9	10.7	12.7
(42)文化・芸術	28.9	50.5	8.1	12.5
(43)町民総参画社会	30.1	52.6	5.3	12.0

重要度は、「学校教育」が60.0%と特に高く、「生涯学習」「社会教育」「青少年健全育成」も40%台と高い。

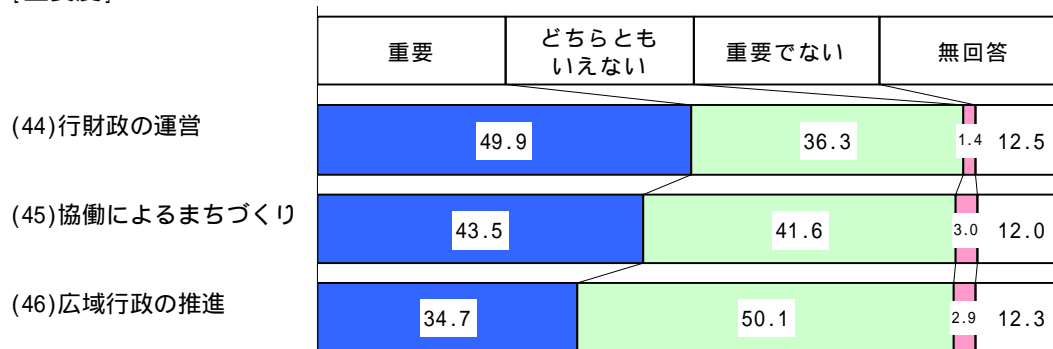
[計画の推進]

[満足度]



いずれも「どちらともいえない」が60%台から70%台を占めている中で、「行財政の運営」の「不満」が18.2%とやや多くなっている。

[重要度]



「行財政の運営」「協働によるまちづくり」は、「重要」が45%前後と多いが、「広域行政の推進」は「どちらともいえない」が50.1%と多くなっている。

満足度と重要度から見た施策の位置づけ

次に、各分野ごとの満足度と重要度を組み合わせ、施策の位置づけを分析する。分析にあたっては、満足度と重要度を「評価点」によって点数化して行う。評価点とは、各選択肢への回答者数を加味した加重平均値である。ここでは、各選択肢に次のように得点をつけ、それぞれの点数に回答者数を掛け合わせた総得点数を、無回答を除いた回答者数で除して算出している。したがって、評価点は - 2 点 ~ + 2 点の範囲となり、数値が大きいほど評価が高くなる。また、0 点が普通という評価となる。各選択肢の得点は次のように配点した。

* 満足度

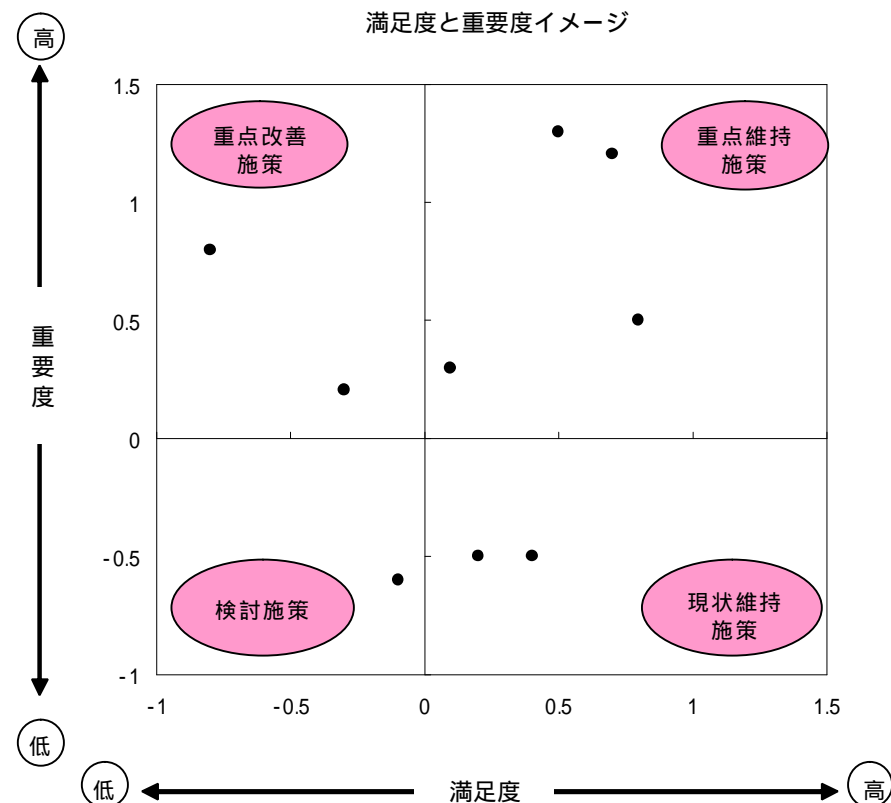
「満足している」	2 点
「どちらかといえば満足している」	1
「どちらともいえない」	0
「どちらかといえば不満である」	- 1
「不満である」	- 2

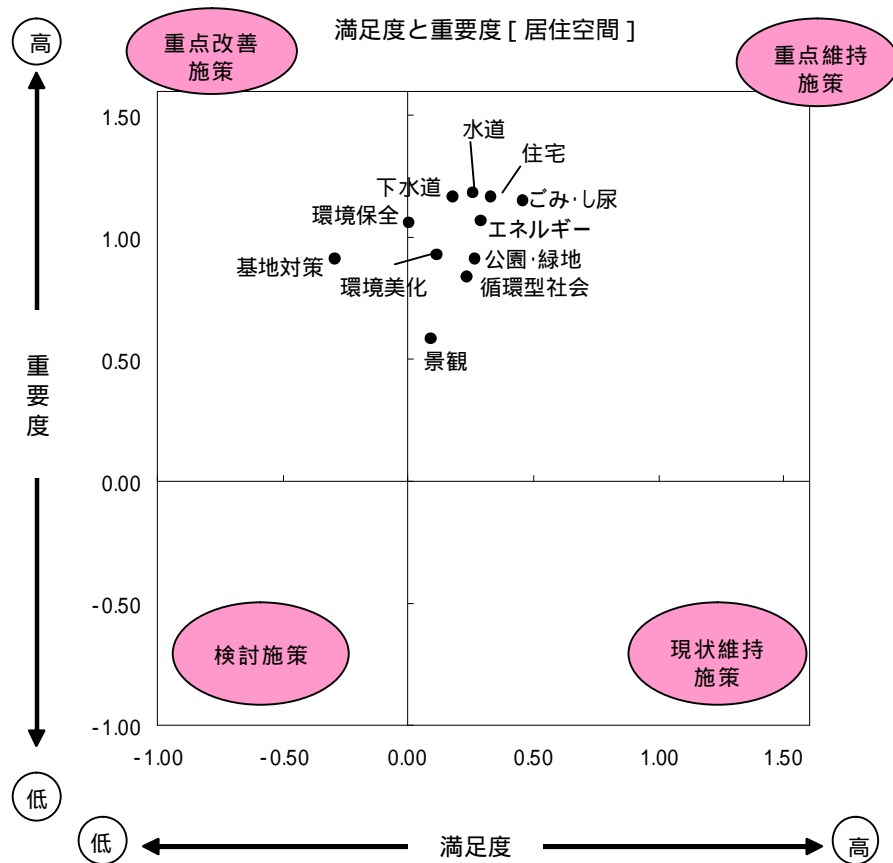
* 重要度

「非常に重要である」	2 点
「どちらかといえば重要である」	1
「どちらともいえない」	0
「どちらかといえば重要ではない」	- 1
「重要ではない」	- 2

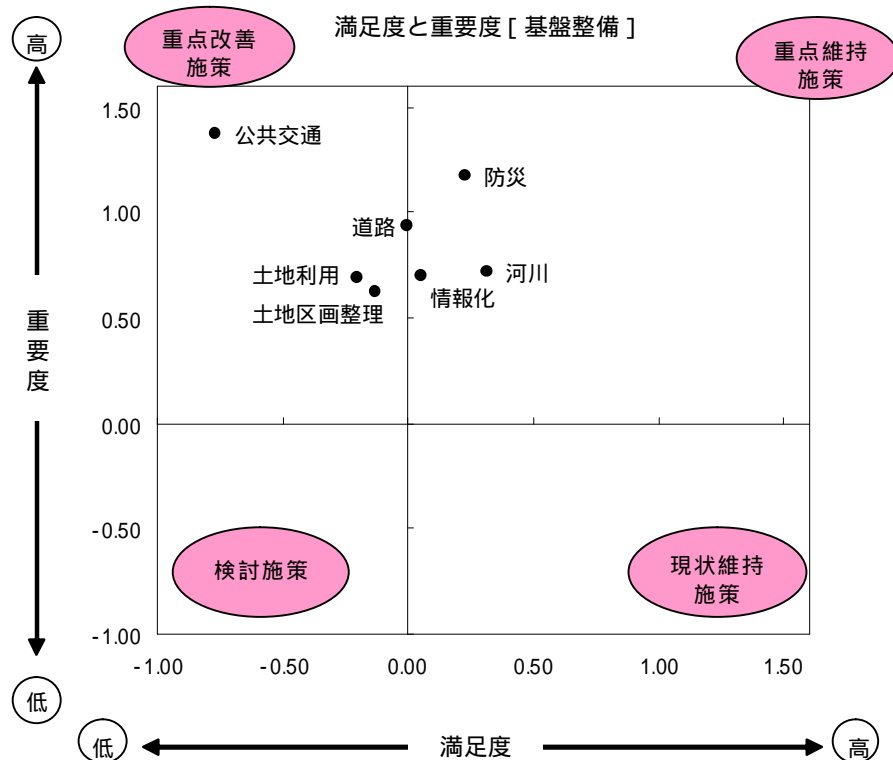
算出された評価点をもとに、各分野別施策を、満足度、重要度ともに ± 0 点を基準に、次の 4 つのタイプに分類する。

- ・ 重点維持施策...満足度も重要度も高く、今後も現状の高い水準を重点的に維持していくべきもの。
- ・ 現状維持施策...満足度は高いが重要度は低く、現状の満足度を維持していくべきもの。
- ・ 重点改善施策...重要度は高いが満足度が低く、今後、重点的に改善していくべきもの。
- ・ 検討施策...満足度も重要度も低く、今後、施策のありかたを検討していくべきもの。

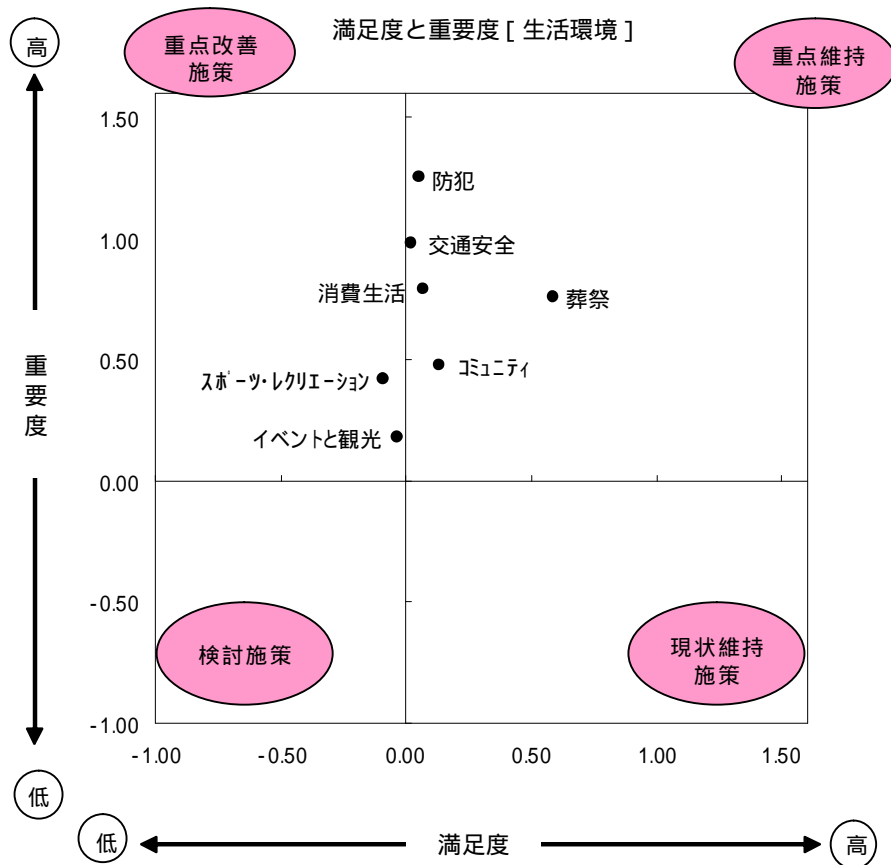




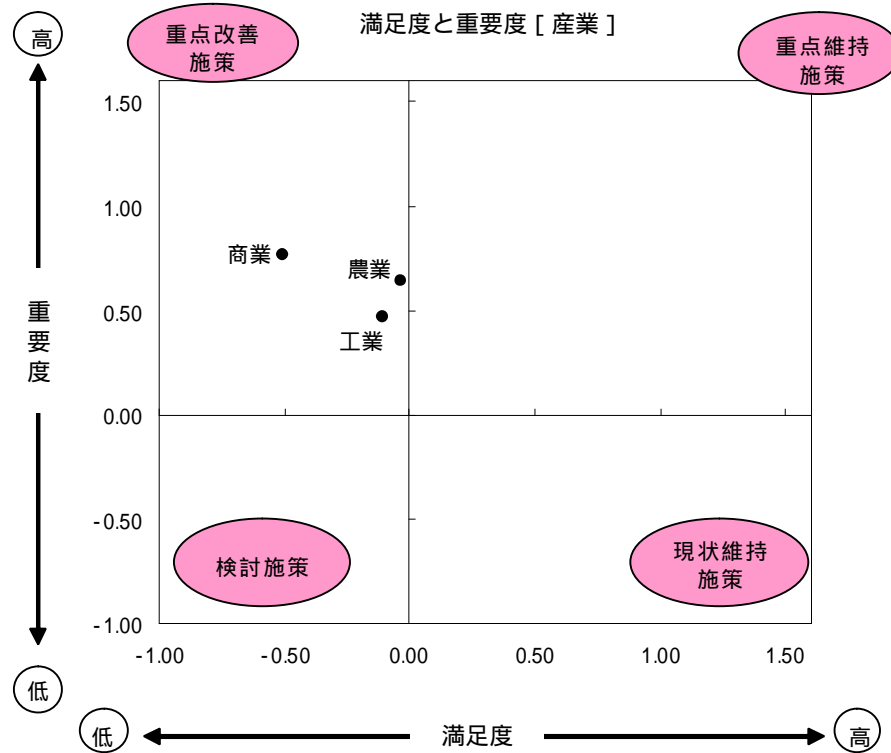
「ごみ・し尿」「住宅」は、満足度、重要度ともに高い。「環境保全」は、重要度は高いが、満足度はほぼ±0となっている。「基地対策」は、重点改善施策となっている。



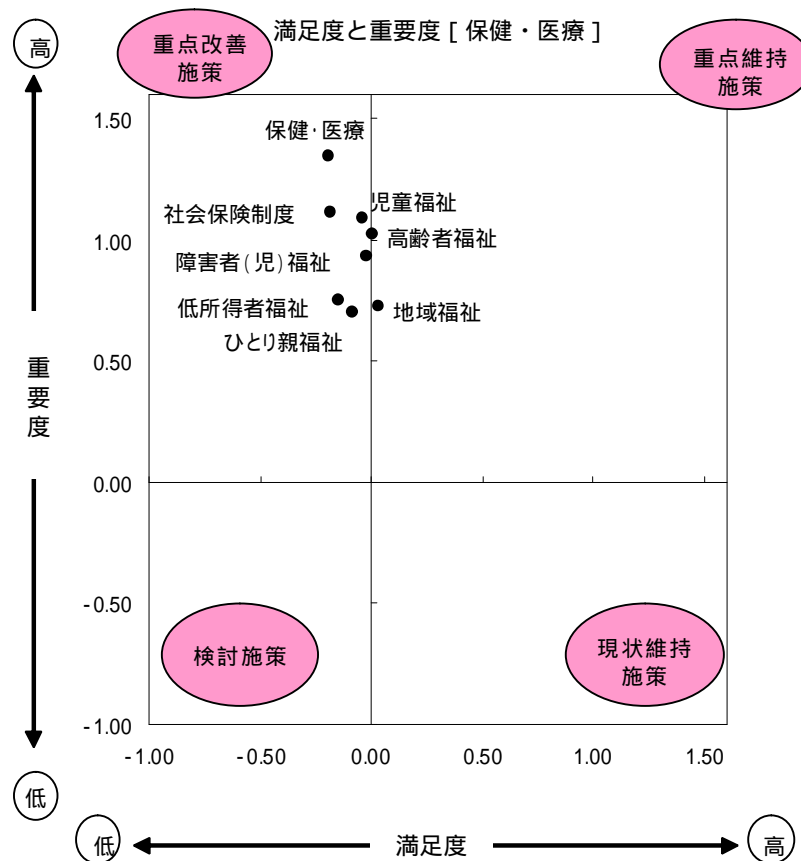
重点改善施策が多い中、「公共交通」で不満感が特に強くなっている。一方、「防災」や「河川」は比較的満足度が高い。



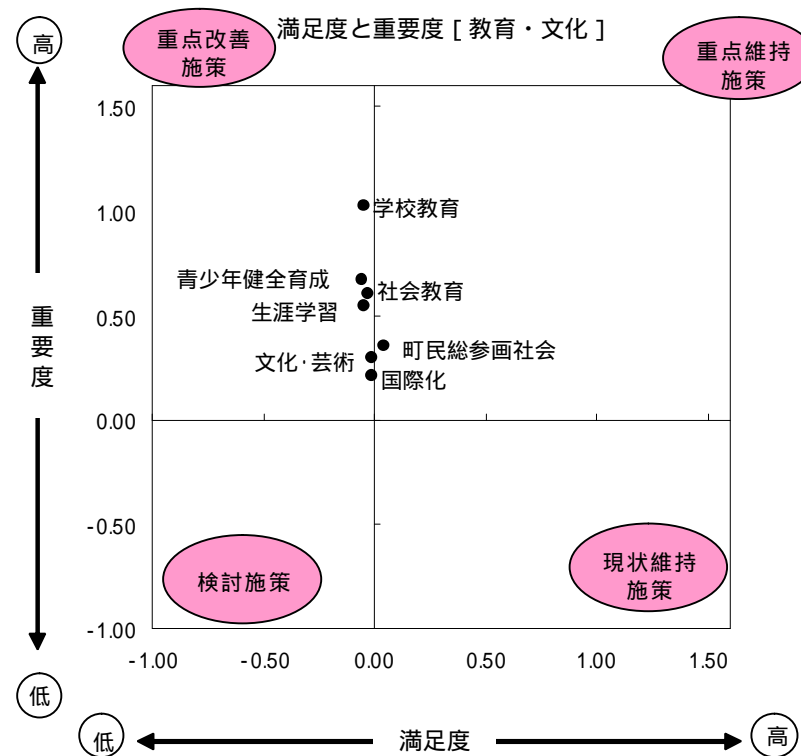
「葬祭」は満足度が高い。「防犯」「交通安全」「消費生活」は重要度が高いものの満足度はやや低くなっている。



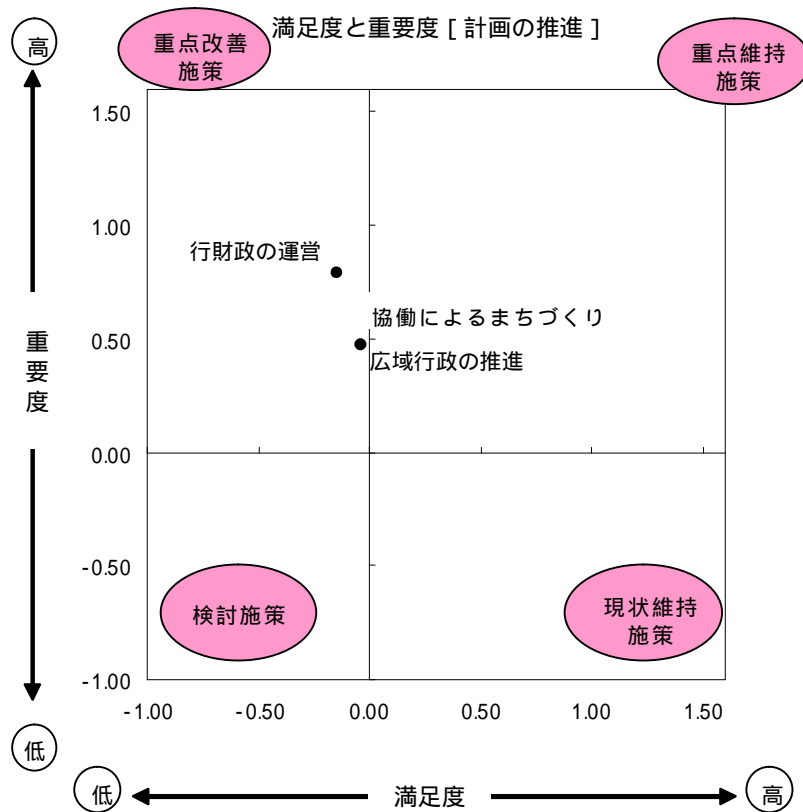
「商業」「工業」「農業」のいずれも重点改善施策に入っている。「商業」は重要度は高いが、満足度が低くなっている。



ほぼいずれも「重点改善施策」に位置づけられる。中でも「保健・医療」の重要度が高く、満足度がやや低くなっている。



満足度は±0近くの項目が多い。ほぼいずれも「重点改善施策」に位置づけられる。中でも「学校教育」の重要度が高くなっている。



満足度は±0近くの項目が多く、いずれも重要度が比較的高いが、「行財政の運営」はやや満足度が低くなっている。

年齢別に見る満足度

ここでは、年代により特に関心や満足感が異なると思われる、主に保健・福祉、教育関係の分野を中心に満足度を見てみる。

概ね70歳代、80歳以上で満足度は高く、18～19歳及び40歳代、50歳代前半で低い傾向となっている。また、「スポーツ・レクリエーション」「児童福祉」については30歳代で最も評価が低くなっている。

分野	全体	18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上
(18)情報化	0.05	-0.29	-0.10	0.05	-0.16	-0.08	0.07	0.14	0.11	0.17	0.52	0.36
(19)コミュニティ	0.13	0.03	-0.05	0.12	-0.02	0.03	0.06	0.17	0.17	0.41	0.69	0.33
(20)スポーツ・レクリエーション	-0.09	-0.29	-0.24	-0.20	-0.34	-0.25	-0.08	0.01	0.09	0.16	0.42	0.17
(21)イベントと観光	-0.04	-0.19	-0.07	-0.08	-0.13	-0.11	-0.10	0.00	0.06	0.04	0.30	0.12
(29)保健・医療	-0.19	-0.42	-0.32	-0.28	-0.53	-0.47	-0.29	-0.07	0.00	0.13	0.48	0.24
(30)地域福祉	0.04	-0.10	0.06	0.02	-0.12	-0.09	-0.07	0.08	0.12	0.07	0.45	0.33
(31)高齢者福祉	0.01	-0.10	0.09	-0.05	-0.11	-0.10	-0.07	0.03	-0.08	0.10	0.39	0.37
(32)児童福祉	-0.04	0.10	-0.01	-0.22	-0.16	-0.13	-0.05	0.02	0.04	0.17	0.18	0.18
(36)社会保険制度	-0.19	-0.10	-0.18	-0.24	-0.35	-0.43	-0.18	-0.16	-0.15	-0.06	0.31	-0.04
(37)学校教育	-0.05	-0.23	-0.12	-0.16	-0.24	-0.25	-0.03	0.04	0.08	0.20	0.37	0.18
(38)生涯学習	-0.05	-0.26	-0.13	-0.13	-0.14	-0.15	-0.01	0.04	0.02	0.08	0.23	0.14
(39)社会教育	-0.03	-0.06	-0.12	-0.09	-0.19	-0.18	0.04	0.02	0.00	0.19	0.35	0.24
(40)青少年健全育成	-0.05	-0.26	-0.11	-0.08	-0.17	-0.13	-0.06	-0.01	0.01	0.08	0.15	0.10
(41)国際化	-0.01	-0.16	-0.02	0.00	-0.02	-0.13	-0.03	0.05	0.05	0.01	0.06	0.12
(42)文化・芸術	-0.01	-0.16	-0.09	-0.01	-0.07	-0.19	0.02	0.03	0.07	0.14	0.09	0.12
(43)町民総参画社会	0.04	-0.03	0.06	0.09	-0.06	-0.11	0.00	0.10	0.10	0.07	0.31	0.10

網がけは評価点の最も低い年齢、二重枠は評価点の最も高い年齢。

居住地区別に見る満足度

ここでは、地区により状況が異なると思われる環境、基盤整備関係の分野を中心に満足度を見てみる。

全般に石畑地区で評価の高い分野が多く、元狭山、長岡地区で評価の低い分野が多い傾向が見られる。

「住宅」「公園・緑地」「ごみ・し尿」「水道」「河川」「防災」は、いずれの地区でもプラス評価となっている。一方、「基地対策」「土地利用」「土地区画整理」「公共交通」は、いずれの地区でもマイナス評価となっている。

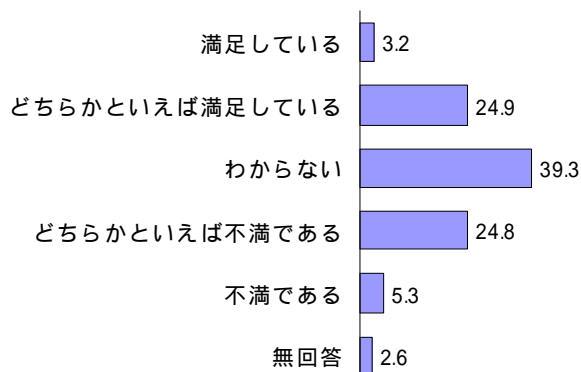
分野	全体	殿ヶ谷	石畑	箱根ヶ崎	長岡	元狭山	武蔵野
(1)住宅	0.33	0.49	0.48	0.30	0.40	0.18	0.39
(2)公園・緑地	0.27	0.17	0.18	0.34	0.26	0.22	0.32
(4)ごみ・し尿	0.46	0.48	0.58	0.53	0.33	0.34	0.52
(6)環境保全	0.01	0.17	0.18	0.03	-0.08	-0.15	0.03
(7)環境美化	0.12	0.16	0.26	0.14	0.08	-0.03	0.17
(8)景観	0.09	0.21	0.22	0.07	-0.01	0.09	0.08
(9)水道	0.26	0.27	0.34	0.26	0.20	0.24	0.32
(10)下水道	0.18	0.15	0.39	0.23	0.09	-0.04	0.32
(11)基地対策	-0.29	-0.29	-0.11	-0.41	-0.24	-0.25	-0.32
(12)土地利用	-0.20	-0.21	-0.15	-0.18	-0.19	-0.31	-0.12
(13)土地区画整理	-0.13	-0.18	-0.11	-0.14	-0.09	-0.20	-0.04
(14)道路	-0.01	0.00	0.01	0.03	0.04	-0.18	0.08
(15)河川	0.32	0.41	0.46	0.34	0.25	0.25	0.28
(16)公共交通	-0.77	-0.89	-0.60	-0.83	-0.63	-1.13	-0.42
(17)防災	0.22	0.39	0.29	0.23	0.18	0.18	0.18

網かけは評価点の最も低い地区、二重枠は評価点の最も高い地区。

(4) 町政全体の満足感

問7 あなたは現在、町政にどの程度満足していますか。あなたのお気持ちに最も近いものを1つ選び、その番号を で囲んでください。

町政全体の満足感 n=1605



全体結果

町政全体の満足感については、「わからない」39.3%、「どちらかといえば満足している」24.9%、「どちらかといえば不満である」24.8%に回答が分散している。「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせたものを“満足”、「どちらかといえば不満である」と「不満である」を合わせたものを“不満”とすると、“不満”30.1%が“満足”28.1%をわずかに上回っている。

属性別

「満足」「わからない」「不満」の3段階で属性別に見てみる。

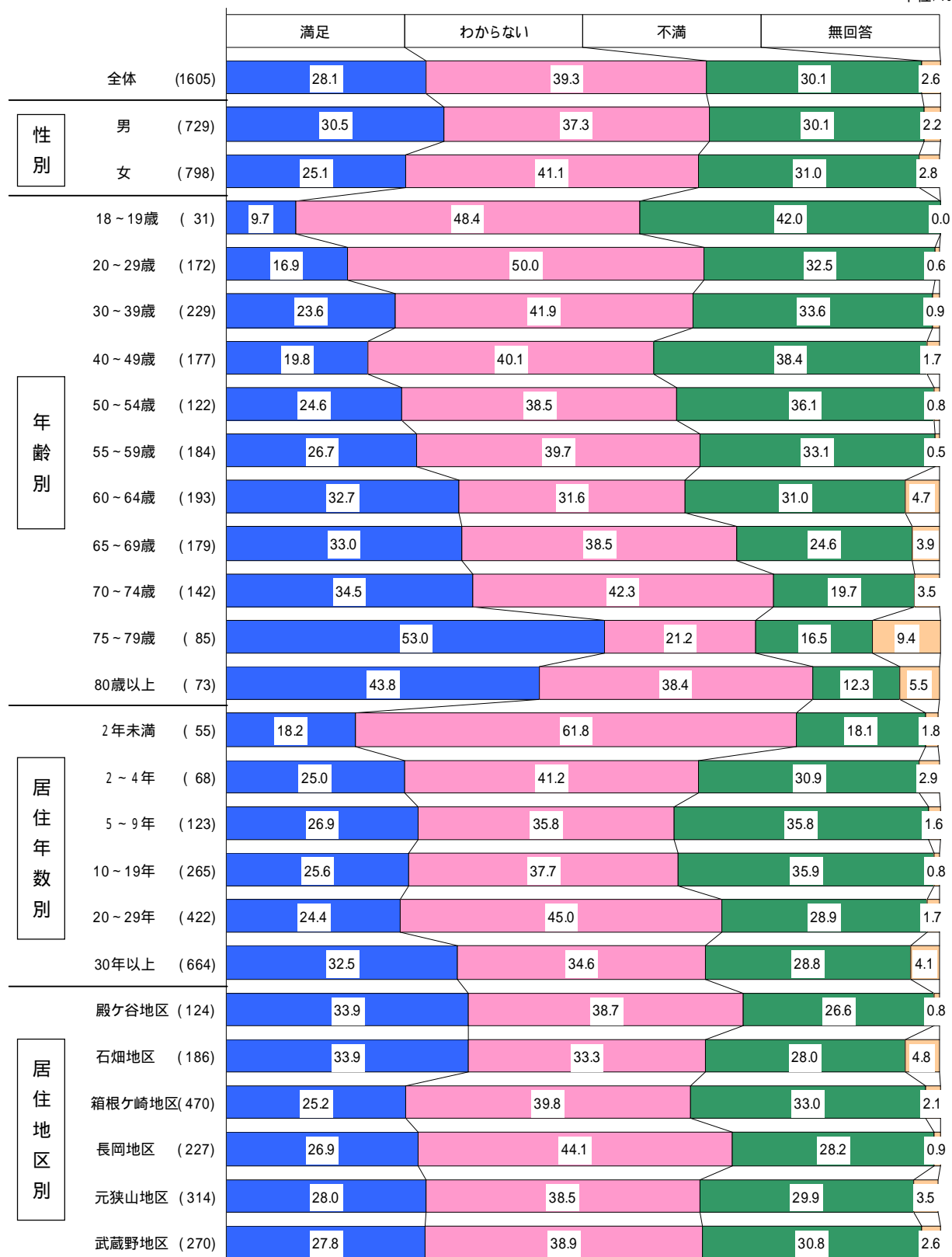
年齢別では、概ね年齢層が上がるにつれ「満足」が増え、「不満」が減る傾向が基調となっているが、60歳代以上は「満足」が、50歳代以下は「不満」が上回っている。

居住年数別では、中位のランクである2～19年で「不満」が目立っている。

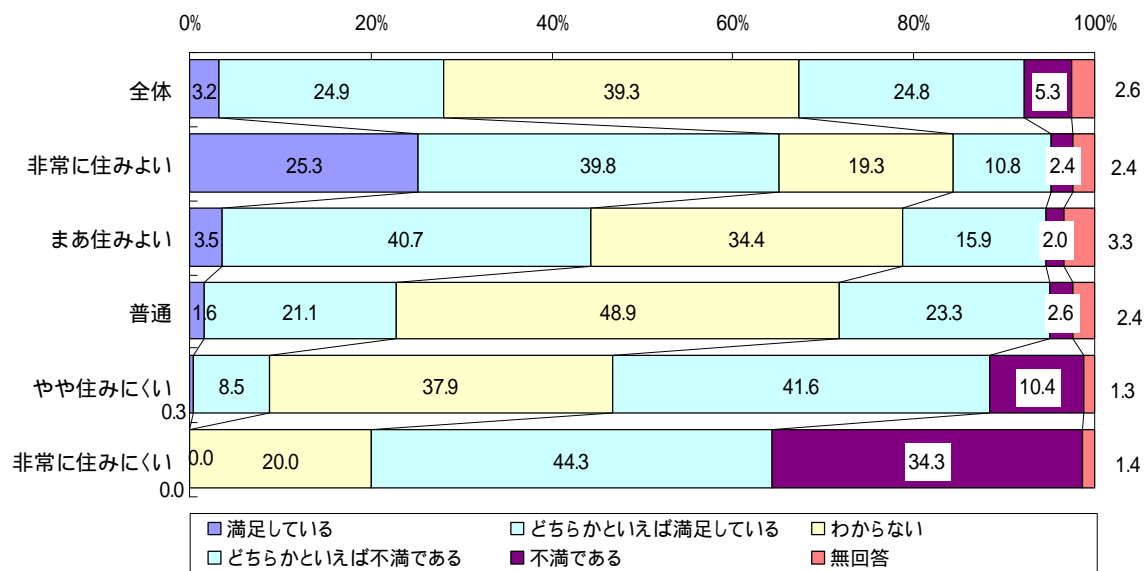
居住地区別では、殿ヶ谷、石畑地区で「満足」が30%台と比較的多く、それ以外の地区でわずかに「不満」が上回っている。

町政全体の満足感(性・年齢・居住年数・居住地区別)

単位: %



問1の「住みよさ」と問7の「町政全体の満足感」をあわせて見てみると、住みよいと感じている人ほど町政について満足感を持ち、住みにくいと感じている人ほど不満足感が高まる傾向にある。



(5) 行政改革の重点

問8 町では第3次行政改革大綱に沿って行政改革を進めています。あなたは特に何が重要であると考えますか。次の中から3つ以内で選び、その番号を で囲んでください。



全体結果

行政改革で特に重要なことは、「町の職員は、民間企業同様のコスト意識をもって事務事業を実施し、効率的な運営に努めるべきである」が 59.4%で最も多い。次いで「町役場、その他町の施設の職員数はなるべく増やさないようにし、事務の委託化や臨時職員の採用など、工夫して事務事業を行うべきである」が 41.4%、「近隣の市や町と連携して共同で事業を実施したり、スポーツ施設や文化施設の共同利用をもっと進めるべきである」37.3%、「夜間や休日窓口等、サービス時間の拡大を図るべきである」が 29.3%と続く。

属性別

年齢別では、50歳代で「町の職員は、民間企業同様のコスト意識をもって事務事業を実施し、効率的な運営に努めるべきである」が60%台と多く、40歳代以下では「夜間や休日窓口等、サービス時間の拡大を図るべきである」や「近隣の市や町と連携して共同で事業を実施したり、スポーツ施設や文化施設の共同利用をもっと進めるべきである」、60歳から74歳では「町役場、その他町の施設の職員数はなるべく増やさないようにし、事務の委託化や臨時職員の採用など、工夫して事務事業を行うべきである」が比較的多くなっている。

居住年数別にみると、比較的居住年数が短い層で「夜間や休日窓口等、サービス時間の拡大を図るべきである」や「近隣の市や町と連携して共同で事業を実施したり、スポーツ施設や文化施設の共同利用をもっと進めるべきである」がやや多い。

居住地区別では、殿ヶ谷地区で「近隣の市や町と連携して共同で事業を実施したり、スポーツ施設や文化施設の共同利用をもっと進めるべきである」が他地区に比べ多く見られる。

区分		回答者数	コスト意識のある効率的な運営	町の職員数を増やさない	近隣の市や町との共同事業の実施	サービス時間の拡大	サービス等の費用を利用者が負担	直し金・交付金等の見直し	事務事業や補助	情報化	その他	特にない	わからない	無回答
全体		1605	59.4	41.4	37.3	29.3	25.6	19.7	11.0	3.6	3.6	7.9	2.4	
性別	男	729	61.9	42.2	37.4	29.5	29.2	22.5	12.2	3.4	3.3	6.7	1.1	
	女	798	57.9	40.5	38.1	29.9	22.4	16.7	10.0	3.5	3.5	9.0	3.0	
年齢別	18～19歳	31	51.6	16.1	41.9	51.6	6.5	19.4	3.2	0.0	6.5	29.0	0.0	
	20～29歳	172	53.5	28.5	41.3	37.2	16.9	19.8	19.8	5.2	3.5	7.0	0.0	
	30～39歳	229	59.4	31.0	48.5	40.2	15.7	16.2	10.9	3.1	1.7	6.6	0.4	
	40～49歳	177	65.0	34.5	40.1	36.2	20.9	15.8	9.6	7.9	2.8	4.5	1.1	
	50～54歳	122	68.9	40.2	36.9	30.3	28.7	18.9	10.7	4.1	1.6	5.7	0.8	
	55～59歳	184	65.8	45.1	37.0	33.2	31.0	19.6	8.2	3.8	4.3	4.9	0.5	
	60～64歳	193	59.6	51.3	37.8	19.7	24.4	21.2	11.9	2.1	5.2	7.3	3.1	
	65～69歳	179	60.9	52.0	36.9	21.2	35.2	24.6	8.4	1.7	0.6	5.6	2.8	
	70～74歳	142	58.5	54.2	24.6	18.3	31.0	19.7	9.2	2.1	7.0	14.1	6.3	
	75～79歳	85	45.9	42.4	22.4	21.2	34.1	21.2	9.4	3.5	5.9	10.6	7.1	
80歳以上	73	43.8	43.8	27.4	16.4	39.7	24.7	13.7	1.4	5.5	16.4	6.8		
居住年数	2年未満	55	56.4	38.2	40.0	43.6	14.5	18.2	10.9	3.6	0.0	1.8	1.8	
	2～4年	68	50.0	35.3	44.1	29.4	25.0	20.6	10.3	1.5	5.9	11.8	2.9	
	5～9年	123	55.3	29.3	38.2	36.6	17.9	19.5	10.6	4.9	1.6	8.1	3.3	
	10～19年	265	60.0	37.4	44.2	36.2	18.5	15.8	10.6	6.0	4.5	8.3	1.1	
	20～29年	422	58.8	38.2	37.9	29.6	26.5	21.8	11.8	3.6	2.1	8.1	1.2	
	30年以上	664	61.9	48.2	33.3	23.8	30.6	20.0	10.7	2.6	4.5	7.5	3.2	
居住地区	殿ヶ谷地区	124	50.0	37.9	42.7	27.4	34.7	19.4	8.1	4.8	6.5	6.5	0.8	
	石畑地区	186	58.6	42.5	30.6	29.6	27.4	19.9	11.3	4.8	3.2	9.1	2.7	
	箱根ヶ崎地区	470	63.8	42.8	39.1	28.9	25.3	22.1	11.5	3.4	3.2	6.8	1.5	
	長岡地区	227	61.7	42.7	41.9	30.0	22.0	19.4	11.9	3.5	3.5	6.6	1.3	
	元狭山地区	314	60.2	40.1	32.8	28.3	23.9	17.8	10.8	4.1	4.1	9.2	3.2	
	武蔵野地区	270	54.1	41.5	37.8	31.1	25.9	18.1	10.7	1.9	2.2	8.5	3.7	

問6の「(44) 効率的かつ効果的な行財政の運営」に対する満足度、重要度別に見ると、満足度の高い人は、「町の施設を利用したり、サービスを受ける場合、利用者がある程度の費用を負担するのは当然である」や「町が新しい事業や施策に取り組んでいくためには、現在の事務事業の見直しや補助金・交付金などの見直しもやむをえない」が比較的多く、町民自身の負担増や役割分担も必要という意識が比較的強くなっている。

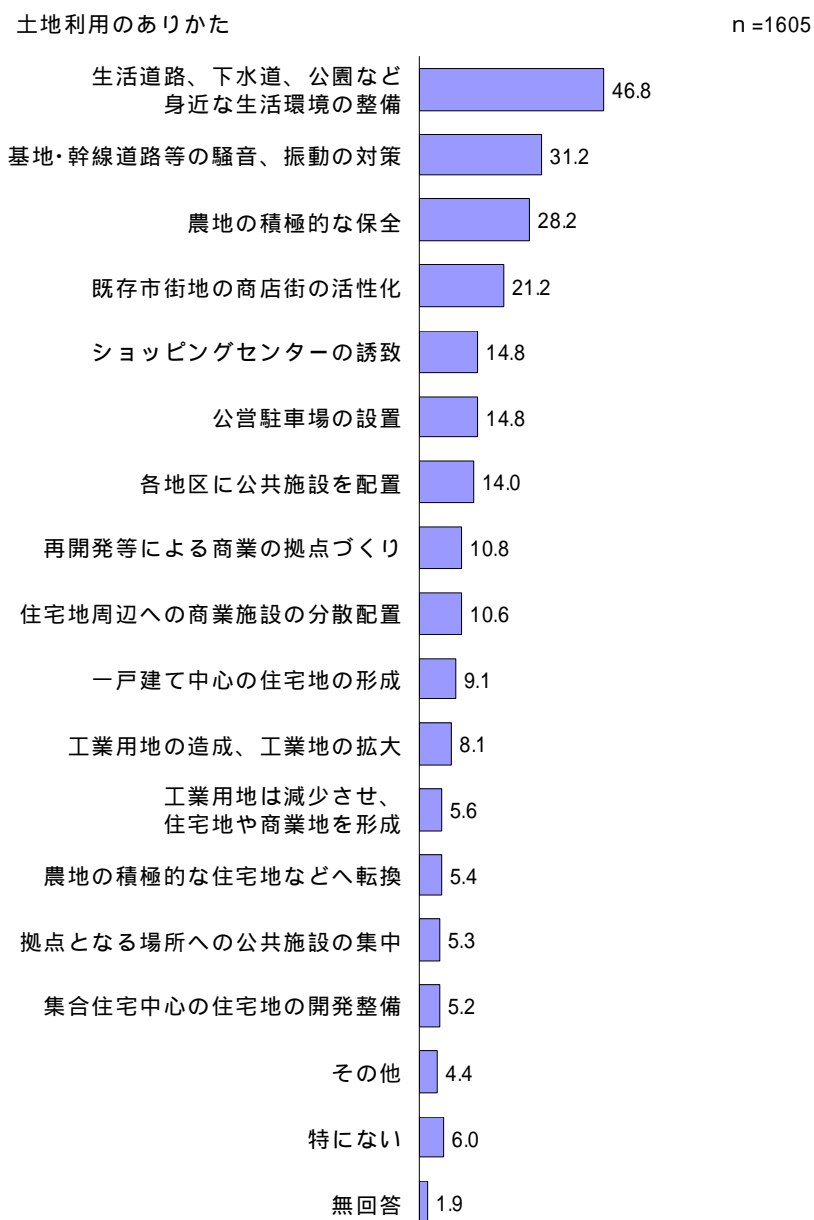
一方、不満な人では、「町の職員は、民間企業同様のコスト意識をもって事務事業を実施し、効率的な運営に努めるべきである」や「町役場、その他町の施設の職員数はなるべく増やさないようにし、事務の委託化や臨時職員の採用など、工夫して事務事業を行うべきである」といった、行財政運営の一層の効率化を求める声が強くなっている。

		回答者数	サービス等の費用を利用者が負担	コスト意識のある効率的な運営	事務事業や補助金・交付金等の見直し	サービス時間の拡大	町の職員数を増やさない	近隣市町との共同事業の実施	情報化	その他	特にない	わからない	無回答	
全体		1605	25.6	59.4	19.7	29.3	41.4	37.3	11.0	3.6	3.6	7.9	2.4	
問6 (44)	満足している	27	51.9	33.3	25.9	29.6	33.3	37.0	3.7	3.7	18.5	14.8	0.0	
財政の運営	効率的かつ効果的な行	どちらかといえば満足している	116	44.8	58.6	29.3	25.0	40.5	37.9	12.1	4.3	3.4	5.2	0.0
	どちらともいえない	1002	24.0	59.8	18.6	32.7	38.6	39.1	10.7	3.1	3.1	8.7	0.5	
	どちらかといえば不満である	208	26.9	70.7	23.1	29.8	47.1	43.8	13.9	3.4	1.4	2.4	0.5	
	不満である	83	22.9	80.7	16.9	21.7	65.1	39.8	13.3	14.5	2.4	1.2	0.0	
問6 (44)	非常に重要である	339	28.9	74.3	23.0	26.8	44.8	41.6	12.1	6.2	2.1	2.9	0.6	
財政の運営	効率的かつ効果的な行	どちらかといえば重要である	462	29.0	62.3	22.9	29.9	39.6	43.1	11.9	4.5	2.2	5.8	0.2
	どちらともいえない	582	22.5	56.5	16.7	35.6	41.1	36.3	10.8	2.2	3.8	9.8	0.2	
	どちらかといえば重要ではない	16	37.5	50.0	18.8	37.5	37.5	56.3	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0	
	重要ではない	6	16.7	83.3	16.7	33.3	66.7	16.7	33.3	0.0	16.7	0.0	0.0	

3 瑞穂町において今後力を入れるべきこと

(1) 土地利用のありかた

問9 住宅地、商業地、工業地、公共施設、農地などのありかたについて、重要と思われるものを3つ以内で選び、その番号を で囲んでください。



全体結果

住宅地、商業地、工業地、公共施設、農地などのありかたについて重要と思われるものをたずねたところ、「生活道路、下水道、公園などの身近な生活環境を整備する」が46.8%、「基地や幹線道路などの騒音、振動などの対策を講じる」が31.2%と多くなっており、生活環境の向上が求められている。

属性別

居住年数別では、2年未満では「基地や幹線道路などの騒音、振動などの対策を講じる」が多くなっているが、あまり大きな差は見られない。

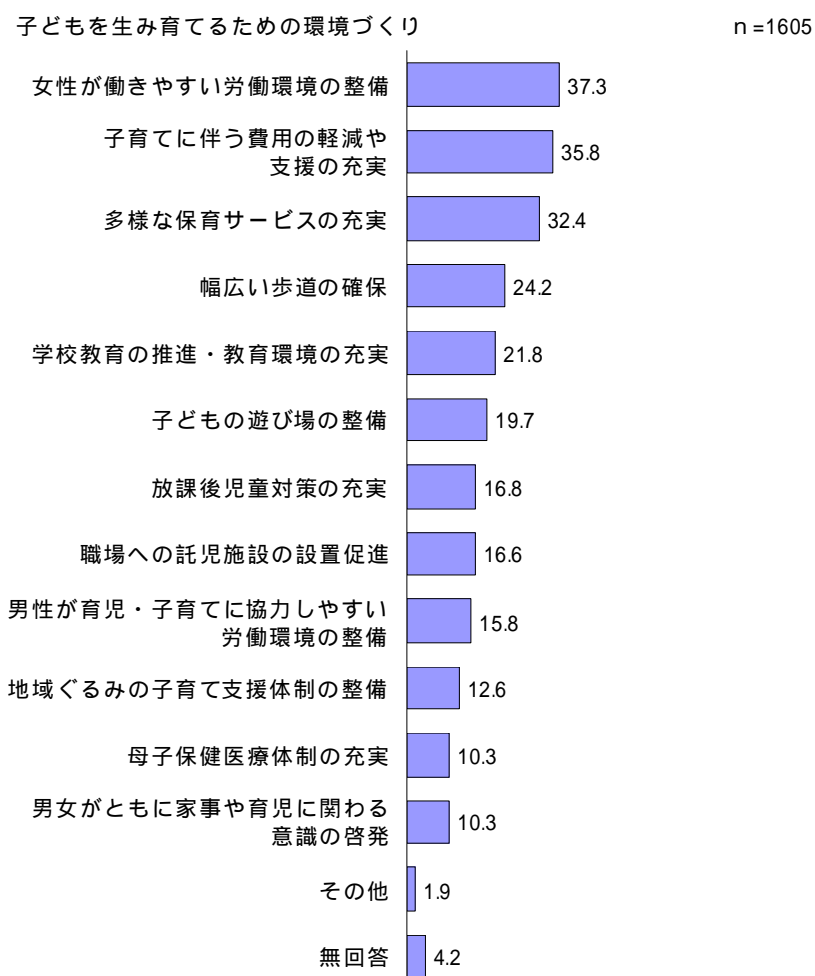
居住地区別では、元狭山地区で「生活道路、下水道、公園などの身近な生活環境を整備する」が60%弱と多く、箱根ヶ崎、武蔵野地区では、40%弱が「基地や幹線道路などの騒音、振動などの対策を講じる」をあげている。このほか、石畑地区を筆頭に、殿ヶ谷、箱根ヶ崎地区で「既存市街地の商店街の活性化を図る」がやや多くなっている。

区分	回答者数	生活道路、下水道、公園など身近な生活環境の整備	基地や幹線道路等の騒音、振動の対策	農地の積極的な保全	既存市街地の商店街の活性化	ショッピングセンター誘致	公営駐車場の設置	各地区に公共施設を配置	再開発等による商業の拠点づくり	住宅地の周辺への商業施設の分散配置	一戸建て中心の住宅地の形成	
全体	1605	46.8	31.2	28.2	21.2	14.8	14.8	14.0	10.8	10.6	9.1	
居住年数	2年未満	55	45.5	38.2	27.3	18.2	21.8	14.5	9.1	3.6	7.3	14.5
	2～4年	68	47.1	27.9	27.9	17.6	16.2	11.8	20.6	14.7	5.9	8.8
	5～9年	123	54.5	28.5	26.8	15.4	22.0	14.6	14.6	9.8	9.8	4.1
	10～19年	265	49.4	31.7	30.6	18.1	17.0	14.7	17.0	12.1	14.3	6.8
	20～29年	422	45.0	35.3	30.8	19.4	13.5	10.7	11.4	13.3	10.4	9.7
	30年以上	664	45.8	29.1	26.2	25.3	12.8	17.9	14.3	9.0	10.2	10.2
居住地区	殿ヶ谷地区	124	49.2	29.0	27.4	22.6	12.9	15.3	17.7	8.9	8.9	10.5
	石畑地区	186	48.9	28.5	30.6	26.9	18.3	15.6	10.2	8.6	7.0	10.2
	箱根ヶ崎地区	470	42.1	38.3	27.0	26.6	16.6	12.1	10.9	14.5	12.3	7.9
	長岡地区	227	46.3	26.9	30.4	15.4	16.3	13.7	18.5	10.6	12.8	11.9
	元狭山地区	314	57.6	20.4	27.1	15.0	12.1	15.9	12.4	10.5	7.3	9.2
	武蔵野地区	270	40.4	38.1	29.6	19.6	11.9	18.1	19.3	7.8	13.0	7.4

区分	回答者数	工業用地の造成、工業地の拡大	工業用地は減少させ、住宅地や商業地を形成	工業用地は減少させ、住宅地や商業地を形成	農地の積極的な住宅地などへ転換	拠点となる場所への公共施設の集中	集合住宅中心の住宅地の開発整備	その他	特にない	無回答
全体	1605	8.1	5.6	5.4	5.3	5.2	4.4	6.0	1.9	
居住年数	2年未満	55	5.5	9.1	1.8	3.6	1.8	9.1	7.3	3.6
	2～4年	68	4.4	7.4	2.9	7.4	8.8	4.4	5.9	1.5
	5～9年	123	8.1	4.9	4.1	4.9	6.5	4.9	4.9	2.4
	10～19年	265	5.3	7.2	4.9	4.2	6.4	4.5	4.2	1.1
	20～29年	422	7.8	6.4	3.8	5.9	6.4	5.9	6.2	1.2
	30年以上	664	9.9	4.2	7.4	5.4	3.8	2.9	6.6	2.1
居住地区	殿ヶ谷地区	124	10.5	4.8	6.5	4.8	4.0	4.8	5.6	1.6
	石畑地区	186	9.7	3.2	4.3	4.3	3.8	4.3	5.9	0.5
	箱根ヶ崎地区	470	7.4	5.3	3.2	6.8	7.7	5.3	4.3	1.3
	長岡地区	227	7.5	8.8	6.6	5.3	4.8	3.5	7.0	0.4
	元狭山地区	314	7.3	5.7	10.2	4.8	4.8	4.8	6.7	3.5
	武蔵野地区	270	8.1	5.6	2.6	4.4	3.3	2.6	7.8	2.6

(2) 子どもを生み育てるための環境づくり

問 10 安心して子どもを生み、育てられる環境づくりを進めるため、重要と思われるものを3つ以内で選び、その番号を で囲んでください。



全体結果

子どもを生み育てるための環境の整備については、「女性が働きやすい労働環境づくり」が 37.3%と最も多く、「医療費補助や児童手当など子育てに伴う費用の軽減や支援の充実」「多様な保育サービスの充実（長時間保育など）」が 30%台で続き、仕事や経済的な環境づくりが上位となっている。

属性別

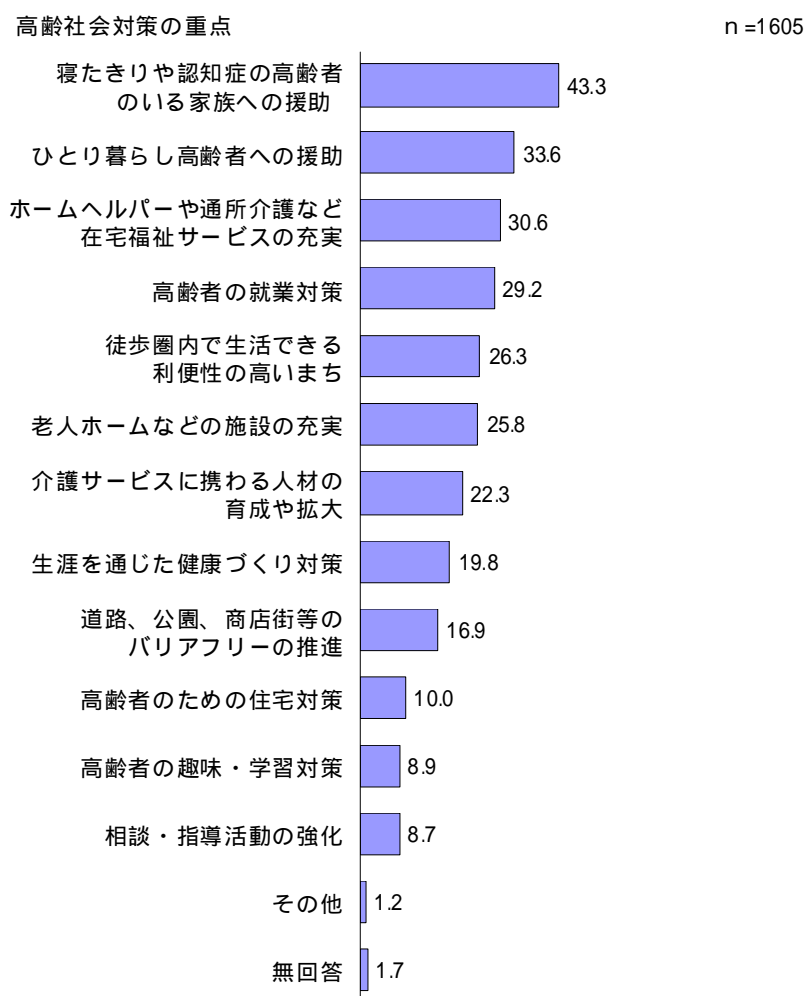
性別では、あまり大きな差はみられない。

年齢別に見ると、20～30歳代及び50歳代前半で「医療費補助や児童手当など子育てに伴う費用の軽減や支援の充実」が目立ち、40歳代及び50歳代前半で「多様な保育サービスの充実（長時間保育など）」が、それぞれほかに比べ高くなっている。

区分		回答者数	女性が働きやすい労働環境の整備	子育てに伴う費用の軽減や支援の充実	多様な保育サービスの充実	幅広い歩道の確保	学校教育の推進・教育環境の充実	子どもの遊び場の整備	放課後児童対策の充実	職場への託児施設の設定促進	男性が育児・子育てに協力しやすい労働環境の整備	地域の整備	母子保健医療体制の充実	男女がともに家事や育児に関わる意識の啓発	その他	無回答
	全体	1605	37.3	35.8	32.4	24.2	21.8	19.7	16.8	16.6	15.8	12.6	10.3	10.3	1.9	4.2
性別	男	729	35.7	39.0	33.9	24.4	23.3	20.7	15.6	14.1	17.4	11.8	11.4	8.8	1.8	2.9
	女	798	39.3	34.2	32.1	24.3	20.3	19.2	17.5	18.8	15.0	13.2	9.5	11.2	1.9	4.4
年齢	18～19歳	31	35.5	22.6	35.5	22.6	29.0	38.7	12.9	16.1	35.5	3.2	6.5	25.8	0.0	0.0
	20～29歳	172	33.7	44.2	34.3	22.7	20.3	19.8	12.2	20.3	18.6	7.6	18.0	13.4	1.7	1.7
	30～39歳	229	32.3	49.8	28.8	26.6	18.8	28.8	15.7	17.5	24.5	7.4	11.4	10.5	2.2	0.9
	40～49歳	177	37.3	34.5	37.9	23.2	31.6	16.4	18.1	13.6	12.4	12.4	5.1	10.2	2.8	0.0
	50～54歳	122	36.9	27.0	42.6	27.9	22.1	14.8	16.4	16.4	18.0	17.2	8.2	8.2	1.6	2.5
	55～59歳	184	38.6	41.3	34.8	18.5	22.3	13.6	17.4	14.7	18.5	18.5	12.0	13.0	3.3	2.2
	60～64歳	193	35.8	34.2	30.1	26.9	23.8	22.3	18.1	15.5	10.9	16.6	8.3	9.3	1.0	2.6
	65～69歳	179	39.7	40.2	31.8	20.1	17.9	16.8	23.5	17.3	11.2	18.4	11.2	8.9	1.1	4.5
	70～74歳	142	45.1	26.1	31.7	28.9	20.4	19.0	12.0	11.3	11.3	10.6	9.2	7.7	1.4	12.0
	75～79歳	85	37.6	22.4	22.4	23.5	20.0	21.2	16.5	23.5	14.1	5.9	9.4	9.4	1.2	10.6
80歳以上	73	45.2	15.1	24.7	23.3	13.7	15.1	13.7	19.2	5.5	12.3	9.6	5.5	2.7	19.2	

(3) 高齢社会対策の重点

問 11 これからの高齢社会に向けて、重要と思われるものを3つ以内で選び、その番号を で囲んでください。



全体結果

高齢社会対策の重点については、「寝たきりや認知症の高齢者のいる家族への援助」が43.3%と最も多く、次いで「ひとり暮らし高齢者への援助」「ホームヘルパーの派遣や通所介護などの在宅福祉サービスの充実」が30%台で続き、高齢世帯支援や在宅福祉の充実が望まれている。

属性別

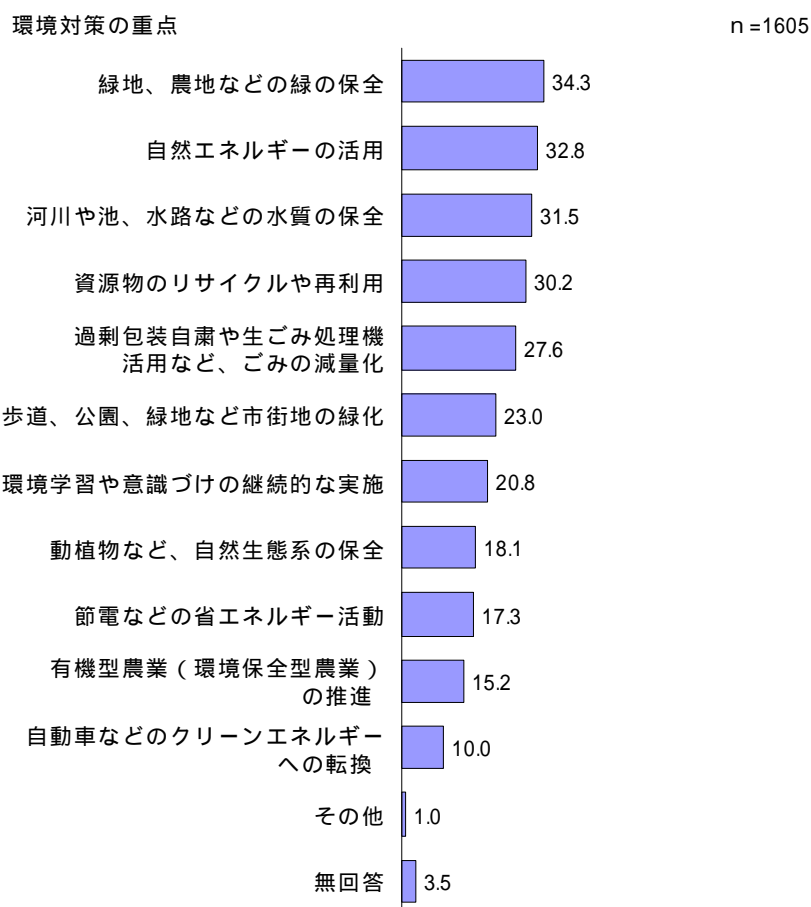
性別では、女性で「寝たきりや認知症の高齢者のいる家族への援助」がやや多い。

年齢別に見ると、50歳代以下では「寝たきりや認知症の高齢者のいる家族への援助」が、20歳代以下では「ひとり暮らし高齢者への援助」、60歳代後半から70歳代では「生涯を通じた健康づくり対策」がほかに比べやや多い。

区分		回答者数	寝たきりや認知症高齢者のいる家族への援助	ひとり暮らし高齢者への援助	ホームヘルパーや通所介護など在宅福祉サービスの充実	高齢者の就業対策	徒歩圏内で生活できる利便性の高いまち	老人ホームなどの施設の充実	介護サービスに携わる人材の育成や拡大	生涯を通じた健康づくり対策	道路、公園、商店街等のバリアフリーの推進	高齢者のための住宅対策	高齢者の趣味・学習対策	相談・指導活動の強化	その他	無回答
全体		1605	43.3	33.6	30.6	29.2	26.3	25.8	22.3	19.8	16.9	10.0	8.9	8.7	1.2	1.7
性別	男	729	40.6	32.9	29.1	30.7	25.4	25.0	24.8	22.8	15.2	9.9	9.6	10.3	1.2	1.4
	女	798	47.4	34.0	32.1	28.4	27.8	25.2	19.9	17.0	19.0	9.5	8.3	7.5	1.3	1.6
年齢	18～19歳	31	41.9	45.2	35.5	16.1	25.8	19.4	16.1	6.5	32.3	6.5	19.4	9.7	0.0	3.2
	20～29歳	172	43.6	39.0	27.3	29.7	23.3	18.0	20.3	15.7	23.8	7.6	6.4	9.3	3.5	2.3
	30～39歳	229	51.1	33.6	30.1	41.5	28.4	21.4	21.8	14.8	13.1	9.2	8.7	8.3	0.9	0.4
	40～49歳	177	49.2	29.9	32.8	39.0	23.7	26.6	16.9	13.6	14.7	8.5	5.6	9.0	2.3	0.0
	50～54歳	122	41.8	28.7	34.4	31.1	27.0	29.5	24.6	17.2	14.8	13.1	8.2	6.6	2.5	0.0
	55～59歳	184	47.3	34.8	31.5	31.0	29.3	23.4	23.9	20.7	14.1	10.9	7.6	11.4	0.5	0.5
	60～64歳	193	40.9	29.5	33.2	30.1	32.6	28.5	22.3	20.2	16.6	13.0	9.8	9.3	0.5	1.0
	65～69歳	179	40.2	39.1	30.2	20.1	29.6	27.9	21.8	25.1	12.8	10.1	10.6	8.4	0.0	1.7
	70～74歳	142	34.5	29.6	28.2	21.8	21.1	31.7	28.9	26.8	19.7	9.2	9.2	7.7	0.7	4.9
	75～79歳	85	37.6	35.3	25.9	15.3	12.9	23.5	16.5	35.3	22.4	10.6	16.5	10.6	1.2	3.5
80歳以上	73	30.1	31.5	32.9	11.0	24.7	41.1	30.1	23.3	20.5	8.2	6.8	4.1	0.0	5.5	

(4) 環境対策の重点

問 12 環境問題への取り組みの中で、重要と思われるものを3つ以内で選び、その番号を で囲んでください。



全体結果

環境対策の重点については、「緑地、農地などの緑の保全」が 34.3%と最も多く、次いで「太陽や風などを活用した自然エネルギーの活用」「河川や池、水路などの水質の保全」「ビン、カン、ペットボトル、新聞、雑誌などの資源物のリサイクルや再利用」が 30%台で続き、自然環境・地球温暖化対策が上位となっている。なお、回答は分散傾向にあり、多岐にわたる施策の充実が望まれている。

属性別

男性では「河川や池、水路などの水質の保全」が、女性では「過剰包装の自粛や生ごみ処理機等の活用など、ごみの減量化」がやや多い。

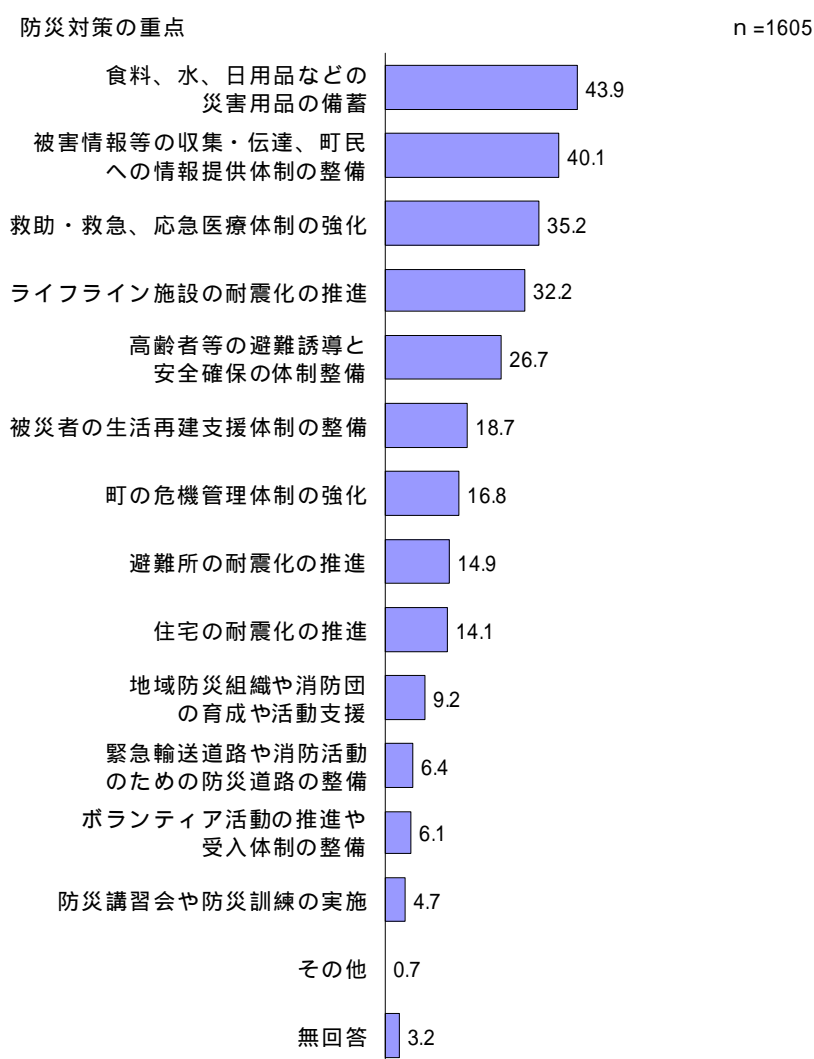
年齢別に見ると、30歳代以下で「太陽や風などを活用した自然エネルギーの活用」「河川や池、水路などの水質の保全」などが、60歳代及び18～19歳で「子どもから大人まで、環境問題に対する学習機会や意識づけの継続的な実施」がほかに比べやや多い。

居住地区別では、殿ヶ谷地区、石畑地区で「河川や池、水路などの水質の保全」が、ほかに比べやや多い。

区分		回答者数	緑地、農地などの緑の保全	自然エネルギーの活用	河川や池、水路などの水質の保全	資源物のリサイクルや再利用	過剰包装自棄や生ごみ処理機活用などごみの減量化	歩道、公園、緑地など市街地の緑化	環境学習や意識づけの継続的な実施	全動植物など、自然生態系の保護	節電などの省エネルギー活動	有機型農業（環境保全型農業）の推進	自動車等のクリーンエネルギーへの転換	その他	無回答
全体		1605	34.3	32.8	31.5	30.2	27.6	23.0	20.8	18.1	17.3	15.2	10.0	1.0	3.5
性別	男	729	36.2	33.1	36.5	29.1	24.1	22.5	21.8	20.7	17.0	12.3	12.2	0.8	2.2
	女	798	33.7	33.2	27.3	31.0	30.8	23.9	20.3	15.5	17.8	17.3	7.9	1.0	3.8
年齢	18～19歳	31	32.3	41.9	38.7	22.6	19.4	29.0	29.0	22.6	22.6	6.5	9.7	0.0	0.0
	20～29歳	172	37.2	40.7	38.4	32.6	27.3	25.0	16.3	23.3	11.6	11.6	14.5	2.3	0.6
	30～39歳	229	31.0	38.4	38.4	28.8	25.3	28.8	20.5	12.7	20.5	11.4	9.6	0.4	0.9
	40～49歳	177	29.9	36.7	31.1	31.6	24.3	19.2	15.8	22.6	19.8	8.5	11.3	2.3	1.1
	50～54歳	122	31.1	36.1	28.7	27.0	30.3	23.8	19.7	14.8	18.0	13.9	10.7	1.6	2.5
	55～59歳	184	39.1	35.3	29.3	29.9	28.3	21.2	23.9	19.0	19.6	17.9	9.2	1.1	1.1
	60～64歳	193	39.4	29.5	32.1	29.0	27.5	22.8	26.4	20.7	12.4	21.8	5.2	0.0	2.6
	65～69歳	179	34.6	27.4	30.7	28.5	27.9	26.3	27.4	15.6	12.3	20.1	12.3	0.0	4.5
	70～74歳	142	35.2	28.2	19.0	33.1	29.6	21.8	12.0	14.8	17.6	26.8	7.7	0.0	9.9
75～79歳	85	29.4	17.6	32.9	32.9	29.4	10.6	18.8	22.4	21.2	10.6	9.4	2.4	9.4	
80歳以上	73	32.9	19.2	30.1	37.0	28.8	19.2	19.2	19.2	26.0	8.2	8.2	1.4	11.0	
居住地区	殿ヶ谷地区	124	35.5	30.6	41.1	26.6	33.9	25.0	21.0	12.9	14.5	12.1	12.1	1.6	4.0
	石畑地区	186	35.5	32.8	36.6	30.6	23.7	24.2	20.4	16.7	12.9	15.1	7.5	0.5	4.3
	箱根ヶ崎地区	470	33.2	36.8	33.0	29.1	28.5	23.2	21.3	18.3	21.1	14.3	9.4	0.6	2.1
	長岡地区	227	36.1	33.0	22.5	32.6	31.3	19.8	18.5	18.1	19.4	17.2	11.9	1.8	3.5
	元狭山地区	314	34.7	29.0	28.7	29.0	26.8	21.7	19.1	20.7	14.3	15.0	12.7	1.3	4.5
	武蔵野地区	270	33.0	31.1	32.2	34.1	24.8	24.4	25.2	18.5	17.8	17.4	6.7	0.7	3.0

(5) 防災対策の重点

問 13 地震や水害等の災害を教訓とし、今後の防災対策として、重要と思われるものを3つ以内で選び、その番号を で囲んでください。



全体結果

防災対策の重点については、「食料、水、日用品などの災害用品の備蓄」が 43.9%と最も多く、次いで「地震情報や被害情報などの収集・伝達体制や町民への情報提供体制の整備」が 40.1%、「救助・救急、応急医療体制の強化」「電気、上下水道、電話などのライフライン施設の耐震化の推進」が 30%台で続いている。

属性別

女性では「食料、水、日用品などの災害用品の備蓄」が、男性では「町の危機管理体制の強化」がやや多い。

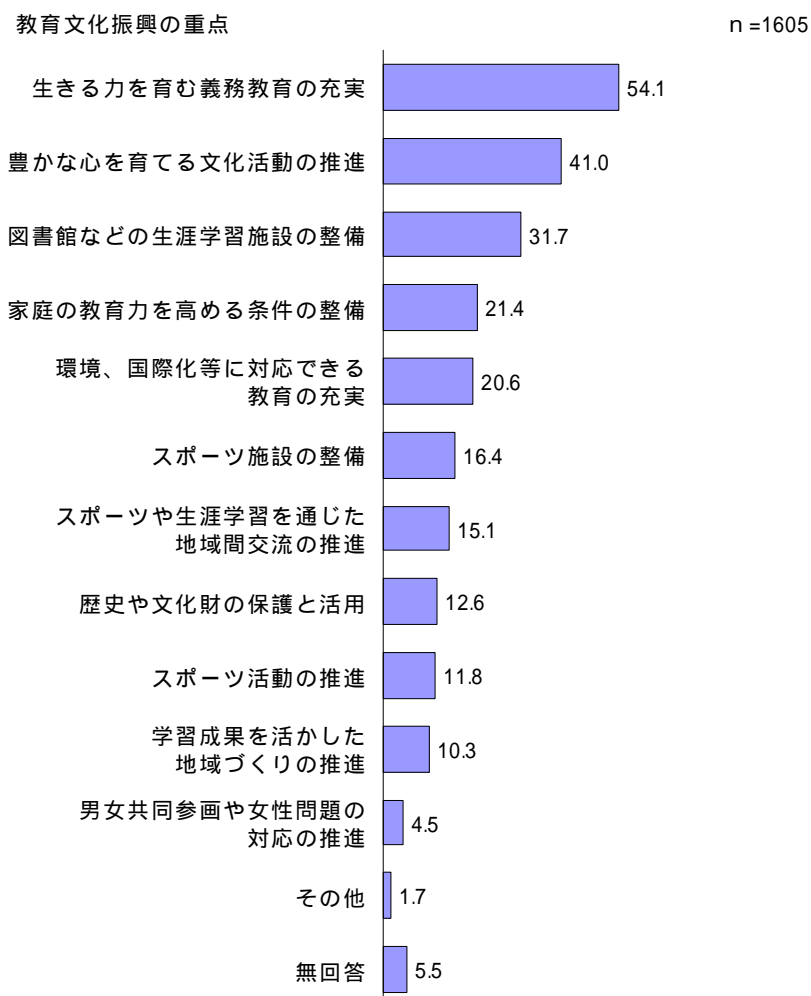
年齢別に見ると、20歳代～40歳代で「食料、水、日用品などの災害用品の備蓄」が、50歳代後半で「電気、上下水道、電話などのライフライン施設の耐震化の推進」が、65歳以上及び18～19歳で「高齢者、障がい者等の避難誘導と安全確保の体制整備」などがほかに比べやや多い。

居住地区別では、武蔵野地区で「食料、水、日用品などの災害用品の備蓄」「高齢者、障がい者等の避難誘導と安全確保の体制整備」がやや多い。

区分		回答者数	食料、水、日用品などの災害用品の備蓄	被害情報等の収集・伝達、町民への情報提供体制の整備	救助・救急、応急医療体制の強化	救急・救急、応急医療体制の強化	推進	高年齢者等の避難誘導と安全確保の体制整備	被災者の生活再建支援体制の整備	町の危機管理体制の強化	避難所の耐震化の推進	住宅の耐震化の推進	地域防災組織や消防団の育成や活動支援	緊急輸送道路や消防活動のための防災道路の整備	ポランテア活動の推進や受入体制の整備	防災講習会や防災訓練の実施	その他	無回答
全体		1605	439	401	352	322	267	187	168	149	141	92	64	61	47	07	32	
性別	男	729	402	413	351	340	263	178	185	155	129	111	53	64	67	08	22	
	女	798	475	400	360	321	263	197	145	143	157	74	71	58	33	05	36	
年齢	18～19歳	31	484	355	387	323	387	129	97	290	129	00	32	32	32	00	00	
	20～29歳	172	529	320	419	343	169	157	140	250	203	81	47	52	70	06	06	
	30～39歳	229	520	384	397	362	175	210	170	135	210	48	44	61	35	00	04	
	40～49歳	177	508	486	424	322	158	186	158	141	119	34	68	73	11	00	11	
	50～54歳	122	377	426	434	303	180	238	213	123	115	57	41	90	41	33	25	
	55～59歳	184	397	429	364	397	245	272	212	87	125	98	65	43	60	16	00	
	60～64歳	193	347	409	285	306	316	166	223	176	104	155	98	67	62	05	26	
	65～69歳	179	374	413	291	307	330	173	145	162	168	140	106	78	34	00	50	
	70～74歳	142	479	430	282	282	387	134	148	99	85	99	49	42	70	07	85	
	75～79歳	85	329	318	259	235	471	118	106	153	106	129	59	59	47	12	82	
80歳以上	73	452	370	274	301	438	205	96	96	82	137	68	14	55	00	123		
居住地区	殿ヶ谷地区	124	444	444	323	371	177	185	218	169	137	73	89	56	40	00	32	
	石畑地区	186	403	387	328	280	247	204	177	129	167	91	81	65	54	05	43	
	箱根ヶ崎地区	470	443	406	343	328	272	200	170	168	160	106	57	43	55	09	23	
	長岡地区	227	467	432	370	326	269	159	145	167	132	119	44	57	35	04	22	
	元狭山地区	314	363	385	379	328	255	178	178	140	115	89	61	80	54	16	45	
	武蔵野地区	270	522	381	359	319	330	189	137	111	133	56	74	78	33	00	26	

(6) 教育文化振興の重点

問 14 教育や文化などの振興について、重要と思われるものを3つ以内で選び、その番号を で囲んでください。



全体結果

教育文化振興の重点については、「子ども達が生きる力を育む義務教育の充実」が 54.1% に達し最も多く、次いで「豊かな心を育てる文化活動の推進」が 41.0%、「図書館などの生涯学習施設の整備」が 31.7%と続いている。

属性別

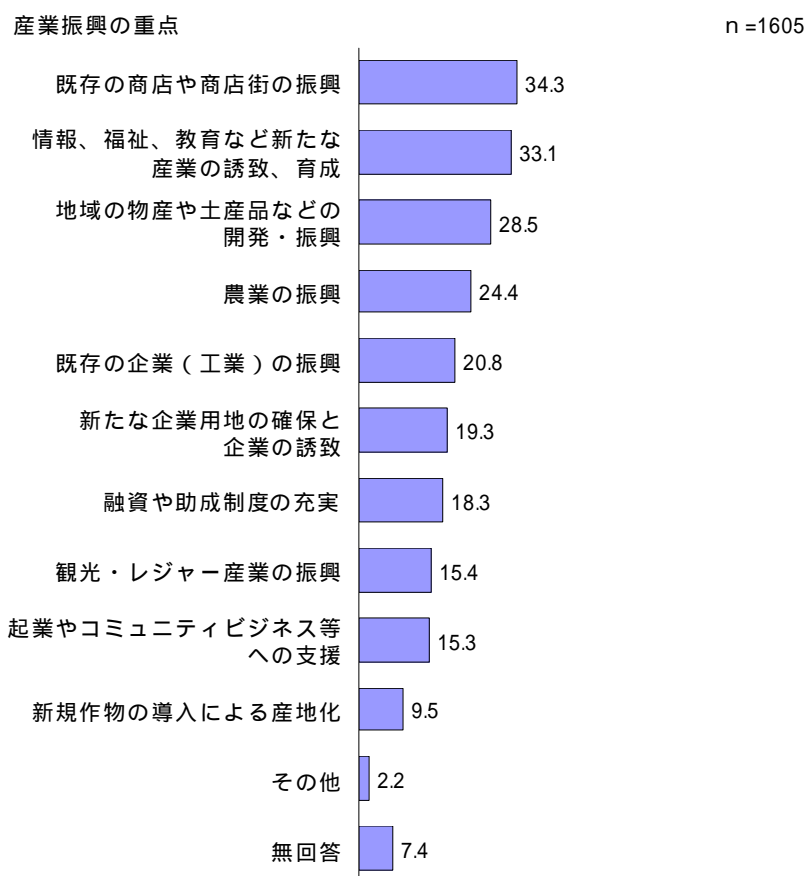
女性では「子ども達が生きる力を育む義務教育の充実」が、男性では「陸上競技場や体育館等のスポーツ施設の整備」「スポーツや生涯学習を通じた地域間交流や連携の推進」などスポーツに関する項目がやや目立っている。

年齢別に見ると、20歳～50歳代前半で「図書館などの生涯学習施設の整備」が多く、スポーツに関する項目は若い世代で、ほかに比べやや多い。

区分	回答者数	生きる力を育む義務教育の充実	豊かな心を育てる文化活動の推進	図書館などの生涯学習施設の整備	家庭の教育力を高める条件の整備	環境、国際化等に対応できる教育の充実	スポーツ施設の整備	スポーツや生涯学習を通じた地域間交流の推進	歴史や文化財の保護と活用	スポーツ活動の推進	学習成果を活かした地域づくりの推進	男女共同参画や女性問題の対応の推進	その他	無回答	
全体	1605	54.1	41.0	31.7	21.4	20.6	16.4	15.1	12.6	11.8	10.3	4.5	1.7	5.5	
性別	男	729	50.5	40.5	28.9	21.9	21.8	18.7	18.0	14.4	15.1	12.3	4.7	1.5	3.8
	女	798	58.1	42.0	34.7	21.1	20.1	14.2	13.3	10.7	9.4	8.8	4.4	1.8	5.8
年齢	18～19歳	31	51.6	38.7	29.0	22.6	19.4	19.4	16.1	25.8	6.5	9.7	0.0	0.0	
	20～29歳	172	44.2	37.2	39.0	20.9	25.0	23.3	17.4	11.0	19.8	10.5	6.4	1.7	1.2
	30～39歳	229	56.8	34.1	38.0	18.3	24.9	19.7	15.3	9.6	20.1	10.0	4.4	0.9	0.4
	40～49歳	177	53.7	34.5	36.7	23.7	17.5	22.0	13.0	9.6	13.0	6.8	5.1	2.8	1.1
	50～54歳	122	45.9	45.1	41.8	18.9	23.0	13.9	8.2	12.3	9.0	11.5	6.6	0.8	4.1
	55～59歳	184	57.6	47.3	29.9	17.4	25.0	13.6	16.8	12.0	9.8	11.4	4.9	2.2	3.8
	60～64歳	193	61.1	48.2	26.4	19.7	14.5	13.0	19.2	19.2	9.8	13.5	3.6	1.0	3.1
	65～69歳	179	54.7	38.5	25.1	23.5	23.5	15.1	21.8	13.4	6.7	13.4	2.8	0.6	7.8
	70～74歳	142	59.2	47.2	23.2	26.1	16.9	13.4	9.2	10.6	7.0	9.2	3.5	2.1	14.8
	75～79歳	85	54.1	40.0	24.7	28.2	15.3	11.8	12.9	14.1	4.7	10.6	1.2	3.5	14.1
80歳以上	73	45.2	37.0	24.7	23.3	15.1	12.3	5.5	17.8	6.8	5.5	4.1	4.1	19.2	

(7) 産業振興の重点

問 15 産業振興について、重要と思われるものを3つ以内で選び、その番号を で囲んでください。



全体結果

産業振興の重点については、「既存の商店や商店街の振興」が 34.3%と最も多く、次いで「情報、福祉、教育など新たな産業の誘致、育成」が 33.1%、「地域の物産や土産品などの開発・振興」が 28.5%と続いている。

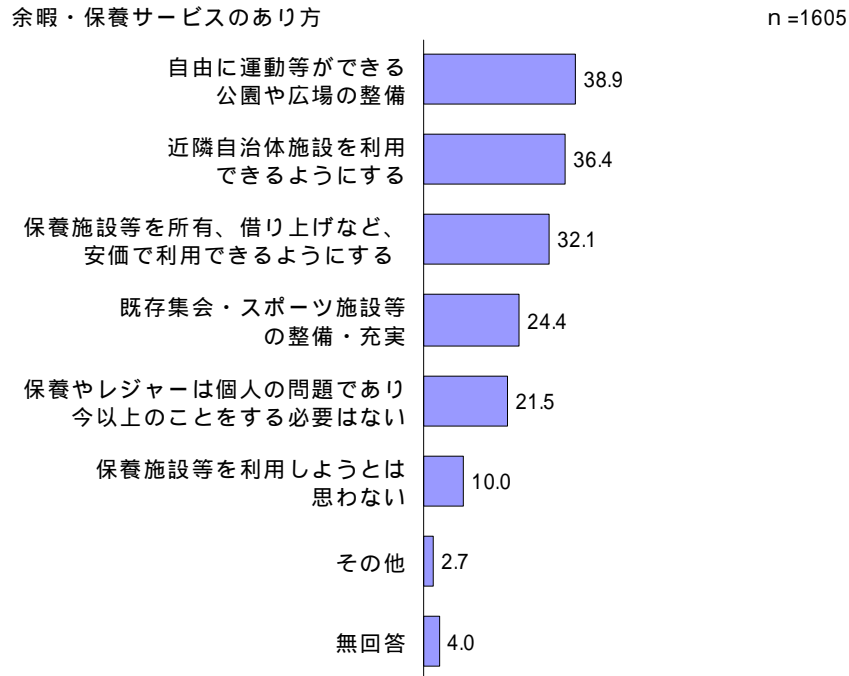
属性別

職業別に見ると、概ねそれぞれの職業に関する項目が多くなっており、商業・サービス業（自営）では「既存の商店や商店街の振興」が、農業では「農業の振興」、工業（自営）では「既存の企業（工業）の振興」「新たな企業用地の確保と企業の誘致」「融資や助成制度の充実」が、それぞれほかに比べ多い。

区分	回答者数	既存の商店や商店街の振興	情報、福祉、教育など新たな産業の誘致、育成	地域の物産や土産品などの開発振興	農業の振興	既存の企業（工業）の振興	新たな企業用地の確保と企業の誘致	融資や助成制度の充実	観光・レジャー産業の振興	起業やコミュニティビジネス等への支援	新規作物の導入による産地化	その他	無回答	
全体	1605	34.3	33.1	28.5	24.4	20.8	19.3	18.3	15.4	15.3	9.5	2.2	7.4	
職業	農業	26	34.6	23.1	15.4	50.0	19.2	15.4	23.1	15.4	3.8	7.7	3.8	15.4
	工業(自営)	43	20.9	9.3	18.6	16.3	51.2	34.9	46.5	16.3	18.6	14.0	0.0	2.3
	商業・サービス業(自営)	73	46.6	26.0	28.8	26.0	17.8	13.7	13.7	16.4	17.8	6.8	4.1	4.1
	会社・団体役員	44	29.5	40.9	22.7	22.7	29.5	27.3	25.0	4.5	11.4	4.5	2.3	2.3
	会社員・公務員・団体職員	399	28.8	34.1	27.6	26.6	22.3	19.8	17.5	16.8	17.5	10.0	2.3	4.0
	自由業	30	33.3	26.7	50.0	23.3	16.7	30.0	13.3	16.7	16.7	20.0	0.0	6.7
	学生	50	34.0	46.0	34.0	26.0	20.0	16.0	12.0	24.0	14.0	4.0	0.0	0.0
	派遣社員・アルバイト・パート	271	33.6	34.7	26.9	23.2	21.4	14.0	19.9	15.9	19.6	7.4	2.6	6.6
	専業主婦・主夫	273	38.5	35.5	29.7	23.1	19.8	15.4	20.1	9.9	12.1	11.4	1.8	9.9
	無職	321	39.3	30.8	29.9	22.4	15.3	24.0	14.6	17.4	11.8	9.3	2.2	11.5
	その他	59	33.9	35.6	28.8	22.0	25.4	22.0	15.3	13.6	16.9	10.2	3.4	11.9

(8) 余暇・保養サービスのありかた

問 16 町民の皆様のゆとりある生活を支えるため、余暇の活用や保養の増進について、瑞穂町はどのようなサービスを提供すればよいと思いますか。次の中からお考えに近いと思われるものを2つ以内で選び、その番号を で囲んでください



全体結果

余暇・保養サービスのありかたについては、「自由に運動や軽スポーツができる公園や広場の整備を町内に整備する」が38.9%と最も多く、次いで「近隣自治体の所有する施設を町民も利用できるようにする」が36.4%と続き、身近な活動の場が望まれるとともに、「保養・宿泊・レジャー施設等を町が所有、借り上げあるいは割引契約し、町民が安価で利用できるようにする」が32.1%と続いている。

なお、保養施設については、「保養やレジャーは個人の問題であり、町が今以上のことをする必要はない」と「保養施設や契約施設があっても利用しようとは思わない」への回答割合も、40歳代以上は2割を越えており、行政施策として重視すべきではないとの意見も少なからずあることがうかがわれる。

属性別

男性では「保養やレジャーは個人の問題であり、町が今以上のことをする必要はない」が女性に比べ多く、やや目立っている。

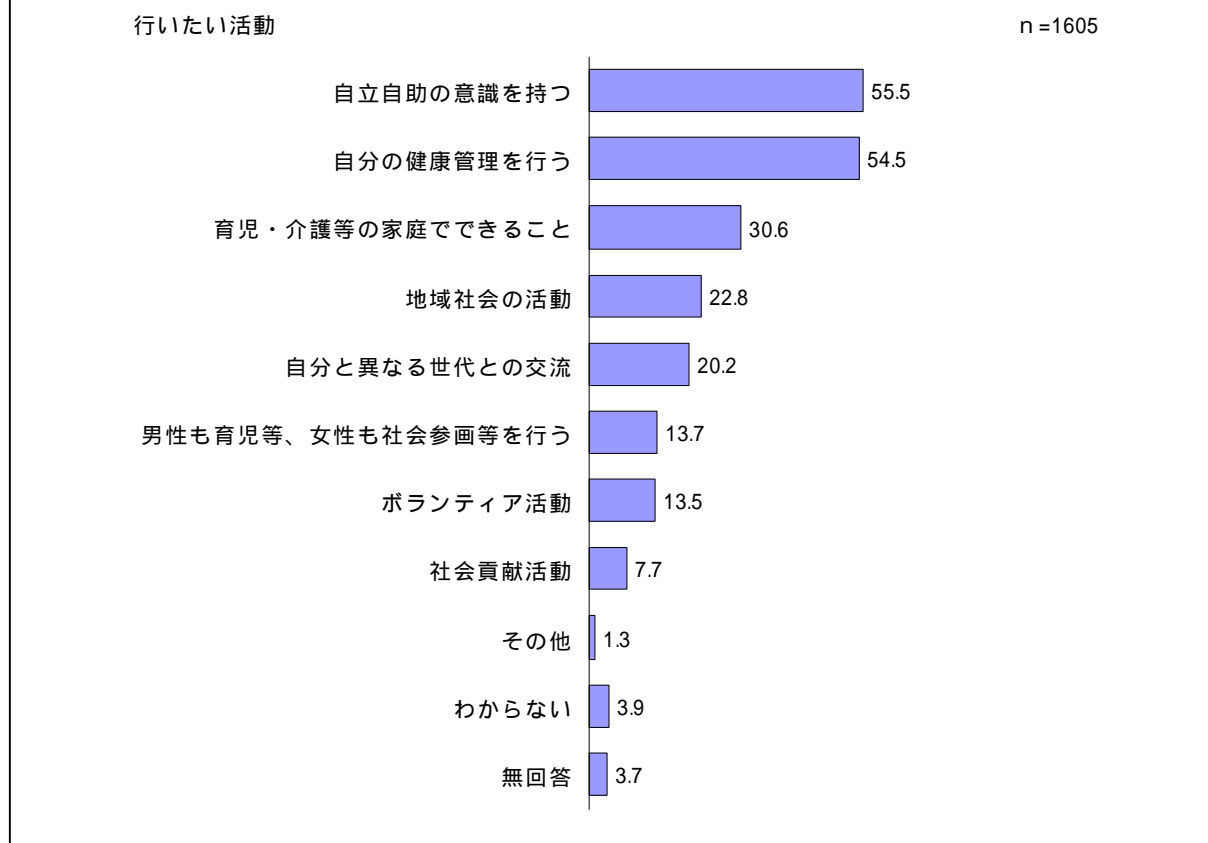
年齢別に見ると、20歳代以下では「自由に運動や軽スポーツができる公園や広場の整備を町内に整備する」が多い。また18～19歳では、「保養・宿泊・レジャー施設等を町が所有、借り上げあるいは割引契約し、町民が安価で利用できるようにする」や「今ある各種集会・スポーツ施設等の整備や充実を図る」が多い。

区分		回答者数	自由に運動等ができる公園や広場の整備	近隣自治体施設を利用できるようにする	保養施設等を所有、借り上げなどし、安価で利用できるようにする	既存集会・スポーツ施設等の整備・充実	保養やレジャーは個人の問題であり、今以上のことをする必要はない	保養施設等を利用しようとは思わない	その他	無回答
全体		1605	38.9	36.4	32.1	24.4	21.5	10.0	2.7	4.0
性別	男	729	39.1	35.0	32.5	24.8	24.1	10.8	2.6	2.5
	女	798	39.6	37.6	31.8	24.4	19.2	9.6	2.9	4.4
年齢	18～19歳	31	61.3	22.6	41.9	35.5	3.2	3.2	3.2	0.0
	20～29歳	172	45.3	34.3	27.3	18.6	19.2	14.5	4.1	1.2
	30～39歳	229	42.4	39.3	36.2	21.4	13.1	7.4	2.6	0.4
	40～49歳	177	37.9	37.3	33.3	20.9	21.5	11.3	4.5	1.7
	50～54歳	122	36.1	38.5	30.3	27.9	23.8	11.5	2.5	3.3
	55～59歳	184	36.4	39.7	27.7	31.5	22.8	8.2	1.6	4.3
	60～64歳	193	39.4	40.9	32.6	23.8	24.4	8.8	1.6	2.6
	65～69歳	179	39.1	35.2	31.8	22.3	26.8	11.7	0.6	7.3
	70～74歳	142	35.2	33.1	38.0	25.4	23.2	7.7	4.2	7.7
	75～79歳	85	31.8	35.3	30.6	22.4	29.4	8.2	3.5	10.6
80歳以上	73	34.2	24.7	26.0	35.6	21.9	17.8	2.7	11.0	

4 行政と町民の役割などについて

(1) 行いたい活動

問 17 地域づくりの主役は町民一人ひとりであり、よりよいまちを創るためには、町民の方々の主体的な活動が期待されています。これからの社会において、あなた自身はどのような活動を行いたいと考えますか。次の中から重要と思われるものを3つ以内で選び、その番号を で囲んでください。



全体結果

これからの社会において、自分自身が行いたい活動をたずねた。「自分のできることは自分で行うという自立自助の意識を持つ」「食生活や生活リズム、運動などに配慮し、自分の健康管理を行う」がともに 55% 前後で特に多くなっている。やや離れて「育児や教育、介護など、家庭でできることをしっかりと行う」が 30.6% となっている。

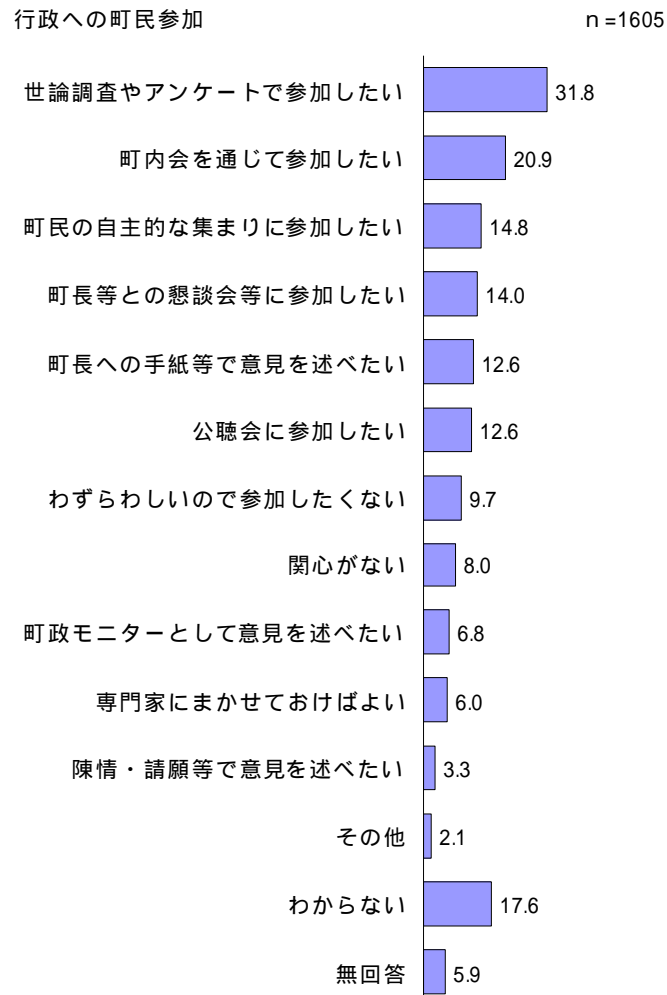
属性別

年齢別では、55 歳以上で「自分のできることは自分で行うという自立自助の意識を持つ」と「食生活や生活リズム、運動などに配慮し、自分の健康管理を行う」が多い。20 歳代～40 歳代では「育児や教育、介護など、家庭でできることをしっかりと行う」が多い。また 18～19 歳では、「自分と異なる世代（幼児・子ども・お年寄りなど）と積極的に交流する」「男性も育児や介護などを積極的に行い、女性も社会参画を積極的に行う」「ボランティア活動に積極的に参加する」「社会貢献活動（NPO 活動など）に積極的に参加する」などがほかに比べ多い。なお、「地域社会の活動（町内会・自治会など）に積極的に参加する」は、概ね年齢層が上がるにつれ上昇する傾向がある。

区分		回答者数	自立自助の意識を持つ	自分の健康管理を行う	育児・介護等の家庭で できること	地域社会の活動	自分と異なる世代との 交流	男性も育児等、女性も 社会参画等を行う	ボランティア活動	社会貢献活動	その他	わからない	無回答
全体		1605	55.5	54.5	30.6	22.8	20.2	13.7	13.5	7.7	1.3	3.9	3.7
性別	男	729	55.1	52.3	28.3	28.0	18.4	13.0	15.5	10.6	1.4	4.1	2.7
	女	798	55.4	57.3	33.6	19.0	22.1	14.8	11.7	5.0	1.1	3.8	3.6
年齢	18～19歳	31	45.2	32.3	16.1	16.1	45.2	25.8	19.4	12.9	0.0	6.5	0.0
	20～29歳	172	45.3	47.1	39.5	13.4	22.1	18.0	15.1	9.9	1.7	5.8	0.6
	30～39歳	229	40.6	44.1	45.9	19.2	27.5	22.7	10.0	9.6	1.3	2.2	0.9
	40～49歳	177	41.2	49.7	37.3	17.5	16.9	17.5	11.9	11.3	2.8	5.1	1.7
	50～54歳	122	47.5	57.4	30.3	21.3	27.0	21.3	12.3	6.6	2.5	1.6	1.6
	55～59歳	184	63.0	59.8	26.1	27.2	15.8	12.0	15.8	7.6	0.0	2.2	3.8
	60～64歳	193	60.6	60.6	24.9	23.8	15.0	9.8	18.7	8.8	1.6	4.1	3.1
	65～69歳	179	67.6	63.7	22.3	26.3	18.4	7.8	16.8	5.6	0.6	3.4	6.1
	70～74歳	142	75.4	59.9	26.1	30.3	19.0	4.9	9.2	1.4	1.4	4.9	5.6
	75～79歳	85	65.9	64.7	20.0	28.2	14.1	7.1	8.2	4.7	0.0	2.4	11.8
80歳以上	73	65.8	49.3	21.9	32.9	17.8	2.7	9.6	2.7	0.0	9.6	11.0	

(2) 行政への町民参加

問 18 行政への町民参加についてどのようにお考えですか。次の中から重要と思われるものを3つ以内で選び、その番号を で囲んでください。



全体結果

行政への町民参加についてどのように考えるかたずねた。「世論調査やアンケートで参加したい」が31.8%と最も多く、次いで「町内会・自治会を通じて参加したい」が20.9%、「町民の自主的な集まり（まちづくりのグループ等）があれば参加したい」が14.8%などとなっている。

属性別

年齢別では、50歳代以下で「世論調査やアンケートで参加したい」が多い。50歳代後半では「町内会・自治会を通じて参加したい」が多く、また50歳代後半～70歳代前半で「町民の自主的な集まり（まちづくりのグループ等）があれば参加したい」への回答も多くなっており、地域の人たちとのつながりを重視する傾向がうかがわれる。

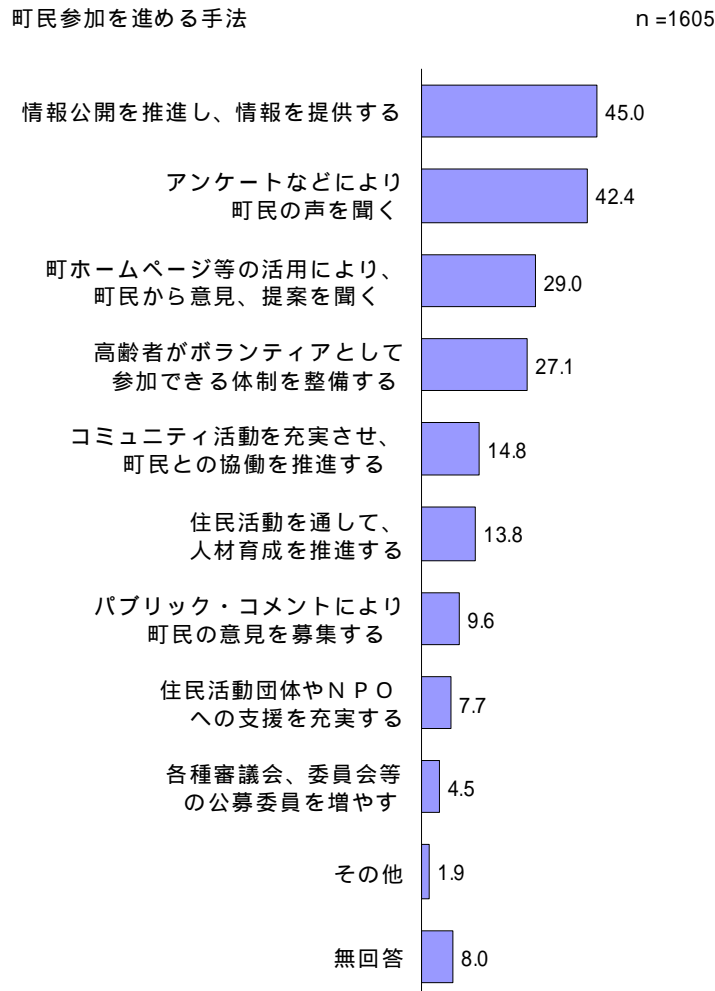
職業別では、農業や商業・サービス業（自営）は「町内会・自治会を通じて参加したい」「町民の自主的な集まり（まちづくりのグループ等）があれば参加したい」「町長や議員との懇談会や対話集会があれば参加したい」が、工業（自営）、学生、派遣社員・アルバイト・パートでは「世論調査やアンケートで参加したい」が40%台前後と多くなっており、農業者や商業・サービス業（自営）と対照的である。

居住年数別では、居住年数が長くなるにつれ「町内会・自治会を通じて参加したい」「町民の自主的な集まり（まちづくりのグループ等）があれば参加したい」が多くなる傾向が見られる。

区分		回答者数	世論調査やアンケートで参加したい	町内会を通じて参加したい	町民の自主的な集まりに参加したい	町長等との懇談会等に参加したい	町長への手紙等みで見を述べたい	公聴会に参加したい	わずらわしいので参加したくない	関心がない	町政モニターとして意見を述べたい	専門家にかかせておけばよい	陳情・請願等で意見を述べたい	その他	わからない	無回答
全体		1605	318	209	148	140	126	126	97	80	68	60	33	21	176	59
性別	男	729	313	229	171	181	133	151	106	75	92	70	38	23	145	47
	女	798	330	198	127	98	125	100	86	85	49	45	28	19	201	61
年齢	18～19歳	31	355	97	129	32	161	00	65	65	65	00	97	00	226	32
	20～29歳	172	413	70	81	87	110	81	99	163	110	35	58	23	174	06
	30～39歳	229	367	127	96	100	218	96	109	92	66	39	26	04	188	22
	40～49歳	177	316	113	73	119	153	96	107	102	85	40	28	28	215	17
	50～54歳	122	336	213	98	156	189	156	82	74	123	57	33	16	123	49
	55～59歳	184	348	266	196	163	125	141	60	43	82	54	27	11	130	38
	60～64歳	193	285	306	238	166	88	135	104	36	73	67	10	31	176	36
	65～69歳	179	279	313	207	184	56	190	112	45	28	56	34	17	123	112
	70～74歳	142	261	289	204	183	70	155	85	63	28	92	49	35	254	85
	75～79歳	85	259	224	153	153	129	153	94	82	35	118	47	35	141	212
80歳以上	73	219	274	137	110	82	123	110	151	00	137	00	00	288	151	
職業	農業	26	269	385	346	192	77	115	77	00	00	154	00	00	192	77
	工業(自営)	43	419	209	163	116	209	163	70	47	70	00	47	00	186	00
	商業・サービス業(自営)	73	192	315	247	205	137	82	82	27	68	68	27	14	123	68
	会社・団体役員	44	295	182	136	205	68	227	114	91	68	23	45	23	136	23
	会社員・公務員・団体職員	399	326	180	123	148	165	133	110	88	100	65	28	15	140	23
	自由業	30	333	200	233	267	233	167	100	67	33	33	33	33	133	100
	学生	50	400	60	140	80	160	20	80	100	120	20	60	00	140	40
	派遣社員・アルバイト・パート	271	373	173	133	133	107	111	100	85	96	52	33	30	181	41
	専業主婦・主夫	273	326	245	147	92	88	121	95	73	48	59	33	22	216	62
	無職	321	280	237	140	150	103	146	90	84	22	69	28	19	221	115
その他	59	271	186	220	136	203	119	68	119	68	68	85	51	119	68	
居住年数	2年未満	55	364	73	55	109	200	109	109	145	73	18	36	00	182	55
	2～4年	68	426	132	118	147	103	103	74	44	88	00	59	00	279	15
	5～9年	123	228	154	114	89	122	73	122	73	65	98	41	16	211	89
	10～19年	265	347	128	136	102	151	117	106	102	98	30	42	08	143	57
	20～29年	422	365	213	152	126	130	111	97	81	69	40	21	19	145	43
	30年以上	664	282	271	169	175	113	154	90	71	54	86	33	32	187	66

(3) 町民参加を進める手法

問 19 行政への町民参加をより一層進めるための手法として、あなたはどのようなことが必要とお考えですか。次の中から重要と思われるものを3つ以内で選び、その番号を で囲んでください。



全体結果

行政への町民参加をより一層進める手法についてどのように考えるかたずねた。「情報公開を推進し、情報を提供する」が45.0%と最も多く、次いで「アンケートなどにより町民の声を聞く」が42.4%と続く。やや離れて「町ホームページ等の活用により、町民から意見、提案を聞く」が29.0%となっている。

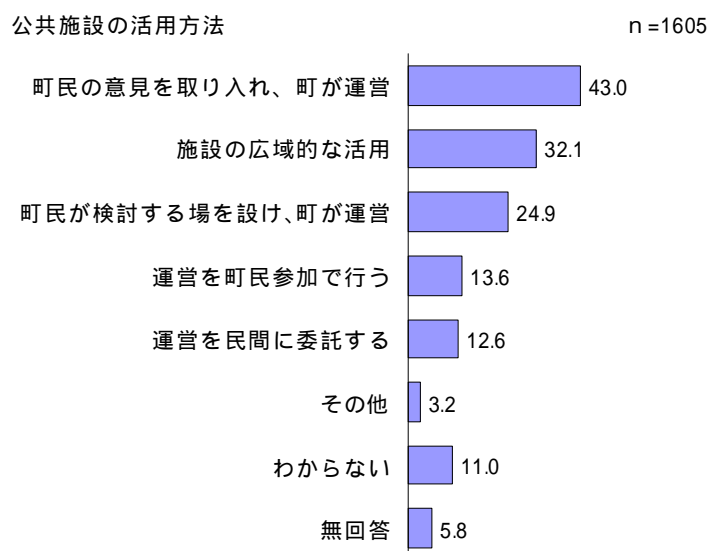
属性別

年齢別では、60歳代以下で「情報公開を推進し、情報を提供する」が多く、20歳代は「アンケートなどにより町民の声を聞く」が、30歳代は「町ホームページ等の活用により、町民から意見、提案を聞く」がそれぞれ多い。なお、60歳代～70歳代前半では「高齢者が、積極的にボランティアとして参加できる体制を整備する」が目立っている。

区分		回答者数	情報公開を推進し、情報を提供する	アンケートなどにより町民の声を聞く	町ホームページ等の活用により、町民から意見、提案を聞く	高齢者がボランティアとして参加できる体制を整備する	高年齢者がボランティアとして参加できる体制を整備する	住民活動を通して、人材育成を推進する	パブリック・コメントにより町民の意見を募集する	住民活動団体やNPOへの支援を充実する	各種審議会、委員会等の公募委員を増やす	その他	無回答
全体		1605	45.0	42.4	29.0	27.1	14.8	13.8	9.6	7.7	4.5	1.9	8.0
性別	男	729	48.3	42.7	31.8	25.4	16.6	13.4	11.0	8.4	6.0	2.1	5.3
	女	798	43.6	42.9	27.1	28.4	13.3	13.8	8.3	7.1	3.5	1.4	9.3
年齢	18～19歳	31	41.9	45.2	29.0	29.0	12.9	9.7	9.7	9.7	0.0	0.0	3.2
	20～29歳	172	48.3	52.9	30.2	17.4	11.0	13.4	17.4	7.6	5.2	1.7	0.6
	30～39歳	229	48.9	47.2	43.2	22.7	12.7	10.0	8.3	7.4	3.5	0.4	2.2
	40～49歳	177	48.6	38.4	32.2	18.1	9.6	13.6	12.4	7.9	2.8	2.8	6.2
	50～54歳	122	48.4	45.9	32.0	24.6	13.1	9.0	13.9	9.0	4.1	3.3	8.2
	55～59歳	184	50.0	39.1	31.0	29.3	21.2	16.3	7.1	6.0	6.0	0.0	6.5
	60～64歳	193	48.2	38.3	23.8	37.3	15.0	16.6	9.3	9.8	6.7	2.1	6.2
	65～69歳	179	46.4	38.0	23.5	34.6	22.9	15.1	9.5	4.5	5.6	1.7	11.2
	70～74歳	142	35.9	43.0	17.6	33.1	13.4	16.2	4.9	9.2	2.8	0.7	15.5
	75～79歳	85	31.8	44.7	22.4	24.7	14.1	20.0	4.7	8.2	2.4	2.4	17.6
80歳以上	73	27.4	39.7	21.9	27.4	16.4	11.0	2.7	5.5	4.1	9.6	20.5	

(4) 公共施設の活用方法

問 20 瑞穂町には、町民会館や地区会館、スカイホール、図書館、中央体育館、町営グラウンドなど、町民の皆様が利用するさまざまな公共施設があります。これらの施設をより効果的かつ効率的に活用するにあたり、重視すべき点は何ですか。次の中から重要と思われるものを2つ以内で選び、その番号を で囲んでください。



全体結果

公共施設をより効果的かつ効率的に活用するにあたり重視すべき点をたずねた。「施設の利用方法について町民の意見を十分に取り入れ、町が運営する」が43.0%と最も多く、次いで「施設を町外の方にも利用しやすいようにして広域的に活用する」が32.1%と続く。また、「施設の利用方法について町民が検討する場を設け、その結果を尊重し町が運営する」も24.9%となっている。

属性別

年齢別では、18～19歳で「施設の利用方法について町民の意見を十分に取り入れ、町が運営する」と「施設の利用方法について町民が検討する場を設け、その結果を尊重し町が運営する」が多い。「施設の運営を町民参加で行う」は60歳代～70歳代前半が多く、概ね年齢が上がるにつれ増えていく。一方、「施設の運営を民間に委託する」は20歳代～60歳代前半及び70歳代後半が目立つ。

居住年数別

居住年数別では、2年～4年で「施設を町外の方にも利用しやすいようにして広域的に活用する」がやや目立っている。

区分		回答者数	町民の意見を取り入れ、町が運営	施設の広域的な活用	町民が検討する場を設け町が運営	運営を町民参加で行う	運営を民間に委託する	その他	わからない	無回答
全体		1605	43.0	32.1	24.9	13.6	12.6	3.2	11.0	5.8
性別	男	729	44.0	30.9	27.4	16.5	15.9	3.2	9.1	3.7
	女	798	43.2	33.3	23.2	11.0	9.4	3.0	12.7	6.6
年齢	18～19歳	31	58.1	29.0	35.5	9.7	3.2	3.2	6.5	0.0
	20～29歳	172	44.2	34.9	24.4	5.2	13.4	2.9	15.1	0.6
	30～39歳	229	40.6	35.8	18.3	9.2	14.0	2.2	13.1	0.9
	40～49歳	177	47.5	35.0	23.7	8.5	10.2	7.3	8.5	2.8
	50～54歳	122	45.9	31.1	21.3	13.9	17.2	6.6	8.2	1.6
	55～59歳	184	34.8	36.4	27.7	13.0	16.8	3.3	7.6	3.8
	60～64歳	193	45.1	33.2	22.8	19.7	16.6	2.1	8.3	5.2
	65～69歳	179	40.2	33.0	31.8	19.6	9.5	1.7	9.5	9.5
	70～74歳	142	48.6	23.9	29.6	19.0	5.6	2.8	12.7	13.4
	75～79歳	85	45.9	25.9	29.4	15.3	11.8	1.2	10.6	14.1
80歳以上	73	37.0	19.2	19.2	16.4	5.5	1.4	24.7	19.2	
居住年数	2年未満	55	36.4	30.9	12.7	14.5	18.2	3.6	16.4	1.8
	2～4年	68	45.6	41.2	19.1	11.8	5.9	1.5	13.2	2.9
	5～9年	123	31.7	33.3	20.3	8.1	11.4	3.3	15.4	8.1
	10～19年	265	48.3	31.7	24.9	11.7	12.5	3.4	9.1	4.5
	20～29年	422	39.8	32.0	25.4	12.8	12.6	3.1	11.6	5.2
	30年以上	664	45.3	31.5	27.0	16.0	13.3	3.5	9.9	6.6
居住地区	殿ヶ谷地区	124	41.9	27.4	27.4	12.9	9.7	6.5	8.1	8.1
	石畑地区	186	47.3	31.2	25.3	13.4	14.0	2.2	11.3	3.2
	箱根ヶ崎地区	470	40.4	32.1	24.0	12.8	14.9	4.0	12.8	4.7
	長岡地区	227	48.5	32.6	25.1	13.7	11.5	3.1	11.0	4.0
	元狭山地区	314	40.8	31.5	24.8	17.2	11.1	3.2	11.5	6.1
	武蔵野地区	270	44.1	36.3	25.6	11.9	11.9	1.1	8.5	7.8

第3章 過去調査結果との比較

本章では、瑞穂町長期総合計画策定のために、平成 11 年 9 月及び平成 16 年 9 月に実施したアンケート調査結果と比較分析を行い、第 3 次長期総合計画策定後の町民の意識やニーズの変化、前期及び後期基本計画の取り組みに対する評価等についてまとめる。

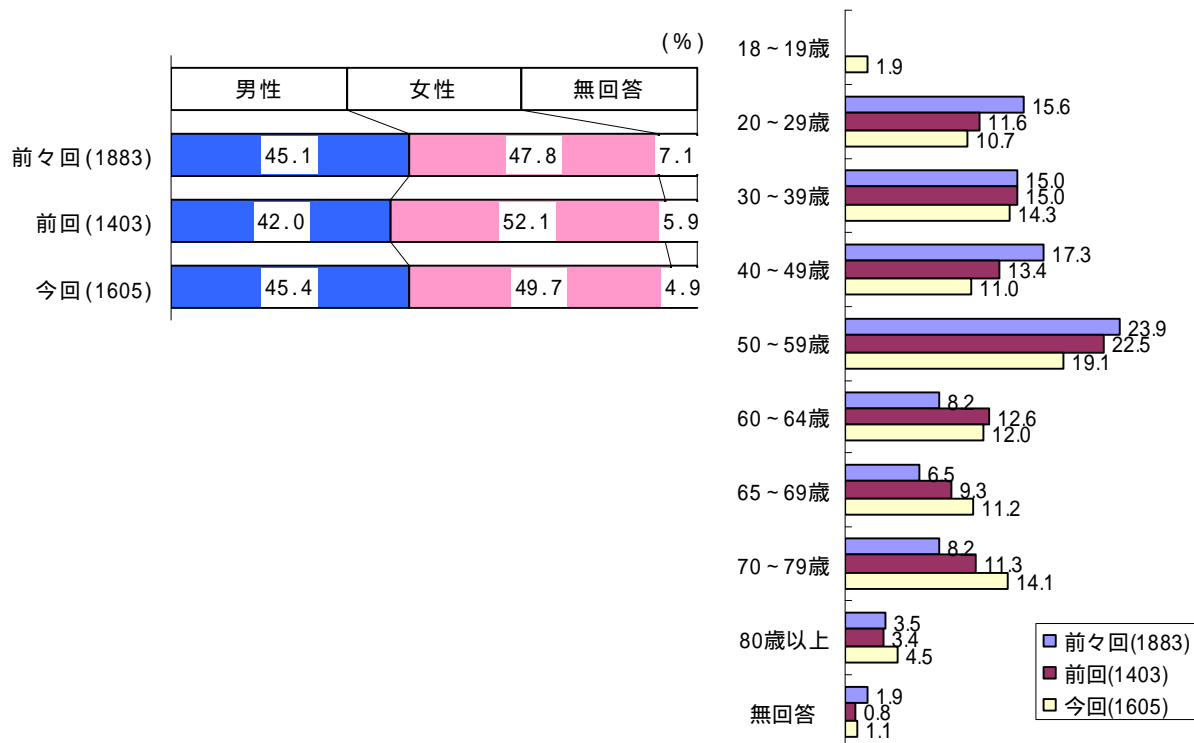
なお、以下の分析中、平成 11 年 9 月に実施した調査結果を「前々回」、平成 16 年 9 月に実施した調査結果を「前回」、今回の調査結果を「今回」と表記している。

1 回答者の属性について

(1) 性・年齢

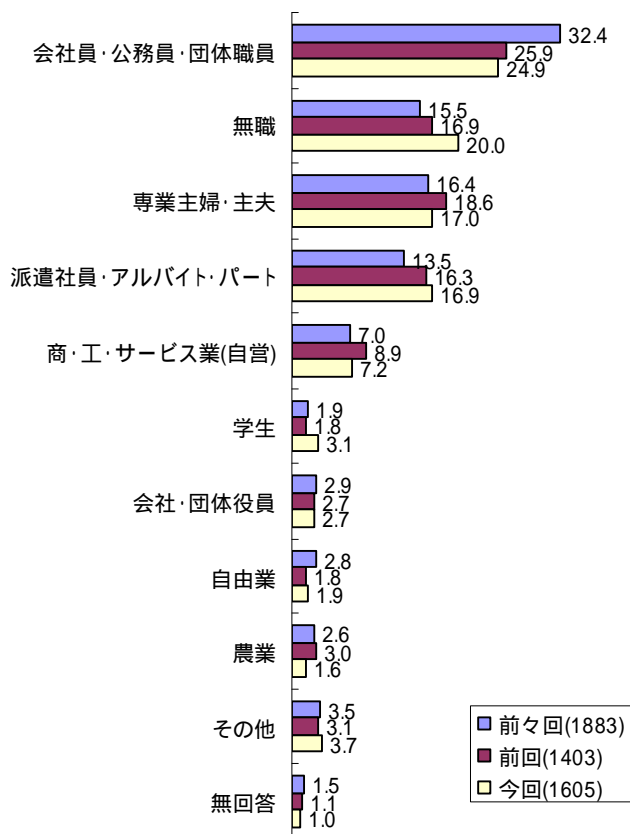
性別については、各回とも「女性」が「男性」をやや上回っている。

年齢は、前々回、前回、今回とも「50～59 歳」が最も多いことには変わりはないが、今回は前々回、前回に比べ 65 歳以上の割合が増えるとともに、50 歳代以下が少ない傾向となっており、回答者は高齢化の傾向がある。

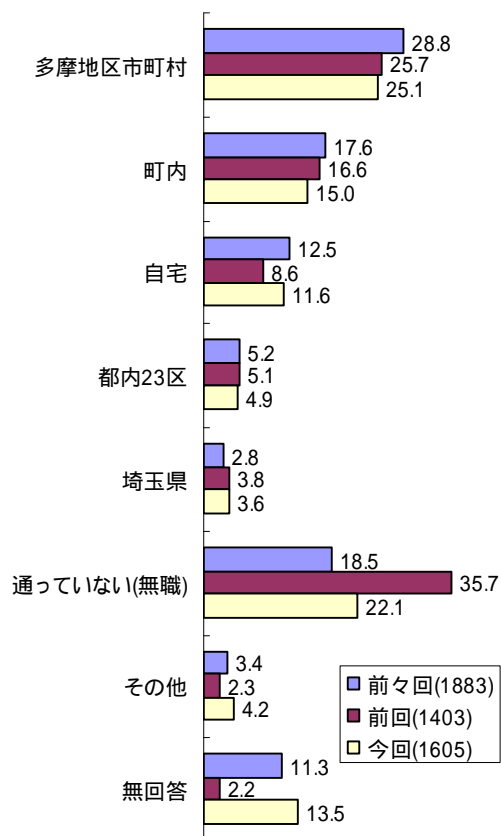


(2) 仕事

職業は、「会社員・公務員・団体職員」が前々回の 32.4% から今回 24.9% へと低下し、代わって「派遣社員・アルバイト・パート」「無職」などがわずかに上昇している。

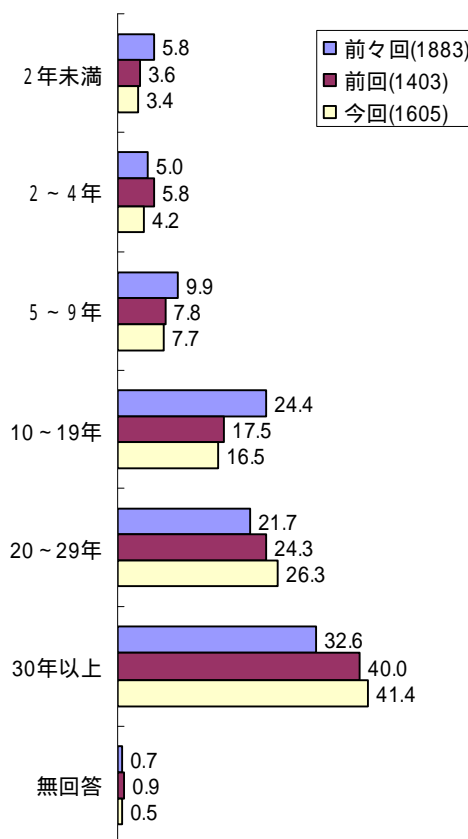


職場・通学先については、「通っていない(無職)」が、前回の 35.7% から今回は 22.1% へと低下している。

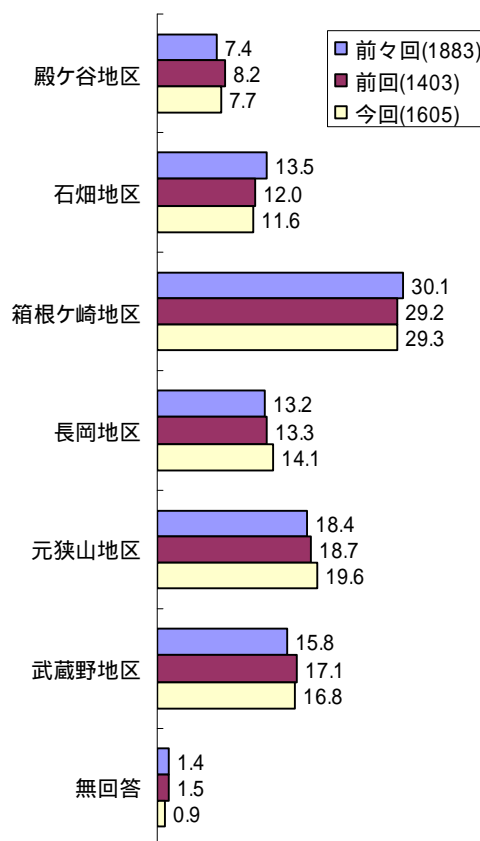


(3) 居住の状況

町内の居住年数は、20年以上と居住歴の長い層の割合が上昇する傾向にある。



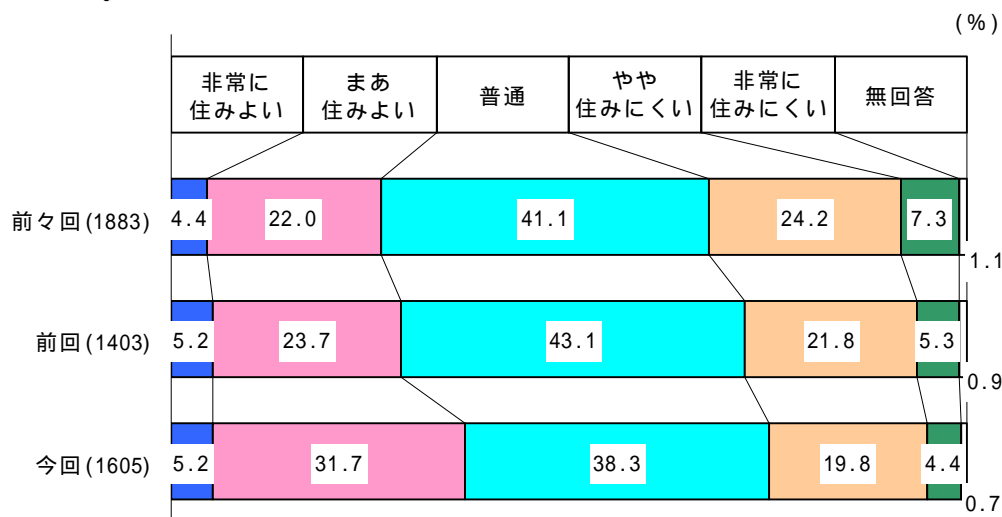
居住地区は、各回とも「箱根ヶ崎地区」が約30%で最も多く、次いで「元狭山地区」「武蔵野地区」など、あまり大きな差はみられない。「石畑地区」は微減傾向にある。



2 瑞穂町の生活について

(1) 住みよさ

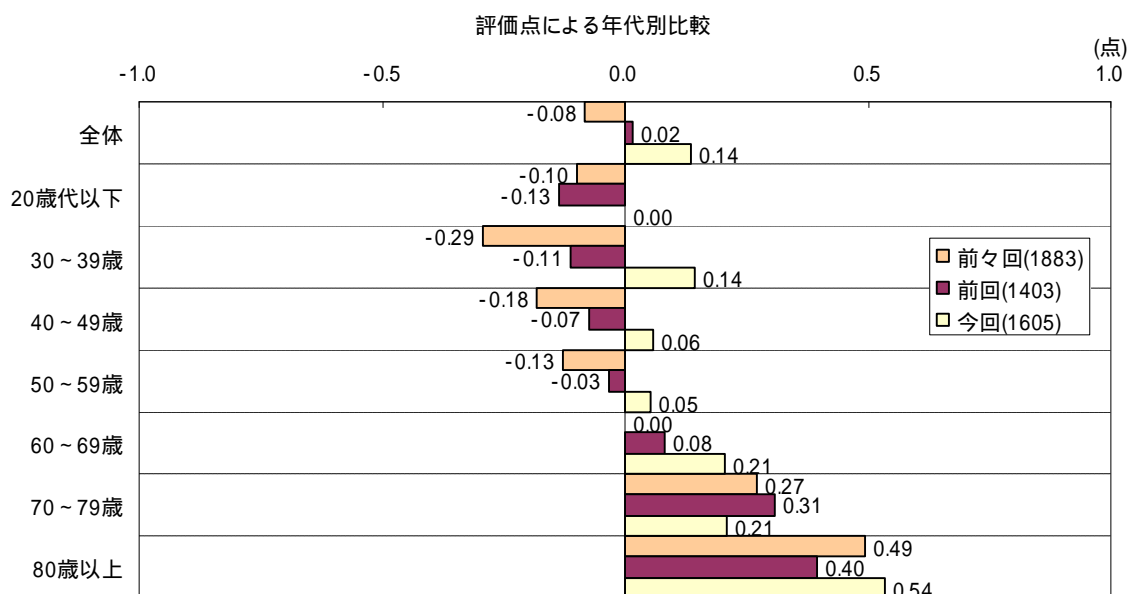
まちの住みよさは、「普通」以上のプラス評価の回答がいずれも前々回、前回より多くなっており、一方、「やや住みにくい」「非常に住みにくい」というマイナス評価の回答が少なくなっている。



なお、今回は、回答者の高齢化が進展しており、高齢層ではまちの住みよさなどに対する評価が比較的高くなる傾向がある。

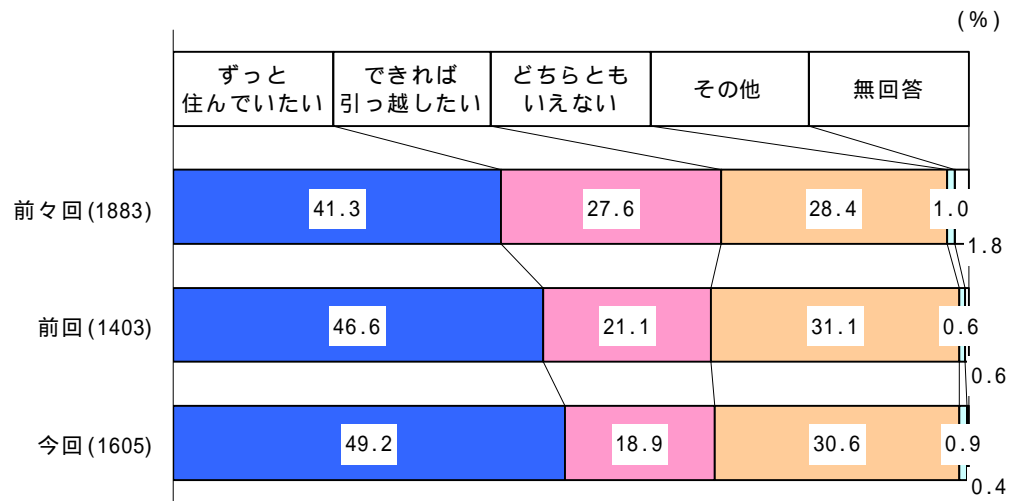
そこで、各年齢ごとの評価を見てみることにする。各選択肢の得点は、「非常に住みよい」2点、「まあ住みよい」1点、「普通」0点、「やや住みにくい」-1点、「非常に住みにくい」-2点とした。

この結果、前々回、前回は50歳代以下ではマイナス評価となっていたものが、今回はプラス評価へと転じ、特に比較的若い世代の評価の上昇が、全体としての評価を押し上げている様子が見られる。



(2) 定住意向

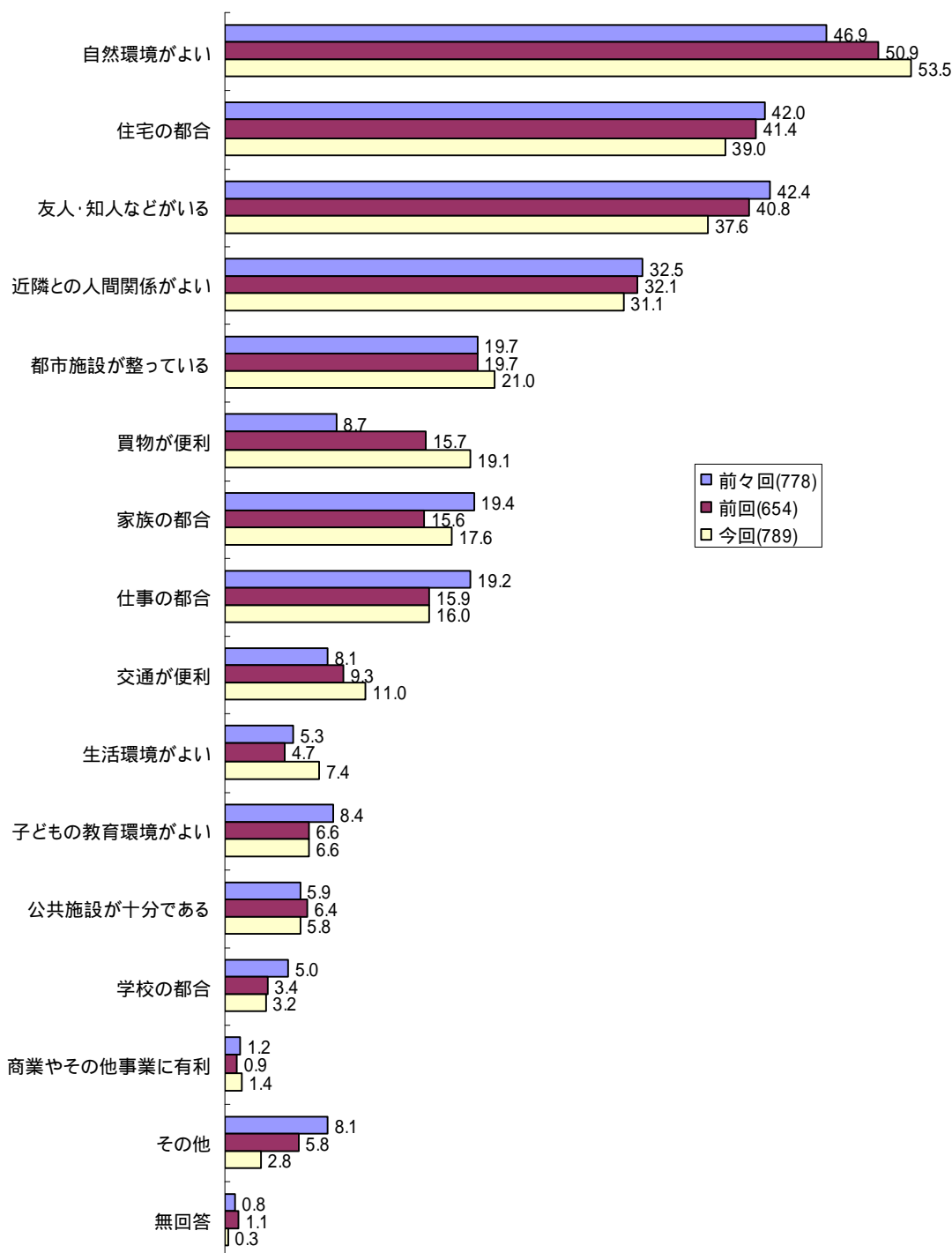
今後も町に住み続けたいかについては、「ずっと住んでいたい」が前々回、前回より多くなっており、一方、「できれば引っ越したい」が低下している。先の町の住みよさが上昇していることとあわせ、町に住み続けたいと思う人が増えているものと考えられる。



(3) 住み続けたい理由

ずっと住んでいたいと回答した人の理由については、前回、今回とも、「自然環境がよい」を筆頭に、「住宅の都合」「友人・知人などがいる」「近隣との人間関係がよい」などが多く、住み続けたい理由の主なところに変化はない。

しかしその中で、「自然環境がよい」がわずかに上昇傾向にあるとともに、「買物が便利」も大きく上昇している。一方、「友人・知人などがいる」「近隣との人間関係がよい」はわずかではあるが低下傾向を見せている。

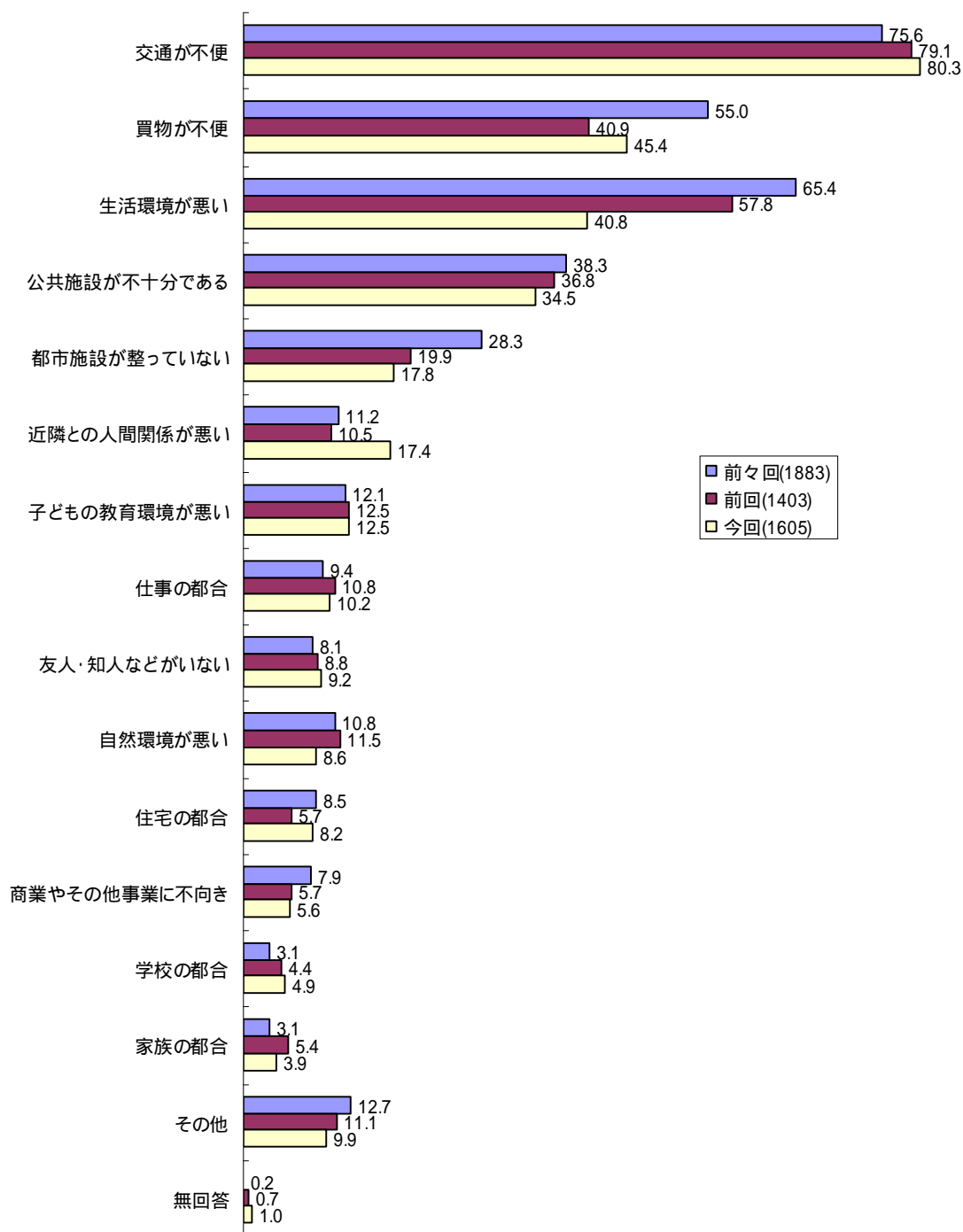


(4) 引っ越したい理由

引っ越したい理由については、「交通が不便」を筆頭に、「買物が不便」、「騒音、悪臭などがあり生活環境が悪い」「公共施設が不十分である」などが多く、引っ越したい理由の主なところに大きな変化は見られない。

しかし、その中で、「交通が不便」や「近隣との人間関係が悪い」がわずかに上昇している。一方、「騒音、悪臭などがあり生活環境が悪い」については、大きく低下しており、住み続けたい理由として自然環境のよさが高く評価されていることとあわせ、環境のよさが上昇していることがうかがえる。

なお、買物の便については、前々回 55.0%から前回及び今回ともに 40%台となっており、買物の利便性は向上している。



3 瑞穂町の将来像や現状の評価について

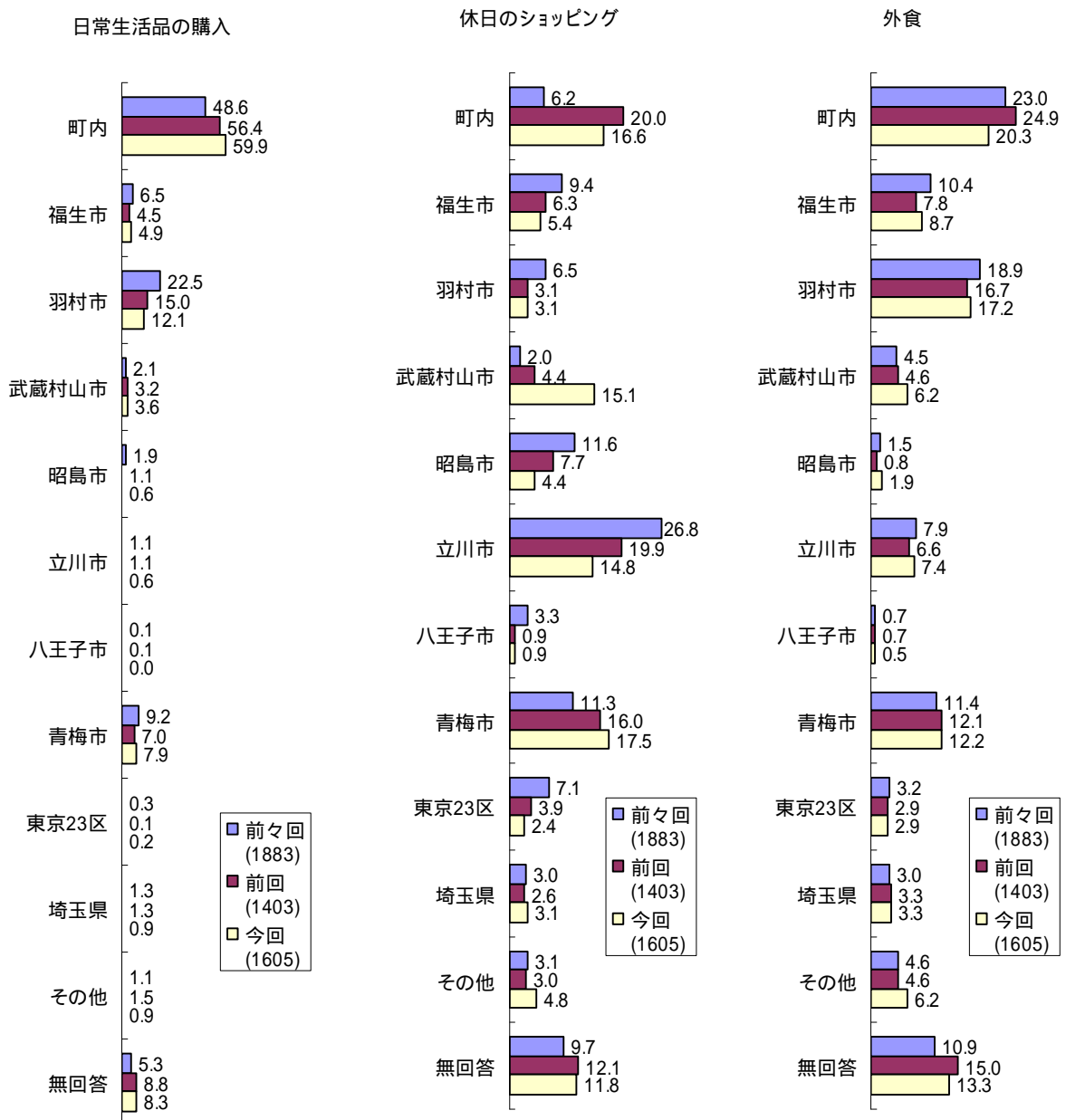
(1) 生活行動の場所

【買物・外食】

買物のうち日常生活品については、「町内」が前々回、前回、今回と上昇する傾向にあり、町内での購入割合が高まっている。

休日のショッピングについては、「立川市」が大きく落ち込み、代わって「武蔵村山市」や「青梅市」の上昇が見られる。

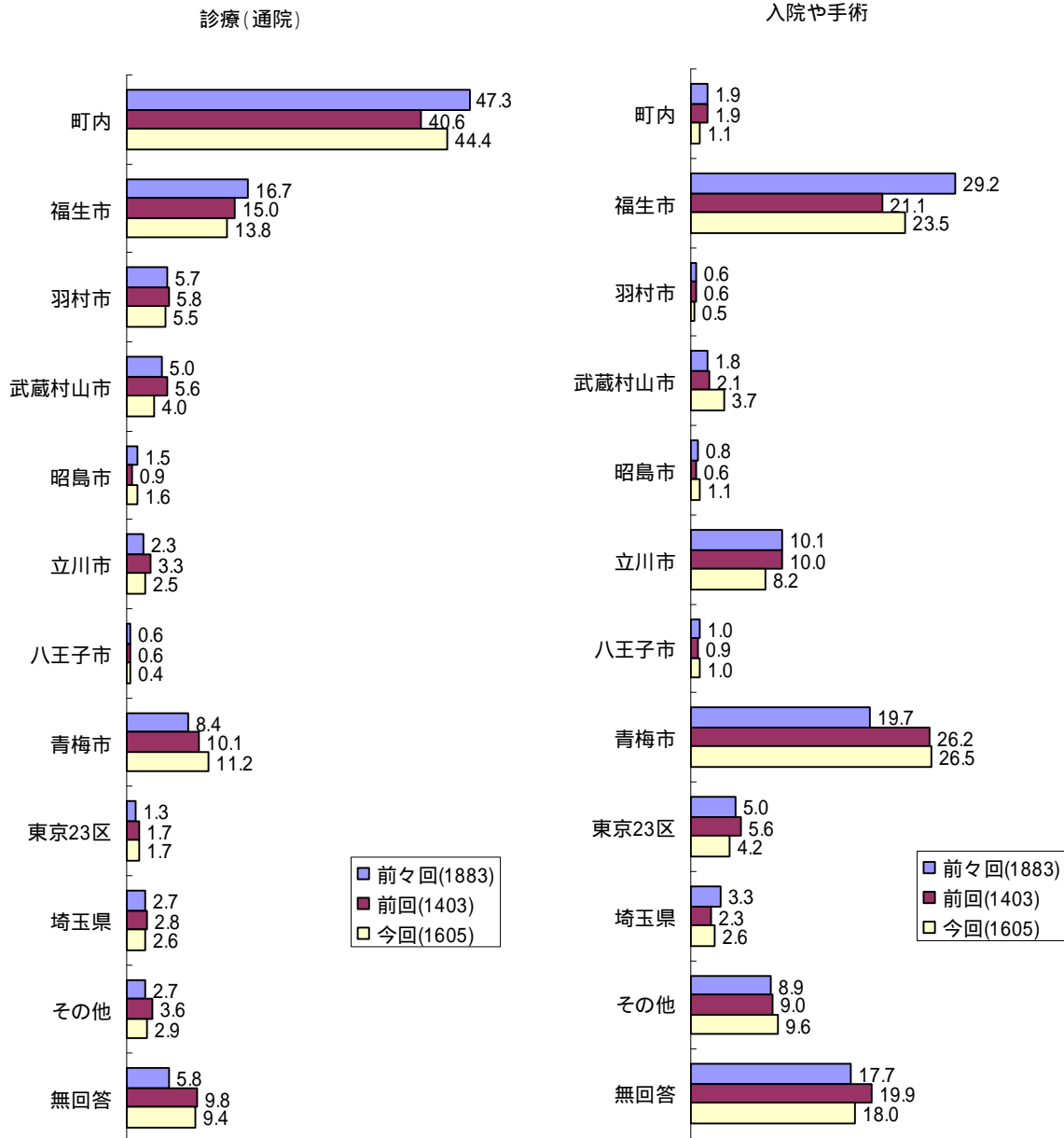
外食については、いずれの回でも「町内」が最も多いが、全体に分散傾向にあることは変わらず、大きな変化は見られない。



【医療】

医療のうち、診療（通院）については、いずれの回も「町内」が最も多く、次いで「福生市」「青梅市」と続き、あまり大きな変化は見られない。

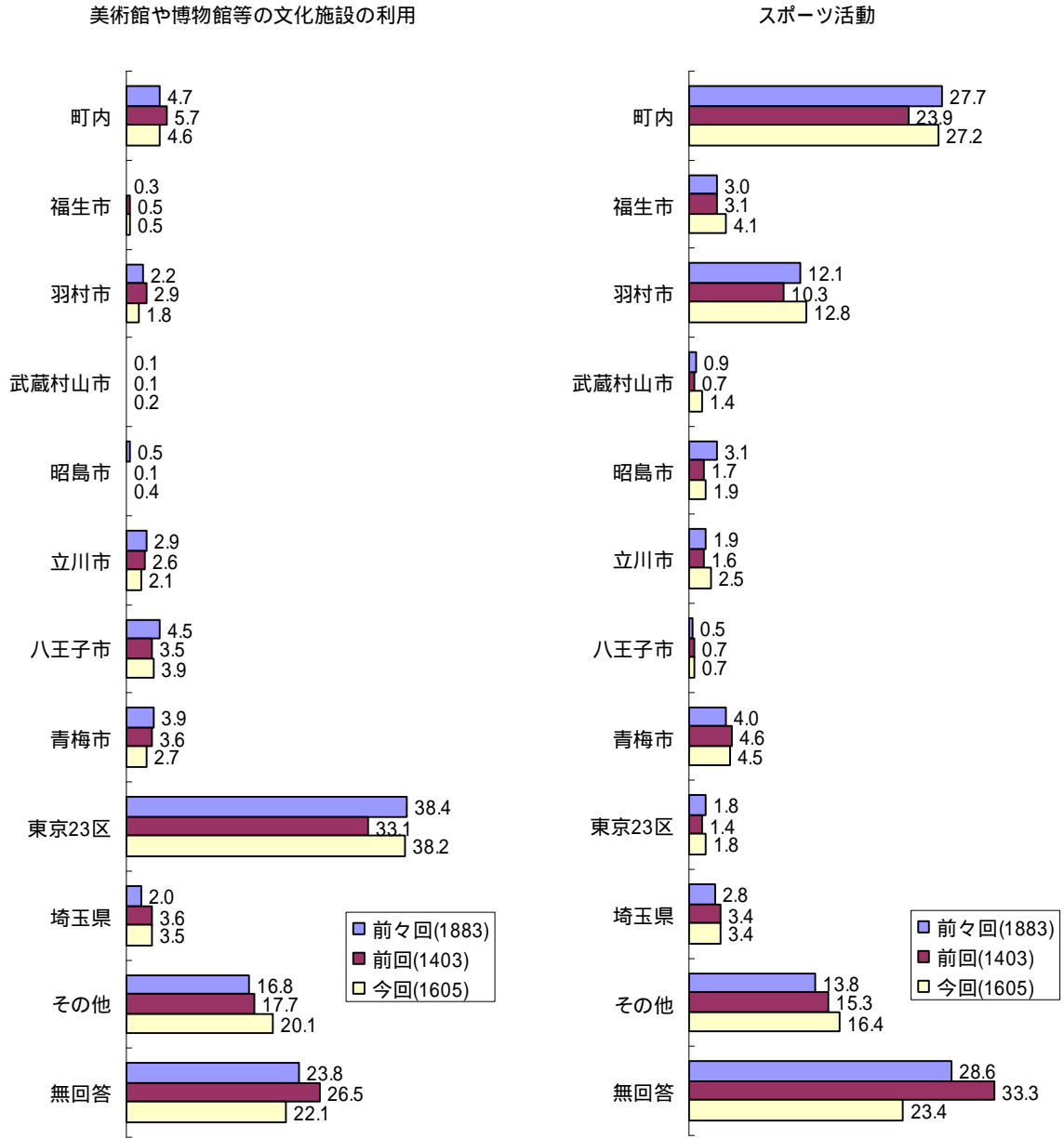
また、入院や手術については、前々回は「福生市」「青梅市」の順で多くなっていたが、前回及び今回は「青梅市」が「福生市」を上回る結果となっている。



【文化・スポーツ活動】

文化・スポーツ活動のうち、美術館や博物館等の文化施設の利用については、いずれの回も「東京23区」が最も多く、あまり大きな変化は見られない。

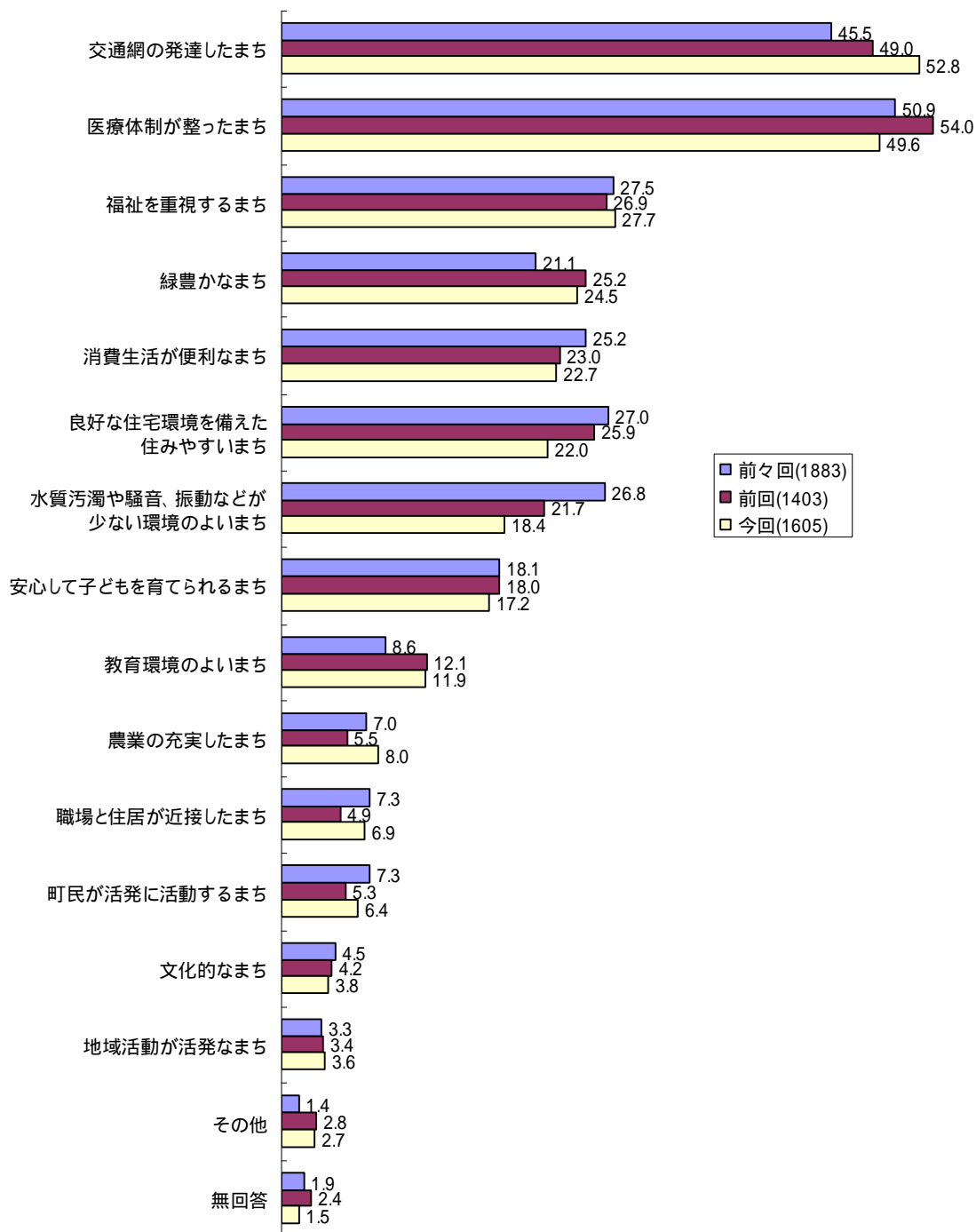
また、スポーツ活動については、「町内」は前回 23.9%から今回 27.2%へとやや上昇しているものの、あまり大きな変化は見られない。



(2) 将来像

町の将来の姿については、前々回、前回、今回とも「道路や鉄道などの交通網の発達したまち」「病院や診療所など医療体制が整ったまち」がそれぞれ 50%前後、次いで「高齢者や障がいのある人のための施設や生活環境の整った福祉を重視するまち」などが多くなっている。

なお、前々回、前回は第1位であった「医療」から、今回は、「交通網」が整ったまちが最も多くなっている。

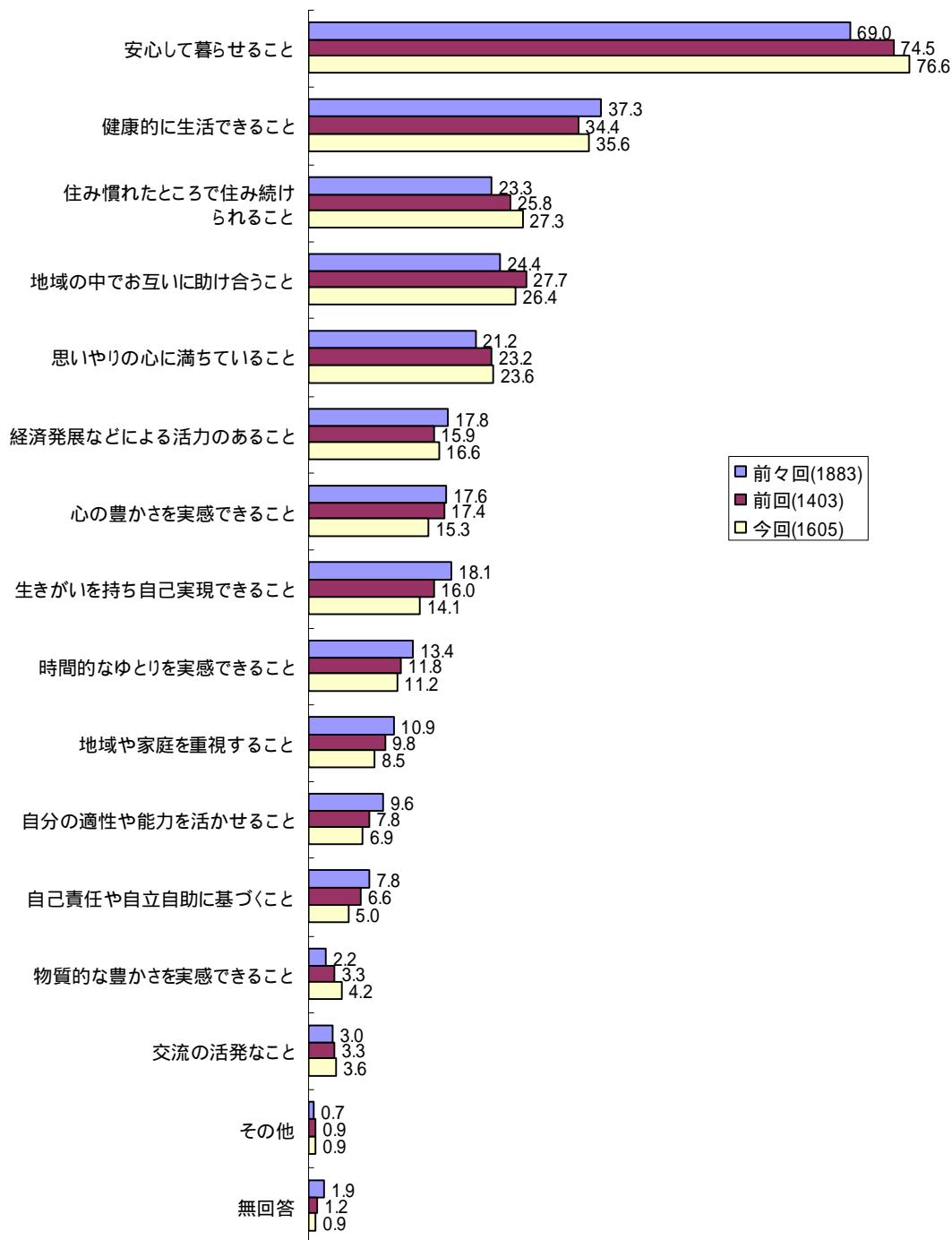


(3) 社会が重視すべきこと

これからの社会が重視すべきことは、「安心して暮らせること」が前々回、前回、今回とも3分の2以上の方があげ、他の回答を大きく引き離しているなかで、わずかだが上昇傾向にある。

「健康的に生活できること」は、いずれの回でも2位にあげられ、あまり大きな変化は見られない。

これらに次いであげられている「住み慣れたところで住み続けられること」「地域の中でお互いに助け合うこと」「思いやりの心に満ちていること」は、いずれの回でも大きな差はなく、地域社会における町民同士のつながりが大切にされているものと思われる。



(4) 町政の各分野に対する評価

町政の各分野についての満足度と重要度をたずねた。

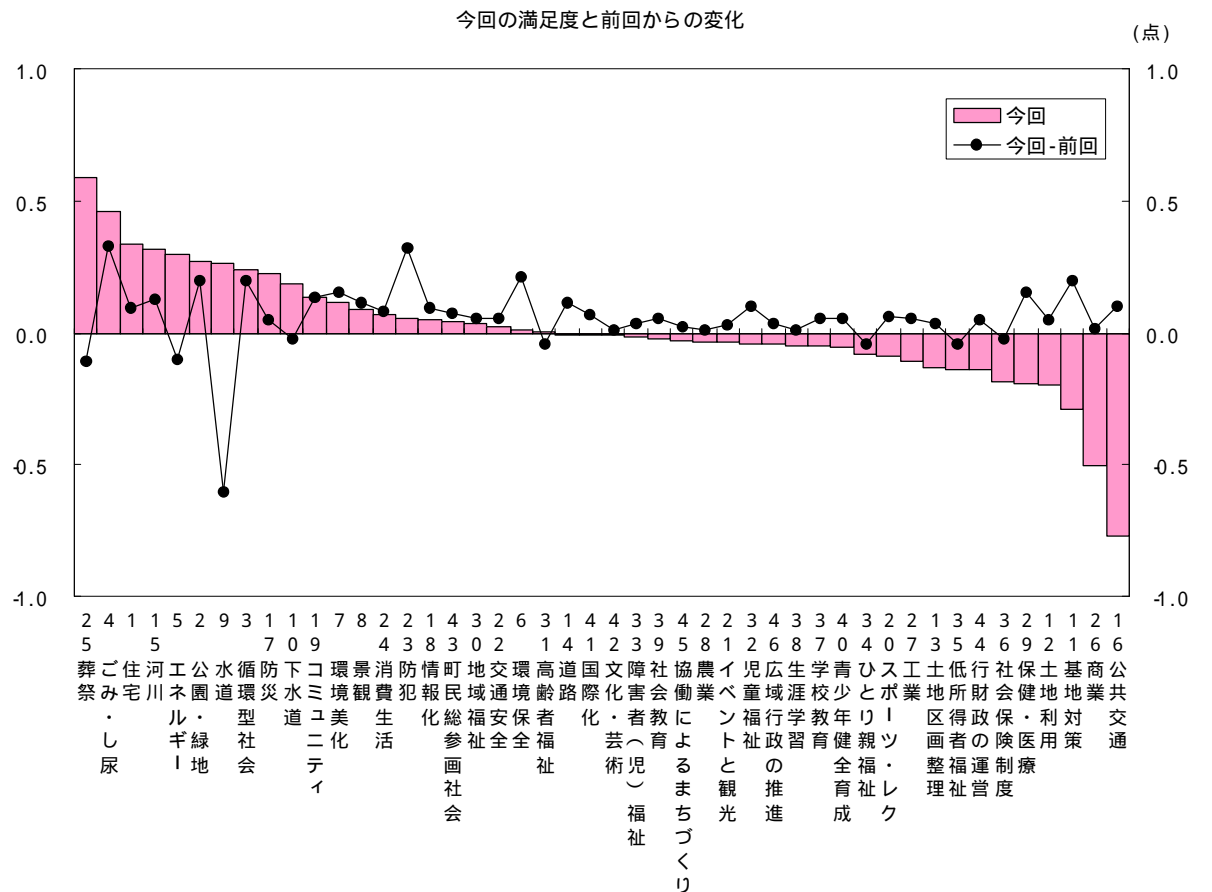
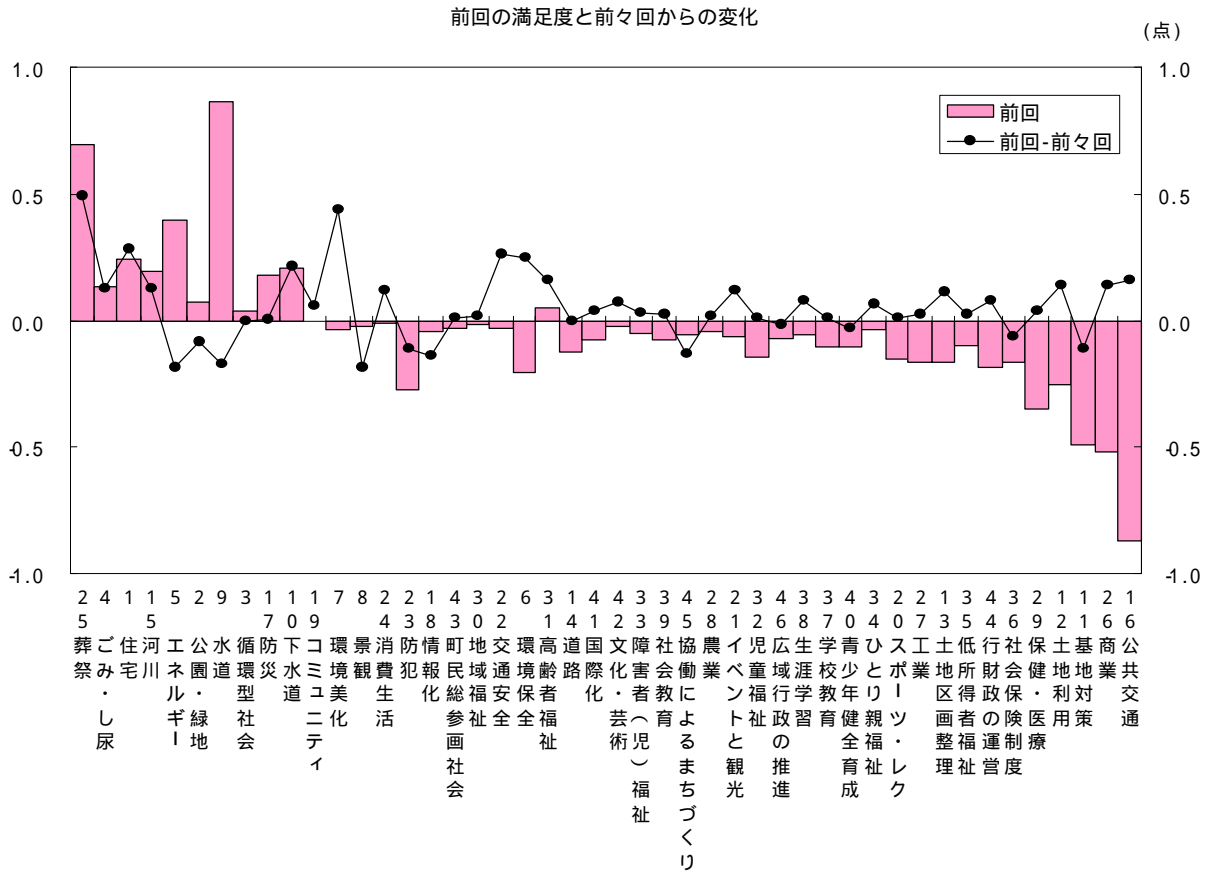
下表は、満足度、重要度それぞれについて評価点（加重平均値）を算出し、一覧にしたものである。

分野	項目	満足度				重要度			
		前々回	前回	今回	差	前々回	前回	今回	差
居住空間	(1)住宅	-0.04	0.24	0.33	0.23	0.93	1.24	1.17	0.31
	(2)公園・緑地	0.15	0.07	0.27	0.16	0.78	0.95	0.91	0.17
	(3)循環型社会	-	0.04	0.24	0.20	-	0.88	0.84	-0.04
	(4)ごみ・し尿	0.01	0.13	0.46	0.39	1.25	1.24	1.15	-0.01
	(5)エネルギー	0.58	0.40	0.29	-0.20	1.12	1.07	1.07	-0.05
	(6)環境保全	-0.45	-0.21	0.01	0.34	1.28	1.16	1.06	-0.12
	(7)環境美化	-0.48	-0.04	0.12	0.38	1.17	1.00	0.93	-0.17
	(8)景観	0.16	-0.03	0.09	0.02	0.57	0.58	0.58	0.01
	(9)水道	1.04	0.87	0.26	-0.69	1.35	1.39	1.18	0.04
	(10)下水道	-0.01	0.21	0.18	0.08	1.36	1.31	1.17	-0.05
	(11)基地対策	-0.38	-0.49	-0.29	0.15	1.07	1.17	0.91	0.10
都市基盤	(12)土地利用	-0.39	-0.25	-0.20	0.12	0.72	0.72	0.69	0.00
	(13)土地区画整理	-0.28	-0.17	-0.13	0.09	0.65	0.65	0.62	0.00
	(14)道路	-0.12	-0.12	-0.01	0.11	1.16	1.06	0.93	-0.10
	(15)河川	0.07	0.19	0.32	0.19	0.78	0.74	0.72	-0.04
	(16)公共交通	-1.03	-0.87	-0.77	0.18	1.37	1.35	1.37	-0.02
	(17)防災	0.18	0.18	0.22	0.04	1.08	1.19	1.17	0.11
	(18)情報化	0.09	-0.05	0.05	0.03	0.38	0.72	0.69	0.34
生活環境	(19)コミュニティ	-0.06	0.00	0.13	0.16	0.22	0.47	0.48	0.25
	(20)スポーツ・レクリエーション	-0.16	-0.15	-0.09	0.06	0.48	0.44	0.42	-0.04
	(21)イベントと観光	-0.19	-0.07	-0.04	0.09	0.09	0.14	0.18	0.05
	(22)交通安全	-0.29	-0.03	0.02	0.18	1.01	0.97	0.98	-0.04
	(23)防犯	-0.16	-0.27	0.05	0.27	1.04	1.32	1.25	0.28
	(24)消費生活	-0.13	-0.01	0.07	0.14	0.72	0.78	0.79	0.06
産業	(25)葬祭	0.21	0.70	0.59	0.14	0.69	0.68	0.76	-0.01
	(26)商業	-0.66	-0.52	-0.51	0.08	0.81	0.74	0.77	-0.07
	(27)工業	-0.19	-0.17	-0.11	0.07	0.48	0.41	0.47	-0.07
保健・医療・福祉	(28)農業	-0.06	-0.05	-0.03	0.02	0.42	0.47	0.64	0.05
	(29)保健・医療	-0.39	-0.35	-0.19	0.18	1.37	1.43	1.34	0.06
	(30)地域福祉	-0.04	-0.02	0.04	0.07	0.65	0.75	0.73	0.10
	(31)高齢者福祉	-0.11	0.05	0.01	0.04	1.10	0.99	1.02	-0.11
	(32)児童福祉	-0.15	-0.14	-0.04	0.11	0.96	1.04	1.09	0.08
	(33)障害者(児)福祉	-0.08	-0.05	-0.02	0.05	0.87	0.90	0.93	0.03
	(34)ひとり親福祉	-0.10	-0.04	-0.08	-0.01	0.76	0.68	0.70	-0.08
	(35)低所得者福祉	-0.12	-0.10	-0.14	-0.03	0.65	0.63	0.75	-0.02
	(36)社会保険制度	-0.10	-0.16	-0.19	-0.06	1.00	1.03	1.12	0.03
教育・文化	(37)学校教育	-0.12	-0.11	-0.05	0.06	0.97	1.09	1.03	0.12
	(38)生涯学習	-0.14	-0.06	-0.05	0.05	0.63	0.61	0.55	-0.02
	(39)社会教育	-0.11	-0.08	-0.03	0.06	0.66	0.67	0.60	0.01
	(40)青少年健全育成	-0.08	-0.11	-0.05	0.04	0.72	0.74	0.67	0.02
	(41)国際化	-0.11	-0.08	-0.01	0.08	0.19	0.26	0.21	0.07
	(42)文化・芸術	-0.09	-0.02	-0.01	0.05	0.34	0.30	0.29	-0.04
	(43)町民総参画社会	-0.04	-0.03	0.04	0.07	0.28	0.41	0.35	0.13
推計画	(44)行財政の運営	-0.26	-0.19	-0.14	0.09	0.86	0.85	0.79	-0.01
	(45)協働によるまちづくり	0.07	-0.06	-0.03	-0.04	0.45	0.67	0.63	0.22
	(46)広域行政の推進	-0.06	-0.07	-0.04	0.03	0.35	0.50	0.47	0.15

差は、前々回及び前回の平均値と今回の比較

「循環型社会」は前々回設定していないため、前回との比較

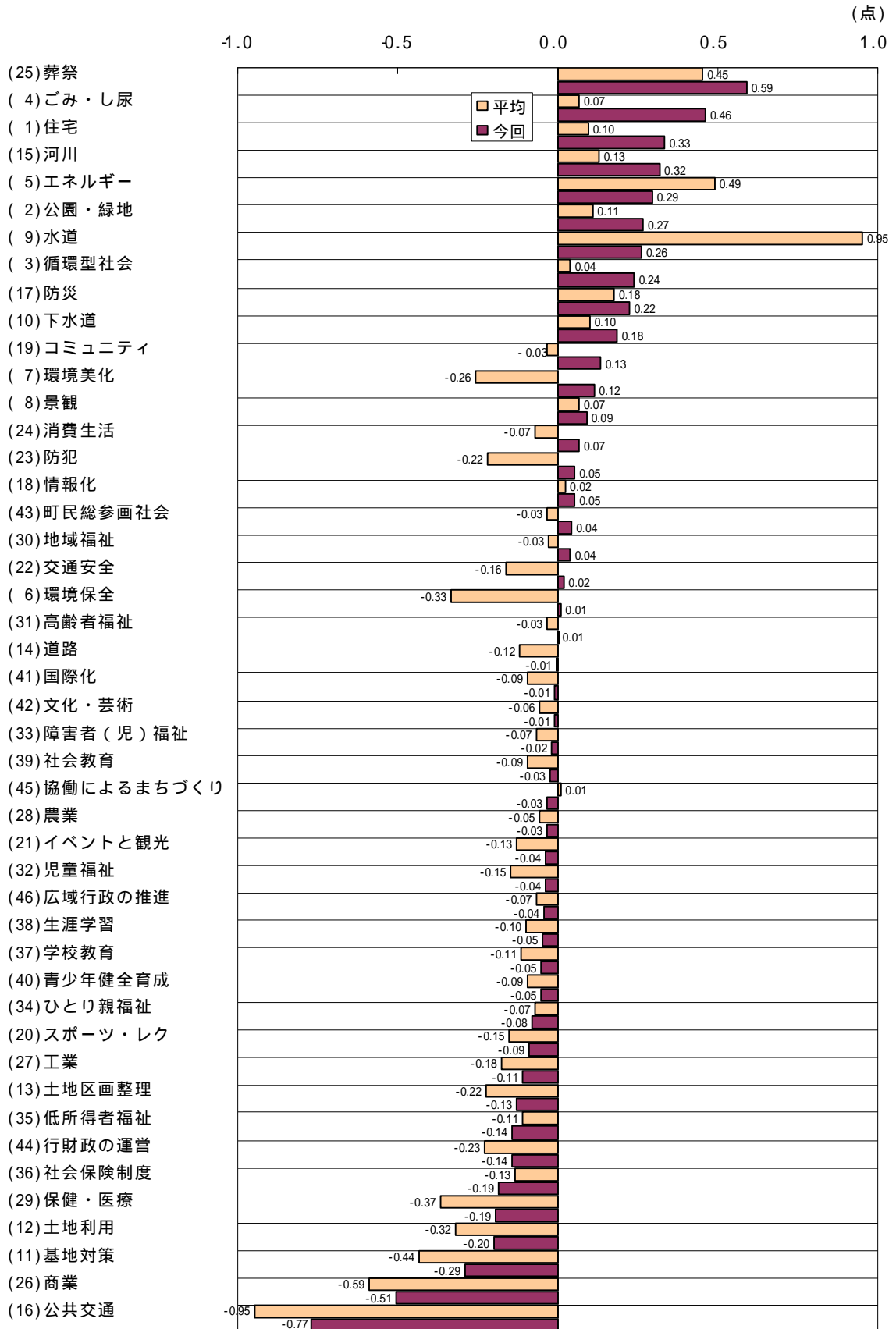
【満足度の各回毎の変化】



【満足度の変化】

前々回及び前回の平均値と今回の満足度は下のグラフのとおりである（今回の満足度の高い順に並べた）。

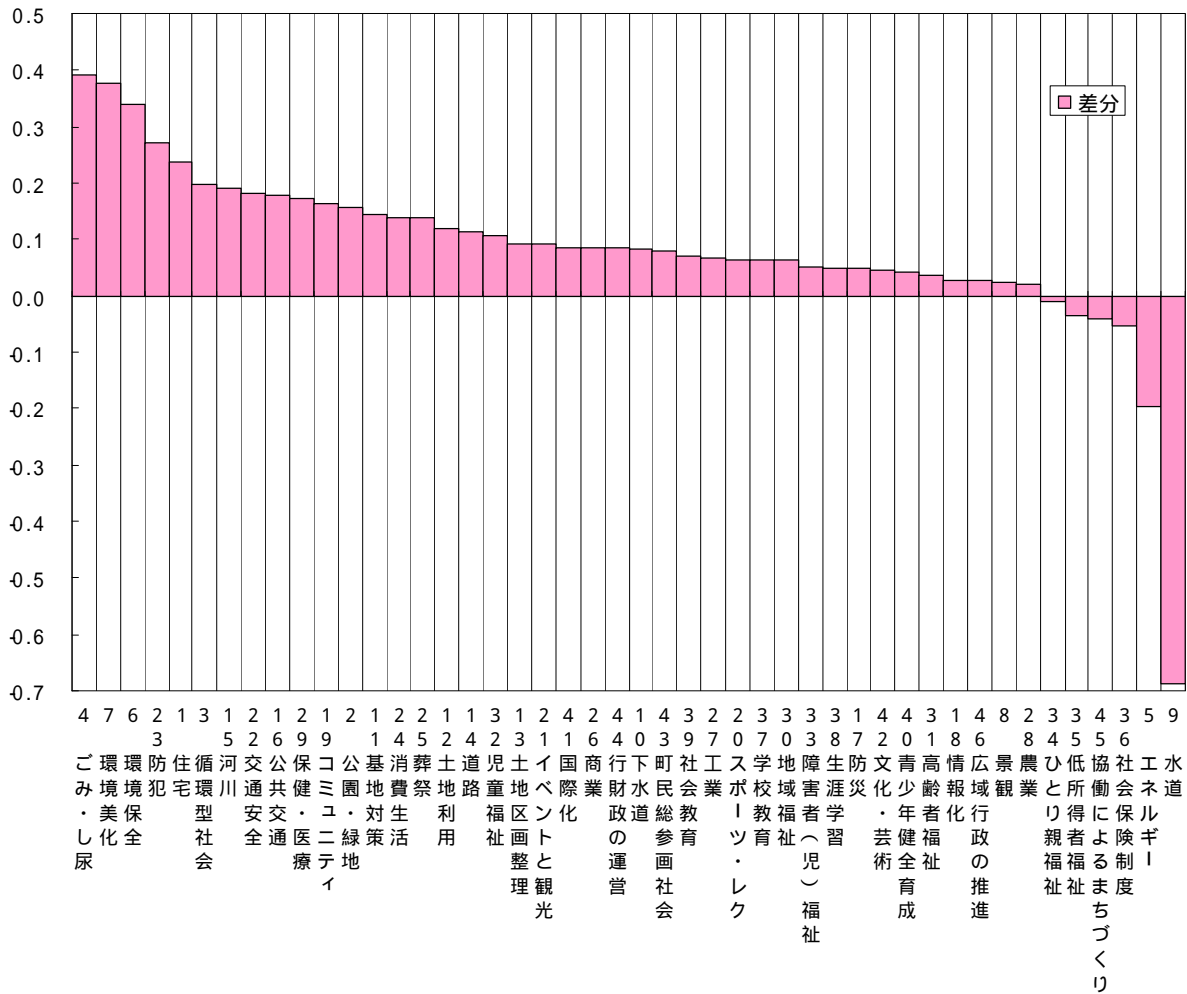
満足度の変化（前々回・前回平均値と今回の比較）



下のグラフは、前々回及び前回の評価点の平均値と今回の評価点との差分を棒グラフで表したものである。評価の変化に着目すると、ほとんどの項目の満足度が上昇しているなかで、特に目立つものとして「ごみ・し尿」「環境美化」「環境保全」「防犯」などがあげられる。一方、満足度が低下しているものとして「水道」「エネルギー」「社会保険制度」などがあげられる。

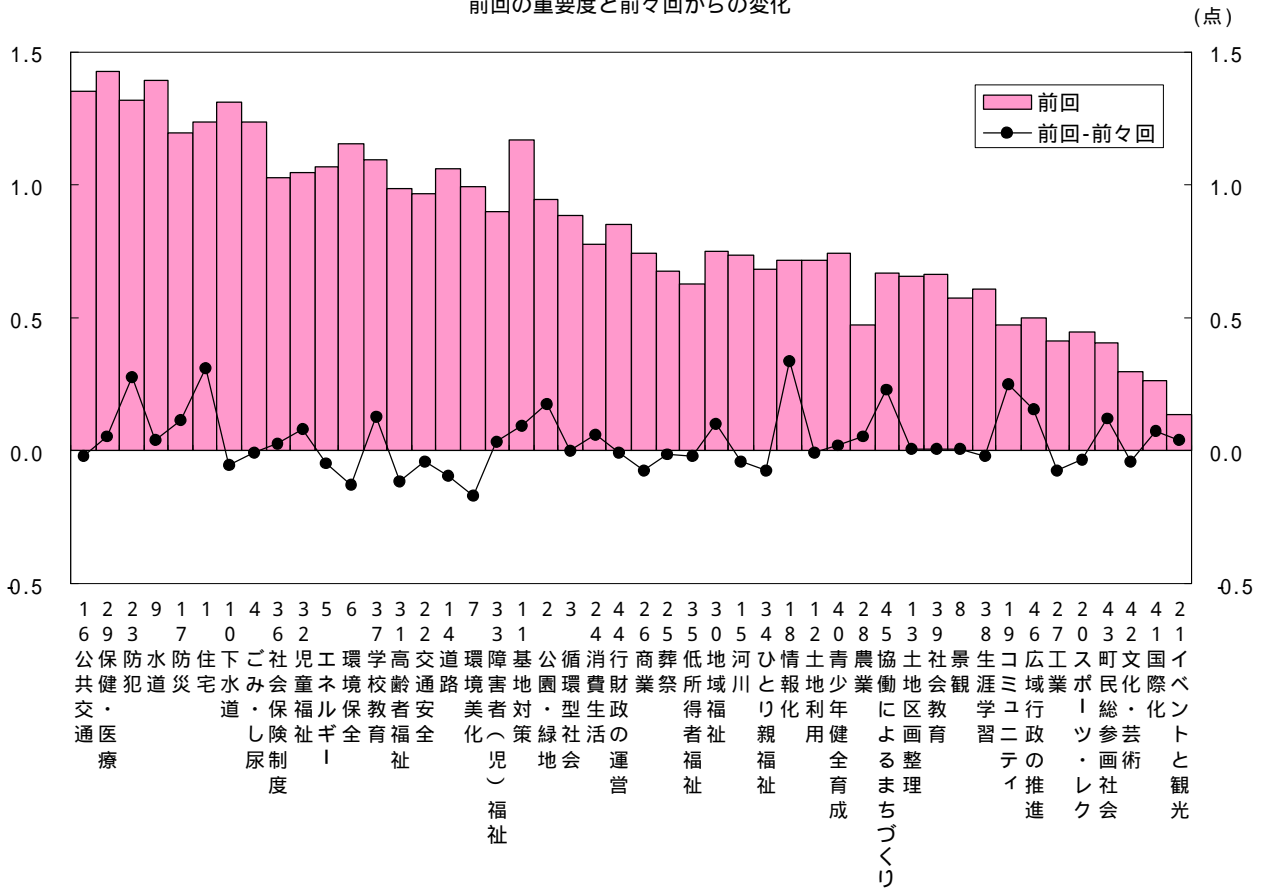
全般には、絶対的な評価は別として、ほとんどの項目において評価は上昇傾向を見せ、少なからず改善しているものと評価されていることがうかがわれる。

今回の満足度と前々回・前回平均値からの差分（降順）

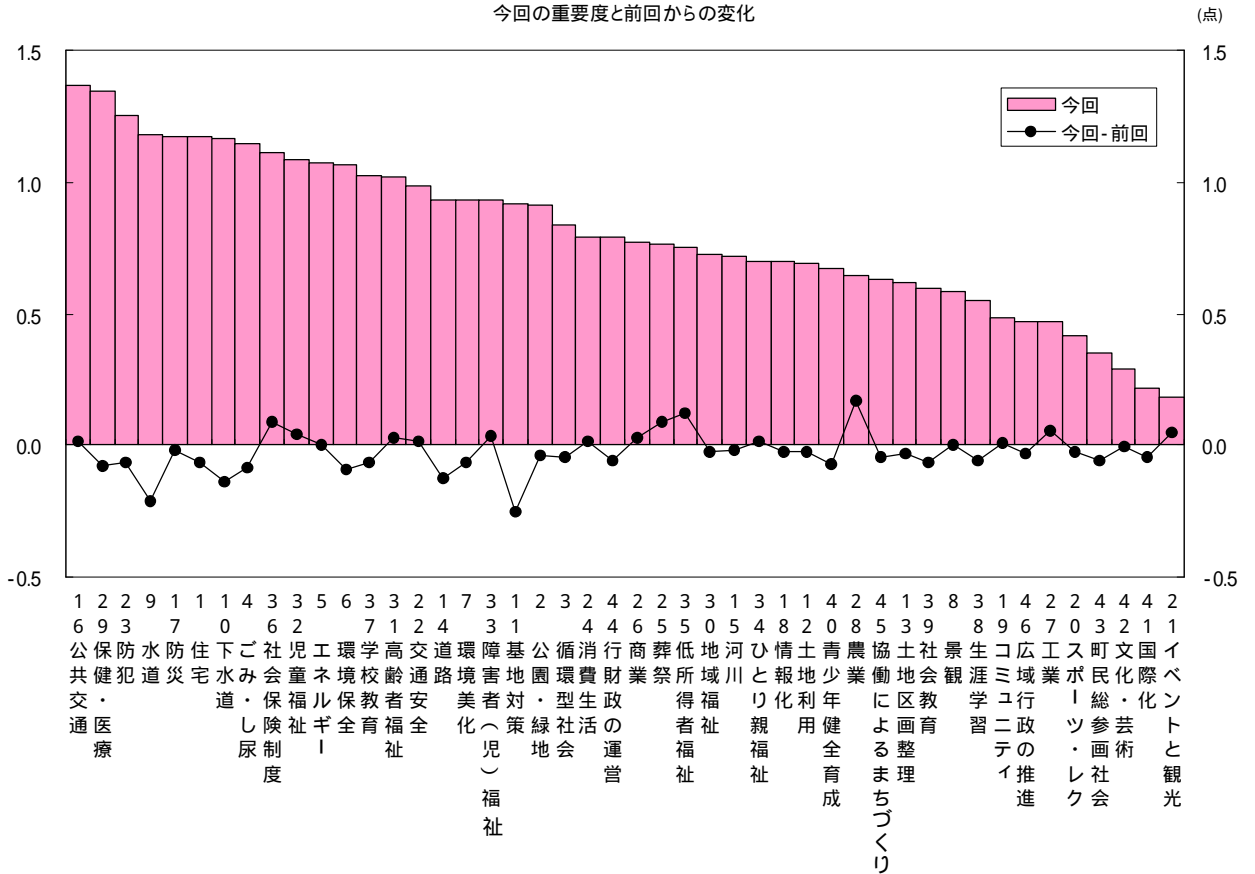


【重要度の各回毎の変化】

前回の重要度と前々回からの変化

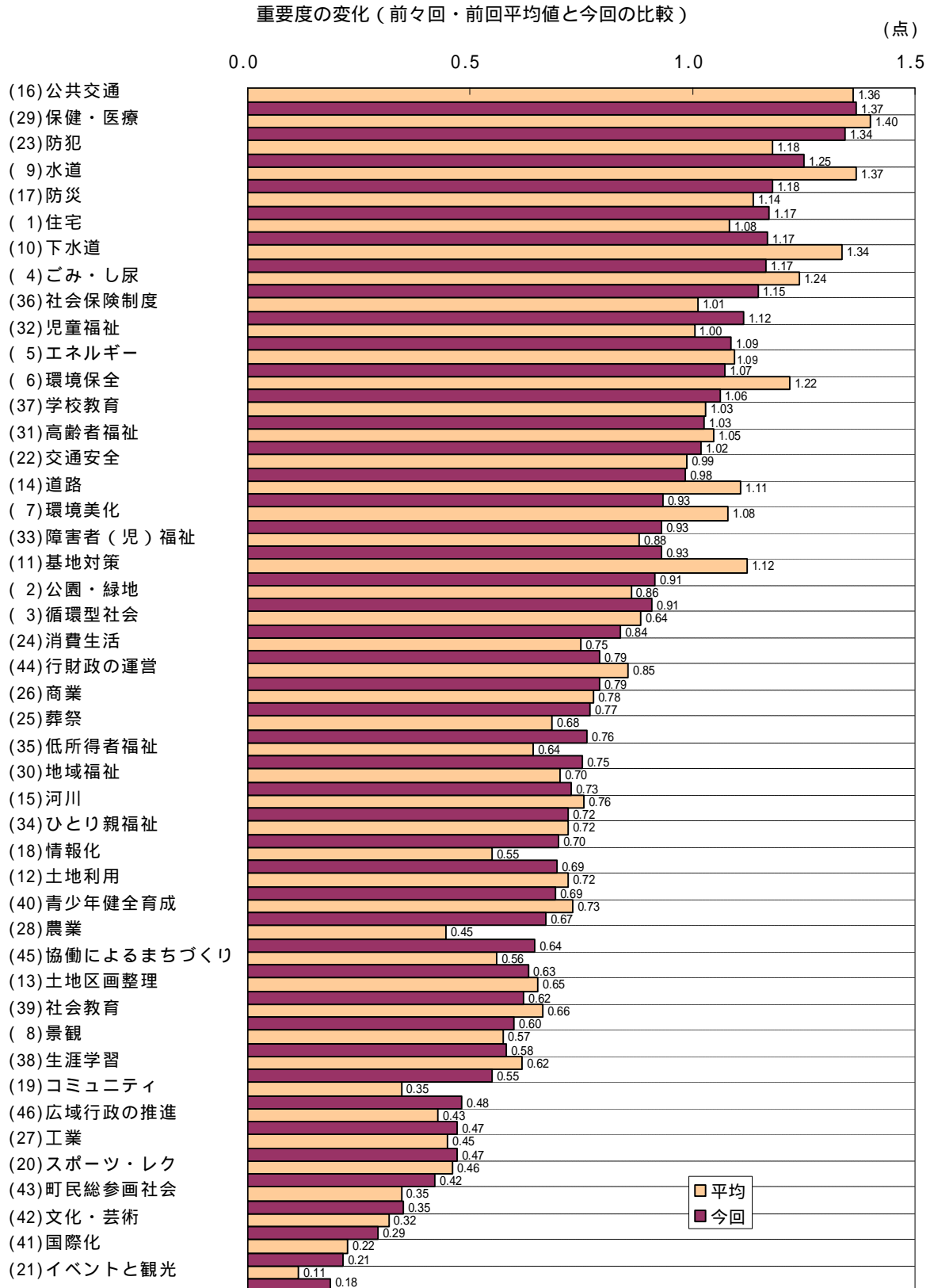


今回の重要度と前回からの変化



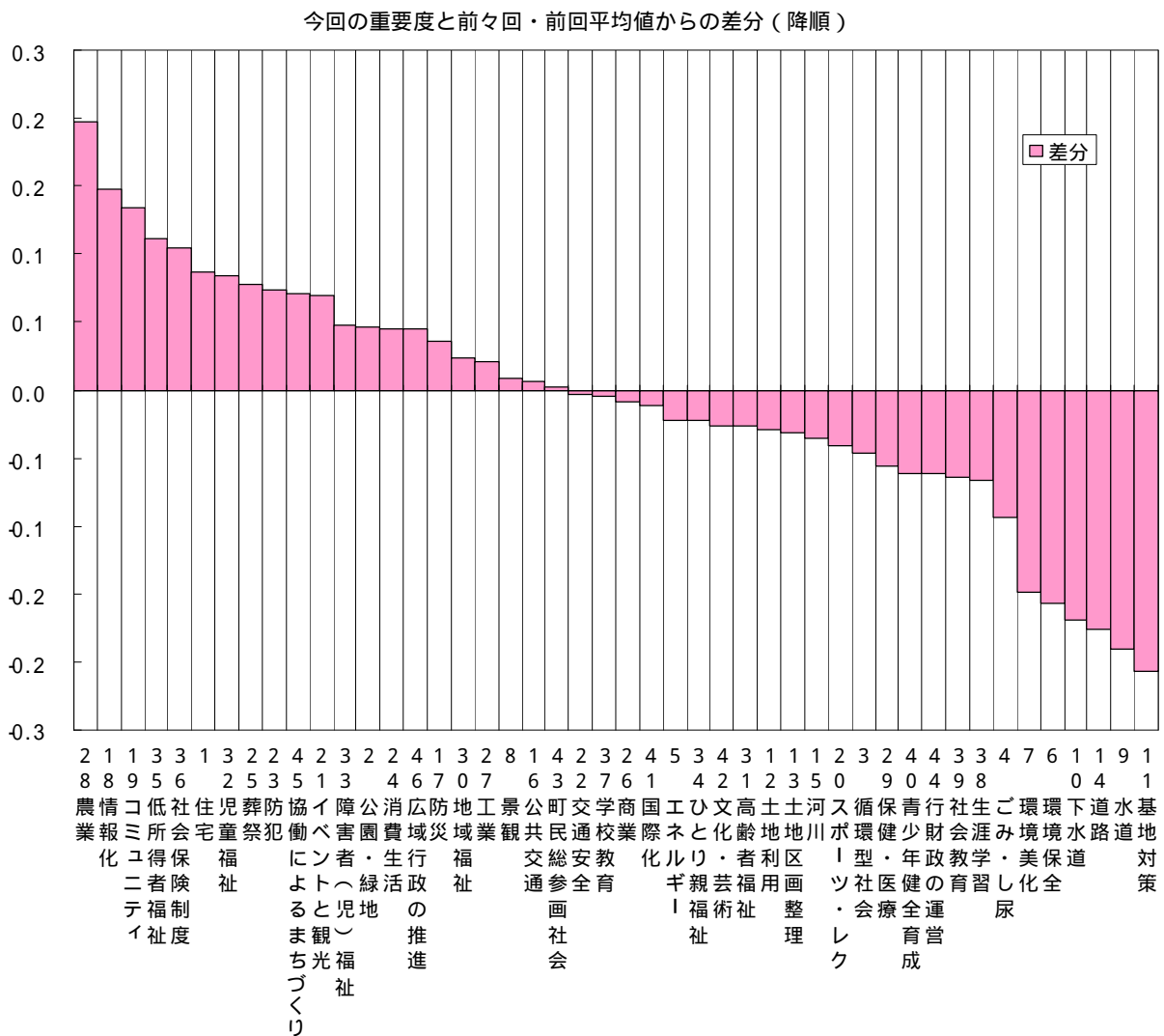
【重要度の変化】

前々回及び前回の平均値と今回の重要度は下のグラフのとおりである（今回の重要度の高い順に並べた）。



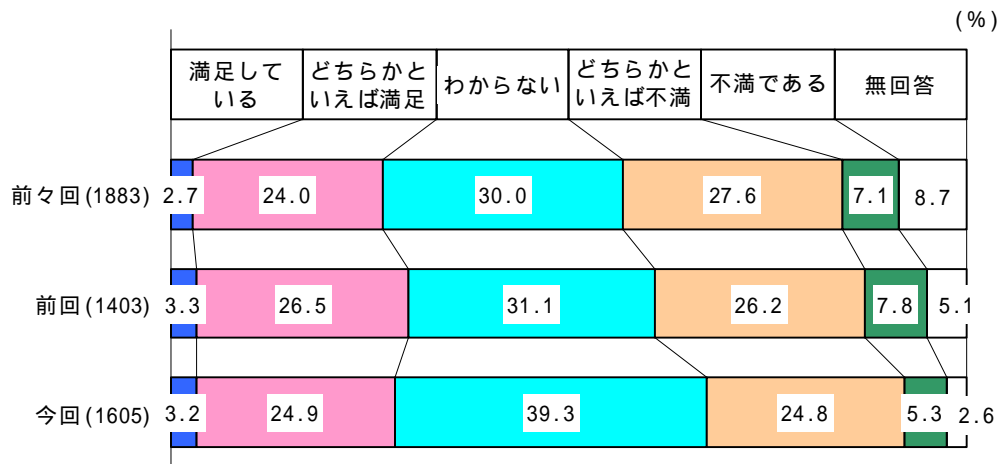
下のグラフは、前々回及び前回の評価点の平均値と今回の評価点との差分を棒グラフで表したものである。評価の変化に着目すると、重要度が上昇しているものとして「農業」「情報化」「コミュニティ」「低所得者福祉」「社会保険制度」などがあげられる。一方、重要度が低下しているものとして「基地対策」「水道」「道路」「下水道」「環境保全」「環境美化」など都市基盤整備や居住空間づくり分野の項目があげられる。

全般には、ハード的事業への一定の充足感の上で、身近な社会の活性化・安心感といったソフト的な施策をより重視する方向への変化がうかがわれる。



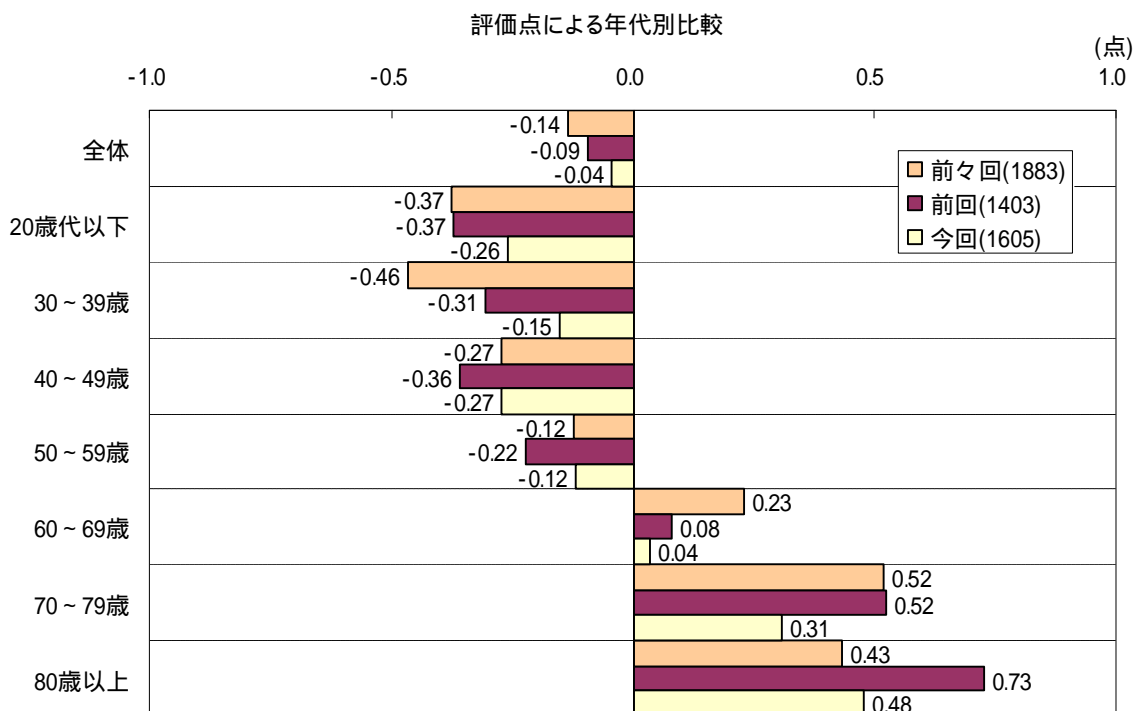
(5) 町政全体の満足感

町政全体にどの程度満足しているかについては、「わからない」が上昇傾向にある中で、「どちらかといえば不満」や「不満である」が低下傾向を見せている。



なお、今回は、回答者の高齢化が進展しており、高齢層では一般に満足度などに対する評価が比較的高くなる傾向がある。そこで、各年齢ごとの評価を見てみることにする。各選択肢の得点は、「満足している」2点、「どちらかといえば満足している」1点、「わからない」0点、「どちらかといえば不満である」-1点、「不満である」-2点と得点とした。

この結果、各回とも、概ね若い世代ほど厳しい評価となっており、50歳代以下ではいずれも不満感が満足感を上回っている。その中で、比較的若い世代においてマイナス評価ではあるものの上昇傾向を見せるとともに、壮年層も前回に比べると評価は上昇している。一方、プラス評価であることは変わりはないものの60歳代~70歳代では低下傾向を見せている。

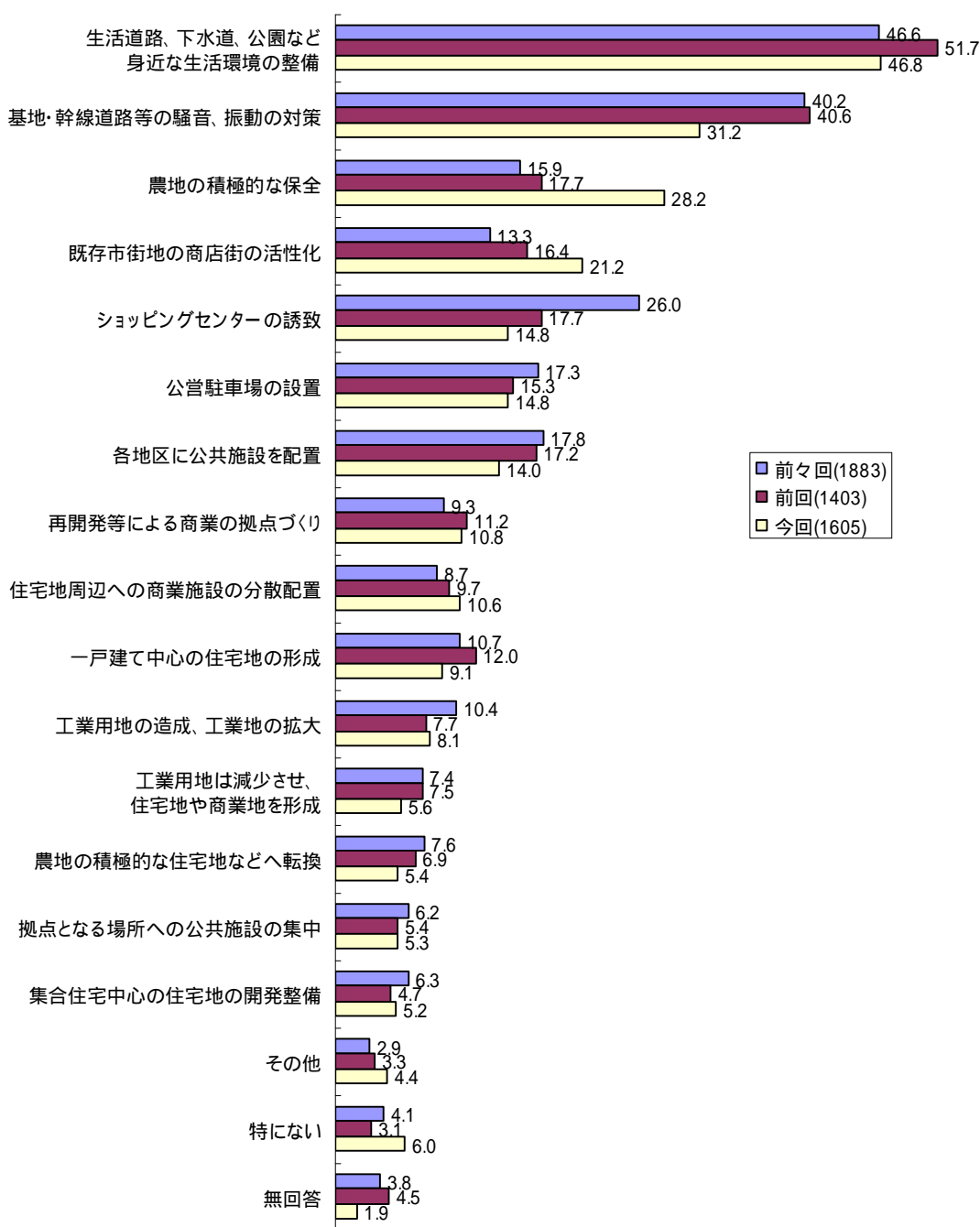


(6) 土地利用のありかた

土地利用のありかたについては、前々回と選択肢が異なるものがあり、各選択肢への回答比率の多寡を比較することはできないため、全体的な順位についてコメントする。

各回とも、「生活道路、下水道、公園などの身近な生活環境を整備する」「基地や幹線道路などの騒音、振動などの対策を講じる」がそれぞれ1位、2位にあげられ、生活の基盤となる施設や公害防止など環境の向上が引き続き求められている。

一方、「農地は積極的に保全する」や「既存市街地の商店街の活性化を図る」は次第に上昇する傾向を見せ、「幹線道路沿いにショッピングセンターを誘致する」などの著しい低下傾向をあわせて考慮すると、より身近な生活環境の保全・活性化に資する土地利用といった指向が現れているものと考えられる。

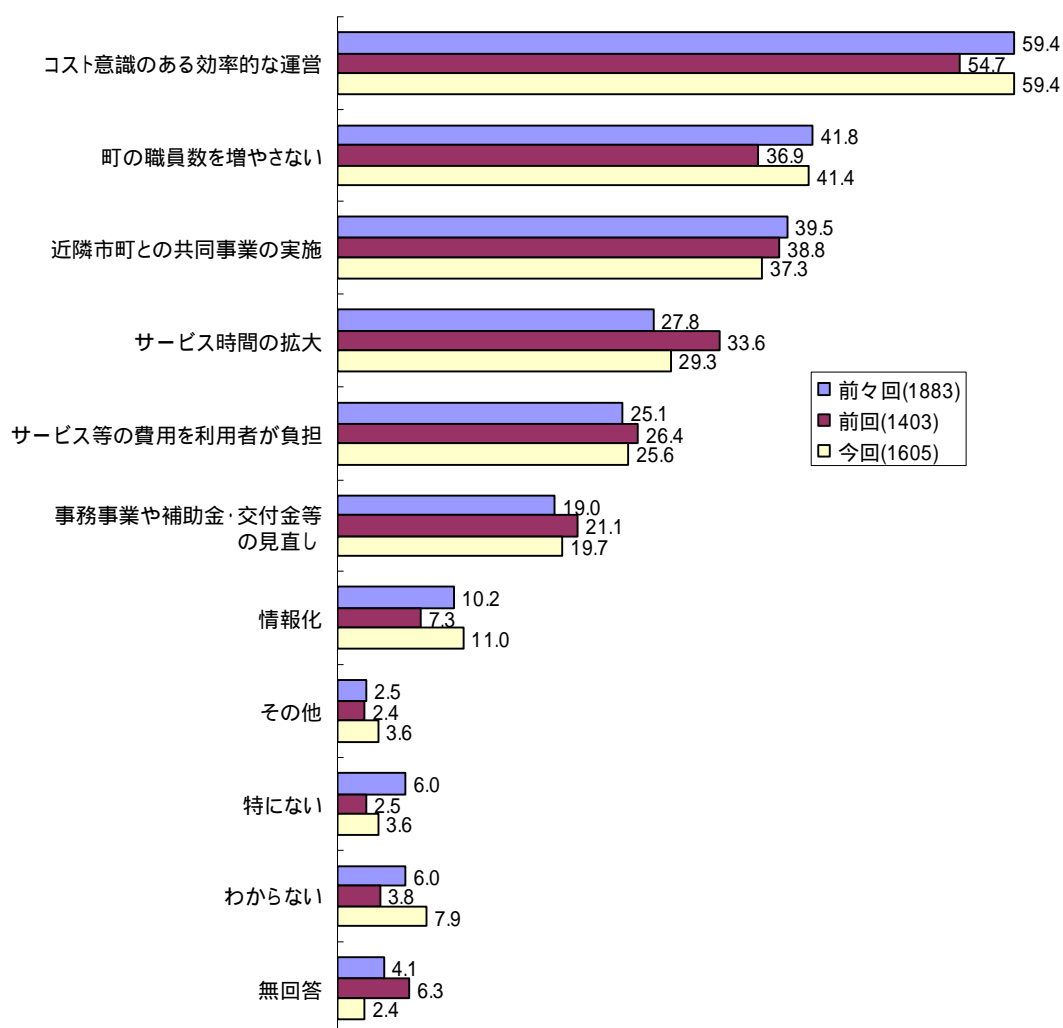


4 行政と町民の役割などについて

(1) 行政改革の重点

行政改革で特に重要と思われることについては、今回も前々回、前回と同様、「町の職員は、民間企業同様のコスト意識をもって事務事業を実施し、効率的な運営に努めるべきである」が50～60%台で最も多くあげられているが、その割合は、前回54.7%から今回59.4%へと上昇している。

「町役場、その他町の施設の職員数はなるべく増やさないようにし、事務の委託化や臨時職員の採用など、工夫して事務事業を行うべきである」は前回から上昇している一方、「夜間や休日窓口等、サービス時間の拡大を図るべきである」は低下している。



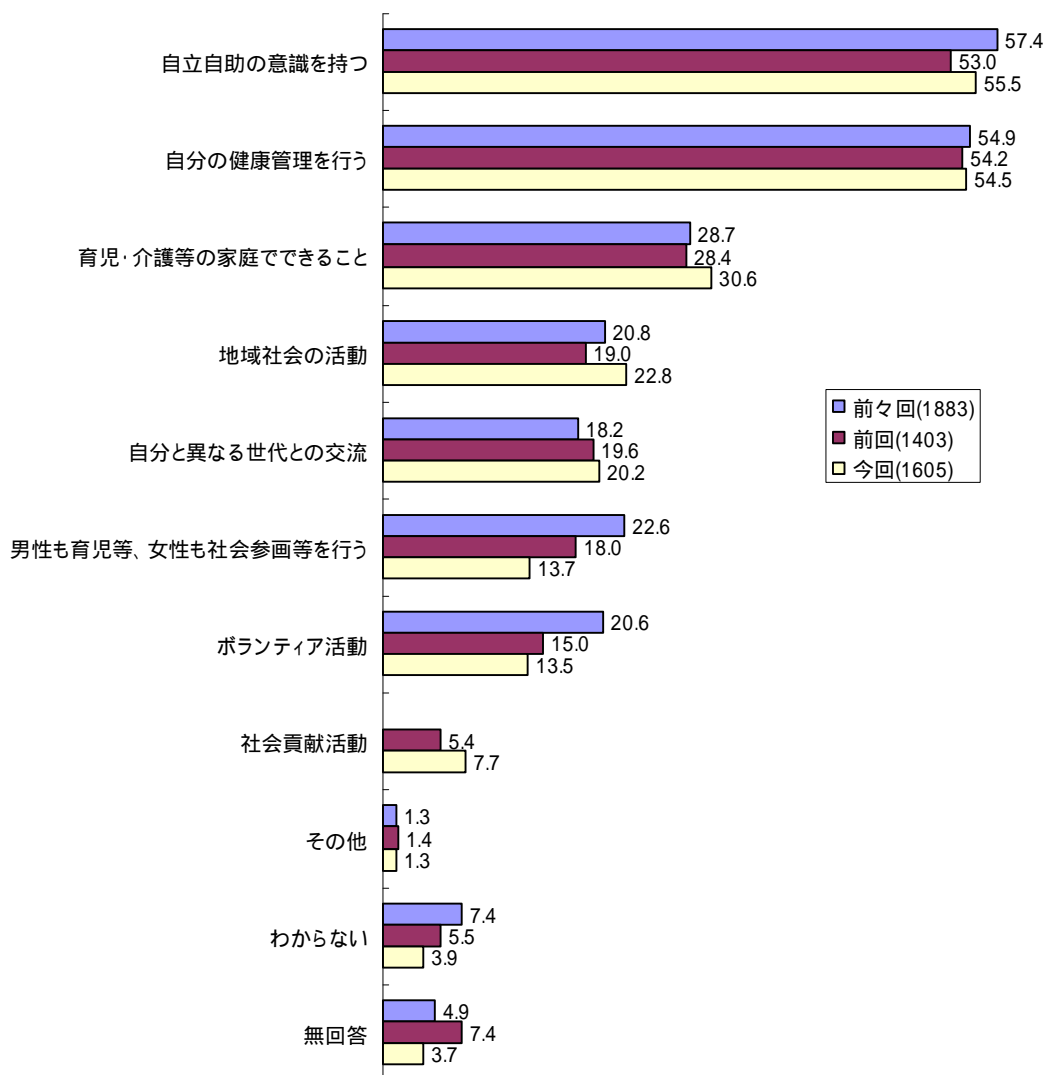
(2) 行いたい活動

町民自身が行いたい活動については、前々回と選択肢が異なるものがあり、各選択肢への回答比率の多寡を比較することはできないため、全体的な順位についてコメントする。

各回とも、「食生活や生活リズム、運動などに配慮し、自分の健康管理を行う」「自分のできることは自分で行うという自立自助の意識を持つ」が特に多くあげられている。

また、これらに次いで、「育児や教育、介護など、家庭でできることをしっかりと行う」があげられており、自分自身を管理し、自立するという意向が引き続き強い。

なお、「ボランティア活動に積極的に参加する」や「男性も育児や介護などを積極的に行い、女性も社会参画を積極的に行う」は、わずかではあるが低下傾向を見せている。

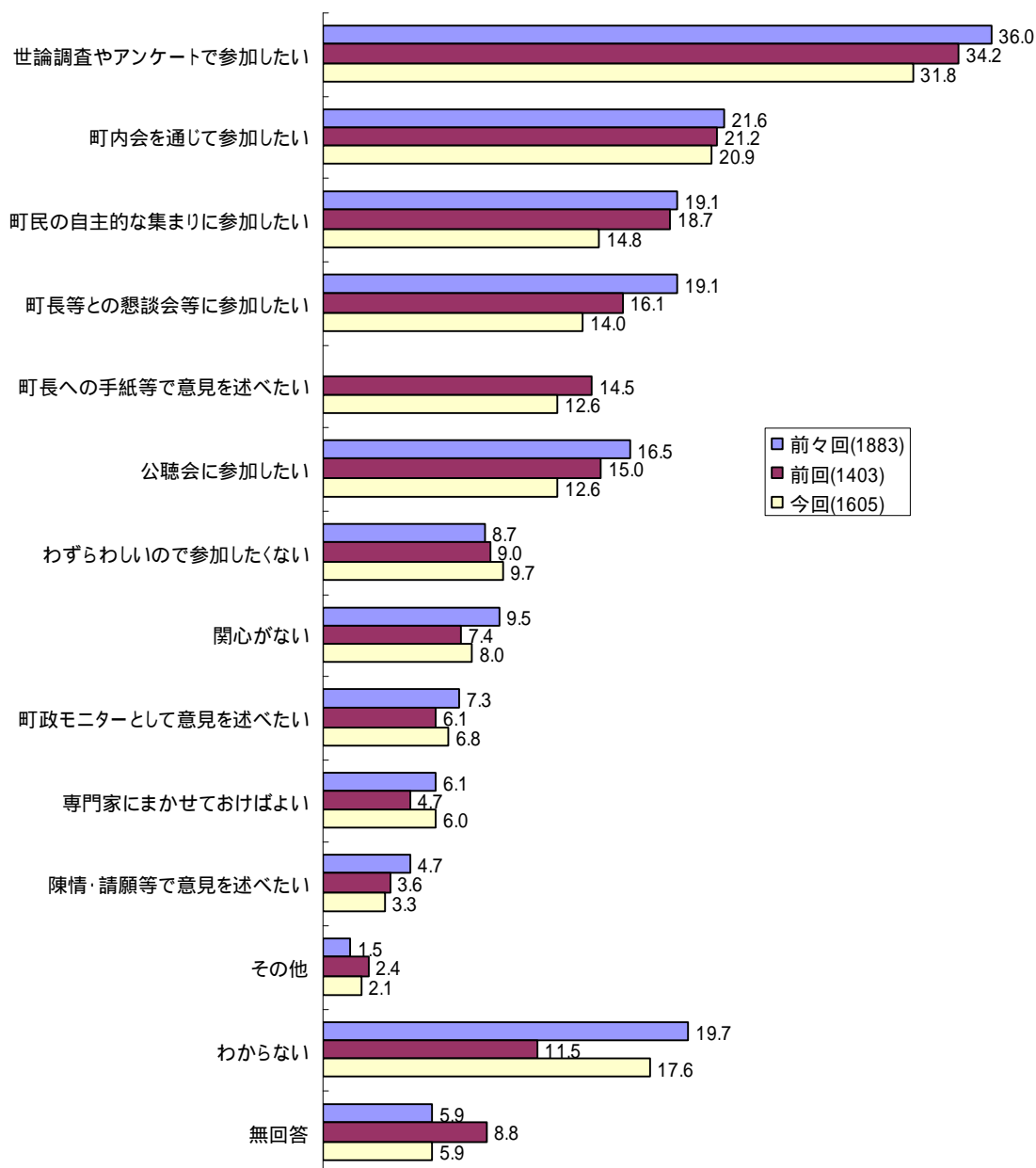


(3) 行政への町民参加

行政への町民参加で重要と思われることについては、前回と選択肢が異なるものがあり、各選択肢への回答比率の多寡を比較することはできないため、全体的な順位についてコメントする。

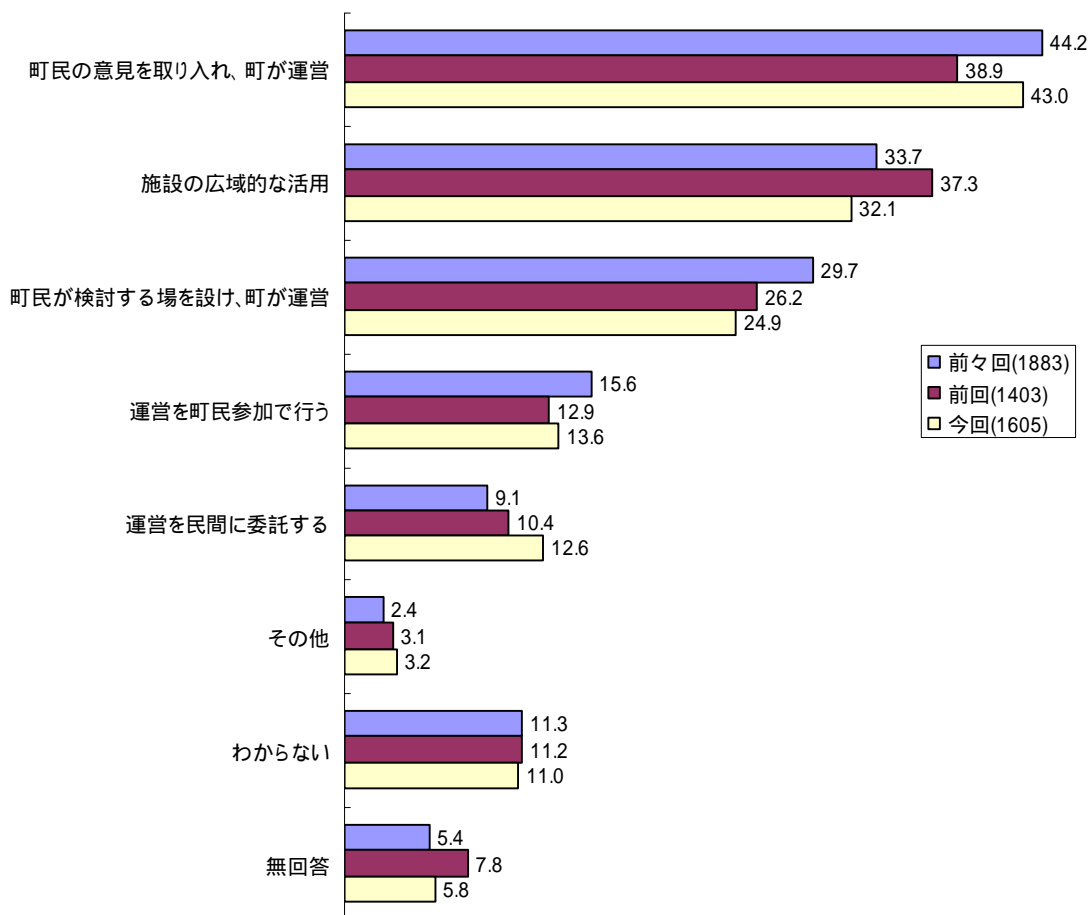
各回とも、「世論調査やアンケートで参加したい」が最も多く、次いで「町内会・自治会を通じて参加したい」「町民の自主的な集まり(まちづくりのグループ等)があれば参加したい」「町長や議員との懇談会や対話集会有れば参加したい」などとなっている。

なお、全般に、参加手段の項目が低下する傾向を見せるとともに、前回に比べ「わからない」が上昇している。



(4) 公共施設の活用方法

公共施設をより効果的かつ効率的に活用するにあたり重視すべき点については、各回とも「施設の利用方法について町民の意見を十分に受け入れ、町が運営する」が最も多く、各項目の順位は変わらない。なお、順位は低いものの「施設の利用方法について町民が検討する場を設け、その結果を尊重し町が運営する」は低下傾向、「施設の運営を民間に委託する」は上昇傾向にある。



第4章 調査結果のまとめ

1 瑞穂町の生活について

まちの住みよさについては、経年的に住みよさ感が増している。概ね年代が高くなるほど住みよさ感が増す傾向があり、20歳代で住みよいと住みにくいが同程度であるほかは、いずれの世代でも住みよき感覚の方が強くなっており、前回・前々回の調査時と比べ、特に若い世代において住みよさ感が増していることが特筆される。同時に、これからも町に住み続けたいという定住意向もわずかに高まっている。

町に住み続けたい理由については、今回も前回・前々回同様、自然環境のよさや住宅の都合、地域における人間関係などが主なところとなっているが、経年的には、自然環境のよさに加え、買い物が便利が多くなっていく傾向が続いている。

引っ越したい理由としては、前回・前々回同様、交通が不便なことが最大の理由となっている。公害などの生活環境が悪いということも多くあげられているが、これについてはしだいに低下する傾向を見せ、住み続けたい理由として、まちの自然環境のよさとあわせ、環境面が高く評価される結果となった。

2 瑞穂町の将来像や現状の評価について

町の将来像は、交通網の発達したまち、医療体制が整ったまちが、前回・前々回に引き続き特に多く望まれている。

これからの社会が重視すべきこととして、安心して暮らせることが特に多くあげられており、医療体制の充実など安心して暮らせる環境が重視される結果となっている。この“安心”については、医療・健康面だけではなく、防犯や防災、交通安全、福祉面など、さらにはそれらへのアクセスが可能な公共交通手段といった“安心”も含まれているものと考えられる。

町政の各分野に対する評価については、満足度が高いものは葬祭やごみ・し尿、住宅等があげられ、また経年変化としては、全般的に満足度が高まる傾向の中で、特に、ごみ・し尿、環境美化、環境保全などいずれも環境分野の上昇が目立っており、ここ数年での取り組みへの評価がうかがわれる。

一方、これまで述べてきたことに符合する形で、以前より不満度の改善は見られるものの、公共交通や商業に対する評価が低くなるとともに、このほか、基地対策や保健・医療なども変わらず不満の上位にあげられている。なお、今回は、経済情勢等の悪化の中で、社会保険制度や低所得者・ひとり親家庭などセイフティーネットに関する項目についてやや不満感が増している。

施策の重要性については、公共交通や保健・医療、防犯、水道、下水道などが特に重視される一方、その経年変化としては、農業、情報、コミュニティ、低所得者福祉、社会保険制度などの重要度が増しており、瑞穂らしさや安心感の醸成を重視する傾向が高まりつつあることがうかがわれる。

一方、重要性が比較的低いものとしては、イベントと観光、国際化、文化・芸術、町民総参画社会、スポーツ・レクリエーション、工業などがあげられている。いずれも「重要」とする認識が「重要ではない」とする認識を上回っており、決して重要ではないという評価ではないものの、特に差し迫ったものや優先度が高いとは言えない項目などであるとうかがわれる。

町政全体の満足感については、経年的にあまり変化はないものの、不満感についてはやや下降する傾向を見せている。

行政改革で重視すべきことは、前回同様、民間企業のようなコスト意識を持つなどの効率的な運営が最も多く、このほか職員数の増員を抑えた事務事業の工夫や近隣市町との共同による事業、サービス時間の拡大などがあげられている。

3 今後力を入れるべきことについて

土地利用のありかたについては、前回・前々回同様、生活道路、下水道、公園など身近な生活環境の整備や、騒音、振動などの対策が多く求められているものの、騒音、振動対策は大きく落ち込み、一方、農地の積極的保全の上昇が際立っており、緑など環境の良い部分を評価する方向へと転じる傾向がうかがわれる。

子どもを生き育てるための環境づくりは、意見は分散傾向にあるものの、女性の労働環境整備や子育て支援の充実、多様な保育サービスが多く望まれている。

高齢社会への重点については、高齢者世帯支援や在宅福祉の充実が多く望まれている。

環境対策については、緑豊かな自然環境の保全と地球温暖化防止対策の推進が望まれている。

防災対策については、備蓄、情報提供、医療救護等の応急対策強化が望まれている。

教育文化については、生きる力を育む義務教育をはじめ、文化活動、生涯学習施設整備が望まれている。

産業振興については、商店街の活性化、サービス産業等の育成が望まれている。

余暇・保養サービスについては、公園や広場の整備とともに、近隣自治体施設の有効利用等があげられている。

4 行政と町民の役割について

町民自身が行いたい活動は、前回・前々回同様に、自立自助の意識を持つことや自分自身の健康管理が多くあげられており、あまり変化は見られない。

行政への町民参加で重要なことは、世論調査やアンケートを通じた参画が、前回・前々回同様最も多くあげられており、次いで町内会を通じての参加が続き、経年変化は見られないものの、全般には各参加手段の回答率が低下している。

公共施設の活用については、前回・前々回同様、町民の意見を取り入れ町が運営することと、広域的に施設を活用することが多くあげられている。

第 5 章 自由回答

本章では、回答者から自由記述形式で寄せられた意見について、項目ごとに概要をまとめ、その後に回答を掲載する。

1 意見のまとめ

(1) 居住空間

[住宅]

住所名の簡略化を求める意見がある。

[公園・緑地]

子どもが安心して遊べる公園の整備や公園の設備の改善などがあげられるとともに、公園・緑道の清掃・草刈など維持管理を求める意見がある。

[ごみ・し尿]

ごみ袋の料金が高等いなどの意見がある。また、ごみの資源ごみ種類の拡大を求める意見がある。

[エネルギー]

自然エネルギー利用促進への意見がある。

[環境保全]

悪臭をはじめ、大気汚染、産業廃棄物、騒音などに対する対策強化などへの要望がある。

[環境美化]

ペットを飼う人のマナーの向上、動物愛護、ポイ捨て対策や一斉清掃への意見がある。

[景観]

電線地中化、道路緑化、建物の色彩統一の要望がある。

[下水道]

下水道の早期整備及び整備区域拡大を求める意見や道路等の雨水排水などを求める意見がある。

[基地対策]

横田基地の騒音問題の改善をはじめ、民間利用に反対の意見と、基地との共存による活性化を求める意見などがある。

(2) 都市基盤

[土地利用]

良好な居住条件を求める都市計画用途地区の見直しや調整区域の農地の活用を求める意見、開発に地域間の格差があるなどの意見がある。

[土地区画整理]

土地区画整理事業の早期実施、事業内容の公表等を求める意見がある。

[道路]

歩行者が安心して歩ける道路の拡幅・歩道の設置、段差解消やバリアフリー化、信号の待ち時間の改善や渋滞解消等のための新たな道路整備などを求める意見がある。

[河川]

河川の親水化、河川敷の草刈を求める意見等があげられている。

[公共交通]

八高線の増便や複線化、モノレールの誘致、コミュニティバス等の運行などの要望がある。また、八高線の終電が早いことで、通勤するのが難しいという声もある。

[防災]

危機管理体制の周知や消防団員の処遇改善、避難場所等の周知、危険箇所の注意などを求める意見がある。

[情報化]

ケーブルテレビ加入の推進要望がある。

(3) 生活環境

[コミュニティ]

地域が閉鎖的な雰囲気であるとの声が寄せられるとともに、その改善を期待する意見がある。また、祭り等で交流を促す意見があげられている。

[スポーツ・レクリエーション]

室内温水プール、健康づくりなどができるスポーツジム等の整備、スポーツ施設の予約方法の改善などを求める意見がある。

[イベントと観光]

特色あるイベントの実施及びPR、花等の名所づくり、観光マップ等の作成などを求める意見がある。

[交通安全]

交通違反の取り締り、一方通行・速度制限等の交通規制、信号・カーブミラー・ガードレール等の交通安全施設の整備などの要望がある。さらに自転車交通ルールの指導を求める意見などがある。

[防犯]

街灯の増設をはじめ、通学時間・夜間のパトロールの強化などの要望及び場外馬券場への反対意見などがある。

[葬祭]

瑞穂斎場の式場増設の要望がある。

(4) 産業

[商業]

商店街の駐車場整備など活性化策をはじめ、駅前等へのカフェ、スーパー、書店等の進出を期待する声があるとともに、町内各所へコンビニなどがほしいなどの声がある。

[工業]

町内に子育て中の女性の職場が少ないとの声がある。

[農業]

道の駅の整備による特産品振興や新鮮野菜の販売、観光スポット化など求める意見がある。また、農地の有効活用として体験農場等の展開や農地の保全などがあげられている。

(5) 保健・医療・福祉

[保健・医療]

総合病院の誘致、小児科、産婦人科があればとの意見がある。また、女性の検（健）診対象年齢等の拡大や保健センターへの交通手段確保、予防・リハビリ、在宅医療の強化などの要望がある。

[地域福祉]

若い人のボランティア体験の促進、高齢者・障がい者の方がつくった作品等の販売機会の拡充などの声が寄せられている。

[高齢者福祉]

介護施設の確保やプログラム内容の研究、在宅介護サービスの充実、高齢者の集まる機会の拡充を求める意見があげられている。

[児童福祉]

近隣市に比べ子育て支援が遅れているとの指摘と充実しているとの意見もある。保育園の待機児童の解消や、学童保育・児童館等の各所への増設、医療費控除の年齢拡大など経済的支援を求める意見がある。

[障害者（児）福祉]

公共のケアホーム等の確保、授産施設等の賃金改善策を求める意見がある。

[低所得者福祉]

保育料の無料化、児童手当などの増額を求める声がある。一方、保護要件の調査などを求める意見がある。

(6) 教育・文化

[学校教育]

学校の増設、学力の底上げまたは教育レベルの改善、生活力の確保、教材費等の負担軽減などが求められている。また、学校開放を求める意見もある。

[生涯学習]

公共施設のバリアフリー化、講座等の内容充実及びPR、食育の展開などを求める意見がある。

[社会教育]

図書館のリニューアル、他地区への整備、開館日の拡大、図書やその他のソフトの充実などの要望がある。また、講演等の充実を求める声がある。

[青少年健全育成]

親への教育、子どものいたづらを指摘する声もある。

[国際化]

モーガンヒル市への小中学生派遣の拡充、交流の成果の広報をとという声がある。

[文化・芸術]

趣味の教室の拡充やコミュニティセンター等を活用した各種教室等の開催、郷土資料館の新築などを求める意見がある。

[町民総参画社会]

地域での防犯パトロールの促進、参加できる行事のPR、投票率のアップなどを求める意見がある。

(7) 行政

[効率的かつ効果的な行財政の運営]

窓口及び住民からの相談への対応の改善、町職員の削減・給与減額、予算配分等の重点化、無駄遣いの是正、政策等の公表・説明などを求める意見がある。

[町民協働のまちづくり]

町民を巻き込んだまちづくりの展開、町民とのコミュニケーションの徹底を求める意見、自治会活性化などへの指摘がある。

[広域行政の推進]

近隣市との合併を求める意見と独自のまちづくりを求める意見がある。また、広域行政の推進を求める意見もある。

(8) その他

[町内放送]

防災チャイムの回数を増やしてほしい、繰り返し放送してほしいとの意見がある。

[その他]

ポストの増設、行事開催を知らせる花火の中止などを求める意見がある。

[アンケート]

今回のアンケートについて、質問が多く難しい、集計結果の公表や、町政の情報が少なく答えにくい質問があったなどの声が寄せられている。また、回答者抽出への配慮が求められている。

2 自由回答

	性別	年齢	居住地区
1 居住空間			
住宅			
• 町の人口も増えないのは致命傷だ。団地を2つくらい作れ。	(男)	50～54歳	箱根ヶ崎)
• 学校、職場等で住所を記入することがあるが用紙に収まりきらず困る事もある。住所を短縮する様検討を願いたい。	(男)	55～59歳	箱根ヶ崎)
• 普通、区画整理が終了すると住所が簡素化されるが西松原区の住所は長く不便。なんとかならないか。	(男)	60～64歳	箱根ヶ崎)
• 住所名のことですが瑞穂町箱根ヶ崎東松原とあるが瑞穂町東松原と改めるか瑞穂町西箱根とか短くしてもらいたい。	(男)	70～74歳	箱根ヶ崎)
• 住居が囲繞地(いにようち)になっています。購入時にはトラブルに会うとは考えても居りませんでした。役場との折衝は続いていますが発展があるとは言えない状態です。早急に善処をお願いいたします	(男)	75～79歳	武蔵野)
• 瑞穂町に住んでから、町営住宅に何回も申し込みしているのに当たらない。公平に当たるようにしてほしい。	(女)	20～29歳	長岡)
• 最近、聞きなれない地名が有ります。電柱の地名を頼りに歩いている人がいるので、番地などを書いていただけると嬉しいです。	(女)	30～39歳	石畑)
• 住宅(アパート)の問題の中で、不動産屋へ修理する所があると伝えると、大家に伝えると言うだけで、修理はしてもらえず。災害等があったら、建物がくずれると思える位老朽化している。町に相談したり、古くなった建物の修理や助成を出来る様になって頂きたいです。	(女)	50～54歳	箱根ヶ崎)
• 町名の簡略化をしてほしい。松原地区なので、住所が長すぎて書くのがめんどろ。	(女)	50～54歳	箱根ヶ崎)
• 住所を記入するのに長すぎて大変です(東京都西多摩郡箱根ヶ崎西松原 -)。ずっとこの事だけ引きずっています。	(女)	70～74歳	箱根ヶ崎)
• 元狭山地区は住所が点在して不便である、早く解決を。	(女)	不明	元狭山)
公園・緑地			
• 東京のベッドタウンとして、子どもから老人まで納得いく、公園・施設が欲しい。近場の羽村・青梅等に行ってしまう。	(男)	30～39歳	長岡)
• 公園のドッグランは人工的で行くと心の病になりそうな雰囲気。明るくしてほしい。	(男)	50～54歳	箱根ヶ崎)
• 生け垣が1m道路に出てしまっている家がありますが町でも住人へ直接注意をしていただきたい。	(男)	50～54歳	箱根ヶ崎)
• 公園内(エコパーク、松原中央公園等)のベンチ数が不足と思われるので見直しを願う。	(男)	55～59歳	箱根ヶ崎)

	性別	年齢	居住地区
• 車道に面した緑道の植木は、刈り込むまでにビュンビュン伸び、見通しが悪く、端をバイクが走って来る時は危険、夜は街灯もなく怖いです。低い植木などもっと考えた上で植えて下さい。	(男)	55~59歳	長岡)
• 子どもが自由に遊んだり、高齢者が気軽に散策やウォーキング出来る広場(芝生、周囲の散策コース)があればと思う。グランド等既存施設の有効利用。	(男)	65~69歳	石畑)
• 町民の心が豊かになる様な花公園を作って欲しい。1年中花を見る事が出来て楽しめれば幸せです。六道山から降りた所に良い場所があった気がします。	(男)	70~74歳	武蔵野)
• 公道と私有地の境界をはみ出している生け垣や植木等が多く見受けられるが、地権者へ指導を徹底すべき(広報等の協力依頼でなく、直接出向いて注意し協力してもらう)。	(男)	75~79歳	元狭山)
• ベンチを配し、散歩できるコースが増えればいいですね。健康増進の為に子ども、若い人がもっと歩きたくなるようなステキな散歩道を(元気なシルバー人材の方に管理をお願いしては)。	(女)	20~29歳	殿ヶ谷)
• 砂利道を舗装しているが、畑の横に面している裏道はやらないでほしかった。足のうらを刺激するのは子どもの脳活性化につながるため砂利道は必要。	(女)	20~29歳	石畑)
• 広くて遊具も沢山あり、散歩やお弁当を持って行きたくなる公園が1つでもあったら、ママさんの交流も広がり良いと思います(駐車場はかならず必要)。	(女)	30~39歳	殿ヶ谷)
• ジャングルジムしかない公園や古びた遊具しかない公園に少しでも新しい遊具を入れてほしいです。	(女)	30~39歳	殿ヶ谷)
• 最近は、中学生やら知らない人が居て遊びに行くと言わなくてはならない公園もあったり、ライターや大人向けの雑誌の置きざりがあって危険な公園というイメージの強いです。	(女)	30~39歳	長岡)
• 公園(王林寺公園)に行くとガラスの破片があったり、木に釘がささっていたりH本が捨てられていたりで、定期的に清掃してほしいです。	(女)	30~39歳	殿ヶ谷)
• 近所の公園は草ぼうぼうで遊具も汚く、人もいません。	(女)	30~39歳	殿ヶ谷)
• もっとドッグランなど、ふやしてほしいです。	(女)	30~39歳	箱根ヶ崎)
• 子どものときから、瑞穂に住んでいますが、自然をのこして行ってほしいです。	(女)	30~39歳	長岡)
• エコパークのドッグランは、毎日のように利用している人が自分達の私物のようにしていて不快な思いをします。	(女)	40~49歳	元狭山)
• ペット立ち入り禁止公園を、なくしてほしい。	(女)	40~49歳	石畑)
• 気もちよくすごせるまちづくり。歩道に緑を。	(女)	40~49歳	箱根ヶ崎)
• 緑道はゴミのポイ捨て、草ぼうぼうで、雨が降れば川のように通れなくなる。ほ装されているところでさえ、水たまりがひどくて歩けなくなるので、何とかしてほしい。	(女)	40~49歳	長岡)

	性別	年齢	居住地区
<ul style="list-style-type: none"> 緑道の雑草がひどいので草とりをすると、役場の人に瑞穂の土地だからと怒られた。まめな草とりをお願いしたら、お金がないからできないと言われた。町をキレイにしたいなら、羽村みたいに、自分で花壇を作ったら補助金を出すとか、町民にまかせてもいいのでは。 	(女)	40~49歳	長岡)
<ul style="list-style-type: none"> 緑が多くてとってもいい町です。公園も多くて広々と整備されていて、住むにはいい町だと思う。 	(女)	50~54歳	不明)
<ul style="list-style-type: none"> 公園や緑地がよく整備されています。先日は緑道の草取りがあり、たいへんきれいになり、気持ちよく緑豊かな町に感謝しています。 	(女)	55~59歳	箱根ヶ崎)
<ul style="list-style-type: none"> 公園のトイレがとても粗末です。立派なものはいりませんが、もう少し利用しやすいのを作ってください。 	(女)	70~74歳	武蔵野)
<ul style="list-style-type: none"> 公園の砂場の整備(見まわりがぜんぜんない様です)。 	(女)	70~74歳	武蔵野)
<ul style="list-style-type: none"> 市街地の緑化も良いとは思いますが、やはり皆大きくなる木が多いためにその管理の費用というのも大変な出費と思いますがどうでしょうか。 	(女)	70~74歳	長岡)
<ul style="list-style-type: none"> 瑞穂町は自然が豊かなので、これからも、もっと、自然環境を重視した行政を行ってほしいと思う。 	(不明)	30~39歳	石畑)
<ul style="list-style-type: none"> 自分の土地にある立木が道に茂っている所が多く見られ、何か良い方法はないでしょうか。町内会長さんをお願い出来たら。 	(不明)	75~79歳	箱根ヶ崎)
<ul style="list-style-type: none"> 新青梅街道より西の江戸街道、ホンダ近辺は緑の木1本、せみも鳥の声もありません。街全体の統一感を持った町づくりを考えてほしいものです。 	(不明)	不明	石畑)

循環型社会

- | | | | |
|---|-----|--------|------|
| <ul style="list-style-type: none"> 地球温暖化が大きく取り上げられている昨今、農地、平林地等の工業化開発は控え、公園等緑地化の方向に進め、二酸化炭素削減の一助として貰いたい。 | (男) | 65~69歳 | 元狭山) |
| <ul style="list-style-type: none"> 武蔵野コミュニティセンターでは、無人の時も電気がつけっぱなしです。瑞穂でも「エコ」に関心があるのでしたら、節電を考えるべきではないでしょうか。 | (男) | 75~79歳 | 武蔵野) |

ごみ・し尿

- | | | | |
|--|-----|--------|-------|
| <ul style="list-style-type: none"> 包装容器以外のプラスチックゴミの回収もしてほしい。 | (男) | 30~39歳 | 箱根ヶ崎) |
| <ul style="list-style-type: none"> ゴミ袋代が高い。 | (女) | 20~29歳 | 石畑) |
| <ul style="list-style-type: none"> 有料ゴミ袋廃止して下さい。 | (女) | 20~29歳 | 箱根ヶ崎) |
| <ul style="list-style-type: none"> ゴミ袋代が高すぎる。 | (女) | 20~29歳 | 箱根ヶ崎) |
| <ul style="list-style-type: none"> ゴミ対策はしっかりしているが、カラス対策もあると良い。町で集める場所を決め、ネット等準備して欲しい。 | (女) | 20~29歳 | 殿ヶ谷) |
| <ul style="list-style-type: none"> 資源回収できる場所がもっとあると良い(東大和はビン・カン・ペット等は前日にカゴがおかれてる。村山はネットがあるのでは)。 | (女) | 20~29歳 | 殿ヶ谷) |
| <ul style="list-style-type: none"> ゴミ収集ですが、時々、ゴミ袋からゴミが家の前に落ちている場合があります。ゴミ収集も時間等に追われて大変だとは思いますが、落とした物は拾ってほしいと思います。 | (女) | 30~39歳 | 箱根ヶ崎) |

エネルギー

- 太陽光、風力発電の補助をもっとしてほしい。 (男 30～39歳 箱根ヶ崎)
- 町が率先し役場・学校に太陽光発電を取り組んでみたらどうか。町も補助にのり出せば、個人の家でも関心を持っている人が動くのではないか。地球環境を守る政策を打ち出したらどうか。 (女 55～59歳 箱根ヶ崎)

環境保全

- スクラップ施設なのか、ゴミ収集場なのか、栗原町と青梅市の境にある会社が臭う。窓を開けるのが辛い日がある。住み続けられる環境を維持して欲しい。 (男 20～29歳 元狭山)
- 工場が休みでも機械を動かさうるさい、悪臭がする。 (男 20～29歳 元狭山)
- ゴミ処理施設のおいがとてもきつい。 (男 40～49歳 元狭山)
- 農地で枯草を燃やすことを許可しているのですか。近隣の住民は迷惑しています。町として広報なり農業委員会等で呼びかけてほしいです。改善を期待しています (男 40～49歳 元狭山)
- “人と自然が織りなすまち みずほ”の環境悪化、風紀を乱す企業進出を抑制して下さい。 (男 55～59歳 元狭山)
- 市街の中で賃貸の塗装工場があり自動車の塗装をしています。窓を開けてシンナーを押し出しており、強い臭いの際は洗濯物は出せません。注意か改善をしてもらいたいです。 (男 60～64歳 元狭山)
- 瑞穂斎場の隣に産業廃棄物が山になっているのが景観と環境面から。早急に撤去願います。 (男 75～79歳 石畑)
- 近隣の土砂やガソリンを扱う会社の騒音に迷惑し、家族の1人が軽くノイローゼ状態です。家の目の前にダンプの出入りする会社を建てないで欲しい。 (女 18～19歳 長岡)
- とにかく悪臭をなんとかしてほしい。暑い季節、窓を開けたくても臭くて開けられない。特に朝と夜がひどく、どうにかしてほしいです。 (女 20～29歳 元狭山)
- 二本木町で、夜間、まどを開けられない程の異臭がたまにあります。こんな時代になっても公害なほどの臭いを出している所をどうにかして下さい。 (女 20～29歳 元狭山)
- 二本木バイパス近くで、洗濯ものを出している間でもゴミを焼却している所があるので困ります。 (女 20～29歳 元狭山)
- ムカデの小さいやつが大量発生しているのでなんとかしてほしい。 (女 20～29歳 元狭山)
- 風の向きによってブタのおいがするのがイヤだ。 (女 30～39歳 元狭山)
- 気もちよくすごせるまちづくり、騒音対策など。 (女 40～49歳 箱根ヶ崎)
- 私の住んでいる長岡は悪臭がひどい。どうにかしてほしい。 (女 50～54歳 長岡)
- 火葬場前の廃棄物の山はほったらかし状態。 (女 60～64歳 箱根ヶ崎)
- 長岡地区の牛舎がたまらなく臭っています。網戸・ガラスが開られません。行政の補助で作られたなら何とかして下さい。 (女 60～64歳 長岡)

環境美化

- 町、全体がくさい(フンのおい) (男 30~39歳 元狭山)
- 人間だけで無く、動物にも優しい町であって欲しい。捨てない、殺さない、増やさないと町を上げて徹底的に教育して貰いたい。 (男 40~49歳 武蔵野)
- タバコの吸いからは減少していますが、歩道や植込み等にペットボトル、空缶、ゴミ類が散乱し、景観やイメージがそこなわれています。学校教育をはじめ町民全体で美しい町にしたいものです。 (男 60~64歳 武蔵野)
- 犬、猫、ペット飼主にマナーを行政で指導できないか。ポイントに看板設置を希望します。 (男 60~64歳 長岡)
- 近隣の家が飼っている放し飼いネコに迷惑。 (女 18~19歳 長岡)
- ゴミが多すぎです。タバコを吸う人はマナーを守ってほしい。1歳の子どもが散歩中にゴミを拾おうとする。 (女 20~29歳 石畑)
- 住宅でペットを飼っている人が沢山いるのですが、エレベーターなどにフンをしたのに片付けない人や、近くを通ると臭いなどがして不愉快です。 (女 20~29歳 武蔵野)
- 町中の所々にある、ゴミや汚れた場所など、きれいにしていけるのでは。花や木を植えればいいのではなく、汚さないようにする工夫が必要だと思います。 (女 30~39歳 長岡)
- のら猫対策も少し考えて欲しい。 (女 30~39歳 箱根ヶ崎)
- ベランダに出ると、(毎日)「フン」のおいがします。暑くなってきているこの時期、気分も悪くなります。動物を飼う資格ないと思います。 (女 40~49歳 石畑)
- 生ゴミを外へ出した所、ネコに袋をやぶかれ、大変な思いをした。飼い猫(犬)の管理してほしいです。 (女 40~49歳 石畑)
- 瑞穂は、犬猫の処分が多いと聞きます。避妊手術の助成金を出すとか、動物を大切に育ててほしい。 (女 40~49歳 長岡)
- 町内全域をすべて禁煙にし、違反は罰金をとる。 (女 50~54歳 箱根ヶ崎)
- 町でもネコの管理について、厳しくしてほしい。 (女 50~54歳 長岡)
- ジョイフルホンダから阿豆佐味神社につながる道路。花でとてもきれいです。草とりもしてくれて、植えっぱなしの2、3年前とは大ちがい。これからもつづけて下さい。 (女 55~59歳 殿ヶ谷)
- 町民一斉清掃は、非常に無駄。近隣の井戸端会議の場所。参加者は年寄りが多く、ゴミを1~2コ拾っただけでカタチだけの参加に見えます。今後見直すべき。 (女 60~64歳 箱根ヶ崎)

景観

- 道路上空の電線を少なくするかなくして、青空を取り戻してほしい。良い住環境で良い住民づくりを。 (男 55~59歳 箱根ヶ崎)
- 16号バイパス沿いに防音壁があり一部地域は緑化対策がなされているが、なぜ全区間やらないのか。1日も早く全区間の緑化対策を要望します。 (男 60~64歳 箱根ヶ崎)
- 各住宅に統一性を持たせた方が雑然とした町並にならず良いと思う。 (女 20~29歳 殿ヶ谷)

	性別	年齢	居住地区
上水道			
• 上水道を早期に整備してほしい。	(男)	40～49歳	箱根ヶ崎)
下水道			
• 雨がふると道路が川のようになる。	(男)	20～29歳	元狭山)
• 下水道を早期に整備してほしい。	(男)	40～49歳	箱根ヶ崎)
• 雨が降ったら道路が川になってしまう。	(男)	55～59歳	箱根ヶ崎)
• 雨が降るたびに第2グラウンドと瑞穂四小グラウンドより新羽村街道に雨水が流出しているが排水対策はどうなっているのか。道路を排水溝ととらえて良いのでしょうか。	(男)	55～59歳	箱根ヶ崎)
• 周りに住んでいる方は大雨が降ると水が庭に流れこみ心配もしている。早い解決を。	(男)	65～69歳	元狭山)
• 雨が降ると、モールの周りに水があふれてしまい、とても危険だと思います。	(女)	20～29歳	元狭山)
• 上下水道の整備を早くすすめて欲しいです。雨が長く続くと浄化槽より臭いが。	(女)	40～49歳	元狭山)
• 下水道整備をし、いかにも道路が良くなった風に見える場所も、管理が出来ないで雨水がかなりたまる場所があります。どのように対策するのでしょうか。	(女)	50～54歳	石畑)
• 西一丁目、富士山、二本木地区は、下水が調整区域という理由で整備されず、いまだに吸い込み下水で、雨が降ると雨水がたまり溢れる。掘りなおしても、掘っている最中に水がでる始末です。	(女)	60～64歳	箱根ヶ崎)
基地対策			
• 飛行機が朝も夜もうるさいです。ちゃんと時間を決めて欲しいです(例)8:00～20:00まで等)。	(男)	40～49歳	武蔵野)
• あいかわらず横田基地の夜間飛行の音がうるさいです。	(男)	40～49歳	元狭山)
• 軍民共用化を実現してほしい。今はうるさいだけ。町が活性化させたほうが良い。	(男)	55～59歳	元狭山)
• 横田基地の軍民共用化には、絶対に反対の姿勢を貫らぬいてほしい。	(男)	60～64歳	箱根ヶ崎)
• 横田基地の活性化 軍民共用の推進。	(男)	65～69歳	武蔵野)
• 横田基地は将来返還されるべきか、永続的に米軍基地として提供するか、と云う点で対応が違ってきます。返還を望むとすれば、どのような効果策があるのか見えてきません。	(男)	65～69歳	元狭山)
• 長岡地区は防音工事が対象外になりました。結構真上を飛行機が飛んでうるさいです。防音工事の範囲を広げてほしいと思います。	(女)	30～39歳	長岡)
• 飛行機の騒音がうるさい。	(女)	30～39歳	箱根ヶ崎)
• 横田基地の飛行機騒音がまったく改善されていない。早朝、深夜に飛行することがある(防音工事をしていても音がうるさい)。	(女)	40～49歳	箱根ヶ崎)
• 飛行機の騒音は、何とかならないのか。	(女)	50～54歳	箱根ヶ崎)
• 基地をなくして欲しい。	(女)	55～59歳	武蔵野)
• 横田基地をもっと上手に使うことはできませんか。	(女)	不明	武蔵野)

- 問6(11)の質問は基地共用化反対を前提としているが、町民の意識・真を問うべきである。未だ行政から「賛成か反対か」との質問を受けた事がない。行政は、独断的であることはこの設問1つとっても明かである。もっと町民と会話をしてほしい。(不明 65~69歳 長岡)

2 都市基盤

土地利用

- 田畑が多すぎる。(男 20~29歳 殿ヶ谷)
- 空き農地や空き店舗などを簡単に利用したい。(男 55~59歳 殿ヶ谷)
- 農業で生計をしていない農地所有者は草取り等が困難になりつつあり、次世代は畑に行くことはない。調整地区等の問題もあり使用出来ず、土地有効活用(住宅等)の一考をお願いします。(男 60~64歳 元狭山)
- 住宅が増え大手スーパーが誘致され、便利になりましたが、国道と都道に分断された町というイメージがあり、地域格差が歴然とあります。(女 55~59歳 長岡)
- 16号バイパス沿いの西三丁目地区は一部工業地なのかゲームセンターなど24時間営業の所もあり、子ども・高齢者等の生活がおびやかされつつあります。こうした環境に生活している人達の意見も聞いて、営業許可を出してほしいです。(女 60~64歳 箱根ヶ崎)
- 西三丁目地区は一部工業地のようですが、住宅地の線引きの検討を希望したいです。(女 60~64歳 箱根ヶ崎)

土地区画整理

- 駅西口を早く整備して欲しい。(男 18~19歳 長岡)
- 駅前の開発を早く進めてほしい。(男 30~39歳 箱根ヶ崎)
- 箱根ヶ崎駅西の区画整理事業は推進が遅すぎる。中途半端な造りかけの道が沢山あり歩き難い。また、どのような計画で事業進めているのか説明なく、公開と公表にも問題ある。(男 50~54歳 箱根ヶ崎)
- 駅西口周辺を整備しているが、あれ程広い幅の道路であるわりには、歩道がないのはなぜ。他の地域でも道路を整備しているが、歩道なしはなぜ。(男 55~59歳 箱根ヶ崎)
- 箱根ヶ崎駅周辺を整備。(女 20~29歳 箱根ヶ崎)
- 栗原町の区画整理。栗原町~青梅・物見塚の信号までの歩道が狭く、自転車のすれ違いが大変。夜、車のライトの逆光で前が見えなくて危ない。早急に対応してほしい。(女 20~29歳 元狭山)
- もう少し区画整理が進み、住宅地がととのえばよいと思う。(女 30~39歳 元狭山)

道路

- 道がせまい。道をキレイにして欲しい。(男 20~29歳 殿ヶ谷)
- 道路がガタガタ。斎場、駅の周りだけキレイになっているが、他にもお金をかけてほしい。(男 30~39歳 元狭山)
- 全ての道路に歩道を作って下さい。交通量の多すぎる路地が多すぎます。交通量の調査、お願い致します。(男 40~49歳 不明)

	性別	年齢	居住地区
• いろいろな街道に名称が付き看板が立っているが、公募だったのですか、どのようにして名がついたのか知りたかったです。	(男)	40～49歳	元狭山)
• 自転車で駅に行くにしても道路幅が狭いうえに、トラックが多いので交通事故も心配です。	(男)	50～54歳	元狭山)
• 交通面でやや不十分です。武蔵村山方面への道路。	(男)	50～54歳	元狭山)
• 旧国道16号線(八王子-川越)方面の青信号点灯時間が旧青梅街道方面の信号より長すぎるので、大型車が高速度で通過し危険で、騒音・震動・排ガスがひどい。青色点灯時間を短くし安全で静かな道路にしてほしいです。特に旧青梅街道との交差点の信号は東京青梅方面の青が短すぎる。	(男)	50～54歳	箱根ヶ崎)
• 元狭山地域から箱根ヶ崎への自転車歩道を整備して下さい。	(男)	55～59歳	元狭山)
• 水道整備等で既在道路(歩道)を掘りおこすが、埋め戻し工事が雑である。なぜあれほどの雑な仕事がまかり通る。国道16号東松原地区から南北地区。	(男)	55～59歳	箱根ヶ崎)
• 高根信号から郵便局までの道路に3か所緊急待避場所がありますが、固定ポールを立て使用出来ない様に成って居ます。一時的に使用したい人がいるのですから、ポールを取り払い使用出来る様に要望します。	(男)	60～64歳	元狭山)
• 町道2号線は、入間・所沢から武蔵村山方面へのバイパス的な役割となっており交通量が多く、高根町に住む者は危険な思いをしている。入間市宮寺付近から武蔵村山に抜ける道路建設を、都に働き掛けを願いたい。	(男)	65～69歳	元狭山)
• 町道(1.8m)の活用が出来てない。昔は町道を通り畑に行ったが今は道が有るかもわからない状態に荒れているため畑に行けません。	(男)	65～69歳	元狭山)
• 道路の幅が狭くてとても危険。雨の日は、カサに車が触れる様ですごく気を使う。歩行者が縮まって歩かないといけない道が多すぎる。	(男)	70～74歳	殿ヶ谷)
• 交通サイン(ミラー、止まれなど)が障がいになっている所が見受けられる。地権者に直接依頼して協力して頂くよう努めてはどうか。或る町は殆どが民地内に設置してあり、町はもっと研究するべきと思う。	(男)	75～79歳	元狭山)
• 直さなくて良い道路を直して、直さないといけない道路は放置。危ない道、狭すぎて整備されていない道が多すぎる。	(女)	20～29歳	箱根ヶ崎)
• 道路の幅が狭いので広くして欲しい。	(女)	20～29歳	殿ヶ谷)
• 青梅街道に歩道を確保した方がいいと思う。	(女)	20～29歳	箱根ヶ崎)
• 道路幅の拡張と歩道の整備を進めて頂きたいです。特に旧日光街道の旧国道16号と交わる所は渋滞の素になっています。	(女)	30～39歳	箱根ヶ崎)
• 駅の自転車置場に50cc以上のバイクがおけないなどかなり不便。	(女)	30～39歳	元狭山)
• 住民がだれでも、どこでも行きやすいまちづくり。道を広くきれいになど。	(女)	40～49歳	箱根ヶ崎)
• 道路も1つ入ると狭くて歩きにくいです。	(女)	50～54歳	不明)

	性別	年齢	居住地区
• 消防署の道路の歩道の石は非常に歩きづらいです。くつぞこがうすいと足がイタイです。	(女)	50~54歳	箱根ヶ崎)
• ジョイフル本田前の道路は、渋滞することが多い。後から出来たそれより東側の道路はあまり使われておらず、町が指導して振り分けるべきだと思います。	(女)	50~54歳	石畑)
• 16号線より松原中央公園に抜ける道路の舗装をお願いいたします。	(女)	55~59歳	箱根ヶ崎)
• 駅の近くに町営の駐車場(有料でよい)を作してほしい。	(女)	60~64歳	元狭山)
• 環境パトロール車両を見かけますが役割が分かりません。住宅境にボロボロのコンクリートの切り下げがあり、歩道も車道もせまく危険です。そういった公共の場所こそ見てほしいのですが。	(女)	60~64歳	箱根ヶ崎)
• 歩道に花屋さんが顔負けするくらい植木鉢をズラリ並べている住宅が多数あります。歩道は公道であり、花は敷地内で楽しむ様啓蒙してほしいです。	(女)	60~64歳	箱根ヶ崎)
• 私達の地区は幹線道路に出なければどこへも行けません。健康の為のウォーキングも排気ガスを吸いながら騒音の道路を歩いています。細い道でも通り抜けられる道があれば。	(女)	65~69歳	武蔵野)
• 道路がカクツカクツと曲がっている個所が多い気がします。	(女)	65~69歳	箱根ヶ崎)
• 寿楽に行く通路、もっと道幅を広くして。曲る箇所が(屈折)多い様な気がする。帰りの信号が理解しにくい。	(女)	70~74歳	武蔵野)
• 高齢者の為に歩道をつまづかない様に整備して頂きたいと思います。	(女)	70~74歳	殿ヶ谷)
• 青梅線等のように八高線の側道を是非、使って下さい。駅がきれいになったのだから住民にとっても、便利になると思います。	(女)	80歳以上	箱根ヶ崎)
• 歩道の段差がとても高かったり、変な場所に信号があったり、主要道路以外の地域には通行しづらい、危険だと感じる箇所はたくさんあります。実際に歩いて確かめてみてはいかがでしょうか。	(女)	不明	武蔵野)
• 駅前の歩道橋の撤去。	(不明)	50~54歳	元狭山)
• 狭山池より良友園に通じる八高線をはさむ道路が整備され便利になり、感謝して居ります。歩道が整備されることを希望して居ります。	(不明)	80歳以上	箱根ヶ崎)

河川

- 残堀川も草が茂っていて蛇でもでそうな気がします。身近なことから気持ちよく使用できるようにしてほしいです。(女 30~39歳 殿ヶ谷)
- 小さな河川がありますが、もっと整備して子どもが川遊びできるようにして下さい。(不明 75~79歳 箱根ヶ崎)
- さやま池へ流入する小河川の整備をして下さい。(不明 75~79歳 箱根ヶ崎)

公共交通

- 八高線が不便で新宿を10時30分にはでなければならぬ。(男 18~19歳 元狭山)
町の活性化どころより路線を最優先に考えてほしい。
「若者に住みよい町づくりを」なども説得力がない。

	性別	年齢	居住地区
• 八高線の本数を増やしてほしい。	(男)	18～19歳	箱根ヶ崎)
• とにかく電車を増やして欲しいです。せめて、12時過ぎても1本だけ。それが拝島から箱根ヶ崎への何らかの交通手段があれば嬉しいのですが。	(男)	20～29歳	箱根ヶ崎)
• 町だけで改善できることではないが、八高線の本数が増えればより住みやすい町になると思う。	(男)	20～29歳	殿ヶ谷)
• 八高線金子駅 - 箱根ヶ崎駅間に新しい駅があるといい。	(男)	20～29歳	元狭山)
• 交通機関(主に電車)さえよくなればこの町はけっこう好きですね。	(男)	20～29歳	箱根ヶ崎)
• 八高線の本数や最終電車について増やす、伸ばすことをJRに働きかけてほしい。多摩都市モノレールが利用できない現在、交通手段の整備は必須である。	(男)	20～29歳	箱根ヶ崎)
• コミュニティバスを走らせてほしいです。	(男)	20～29歳	長岡)
• バス等の交通機関もないので大変不便である。若い世代だけなら良いのかもしれないが。高齢者・障がい者には住みにくい。	(男)	20～29歳	元狭山)
• 八高線の早期本数増設。切に願う。駅が立派になっても、本数の少なさ、終電の早さなど、使い勝手が悪すぎる。	(男)	30～39歳	元狭山)
• 八高線の使い勝手が非常に悪く、複線化するなど本数を増やしてほしい。昔から待っています。	(男)	30～39歳	箱根ヶ崎)
• モノレールはどうなったのか。早く進めてもらいたい。	(男)	30～39歳	箱根ヶ崎)
• とにかく交通が不便。	(男)	30～39歳	元狭山)
• 八高線の終電時間をもう少し伸ばしてほしい。もしくは、青梅線(福生や羽村、小作)の駅からバスを出してほしい。	(男)	40～49歳	元狭山)
• 八高線最終電車が八王子発23:14で早い。あと30分程遅い電車が必要。夜遅くなると八高線拝島で交換待ちで10分程度止まるが、交換待ちを短縮するか八王子発車時間を遅らせてほしい。	(男)	40～49歳	石畑)
• とにかく交通が不便です。都内通勤がかなりきびしいです。八高線の本数を増やして下さい。	(男)	40～49歳	元狭山)
• 町営でも八高線に駅を増やして下さい(JRと協議して)。まずは人口増加策を考えるべき。	(男)	40～49歳	不明)
• 早くモノレールを整備してほしい。	(男)	40～49歳	元狭山)
• 町内循環バスが欲しい。	(男)	40～49歳	元狭山)
• モノレール整備が無理なら町内のはじの方までバス停や駅から5分以内で家に着くくらいの交通整備をしてほしい。	(男)	40～49歳	元狭山)
• 以前公共のバスは運行しないとの回答がありましたが、それで終わりでは困るの一言。朝バスが来て夕方まで運行しないのは、陸の孤島です。	(男)	40～49歳	元狭山)
• 人口が少ない為仕方ないかもしれないが交通機関が不便。改善して欲しい。	(男)	40～49歳	元狭山)
• 車を運転出来る人ばかりでもなく、運転出来ても駅前に車を駐車して行く訳にも行かず。電車はそして単線です。もっと便利にしてください。	(男)	40～49歳	元狭山)
• 八高線の朝と夜の少なさ、終電の早さ。子が都心通勤ですが、時間がかかり過ぎて一人暮らしを考えています。	(男)	50～54歳	元狭山)

	性別	年齢	居住地区
・ JR箱根ヶ崎駅西口エスカレーターは22時を過ぎると閉鎖されるが、終電迄は使えるようにすべきだ。閉鎖チェーンを乗り越え階段として利用する事多く大変危険である。	(男)	50~54歳	箱根ヶ崎)
・ 交通機関は今だに変わっておらず大変住みにくい町です。町内のバス便をどうにかして欲しいと思います。同居していた父も、交通の便のいい所に引越しました。	(男)	50~54歳	元狭山)
・ JR八高線のダイヤ増発を望む。	(男)	55~59歳	箱根ヶ崎)
・ 箱根ヶ崎駅ホームは少なくとも6両位止まれる長さがよかったのではと思います。日中は2~3両にしても、ラッシュ時には6~8両はほしいような気がします。	(男)	55~59歳	長岡)
・ 交通、生活環境等、住み良い街作りを希望(期待)します(長く住みたい為)。	(男)	55~59歳	元狭山)
・ 八高線終電の延長。	(男)	65~69歳	殿ヶ谷)
・ 八高線の電車本数の増加。	(男)	65~69歳	殿ヶ谷)
・ 武蔵村山市バスを箱根ヶ崎駅まで延長(町バスが出来ればそれにこしたことはないが)。	(男)	65~69歳	殿ヶ谷)
・ 八高線の本数をもう少し増やして欲しいです(特に夕方~夜あたり)。	(女)	18~19歳	元狭山)
・ 通学で八高線箱根ヶ崎駅を利用したいのですが、昼間1時間に2本だけのため拝島駅で待たなければならず、羽村駅まで行って拝島駅で西武線に乗り変えています。八高線の本数が増えるとうれしいです。	(女)	18~19歳	長岡)
・ 八高線を早く複線にして下さい。	(女)	18~19歳	箱根ヶ崎)
・ モノレールを瑞穂まで延ばすという件、あきらめず頑張ってください。	(女)	18~19歳	元狭山)
・ 八高線の本数が少ない。終電が早すぎるのが不満。	(女)	20~29歳	箱根ヶ崎)
・ 八高線の本数の増大(終電が早すぎるので)。	(女)	20~29歳	箱根ヶ崎)
・ 八高線しかないので不便でなりません。本数を増やしてほしいのはもちろん、終電をもう少し遅い時間にして頂きたいです。五日市線ですら0時位まであります。	(女)	20~29歳	箱根ヶ崎)
・ 終電をもっと遅くまでのばして欲しい。	(女)	20~29歳	箱根ヶ崎)
・ 八高線の本数を増やして欲しい。	(女)	20~29歳	石畑)
・ 公共交通機関の充実。八高線の増発。	(女)	20~29歳	元狭山)
・ 八高線の本数をもっと増やして欲しい。	(女)	20~29歳	箱根ヶ崎)
・ 八高線の複線化を今すぐ実行して欲しい(言っているばかりで何十年も進んでない)。	(女)	20~29歳	石畑)
・ 八高線の複線化。	(女)	20~29歳	箱根ヶ崎)
・ 八高線を4両以上にして本数を増やしてほしい。	(女)	20~29歳	元狭山)
・ モノレールを通して欲しい。とにかく、交通の便が不便すぎる。交通が良くなれば、かなり住みやすくなると思う。	(女)	20~29歳	石畑)
・ 早期モノレール化をお願いします。その働きかけを。	(女)	20~29歳	殿ヶ谷)
・ 交通の便が悪すぎる。早くモノレールを通して欲しい。	(女)	20~29歳	箱根ヶ崎)
・ コミュニティバスの運行の実現。	(女)	20~29歳	元狭山)
・ 交通の便も悪く、せめてジョイフル近辺から、箱根ヶ崎行きなどバスもあると良い。モノレールなども伸びてくるとより便利だが、まずは、バスからでも。	(女)	20~29歳	殿ヶ谷)

	性別	年齢	居住地区
• 高齢者が安心して住める町にして欲しい。他の市でやっている様な町内をまわるバスをやるなど。	(女)	20~29歳	殿ヶ谷)
• バスの本数が少なく不便。晴れている日は自転車で駅まで行けませんが、雨の日は大変でとても困っています。	(女)	20~29歳	元狭山)
• 都バスの本数を増して欲しい。	(女)	20~29歳	箱根ヶ崎)
• 町内にバス等交通機関がないのはとても不便。車がないと移動できないのは、お年寄にも不親切なのは。	(女)	20~29歳	元狭山)
• 公共交通機関の充実。バスの増便。	(女)	20~29歳	元狭山)
• 交通の便をもっと良くして頂けたら瑞穂町はとっても住み良い町になると思います(駅にでるまでが時間がかかるのでちょっと不便です)。	(女)	20~29歳	元狭山)
• 八高線はいつまでたっても複線化しないし、モノレールという噂は嘘っぽいし。最重視すべきは公共交通機関の充実だと思えます。それが叶えばおのずと町が活性化していくのではないのでしょうか。	(女)	20~29歳	殿ヶ谷)
• 環境面では申し分なく都内なのにすごく豊だな(森林等)と感じますが、電車や交通面が豊かになれば移り住む人も多くなるし、商業施設の利用も増えると思えます。	(女)	20~29歳	箱根ヶ崎)
• 何をしたくても不便で出掛けられません。これからは、高齢者が増え、自転車に乗れば道は細くあぶないし、店屋は近くに無く、だんだん外出しなくなって行くのではありませんか。	(女)	20~29歳	元狭山)
• 八高線、バス等交通網をもっと便利にして欲しい。	(女)	20~29歳	殿ヶ谷)
• バスと電車の数を増やしてほしいです。	(女)	20~29歳	長岡)
• バスや電車など、もっと交通機関を増やしてほしい。	(女)	20~29歳	箱根ヶ崎)
• バスと電車のつながが悪すぎる。	(女)	20~29歳	元狭山)
• 八高線の本数をふやしてほしいです。終電が早すぎます。	(女)	30~39歳	箱根ヶ崎)
• 終電の時間ももう少し遅くまで増やしてほしい。	(女)	30~39歳	元狭山)
• 八高線の本数を増やすよう働きかけてほしい。	(女)	30~39歳	箱根ヶ崎)
• 八高線の本数を増やしてほしい。	(女)	30~39歳	元狭山)
• JR八高線の本数を増やしてほしい。	(女)	30~39歳	箱根ヶ崎)
• とにかく交通の不便がどうかにならないかと思う。早く八高線の本数を増やす。	(女)	30~39歳	元狭山)
• モノレール、鉄道関係をもっと少し検討して欲しい。交通の便があまりよくないので。	(女)	30~39歳	武蔵野)
• モノレール計画(かつての)はどうなったのか。	(女)	30~39歳	箱根ヶ崎)
• 町内巡回バスを運営して欲しい。	(女)	30~39歳	箱根ヶ崎)
• 交通の便が悪いです。駅行くまでにバスの利用やバスの本数を改善してほしいです。若者は他へ引っ越しするのも当たり前です。	(女)	30~39歳	武蔵野)
• 箱根ヶ崎駅はキレイで使いやすく、車をやめて駅を利用しようと思うのですが、バスの本数が少く不便です。長岡から箱根ヶ崎までのバスの本数があれば、使用したい人がいると思います。	(女)	30~39歳	長岡)

	性別	年齢	居住地区
<ul style="list-style-type: none"> 長岡地区に住っていますが、役場や箱根ヶ崎駅へ(町の中心部)の交通手段がありません。町の行事に参加したくてもできません。子育てや高齢者のことを考えても重要なことだと考えています。 	(女)	30~39歳	長岡)
<ul style="list-style-type: none"> 国際化を推進しているようですが、交通手段の確保など町の中へもっと目を向けていただきたいです。 	(女)	30~39歳	長岡)
<ul style="list-style-type: none"> 役場、保健センター、スカイホールに行く交通が不便(車がない、自転車もダメな人はどのようにして、行っているのでしょうか)。 	(女)	30~39歳	武蔵野)
<ul style="list-style-type: none"> 商業施設は発達し、住みやすくなったが交通(電車、バス)が不便で、なんとかしてほしい。 	(女)	30~39歳	石畑)
<ul style="list-style-type: none"> 瑞穂町内の中でも、公共交通がとても不便な所があり困ります。サイズは小型でも中型でもいいので、コミュニティバスなど駅までの本数を増やして欲しいです。 	(女)	40~49歳	元狭山)
<ul style="list-style-type: none"> スカイホールや町営グラウンドを利用したくても、歩いて行くのは無理。駅から無料の送迎バスがほしい。 	(女)	40~49歳	箱根ヶ崎)
<ul style="list-style-type: none"> 新青梅街道から南方面に住んでいると八高線(箱根ヶ崎駅)に乗りたくても交通が不便です。バス路線を青梅街道だけでなく、もっと広げてミニバスでも良いのでベビーザラスやジョイフルホンダ付近からも乗れるよう考えてほしいです。 	(女)	40~49歳	殿ヶ谷)
<ul style="list-style-type: none"> 交通の機関の充実を望みます。 	(女)	40~49歳	元狭山)
<ul style="list-style-type: none"> 終電が早すぎる。通勤、通学に日々不便を感じます。 	(女)	50~54歳	石畑)
<ul style="list-style-type: none"> 電車の本数が少ない。 	(女)	50~54歳	石畑)
<ul style="list-style-type: none"> 八高線は不便です。買い物は青梅線を利用し福生、羽村、立川方面で瑞穂町の商店で買うことはほとんどありません。 	(女)	50~54歳	武蔵野)
<ul style="list-style-type: none"> 車がないと生活できない町である。もっと交通が便利になってほしい。また徒歩だけでも生活しやすいようにしてほしい。 	(女)	50~54歳	箱根ヶ崎)
<ul style="list-style-type: none"> 町職員の通勤はすべて交通機関を使用する。 	(女)	50~54歳	箱根ヶ崎)
<ul style="list-style-type: none"> 巡回バスも欲しいものです。特にお年寄り夫婦だけの世帯には非常にフットワークの悪い町だと思います。 	(女)	55~59歳	殿ヶ谷)
<ul style="list-style-type: none"> 年々、高齢者が多くなり、交通弱者が増えると思います。足がないことは不便です。コミュニティバスを走らせて下さい。 	(女)	55~59歳	武蔵野)
<ul style="list-style-type: none"> 羽村市のように1時間に1本でも町内のバスでもあれば。ジョイフルや耕心館にも行ってみたいと思っても歩くのは大変です。何とかならないのでしょうか。 	(女)	55~59歳	武蔵野)
<ul style="list-style-type: none"> モノレールが通るとい話はどうなったのでしょうか。新青梅街道をひっばってくれば思いますが予算が掛かり過ぎてしまいますネ。鉄道との通過駅が必要だと思いますが是非宜しく。 	(女)	60~64歳	武蔵野)
<ul style="list-style-type: none"> 町内循環バスの運行。 	(女)	60~64歳	石畑)
<ul style="list-style-type: none"> バスの便が悪く、箱根ヶ崎駅にも出て行けず又昭島へ行くにもバス停まで歩き、砂川(西武線)まで行けない。なんとかバスの循環を考えてほしい。家にいればおかしくなりますよ。 	(女)	60~64歳	殿ヶ谷)

	性別	年齢	居住地区
・ モノレールの実施はいつの事ですか、立川へ直に行けると又活気が出るでしょうに。議会、町長は積極的に行動して下さい。	(女)	65～69歳	武蔵野)
・ 現在は車を運転する事が出来る状態ですが、バス停も近くになく不安です。長期計画としてコミュニティバスの運行等を要望する次第です。	(女)	65～69歳	武蔵野)
・ 町内ぐるりのバスを作って、停留所もこまめに作って下さい。足、腰しっかりした老人はたくさんおり、藤だなの下の日なたぼっこでは可哀想です。これからも増える老人たちを考えて頂きたい。	(女)	70～74歳	武蔵野)
・ 箱根ヶ崎の駅、町民会館、スカイホールに行くにも交通の便がない。町民の小型バスがほしいですね。	(女)	70～74歳	長岡)
・ 高齢化に伴い運転不能となる多くの人達の為、ミニバス導入を最優先としていただきたくお願いいたします。	(女)	70～74歳	元狭山)
・ 交通の便。自宅からバス停まで15分。外出の場合、タクシー利用。	(女)	70～74歳	箱根ヶ崎)
・ 不便を感じているのは交通機関です。立派な施設が出来ようと、高齢者にとってはそこへ出かける手段がないのが残念です。	(女)	70～74歳	箱根ヶ崎)
・ 交通の便が非常に悪い。病院、買い物、駅まで行きたい等々、町で車を頼める制度があるが利用金額が高く、いつも頼めないとの話を聞いた。	(女)	75～79歳	元狭山)
・ 羽村市には「はむらん」、東大和市には「ちょこバス」という循環バスがありますが、瑞穂町にも町内循環バスは必要だと思います。	(女)	不明	武蔵野)
・ バスの停留所にイス、もしくは屋根をつけてあげて欲しい(高齢者が気の毒に思えるときがあります)。	(女)	不明	武蔵野)
・ 元狭山地区は交通不便。	(女)	不明	元狭山)

防災

- ・ 台風の大規模化、突風や竜巻、ゲリラ豪雨、地震などの事態が起こった時、行政の対応は万全か。危機管理体制の普段の周知徹底をお願いしたい(9/1訓練で大丈夫)。(男 65～69歳 元狭山)
- ・ 消防団員の活動を時給制にするなど見直してほしい(少なすぎる)。優遇制度の見直しも必要と考えます。(男 不明 箱根ヶ崎)
- ・ 防災対策があげられているが避難場所等わかりづらく、しっかりしているのもったいない。(女 20～29歳 殿ヶ谷)
- ・ 危険な場所が多い。鉄工所があり、道路に面し木柱が2、3m以上高く積んであり、台風や地震で倒壊するような積み上げで危ない。事前にふせげるように危険な地域を見つけて注意してほしい。(不明 20～29歳 石畑)

情報化

- ・ 情報網の整備。NTTの光ファイバー導入もおそかったがその他(KDDI等)整備が遅れている。(男 40～49歳 箱根ヶ崎)

	性別	年齢	居住地区
<ul style="list-style-type: none"> ケーブルTVの推進。期間を決め、安く出来る様に今1度考えてもらいたい。町の出来事、これからの瑞穂町を多くの町民に知らせてほしい。 	(女)	50~54歳	箱根ヶ崎)

3 生活環境

コミュニティ

<ul style="list-style-type: none"> 福生、青梅の夏祭り等は活気があると思います。また石畑よりも箱根ヶ崎方面が、祭り等に関心が深いのではと感じます。石畑地区もメイン通りにちょうちんをつけて活気づかせるのも町を盛り上げる為に必要と思います。 	(男)	20~29歳	石畑)
<ul style="list-style-type: none"> 自治会・町内会や消防団等に若い世代の理解・協力が必要。他地域から引っ越しや結婚等で町民になった人が昔からの町民と仲良くできる町作りがいいと思います。 	(男)	20~29歳	石畑)
<ul style="list-style-type: none"> 因習が深く迷信がはびこる。こういうイメージをなくせ。東京で1番の田舎だ。 	(男)	50~54歳	箱根ヶ崎)
<ul style="list-style-type: none"> 町内会長老に一言。瑞穂町へ来ていまだ外物扱い。これでは町は発展しないよ。 	(男)	65~69歳	石畑)
<ul style="list-style-type: none"> 自治会に入らなくても、皆んなでコミュニケーションがとれるように、大きなお祭りとかあってもいいと思います。 	(女)	40~49歳	長岡)
<ul style="list-style-type: none"> 地元の人と新しい人と皆がわけへだてなくすごしやすい町作りを期待しています。 	(女)	40~49歳	長岡)
<ul style="list-style-type: none"> 瑞穂は、土着の人が多く閉鎖的な意識をまず改めた方がいいと思います。地域のもめごととかも、親身になって対応する思いやりがほしいです。 	(女)	40~49歳	長岡)
<ul style="list-style-type: none"> 地区会館は、利用するのに管理者からのカギの預かり返却があり不便です。改善をお願いします。 	(女)	55~59歳	武蔵野)
<ul style="list-style-type: none"> よその所から来た人達を受け入れられないような冷たさがあります。同じ住民として悲しいことです。 	(女)	55~59歳	殿ヶ谷)
<ul style="list-style-type: none"> 地域によって、住みにくいとも感じますし、閉鎖的だと思うことも多くあります。 	(女)	55~59歳	長岡)
<ul style="list-style-type: none"> 何年過していても馴染めない雰囲気があり、可能であれば引っ越したい。昔からの地元の方との交流がうまく取れない。取り入れてくれない様な雰囲気を感じる。 	(女)	55~59歳	長岡)
<ul style="list-style-type: none"> よそ者には排他的と感じている人が結構います。古い体質を変え、若者が住みたい町にしていけないと、東京都でありながら過疎の町になるのではと危惧しています。 	(女)	60~64歳	箱根ヶ崎)
<ul style="list-style-type: none"> 殿ヶ谷に会館が1か所なので各町内に会館の建設をお願いします(防災、老居、幼児の育成)。 	(女)	65~69歳	殿ヶ谷)
<ul style="list-style-type: none"> グランドボール、盆踊り、その他グループが出来ているので入りにくい近所の人に声をかけて下さい。 	(女)	70~74歳	長岡)
<ul style="list-style-type: none"> 閉鎖的で、よそ者を受け入れようとしない。1日も早く、出て行きたい。 	(女)	不明	元狭山)
<ul style="list-style-type: none"> 自治会など最近では意義が見出せない。町内会費を高いと思い退会する人、入らない人も多くなっている。 	(不明)	55~59歳	長岡)

スポーツ・レクリエーション

- スポーツ施設が1か所に集中。体育館でのスポーツに参加したいとか、マシーン運動をしたいなど、身近なところがないので不便です。福生市みたいに分散してあれば、行きやすい。 (男 20～29歳 武蔵野)
- 大雨の中、ビューパーク競技場の管理棟2Fおどり場で、サッカー観戦をさせて頂きましたが、「よごれると困る」と注意され、非情な気がしました。注意書きで、「よごれるとこまるので上らないで下さい。」と表記するか、開放するかして頂ければと思います。 (男 20～29歳 武蔵野)
- 例えばテニスコートの予約等はインターネットでできる様にしてほしい。わざわざ予約するためにスカイホール等に出向くのでは利用しなくなる。 (男 50～54歳 元狭山)
- 町内グラウンドが利用出来ない。 (男 60～64歳 箱根ヶ崎)
- 町内の施設はむずかしくて利用していません。羽村、青梅は簡単に利用出来ます(インストラクターも付けてくれます)。 (男 60～64歳 箱根ヶ崎)
- 平成25年東京国体を成功させる為にどの様な準備をしているのでしょうか。又、国体が開催されるという事は名誉な事ですので、もっと町民に知らせるべきだと思います (男 65～69歳 箱根ヶ崎)
- 冬でも入れるプールがあったら便利だと思います。羽村まで行くのは遠いです。 (女 18～19歳 箱根ヶ崎)
- 運動施設の拡充、機械を取り入れた施設を。ルームランナー etc。 (女 20～29歳 殿ヶ谷)
- 体育館を含む、スポーツ施設をつくる。 (女 20～29歳 元狭山)
- 小さい子から高齢者までつかえる施設なおかつ、働ける場所をつくる。例えば大型プール施設など、人も集まり、働ける場所にもなると思うのですが。 (女 30～39歳 武蔵野)
- スポーツジムや屋内プールなど他の市のものをもっと安く利用できるようにしてほしい。 (女 30～39歳 殿ヶ谷)
- 子どものサッカーチーム、野球チームなど町の方も応援に力を入れていただきたいです。 (女 30～39歳 長岡)
- 町営第2庭球場に第1庭球場のようなクラブハウス(更衣室、シャワー室、トイレ)を設置して欲しいです。駐車場も台数多く駐車出来る様お願いします。 (女 40～49歳 元狭山)
- 団地が多い所に市民プールがあればいいと思います。瑞穂の市民プールは少し遠く、子ども達が自分で行けると、夏休みが楽しく過ごせるかなと思います。 (女 40～49歳 武蔵野)
- 町内にパチンコが多いです。それより、スポーツセンター(ジム、温水プール等)を作れば、利用する年齢層が広がり、楽しいひとときを過ごせるかと思います。 (女 40～49歳 元狭山)
- プール、体育館、スカイホールグラウンドなど、ものすごく中途半端な広さだと思います。公共施設を作る時は使用者の意見を丁寧に聞いた方が良くと思います。 (女 50～54歳 箱根ヶ崎)
- 色々なスポーツができる体育館がないのは残念です。立川、青梅の友人は、体育館での色々なスポーツに参加しています。設備も良く、うらやましく思います。 (女 50～54歳 元狭山)

	性別	年齢	居住地区
<ul style="list-style-type: none"> 都合の良い時に出かけて行って、軽い運動の出来るスポーツ施設の確保。リズム運動、踏み台運動など、テレビ(インストラクターならより良い)の使用により、楽しみながら出来る場所。 	(女)	60~64歳	箱根ヶ崎)
<ul style="list-style-type: none"> 歳をとったので羽村まで行くのが大変なので瑞穂に室内プール作ってほしいです。 	(女)	70~74歳	元狭山)
<ul style="list-style-type: none"> スポーツ施設は町で働いていなくとも無料にしてほしい。予約も何か月も先まで入っているの、なかなか予約ができない。子ども優先とはいえ、もう少し日曜日に利用できるようにしてほしいです。 	(不明)	20~29歳	石畑)

イベントと観光

<ul style="list-style-type: none"> 昭和記念公園花火大会に勝るほどの、スカイホール花火大会の実施、2万発。 	(男)	20~29歳	元狭山)
<ul style="list-style-type: none"> 町の特色が感じられず残念です。名所、名物などはないのでしょうか。町全体でやるような祭りなどはできないのですか。もっと町をPRしてみてもいいのでしょうか。 	(男)	30~39歳	武蔵野)
<ul style="list-style-type: none"> 瑞穂町にも、羽村のちゅーりっぷ畑や青梅のしょうぶ園、つつじ祭りのような、皆が立ちよりたくなるようなイベントがあると嬉しいです。 	(女)	20~29歳	長岡)
<ul style="list-style-type: none"> 子どもが参加できるイベントなどの活動がずいぶん活発化してきていると思います。 	(女)	不明	元狭山)
<ul style="list-style-type: none"> 狭山地公園でのイベント 六道山、スカイホールでのイベントを活かす。 	(不明)	50~54歳	元狭山)
<ul style="list-style-type: none"> 産業まつりをさらに豊かに。 	(不明)	50~54歳	元狭山)
<ul style="list-style-type: none"> 六道山を利用したレジャー施設の設置。巨大イベント(新しい祭り、音楽会、など)の開催などアスレチック等のテーマパークを建設しても喜ばれると思います。 	(男)	30~39歳	箱根ヶ崎)
<ul style="list-style-type: none"> 町の中央に案内所があると分りやすい。瑞穂町マップ(道路表示と施設観光表示)、瑞穂町郷土おみやげ店(町アピールの為)。 	(女)	60~64歳	箱根ヶ崎)

交通安全

<ul style="list-style-type: none"> 瑞穂町の歩道は全体的にせまいので子どもを安心して歩かせられない(ポールや標式がじゃまになり、傘をさすと車道に出ないといけないのでより危険)。 	(男)	30~39歳	武蔵野)
<ul style="list-style-type: none"> バイパスが出来たが旧16号の方が早い。これでは大型車がバイパスにいかない。又信号無視や右折禁止違反等多すぎ大型車の違反をのばなしにしている。 	(男)	40~49歳	箱根ヶ崎)
<ul style="list-style-type: none"> 防災無線で教育委員会からのお知らせですが、注意など無用との顔つきで睨む。通学路では車が避けるのがあたりまえ。足の不自由な老人にも道を譲る事もない。この放送は時報のためなのかとも思え淋しくなります。それでも毎日見守る気持ちであります。 	(男)	60~64歳	武蔵野)

	性別	年齢	居住地区
<ul style="list-style-type: none"> 夏祭の時旧青梅街道を通行止めにすのは、大変不便で困る。時間で区切りながらあるいは一方通行等の手段を取っていただきたい。 	(男)	80歳以上	殿ヶ谷)
<ul style="list-style-type: none"> 旧日光街道の三小付近で、信号のない交差点には、カーブミラーをつけて頂きたいです(ホワイト急便の所です)。 	(女)	20~29歳	元狭山)
<ul style="list-style-type: none"> 住宅地ですが、車やトラックがスピードを出して抜け道となっています。小学校通学路にもなっているので危ないし車の音がうるさくて気になっています。瑞穂第四小学校の裏(西松原)はスクールゾーンにした方が良くと思います。 	(女)	20~29歳	箱根ヶ崎)
<ul style="list-style-type: none"> 元狭山地区栗原町会内は、歩道がとても狭く、登校の安全にガードレール設置も必要と感じています。近くには瑞学園があり、障がい者の方やお年寄りの方の為にも歩道の確保が必要と思います。 	(女)	30~39歳	元狭山)
<ul style="list-style-type: none"> 狭い道でもスピードを出したり、信号無視は日常茶飯事です。横断歩道が青の時には、完全に車を停める信号機など、左、右折時の巻き込み防止策をお願いしたい。 	(女)	30~39歳	箱根ヶ崎)
<ul style="list-style-type: none"> 西一丁目、狭山神社前から栗原肉店前、加藤商店前の道路は、リビンが出来てから抜け道にもなっている様で、通学路なので、事故があるないに関わらず対応願いたい。 	(女)	30~39歳	箱根ヶ崎)
<ul style="list-style-type: none"> 西松原の16号から1本入った道路は住民以外かなり車が通るんですが、危険なので住民以外の車はなるべく通さないことはできないでしょうか。 	(女)	30~39歳	箱根ヶ崎)
<ul style="list-style-type: none"> 一小地域は、交通の激しい場所が多く、朝はボランティアの協力があり安心してはいますが、帰りはとても心配です(調査を早急をお願いします)。 	(女)	30~39歳	箱根ヶ崎)
<ul style="list-style-type: none"> 如意輪前の横断歩道に子どもを見守って下さっている元警察官の男性の方などボランティアの方に、賞や、カップ、長ぐつなどあっても良いのでは。 	(女)	30~39歳	箱根ヶ崎)
<ul style="list-style-type: none"> 松山町入口など通学路に歩行者信号をつけて欲しいです。子どもが飛び出しこわい事が多いです。信号が無理ならば通学時間だけでもボランティアの方をお願いできるとありがたいです。 	(女)	30~39歳	元狭山)
<ul style="list-style-type: none"> 中学生の自転車マナーが悪い。横にひろがっていて車がよける様だったり、老人が歩いていても自転車を下りずに通ってみたり。通学路をきめ、危険運転はさせないと指導が必要だと思います。 	(女)	30~39歳	箱根ヶ崎)
<ul style="list-style-type: none"> 東松原の交差点に、感知式信号であることが分かる標識をつけていただきたい。感知式と知らないドライバーが道幅の狭さを考慮し停止線より下がって待つと、信号が分からず渋滞することがあります。 	(女)	30~39歳	箱根ヶ崎)
<ul style="list-style-type: none"> 通学路の歩道がない様な町は住みやすいのでしょうか。又、教育にも、良い環境とはいえないのではないかと。 	(女)	40~49歳	元狭山)
<ul style="list-style-type: none"> 町長選挙で感じたのですが、演説場所が、青梅街道沿いや道路沿いのスーパーの前やら、通行のジャマになる所ばかりで危険な思いをしました。そういう所の利用を禁止するなど町でルールを作って下さい。 	(女)	40~49歳	元狭山)

	性別	年齢	居住地区
• 道路の安全・制限速度や進入禁止などの強化。	(女)	50～54歳	箱根ヶ崎)
• 役場関係の書類などコミュニティセンターでは間に合わない時、バスに乗り箱根ヶ崎から歩きます。青梅街道は道巾が狭く、車の通り過ぎはとってこわいです。	(女)	55～59歳	武蔵野)
• 三小近くの歩道は狭くてすれ違うこともできない。すれ違う時、三小の子どもは車道におり危険だ。	(女)	55～59歳	箱根ヶ崎)
• 西三丁目地区は車の往来が多く、大型車などの通行などで危険な所です。歩道もなく、近年特に環境面が不安を感じます。	(女)	60～64歳	箱根ヶ崎)
• 自転車で重体事故を起こす中学生が必ず1名はいます。幼稚園～高校まで近くの道路にはガードレールを設置して欲しいです(瑞穂二中や瑞穂中、農芸周辺の道はとても危険です)。	(女)	不明	武蔵野)

防犯

• 残堀川の工事も完成しましたが、散歩をしやすくする為に街灯を増やしてくれればと思いました。会社から帰ってくる時、暗くとても淋しさを感じます。	(男)	20～29歳	石畑)
• 女子中学生や高校生がミニスカートにしていますが、性犯罪等が増えてきており、学校や自治会で「ミニスカート禁止」を広めてくれたほうが良いと思います。	(男)	20～29歳	武蔵野)
• 瑞穂町は、ややガラが悪い。夜中に住宅街を爆音をたてて走り去るバイクや車が多いのに驚いています。子どもが小さいので音がする度にヒヤヒヤしています。	(男)	30～39歳	長岡)
• 街灯が蛍光灯なので暗い為、娘を1人歩きをさせる事ができない。	(男)	40～49歳	長岡)
• 交番の数を増やしてほしい。警察への要望等してほしい。	(男)	55～59歳	元狭山)
• 毎日悲惨な傷害や殺人事件が報じられているが、瑞穂町はこの種のニュースの発信元にならないよう安心して暮らせる街づくりの輪を行政の指導で広げて貰いたい。	(男)	65～69歳	元狭山)
• 新青梅街道と16号の交差点の付近は交通量は多く、「パチンコ」「遊技場」もあり治安から考えれば駐在所が必要。是非作ってほしい。	(男)	70～74歳	箱根ヶ崎)
• 長岡は夜、まっくらです。怪しい人に会い大変怖い思いをしました。	(女)	18～19歳	長岡)
• 長岡は夜、まっくらです。パトカーを巡回させるなど、防犯に力を入れて欲しいです。	(女)	18～19歳	長岡)
• 夜道が暗すぎる。外灯がある明るい道にして欲しい。	(女)	20～29歳	箱根ヶ崎)
• 夜、町全体が暗くて怖い。	(女)	20～29歳	箱根ヶ崎)
• 警察をひんぱんにパトロールさせ、安心して暮らせるようにして欲しい。	(女)	20～29歳	石畑)
• 箱根ヶ崎駅の交番があるが、いざという時、かけつけるまでに時間がかかり、頼りないと思う。	(女)	20～29歳	箱根ヶ崎)
• 場外馬券場をつくるという案があるようですが、お金が入ってくるからといって、そういう物をつくるのはやめてほしいです。	(女)	20～29歳	石畑)
• 街灯が少なく暗い道には、街灯をつけて欲しい。	(女)	30～39歳	箱根ヶ崎)

	性別	年齢	居住地区
• 街灯が暗いので明るくしてほしい。	(女)	30～39歳	箱根ヶ崎)
• 不審者が出た場合、町内放送を流し、町内にいる大人で子ども達の安全を確保できる様にしてほしい。学校メールが送信されても、共働きの為町内にいないので不安がある。	(女)	30～39歳	武蔵野)
• 町内パトロール等シルバー人材などで通学時間に配置できませんか。住民の目とはいえ共働きなど多く難しく思うので。	(女)	30～39歳	石畑)
• 川の歩道も街路灯が少なく暗い所が多々見られ、夜、運動で歩くのに恐れを感じがします。	(女)	50～54歳	不明)
• 瑞穂町はパチンコ店が多すぎる。そのうえ場外馬券場まで誘致されたら、教育上少しもよいことはない。	(女)	55～59歳	箱根ヶ崎)
• これからの子ども達の事を考えると安全安心な住みよい町になってほしいと思います。	(女)	65～69歳	箱根ヶ崎)

葬祭

- 瑞穂斎場は式場が少なく通夜、告別式に1週間待ちは当たり前前になっています。夏場の1週間待ちは、利用者にとっての負担は大きい。駐車場を減らし式場を増設すべきだと思う。

4 産業

商業

- 欲を言えばコンビニエンスストアなどの時間を気にせず利用できる店がもっとほしいところです。
- 町の活気がない。祭りの時だけウルサクなる。箱根ヶ崎駅の反対側もさびしい。自販機の1つもない。
- 殿ヶ谷から石畑の間(一部箱根ヶ崎)青梅街道には、歩道が無いから人が歩かず商店街に人が居ない。いっその事青梅街道を遊歩道にしまえば。
- 中堅スーパーが次々となくなり、町中の商店も半分は機能しておらず特に食料品の店がない。歩いて行ける食料品スーパーがあればと思う。箱根ヶ崎地区(東一丁目、西、二丁目)コンビニもない。
- 書店が少ないのも気になる。書店が少ない町は文化的にも遅れている事を考えると教育的にも問題があると思う。
- 瑞穂の商業は大変。活性化させたい割には放置。このまま商業を放置し続けたら間違いなく瑞穂は終わります。商店街の活気は、町の活気につながると思います。
- 駅近くの商店街もシャッター通りとなってもったいない。もっと活性化する様になると良い。ex. 福生駅前に大きな企業があって、高齢者の商店街から若者向き商店街になるなど。
- 商店街に車を停めるスペースがないし、魅力的な店が少ない。商店街自体アーケードにして、雨でも利用したくなるように利便性を求める。

	性別	年齢	居住地区
• 駅周辺に飲み屋が少なく、つまらない。スナックみたいのはあるが、入りたくはない。買い物したい店が少ない。	(女)	20~29歳	箱根ヶ崎)
• 箱根ヶ崎駅前にカフェやスーパーができてほしい。	(女)	20~29歳	箱根ヶ崎)
• コンビニ等の充実。街灯が少なく、物騒なので、お店があると明るくてよい。	(女)	20~29歳	箱根ヶ崎)
• 生活用品を近くで買いに行けるなど高齢者が安心して住める町にして欲しい。	(女)	20~29歳	殿ヶ谷)
• 瑞穂町は、環境がよく住みやすい町だと思います。鉄道は不便ですが、道路はキレイに整備され、国道16号や青梅街道があり交通は便利だと思います。モールやジョイフル本田があることで買い物も便利です。	(女)	20~29歳	武蔵野)
• モールも除々に衰退し、商店街も活気がない。近隣の入間アウトレット、武蔵村山イオンモールに人がとられていると思う。	(女)	20~29歳	元狭山)
• 駅内にカフェやキヨスクの設置や駅周辺を便利にしてほしい。現状では“広いだけ”で初めて駅に来た人が不便さを実感。	(女)	30~39歳	箱根ヶ崎)
• もっとコンビニなど、ふやしてほしいです。	(女)	30~39歳	箱根ヶ崎)
• 若い人たちが町離れしていくと思うので、映画などの娯楽施設(昭島市のように)を作る。	(女)	30~39歳	箱根ヶ崎)
• あるべき姿：住み良い町、住み良い環境(商業)、住み良い人づくり。	(女)	30~39歳	元狭山)
• 近くに薬局、衣料店(スーパー)がほしい。車を持っていない人、自転車に乗れない人など不便だから。	(女)	40~49歳	箱根ヶ崎)
• 箱根ヶ崎が1つの駅なのに駅の前がさびれていて淋しい感じがします。	(女)	50~54歳	不明)
• 買い物が商店街で出来る様になったらもっと良いかと思います。	(女)	50~54歳	不明)
• 瑞穂都営住宅近辺に商店街を整備していただきたい。	(女)	50~54歳	武蔵野)
• 瑞穂町は回りにくらべて、少し劣っていると思います。商店も、工業も、そして活気も無いように思われます。	(女)	50~54歳	不明)
• 新しく駅ができた時、食料品関係のストアが出来ると思っていたのに何も変化がなく非常に不満です。	(女)	55~59歳	殿ヶ谷)
• 町の商店街はシャッター通りになっており、もっと活性化ができないでしょうか。また、駐車場もないので不便です。	(女)	55~59歳	武蔵野)
• 町にはコミュニティセンターがあり、団体活動の場所がありますが、個人的につどう所がありません。気軽に話せる喫茶などあるといいですね。	(女)	55~59歳	武蔵野)
• 旧青梅街道の商店街も活気がない「シャッター通り」のアダ名(汚名を)を返上しろ。	(女)	75~79歳	箱根ヶ崎)
• エコバック等で買いものをした場合、町内で有効なポイントを集める等して商品券などに引き換えできるようにしてみても商店街の活性化につながりませんか。	(女)	不明	武蔵野)
• 商店街が復活に戻るように町としても補助金を出すのに協力してほしい。又案を出来るだけ出してほしい。	(不明)	40~49歳	箱根ヶ崎)

	性別	年齢	居住地区
--	----	----	------

工業

- 妻の仕事先が倒産したので新しい職場をさがしたが、子どもがいると働く場がほとんどない。(男 30~39歳 武蔵野)

農業

- 瑞穂町に道の駅を誘致してはどうか。国道16号、瑞穂モールの向い側の不耕作農地は最適で、ここを拠点として農産物、観光品等をPRし、町の活性化を図ったらどうか。(男 65~69歳 元狭山)
- 地域性、農業を活かし、道の駅のような、新鮮野菜や珍しい野菜、地元のお菓子等、“瑞穂じゃないと”と思えるようなものを取り扱い、活性化させれば。(女 20~29歳 元狭山)
- 農地も大切にしてもらいたいです。瑞穂の特産品や農地の有効活用(一般の方へのレンタルや教室など)等をクローズアップして農業の良さを知ってもらいたいです。(女 20~29歳 長岡)
- 町の方の作った新鮮野菜の市場的なものや道の駅のような場所で、町ならではの、ぼたもち、うどん、だんご、けんちん汁、うでまんじゅうを販売しているとうれしい。(女 30~39歳 殿ヶ谷)
- 瑞穂町の特長、特産物と言う物が挙げられない状態なので新たな名物を作った方が良い。(女 30~39歳 箱根ヶ崎)
- オリンピック近くの産直所が、八王子の道の駅のようになれば農家の方や働きたい人も守れ、観光スポットとして名所になる。(女 40~49歳 長岡)
- 元気な高齢者農業の指導(育てる楽しみ)(レジャー)。(女 60~64歳 箱根ヶ崎)
- 農家も高齢化し休耕田、畑も多くなると思います。町が休耕田、畑を借り受け、運営・生産する活動はできないでしょうか。働く人もでき、都立農芸高校と連携しブルーベリージャムや観光農園とか産業に役立つ事はできないでしょうか。農地は大事に農地として利用出来ればと思います。(女 65~69歳 箱根ヶ崎)
- 農業の振興を推進していただき、町内はもとより日本の自給自足と次の世代の後継者の育成が重要であると思います。(女 不明 元狭山)
- 商店街がさびれています。直売所(朝市など)を多く設けて町民の交流を図る。(不明 75~79歳 箱根ヶ崎)

5 保健・医療・福祉

保健・医療

- 困難な事だと思いますが、総合病院が瑞穂町にも1つあると、町民の方達の生活に役立つと思います。(男 30~39歳 殿ヶ谷)
- 医療にも力を入れて下さい。(男 30~39歳 殿ヶ谷)
- 医療体制の充実。子どもを安心して診させられる病院があるといい。(男 30~39歳 元狭山)
- 青梅総合病院や福生病院などの様な、大きな総合病院が必要と思われる(親が福生へ通院)。(男 40~49歳 箱根ヶ崎)
- 民間の総合病院の誘致を望む(高齢化社会に対する事で、住民の健康向上のため)。(男 55~59歳 箱根ヶ崎)

	性別	年齢	居住地区
・ 福祉センター寿楽入浴施設の利用者は非常に少なく、広い浴槽洗場は少ない。週1度にするとか毎日でなくすれば経費が浮くのではないか。	(男)	70~74歳	石畑)
・ 0歳児歯科健診や0歳児健診は、平日でももう少し受付時間を長くするとか、夏休み等を活用してできないものでしょうか。幼稚園などに通っていると受診できません。	(女)	20~29歳	元狭山)
・ 5月の中途半端な時期に0歳児健診があるのは、とても理解出来ません。幼稚園が始まる前の4月第1週とかでやるべきではないでしょうか。	(女)	20~29歳	元狭山)
・ 町内に出産の出来る産婦人科があったら良いと思います。	(女)	20~29歳	箱根ヶ崎)
・ 休日や夜間に診てもらえる小児病院が近くになくて困ります。	(女)	20~29歳	箱根ヶ崎)
・ 女性の検診年齢をもう少し早くからやって欲しい。乳ガンも30歳からにして欲しいです。子宮ガンも出来れば毎年受けたい。	(女)	30~39歳	箱根ヶ崎)
・ 小児予防接種、健康診断の時は、箱根ヶ崎駅から保健センターまでのバスを走らせてほしいです。	(女)	30~39歳	武蔵野)
・ 瑞穂町に総合病院が出来、いつでも通院、入院が可能であり安心した生活が送れば良いですね。	(女)	30~39歳	石畑)
・ 町民が健康で、医療費にお金をかけないですむように。悪化する前の予防的な事をしてほしいと思います。	(女)	50~54歳	箱根ヶ崎)
・ 病後や高齢者の方の気軽に通えるリハビリ教室がほしいです。介護認定がないと利用できない所ばかりのような気がします。少額なら有料でもよいと思います。	(女)	50~54歳	箱根ヶ崎)
・ 急病の時すぐ行ける病院が町内にほしいです(総合の)。	(女)	50~54歳	箱根ヶ崎)
・ 高齢化に伴う在宅医療の充実について、老人宅に、医療機関や消防、警察、役所等に通じるPC、通信機能などを充実してもらいたい。体が不自由になった時、1人でも安全な住宅が理想です。	(女)	55~59歳	元狭山)
・ 元狭山地区は医者がない。	(女)	不明	元狭山)

地域福祉

- ・ 老人介護体験などは学生時代に経験した方が良い。老いた時の自分を想像し、これからの生き方そのものを考えるきっかけにもなる。
- ・ お年寄りの方、障がい者の方々の作った作品を、一般バザーで売る機会にあわせて、JA西多摩の産直品の移動(出張)販売(武蔵コミセン)があれば、都営住宅の方がよるこびます。ぜひ食べたいので、お願いします。
- ・ 弱者(子ども、高齢者、障がい者)が安心して暮らせる町を目ざして頂きたい。

高齢者福祉

- ・ 高齢者が安心して住める町にして欲しい。デイサービス、老人ホームなどがもっと行きやすくする。

	性別	年齢	居住地区
<ul style="list-style-type: none"> 老後病気になっても優良介護病院みたいなのができ、家族が安心して暮らせる事を希望致します。 	(女)	30~39歳	石畑)
<ul style="list-style-type: none"> 介護・福祉事業の支援。 	(女)	30~39歳	元狭山)
<ul style="list-style-type: none"> 高齢者生活支援。 	(女)	30~39歳	元狭山)
<ul style="list-style-type: none"> 福祉や高齢者の住みやすい瑞穂町にしてほしいです。 	(女)	30~39歳	武蔵野)
<ul style="list-style-type: none"> 高齢化が進む中、よけいに町の活気がなくなると予測できるので、老人施設だけでなく、高齢者が集まれる機会を積極的に設けてほしい。 	(女)	30~39歳	箱根ヶ崎)
<ul style="list-style-type: none"> 高齢者が何の心配もすることがなく最期を迎えることが出来る町づくり。 	(女)	30~39歳	元狭山)
<ul style="list-style-type: none"> 介護を受ける方々のホームで、“何もしないでボーとする” “10m歩く” “泳ぐ” など色々なコースを選んでトライしてもらおう試みがおもしろいと思います。他市での事例があるので、勉強グループが必要だと思います。自分なら、どんな介護を受けたいかアンケートをとったら、意外な答えもあるかもしれません。 	(女)	40~49歳	武蔵野)

児童福祉

<ul style="list-style-type: none"> 23区やあきる野・羽村・青梅などにくらべて子どもの手当て、ひとり親家族に対してすごい遅れている。子育て・介護の方に力を入れてほしい。 	(男)	30~39歳	元狭山)
<ul style="list-style-type: none"> 子ども達等の弱者が住みやすいように希望します。また、医療にも力を入れて下さい。 	(男)	30~39歳	殿ヶ谷)
<ul style="list-style-type: none"> 公共施設に町内の地域差を感じます。箱根ヶ崎近辺は道も狭く、駐車場も小さいため車でも行きにくい。せめて子どもでも自転車で行ける範囲に施設がほしい。子どもは一度もあすなる児童館を利用出来なかった。 	(男)	50~54歳	長岡)
<ul style="list-style-type: none"> 子育て支援に関して、近隣と比べ、瑞穂町の設備や内容は充実していると思います。ひばりサロンやあすなる児童館での活動内容を充実させて、公開していけば利用者が増えていくと思います。 	(女)	30~39歳	長岡)
<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの遊び場として、公共での遊び場(センターなどの中で室内遊びが出来たり遊具を借したりする)を作るなど、雨の日は、ここへ行くと言えるような場所を作ると、安心して子どもを行かせられるのにと考えます。 	(女)	30~39歳	長岡)
<ul style="list-style-type: none"> もう少し規模の大きな児童館や、武蔵村山の体育館にある幼児室みたいなところがあれば嬉しです。 	(女)	30~39歳	殿ヶ谷)
<ul style="list-style-type: none"> 児童館も1つしかなく利用できない人もいる。特に四小地区は、子どもの人数が多いのに遊べる所が少なく、雨が降ってしまえばなくなってしまいます。 	(女)	30~39歳	武蔵野)
<ul style="list-style-type: none"> 学童も入れず又、4~6年生でも安全に遊べる施設を提供しないと、引きこもるばかりだと思います。そういう場に高齢者がいてくれると若い親は、安心して働けると思います。 	(女)	30~39歳	武蔵野)
<ul style="list-style-type: none"> 保育園の待機児童の多さに毎年唖然とします。このまま新しい施設を設立しなければ、変わらないのでは。 	(女)	30~39歳	元狭山)

	性別	年齢	居住地区
<ul style="list-style-type: none"> 子どもが3人います。働かないと生活がとても大変です。でも保育園に入れず困っています。 	(女)	30~39歳	箱根ヶ崎)
<ul style="list-style-type: none"> 小学生の子は、病院代が出せないで病院には、行ってません。医療費控除を小学生までにしてくれると助かります。 	(女)	30~39歳	箱根ヶ崎)
<ul style="list-style-type: none"> 児童(子育て金銭的支援) 教育に対する施策。 	(女)	30~39歳	元狭山)
<ul style="list-style-type: none"> 安心して子どもが産め乳幼児世帯への支援活動がある町づくり。 	(女)	30~39歳	元狭山)
<ul style="list-style-type: none"> 他の市町村からもモデルケースになる様な子どもと高齢者にやさしい町。 	(女)	30~39歳	元狭山)
<ul style="list-style-type: none"> 児童手当金の額を上げるより、給食費・教材費の無料化、修学旅行費の町からの補助、18歳まで医療費無料化など、家庭からお金をなるべく出さずに子育てが出来る方がありがたいと思います。 	(女)	40~49歳	長岡)
<ul style="list-style-type: none"> 女性が安心して働くためには、学童保育の充実を図ってほしい。石畑児童館に移動しなくても各学校の空室を学童保育に出来れば安全安心と思います。 	(女)	65~69歳	箱根ヶ崎)
<ul style="list-style-type: none"> 人口密度の高い地域に、保健センター等育児に関する施設をもうけてほしい。各施設がバラバラに点在している様です。近場に集中することはできないのでしょうか。 	(女)	70~74歳	武蔵野)

障がい者(児)福祉

- | | | | |
|---|-----|--------|-------|
| <ul style="list-style-type: none"> まき工房ころぼくくの施設は、十分な賃金が払われていないので、瑞穂ひまわりと一緒にその点を考えて欲しい。 | (男) | 40~49歳 | 箱根ヶ崎) |
| <ul style="list-style-type: none"> 公のケアホーム及びショートステイ施設の増新設をお願いしたい。民間施設はあるが公の施設がないため、障がい者を抱えている家庭では預かってもらう施設がない。障がい者(児)福祉の充実に真剣に取り組んでいただきたい。 | (男) | 55~59歳 | 殿ヶ谷) |

ひとり親福祉

- | | | | |
|---|-----|--------|-------|
| <ul style="list-style-type: none"> 母子父子家庭への保育料などを無料にしてほしい。羽村や福生でやっているのに瑞穂でやらないのはおかしい。 | (女) | 20~29歳 | 石畑) |
| <ul style="list-style-type: none"> 手当がもらえるという理由であえて結婚しない母子家庭への支援により“未婚の母”が増えるのは必至です。各家庭毎にチェックし、やむをえず離婚した母子家庭や死別された片親など本当に支援を必要としている方に援助する行政になっていけばと考えます。 | (女) | 20~29歳 | 殿ヶ谷) |
| <ul style="list-style-type: none"> 母子家庭で介護と育児を行う事は大変です。働きたくても介護の為働けず、児童手当などを状況に応じてもう少し増して頂けると、不安なく生活する事ができます。 | (女) | 40~49歳 | 元狭山) |
| <ul style="list-style-type: none"> ひとり親家庭又は生活保護をうけている人で、旦那と生計も同じなのに籍を入れずにとってもいい生活をしています。調査は、ちゃんとやっているのか。 | (女) | 40~49歳 | 箱根ヶ崎) |

低所得者福祉

- 低所得世帯にとっては、税金が高すぎ月何万円も払ったら生活できないので、少しでも払えるように5,000円ずつでもお願いしたい。(男 20~29歳 武蔵野)
- 底辺の人たち(低所得者、高齢者等)は行政の力で助けていかなければと思います。限られた予算の中でバラマキはやめ、援助が必要な人に手厚く助成金が行くようにしなくてはと思います。(男 40~49歳 元狭山)

6 教育・文化**学校教育**

- 学校が少ない。(男 20~29歳 殿ヶ谷)
- 中学校の教育改善して欲しいです。(男 40~49歳 元狭山)
- 小、中学校の教育環境の改善、学力向上にもっと町が介入、努力して下さい。(男 55~59歳 元狭山)
- 自然が多く、小さな子どもを育てるには良いが、学校が少なく、学校、保育園などを増やして欲しい(大きな道路をこえるのは。子どもで1時間以上かかるのは)。(女 20~29歳 殿ヶ谷)
- 最近、小学生で、学校の時間なのに学校に行かずうろろしているのですがなぜ。(女 20~29歳 武蔵野)
- 中学生時代に教科書レベルが低いと感じた。いろんな学力の生徒がいるのは確かだが、教科書位は東京都の平均レベルの物を使用して欲しい。(女 30~39歳 箱根ヶ崎)
- 中学校は2校ありますが、都営住宅の方が大通りを通って行く姿をとてつらく見ています。中学校をもう1校作って欲しい。(女 30~39歳 石畑)
- 新しい人たちもすぐに出てしまうのは、どうしてでしょう。子どもを育てるのに、ほどよくいなかでとても良いはずなのに。交通の不便さや保育、幼稚、小、中、とここに入れたいという魅力ある所がありません。(女 30~39歳 元狭山)
- 子どもや高齢者が遊べる場所がないため、家の中で遊び結局ひきこもりになってしまいます。例えば、学校の校庭などを短時間でもいいから開けてほしい。(女 30~39歳 石畑)
- 小中学校の学力の底上げをしてほしいと思っています。塾へ行かなければ高校受験も不安というのはおかしな世の中だと思います。(女 40~49歳 長岡)
- 中学校が2校しかないのは少ないと思う。自転車通学となるが、禁止にする方向になりつつあると聞いた。1時間以上も通学時間がかかるのはかわいそうに思う。(女 40~49歳 箱根ヶ崎)
- 学校のワークテスト代を家庭で負担する程、町財政は悪いのでしょうか。学校によって教材費の額がちがうのもおかしい。必要最低限の物を支払って欲しいです。(女 40~49歳 元狭山)
- 小学校では先生自体の資質の問題も耳にしました。将来を担う子どもたちを育てる、独自性のある学校をつくってほしいと感じます。(女 40~49歳 長岡)

	性別	年齢	居住地区
<ul style="list-style-type: none"> 「都で学力が最下位」というイメージは好ましくありません。中学校の荒廃ぶりなど授業が成立しないのは学力の低さも原因だと思います。学力テストで最下位に近かった県が、上位になった例などもあり、対策はあるはずです。 	(女)	50~54歳	元狭山)
<ul style="list-style-type: none"> 昔からの教育制度を改めるべきではないのでしょうか。もっとお金についても学校教育で教えていくべきでは。社会に出て役に立たない教育はすぐにでもやめるべき。 	(不明)	20~29歳	武蔵野)

生涯学習

- スカイホールも良くない、ムダの箱物である(町内の人利用しやすいようにする)。(男 60~64歳 箱根ヶ崎)
- 他市のイベントや講座はとてもみりょく的でうらやましい。(女 30~39歳 元狭山)
- 教室の募集などがあるが年齢制限があるものが多い。どの年齢の人も参加できるようにしてほしい。(女 30~39歳 石畑)
- 素晴らしい行事等多いのですが、PRがあまり上手ではないと感じます。各課で、似たような行事計画があるので、もっと連携していけると良いと思います。(女 40~49歳 長岡)
- 町民会館など古いのでしかたないと思いますが、小さなエレベーターがあると使いやすくなると思います。(女 50~54歳 箱根ヶ崎)
- スカイホールも施設はきれいなのですが、行くまでが大変と、イベントのたびに高齢の方に言われます。(女 50~54歳 箱根ヶ崎)
- 公共施設をもっと広々とした場所に作り(図書館、プール等)心豊かに利用する事が出来る様に希望します。(女 60~64歳 武蔵野)
- 食育基本法が成立しましたが、町でも「食育」を、先駆けていただけないでしょうか。健康的な生活には知識が必要と思います。「食育」は国と決めつけしないで、何か1つでも。(女 65~69歳 元狭山)
- スカイホールにエレベーター、エスカレーター作ってほしい。(女 75~79歳 箱根ヶ崎)
- 不惑の集いをきっかけに今6年経っていますが、半年に1度同級生で会っています。これがなければ、私は同級生と数十年の時をへて、会うことはなかったかも。(不明 40~49歳 殿ヶ谷)

社会教育

- 図書館をなんとかして欲しい(利用しやすい場所に、現状より、3~5倍広い施設の建設)。(男 18~19歳 長岡)
- 若い世代に働く事、学ぶ事の社会的義務、意義を理解し得ない人が増え、安定した職業につけない人が増えている。「生きる」という事の教育を充実させ、共々社会を営む能力を向上させ、町全体の力を育てる事を重視すべき。(男 60~64歳 石畑)
- 講演を企画して頂きたい。日本史、世界の現況などで、世界各地で戦争やテロが起きていますが、未然に防ぐ方法はないのか、歴史から学べれば幸いです。(男 70~74歳 武蔵野)
- 図書館の充実。大きな図書館をつくってほしいです。(女 20~29歳 元狭山)

	性別	年齢	居住地区
<ul style="list-style-type: none"> 町民会館（会議、集会の施設）の利用幅を増やして貰えると助かります。図書館はDVDやCDを試聴できるといいと思います。建物を明るくキレイに直すといいと思います。 	（女）	30～39歳	箱根ヶ崎）
<ul style="list-style-type: none"> 図書館を明るく、小さな子ども達が利用しやすいコーナーを作ってほしい。読書机、イスが少ないので長時間でもしやすい雰囲気に。 	（女）	30～39歳	殿ヶ谷）
<ul style="list-style-type: none"> 長岡地区には何も無い。せめて図書館、児童館と、子ども達が利用するものだけでもつくて欲しい。あらゆる施設を羽村、青梅で利用しています。 	（女）	40～49歳	長岡）
<ul style="list-style-type: none"> 図書館を祝日にも開館してほしい。5月は4日連続も閉館で利用できなかった。やむなく羽村図書館に行った。 	（女）	55～59歳	箱根ヶ崎）
<ul style="list-style-type: none"> 人口3万人の町にしては公共施設が貧弱だ。図書館も中央体育館もゆったりとした規模や豊かな建物にしてほしい。広いので、地域ごとに分散して利用しやすいようにしてほしい。 	（女）	55～59歳	箱根ヶ崎）
<ul style="list-style-type: none"> 図書館が武蔵野地区に建物があると便利です。ぜひ、お願いしたい。 	（女）	不明	武蔵野）
<ul style="list-style-type: none"> 図書館の内味の充実を願います。 	（不明）	60～64歳	箱根ヶ崎）
青少年健全育成			
<ul style="list-style-type: none"> もう少し教育に関心を持った親を育てるべき。子ではなく親。悪い事をして子どもが謝らずに親だけ謝れば良いと思っている親への教育をするべき。 	（女）	20～29歳	箱根ヶ崎）
<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちとかポストをあらず、などがあったりしてそれも不愉快な思いをしている時もあります。 	（女）	20～29歳	武蔵野）
国際化			
<ul style="list-style-type: none"> せっかくモーガンヒルという場所があるなら、町長ばかりが行くのではなく、小中高生に行かせてあげる機会を年に何回か設けるなど、学習面を伸ばせる様にしてほしいです。 	（女）	30～39歳	武蔵野）
<ul style="list-style-type: none"> 海外の国との交流において、町にとってどのようなメリットが有ったのか広報して下さい。 	（女）	50～54歳	石畑）
文化・芸術			
<ul style="list-style-type: none"> ボランティアで街路樹の整備のときに、スカイホールの坂に車を止める時があり危険。スカイホール用の駐車場を使用できないのですか。 	（男）	30～39歳	箱根ヶ崎）
<ul style="list-style-type: none"> 町施設が役場周辺に偏っている為、南の地区においては、催しに参加しづらい状況があり町政に対する無関心の原因になっている。今あるコミュニティセンター・グラウンド等を利用し、ピアノ教室、英会話、講演、文化的催しも歩いて参加できる様にしていきたい。 	（男）	50～54歳	武蔵野）
<ul style="list-style-type: none"> 郷土資料館の建物は古く狭いので、新築し充実したらどうか。 	（男）	55～59歳	箱根ヶ崎）
<ul style="list-style-type: none"> 趣味の教室などをふやし、安価で利用できると良い。高齢者向け、子育てママ向け（託児付）、主婦向けなど。 	（女）	30～39歳	殿ヶ谷）
<ul style="list-style-type: none"> 豊かな自然と文化に接することが出来る町。 	（女）	30～39歳	元狭山）

	性別	年齢	居住地区
<ul style="list-style-type: none"> スカイホールという、素晴らしい施設が有るのだから、有名な歌手とかナツメ口の歌手でも呼んで欲しいです。 	(女)	60～64歳	箱根ヶ崎)

町民総参画社会

- 元々の地の方と越して来た方との溝も感じます。街づくりに何年居住しているなんて、ナンセンスだと思います。風通しの良い町が振興する町だと思います。(男 40～49歳 武蔵野)
- 町では、横田基地軍民共用化反対を行っていますが、経済効果を考えれば騒音などは瑣末な問題だと思います。他の自治体では、大きな問題があるときは住民投票を行っているところもあります。広く町民の意見をとり上げてほしいものです。(男 50～54歳 箱根ヶ崎)
- 防犯パトロールは毎週パトロール出来るようになっていきます。地域住民の連係を図り、住民自身で住み良い住環境を作ることは大切です。町もこれを助成する事を進めて欲しいです。(男 70～74歳 武蔵野)
- 社会の基本、基盤は家庭にあると考えます。夫婦の一方が働き、一方が家庭を守り、というスタイルをしやすい支援をするべきではないでしょうか。(女 20～29歳 殿ヶ谷)
- 一人ひとりがこの町が好きになり、町に対する意識が高まるといいなと思います。(女 40～49歳 長岡)
- 先の都議選での投票率を見て失望しました。前回より11%もアップしたとはいえ、都で下から3番目の低さ。都政や町政に対する関心の薄さを物語っていると思います。(女 55～59歳 箱根ヶ崎)
- 「町報みずほ」が楽しみで、参加出来る行事があったら、参加し脳の活性化に努め健康で暮したいと思っています。(女 60～64歳 元狭山)
- 町議会議員の質も悪い、仕事をしない奴はクビであたりまえ名聞名利、名声に走るな。(女 75～79歳 箱根ヶ崎)

7 行政

効率的かつ効果的な行財政の運営

- 若者の心をつかむには、「瑞穂町とはどんな町なのか」をオープンにし行政側の能動的な情報開示をしていかなければならない。(男 18～19歳 元狭山)
- よい町にしてください。(男 18～19歳 箱根ヶ崎)
- アンケートを行うのは良いと思いますが、内容が税金の無駄遣いを推進しているようにしか見えませんでした。(男 20～29歳 箱根ヶ崎)
- 役所の人から、自分の畑を耕しています。セットバックもしないで、狭い道路のまま、あいさつもなしで不愉快です。(男 30～39歳 殿ヶ谷)
- ゴミの収集車のスタッフも、あいかわらず、態度が悪い。(男 30～39歳 殿ヶ谷)
- 施設を建築する時には外観にお金をかけずに、内容を充実してもらいたいです(近隣の自治体のような、無駄なお金はかけないでほしいです)。(男 30～39歳 元狭山)

	性別	年齢	居住地区
• 町民税が高すぎる。税金が役立っているかわからない。石畑地区の残堀川を見るたびに思います。	(男)	30~39歳	石畑)
• 町長への手紙(公園が不便)は返信がありません。	(男)	30~39歳	殿ヶ谷)
• 公務員の給料が高すぎる。	(男)	30~39歳	不明)
• 公務員の人数削減。適切な判断を求める。	(男)	30~39歳	不明)
• 瑞穂市にはならないのでしょうか。「西多摩郡」では、田舎というイメージに輪をかけているような気がしてなりません。	(男)	30~39歳	長岡)
• 今後「品のある街づくり」に取りこんでいただけたらと思います。	(男)	30~39歳	長岡)
• 子ども達の将来の為、より良い町づくりをお願いします。	(男)	30~39歳	箱根ヶ崎)
• 助成金の充実。	(男)	30~39歳	石畑)
• 必要でない時計台や旧道のカラー舗装などのムダ使いはやめてほしい。	(男)	40~49歳	箱根ヶ崎)
• 町民税が高く、生活を圧迫している。	(男)	40~49歳	長岡)
• 広報は良く見えますけど、文字ばかり見にくい。5W1Hって知っていますか。単てきな情報を公開してもらいたい。	(男)	40~49歳	不明)
• 以前メールで町長あてに意見を送信したが、御自身がメッセージを読まれているかわからず、不満です。	(男)	40~49歳	箱根ヶ崎)
• 10年先瑞穂町のビジョンが明確に出せますか。他の町村と同じ事やっている様では将来などありません。瑞穂でしか出来ない事、物、文化を先頭に出して下さい。	(男)	40~49歳	不明)
• 瑞穂という町は非常に中途はんぱでこれから大きくなるのか又は小さくなるのかも分かりません。	(男)	40~49歳	不明)
• 役場の者は、役所と思わず一企業として考えるべき。一般企業に出向きこの厳しさを知ってほしい。役場は改善が必要。	(男)	50~54歳	長岡)
• 地方税を沢山取られるが、町からの有益なものが町民になし。	(男)	50~54歳	長岡)
• 福祉いらぬ。職員多すぎ。給与高すぎ。税金高すぎ。	(男)	50~54歳	元狭山)
• 多摩地区の人口が増えている中、瑞穂町では増えてない。平均的に予算配分するのではなく人口増に繋がる施策に集中させるのがよいと思う。	(男)	50~54歳	石畑)
• 町財政は問題ないのにドケチときて呆れる。他の行政の良いところはマネして盗んででもやれ。	(男)	50~54歳	箱根ヶ崎)
• インターネットで前のアンケートの報告書が見られるが(平成17年2月付。調査16年9月)それからどれだけ良くなったのだろうか。ほとんど変わっていないと思うが。	(男)	50~54歳	長岡)
• 議員(公務員)は公僕。人の3倍5倍働くべし。	(男)	50~54歳	箱根ヶ崎)
• 町長・議員などの公務の人間が汚職したら公民権の停止。	(男)	50~54歳	箱根ヶ崎)
• 町職員は町民に対してサービスの充実をはかる。	(男)	55~59歳	箱根ヶ崎)
• 税金を大切に使い。年度末に使いきれない金があるなら、次の年から税金を安くしろ。	(男)	55~59歳	元狭山)
• 町民税が高い、わりには還元されてない感じがする。	(男)	55~59歳	箱根ヶ崎)
• 町の様々な情報を得る手段を増やしていただきたい(ボランティアなど)。	(男)	55~59歳	殿ヶ谷)

	性別	年齢	居住地区
• 役人も多すぎる。役場でみんな立って雑談、お茶のんで何もしていない税金どろぼう。俺の金だぞ。	(男)	55～59歳	元狭山)
• 瑞穂に住んで良かったと、胸をはって言える様な行政に期待している。「西多摩郡」を卒業したい。東京の田舎者という風に見えてしまう。前向きに将来像に向かって、行政を推進してもらいたい。	(男)	55～59歳	石畑)
• 町のプロデュースなどをプロに任せてみてはどうか。	(男)	55～59歳	殿ヶ谷)
• 役場の人々の実績、功績などを、より町民に伝えてはどうか。きっとたくさんあるはずだろう。	(男)	55～59歳	殿ヶ谷)
• 議員18人は多すぎる。仕事しない議員もいる。今どのような仕事しているか、1か月ごとに論文を書いて町民に示せ。	(男)	55～59歳	元狭山)
• 町議会議員の人員が多すぎるのでは、削減すべき。	(男)	55～59歳	箱根ヶ崎)
• これからも健全財政を維持して下さい。	(男)	60～64歳	元狭山)
• 高齢者福祉医療、子育て等の児童福祉については基本的には自己責任の明確化が重要で有り、行政に押し付ければ良いという考えは不可と考える(限度が有る)。福祉の為に語ればすべて良いという、町の予算いくら有っても不足する。医療費についても高度医療が発達し益々高齢化となる医療を受け社会復帰(自分自身で生活できる人)は良いが、ただ生かされている人に対しては冷たいと思うが医療制度の再検討は必要と考える。	(男)	60～64歳	元狭山)
• 瑞穂郵便局の業務の縮小について事前に町に説明があったのか。この件に関して町民に説明があったとは記憶がない。	(男)	60～64歳	殿ヶ谷)
• 早く「市」になって欲しい。	(男)	60～64歳	箱根ヶ崎)
• 町長が瑞穂町をどのようにしたいか町報等にのせ発表する。	(男)	60～64歳	箱根ヶ崎)
• 全て情報公開をすること。これによっていかに町長以下のいかげんな行政を直すこと。	(男)	65～69歳	武蔵野)
• 役場に行き町道の整備をお願いしたが何も回答が有りません。民間ではこのような事はしない。問題をキチンとして次に進むべきで有り、もう少し動き廻る必要がある。	(男)	65～69歳	元狭山)
• 必要最小限の行政。行政のスリム化。町職員の削減。	(男)	65～69歳	武蔵野)
• 町議会議員の削減。	(男)	65～69歳	武蔵野)
• 瑞穂町の施設とか行事とかの情報伝達方法は町報のみですか。見損ったらそれ迄です。	(男)	70～74歳	元狭山)
• 瑞穂町でも何か、マニフェストを出して、それに対してどうですかと言ったらどうだろう。	(男)	70～74歳	長岡)
• 日本一税金のやすい町・清潔な町を目標に居住者数を増やす政策をおこなって下さい。これが町の振興に1番近道であると思う。	(男)	70～74歳	石畑)
• 行政運営の不備について、地域住民の話を聞き、2重3重の経費がかからないよう整備、整理等を行ってほしい。不備は住民が一番体験して知っているので話し合いの場をつくって下さい。	(男)	75～79歳	石畑)

	性別	年齢	居住地区
<ul style="list-style-type: none"> 役場も、若者に対して不親切すぎ。「そんなのも知らないの」と言った態度で接されても困る。 	(女)	20~29歳	箱根ヶ崎)
<ul style="list-style-type: none"> 税金をもっと安くするのはムリなのか。 	(女)	20~29歳	石畑)
<ul style="list-style-type: none"> 政策等を教えてくれる場が瑞穂に無いのも事実。 	(女)	20~29歳	箱根ヶ崎)
<ul style="list-style-type: none"> 雇用状況の厳しい現在、公務員同士の共働きについて疑問を抱いています。財源は“税金”なのでから。 	(女)	20~29歳	箱根ヶ崎)
<ul style="list-style-type: none"> いつまでも郡なのがはずかしい。 	(女)	20~29歳	箱根ヶ崎)
<ul style="list-style-type: none"> 町に対してのイメージは、好きだけど不便なところだという印象です。最近、特に元気がない気がします。瑞穂町には、もっと活性化してもっともっと元気で、安心して暮らせる住み良い町になって欲しいと思っています。町民との距離が近い町だと嬉しいです。よろしく願いいたします。 	(女)	20~29歳	長岡)
<ul style="list-style-type: none"> 権利意識の拡大する中で大変だと思いますが、元気な声で誠実な対応、それだけでも信頼に通じます。その為には職員の方の健康な心身があってこそ。 	(女)	20~29歳	殿ヶ谷)
<ul style="list-style-type: none"> 町内のハード面を充実させ、多くの人が住みたい町、生活したい町を望みます。 	(女)	20~29歳	箱根ヶ崎)
<ul style="list-style-type: none"> 瑞穂町の役場の駐車場を広くしてほしい。 	(女)	20~29歳	箱根ヶ崎)
<ul style="list-style-type: none"> 年配の人しかいない議員達に、若い意見や新しい意見を聞き入れる余裕はあるんですか。利用者が少なすぎる道路整備など、行っている事が「？」すぎる。 	(女)	20~29歳	箱根ヶ崎)
<ul style="list-style-type: none"> 町の仕事に携わっている専門家に、知識の浅い担当者が調査もなしに間違った意見を平気で述べることもある。税金をムダにしないように、頭をやわらかくして企業的感觉を取り込んでほしいです。 	(女)	30~39歳	元狭山)
<ul style="list-style-type: none"> 不況下、色々とけずれることはたくさんあると思います。町報のカラーはもったいない気がする。 	(女)	30~39歳	元狭山)
<ul style="list-style-type: none"> 税金が瑞穂町高いと有名ですので安くして下さい。 	(女)	30~39歳	武蔵野)
<ul style="list-style-type: none"> 東京都西多摩郡瑞穂町ではなく東京都瑞穂市になってほしい。 	(女)	30~39歳	石畑)
<ul style="list-style-type: none"> 商店街の良さも残し、農業されている方から、子どもまで、1番力を入れて瑞穂の良さを出せるようにしてほしいです。 	(女)	30~39歳	長岡)
<ul style="list-style-type: none"> 子ども、高齢者が安心して暮らせる町。危険や不安を感じることなく、子どもはのびのびと様々な事を学び、高齢者はイキイキと毎日過ごせるように病気や体が弱い方も精神的には明るく過ごせるような社会。 	(女)	30~39歳	元狭山)
<ul style="list-style-type: none"> 役場職員の対応にあ然とする人を何人もみてきている。人数が適切なのかも疑問に思う。 	(女)	40~49歳	元狭山)
<ul style="list-style-type: none"> 上から目線と言うか。役場の対応が悪すぎます。机上の湯のみ茶わん等一般企業では考えられません。税金からお給料が支払われていると言う事を認識されているのでしょうか。 	(女)	40~49歳	箱根ヶ崎)
<ul style="list-style-type: none"> 住み良い町づくりを旨とするのであれば、職員の意識改革からではないでしょうか。町民のお手本となるような役場づくりから始めるべき。 	(女)	40~49歳	箱根ヶ崎)

	性別	年齢	居住地区
<ul style="list-style-type: none"> 役場職員の教育を徹底していただけないものか。どの窓口に行っても、電話で質問をしても“ちょっとお待ち下さい”と1回でまともに答えていただけない。 	(女)	40～49歳	石畑)
<ul style="list-style-type: none"> 納税はすぐ請求があるに、還付はハガキなど届いていないのに手続きをしない方が悪いと、なぜ電話でのお知らせがないのか。普通郵便で本人の手元に届く保証はないのですよ。 	(女)	40～49歳	石畑)
<ul style="list-style-type: none"> 挨拶運動を推進していますが、大人も進んで元気な挨拶をしていく事が大事だと思います。瑞穂町役場に行くとき少しそういう部分が足りない様に感じます。特に窓口の方は頑張って声を出してもらえるといいと思います。 	(女)	40～49歳	長岡)
<ul style="list-style-type: none"> 役場の対応が悪すぎる。職員として少し自覚がなさすぎる。 	(女)	40～49歳	武蔵野)
<ul style="list-style-type: none"> 財政の見なおしをねがいます(町民の税金の使い方の見なおし)。 	(女)	40～49歳	元狭山)
<ul style="list-style-type: none"> 町に対して申し上げたい事もありますが、本当に意見聞き、検討していただける場があるのでしょうか。 	(女)	40～49歳	元狭山)
<ul style="list-style-type: none"> 福祉費カット(全部)。職員人数大幅カット。職員議員報酬なし。 	(女)	40～49歳	元狭山)
<ul style="list-style-type: none"> 町長の退職金の公開や削減を望む。不景気にともない、自らの削減をして欲しいです。 	(女)	40～49歳	元狭山)
<ul style="list-style-type: none"> 子どもから大人まですみたい人がすみつづけるまちづくり。学力がつけられる教育、仕事のあるまち、協力しあえるまち。古い人や考えや土地の歴史を大切に、新しい考え、若い人、子どもをつつみこみ、町の背たけに見合いつつ、他市にほかれるまちづくりを期待します。 	(女)	40～49歳	箱根ヶ崎)
<ul style="list-style-type: none"> 町全体的に新しい事への対応がない(例えば、パソコンのインターネットの閲覧などが無い)。 	(女)	40～49歳	元狭山)
<ul style="list-style-type: none"> お年寄りの長寿祝いという黄色のチャンチャンコと帽子。今時、こんな物が。とてもがっかりしました。瑞穂だけ時間が止まっているのでしょうか。なぜそんなものにお金をかけるのでしょうか。もっと考えて下さい。 	(女)	50～54歳	武蔵野)
<ul style="list-style-type: none"> 公共施設があっても利用方法や活動内容の説明がないと利用できない。スポーツが好きですが、青梅や武蔵村山へ行って利用している。料金や利用時間や場所など、もう1度、町民に知らせてもいいのではないのでしょうか。 	(女)	50～54歳	箱根ヶ崎)
<ul style="list-style-type: none"> 町報に「プレミアム金券」の情報があり、早速買いに行ったが売り切れ。あまりに少なすぎじゃない。町民に行きわたらないし、PRも町報でしか知らなかったし。 	(女)	50～54歳	箱根ヶ崎)
<ul style="list-style-type: none"> 町民の税金が、町民に戻るといった意識がもてるような予算運営であれば、皆納得して支払うものは支払い、弱者を助ける様な町政にしていきたい。 	(女)	50～54歳	箱根ヶ崎)
<ul style="list-style-type: none"> 前回も調査依頼があり、出した事があります。子どもが小さい数年前と、今では選ぶものが違ってきています。早めに計画、実行していただけたらと思います。 	(女)	50～54歳	石畑)
<ul style="list-style-type: none"> 町職員は住民サービスを意識して欲しい。体育館を使用することがあるが、“貸してやっている”という態度を感じる。 	(女)	55～59歳	箱根ヶ崎)

	性別	年齢	居住地区
• 先日役場に用事があり出かけました。職員の親切、丁寧な対応に感心いたしました。	(女)	55～59歳	箱根ヶ崎)
• 選挙時(期日前投票)の職員数、多すぎ。無駄に税金ついている。投票にきた人のうわさ話に花がさいていました。アルバイトにたのまないで現職員をシフトし民間企業のように働いてもらいたい。	(女)	55～59歳	殿ヶ谷)
• 研修旅行はいらなと思います。実費で行かれたらよいと思います。	(女)	55～59歳	箱根ヶ崎)
• 1日も早く東京都瑞穂市になることを願っています。	(女)	55～59歳	箱根ヶ崎)
• 税収の面でも瑞穂町だけの取り組みで出来ることはないように思いますし、アンケート設問がユートピアのようで、空論で終わるようでは意味の無いものとなります。	(女)	55～59歳	長岡)
• 安心して生活がしたいが、今が不安であるのに将来像は描け無いのではと思います。私達も一緒に痛みを分け合って理想と現実を見定めて、新しい町づくりをして欲しい。	(女)	55～59歳	長岡)
• 現在の不況・不安定の時に、何を信じて生活して行って良いのかわからないが、良い方向に進むよう努力して行くことが大事。町の発展の為に協力して行きたいと思っています。	(女)	55～59歳	箱根ヶ崎)
• 課によっては上から目線でものを言う方もいます。わからない事を聞いたりするので、高齢者にも優しく接して欲しいと思う時があります。	(女)	60～64歳	箱根ヶ崎)
• 政・経・行、において無駄をなくすこと。	(女)	60～64歳	武蔵野)
• 石塚町長になってから、町を良くするアンケートとか意識調査等、町長の、意気込みを感じます。	(女)	60～64歳	箱根ヶ崎)
• 町職員は2年間町の施設に再就職出来るようですが、これを廃止して若い人達、職のない人達に職場を提供したら良いと思います。	(女)	60～64歳	武蔵野)
• 羽村や福生の近くは、緑の多い公園もなく田舎っぽい良さもなく、交通も不便で、中途半端な町だなあとと思います。長く住みたいと思える、落ち着いた静かな、緑豊かな町になってほしい。	(女)	60～64歳	武蔵野)
• スカイホール等公共施設が高台にあり非常に使いづらい。なんで、あんな高い所に作ったのでしょうか。	(女)	60～64歳	武蔵野)
• 町議員の定数を1～2議席削減したら良いと思います。	(女)	60～64歳	武蔵野)
• 瑞穂町の衆議院選挙の投票率は毎回最低です。もう少し住民が関心を持つ様な広報活動をしてほしいと思います。	(女)	65～69歳	武蔵野)
• 町の広報ですがカラーでなくても良いと思います。立派すぎる。議会便りのようなので良いではないでしょうか	(女)	70～74歳	武蔵野)
• 固定資産税入るのに、横田基地あり国から金入るのに町民になんら還元しない。他の行政の率先してやっていることをマネしない。	(女)	75～79歳	箱根ヶ崎)
• 人口が増えないのも深刻な問題。	(女)	75～79歳	箱根ヶ崎)
• 真の意味でこの町は開かれていない、垢抜けてない、さばけていない。	(女)	75～79歳	箱根ヶ崎)

	性別	年齢	居住地区
• 町の機関が役場、瑞中週辺に固まっているのも変。だからと いいコミュニティセンターをどんどん作るのもいかなもの か。	(女)	75~79歳	箱根ヶ崎)
• まだまだ「お役所仕事」的な上から目線の職員も多くいます (特に課長クラス)。住民の目線に立てばおのずと必要なこ とが見えてくると思います。	(女)	不明	不明)
• 役場の窓口での対応も以前に比べ良くなっていると思います。	(女)	不明	元狭山)
• 高齢者向けの手厚い充実した施設ばかり設けるのではなく、 バランスの良い、住みやすい町にして欲しいです。	(女)	不明	不明)
• 家計事情により納付が厳しく分割できないかと相談に行っ たものの断れた。貯金は子どもができた時の為に行っている が、瑞穂町に住んでいる限り、子育てはムリだと思います。	(不明)	20~29歳	石畑)
• 瑞穂が好きだから、もっと良い町作りをがんばってください。	(不明)	20~29歳	長岡)
• 瑞穂町が住みやすい町かと問われればNOなので友人、知人 に勧められないです。他人に住みやすいと言えることを作っ て行ってほしい。	(不明)	20~29歳	石畑)
• 東村(沖縄)に学ぶ。	(不明)	50~54歳	元狭山)
• 行政も、一部の人のもものでは、又そう感じさせてはいけな いと思う。参加する人より参加しない人たちの理由から考えて ほしい	(不明)	55~59歳	長岡)

町民との協働によるまちづくり

- 町が活性せずさびれてしまい、明るさが無い町になりつつあ
ると思います。今あるものを良く活性させたり、町民を巻き
込んだ町造りが大切ではないでしょうか。
- 町民参加型社会が求められているが、その基本の自治会加入
率が年々低下し、崩壊の危機にある。防犯、防災等の観点か
ら、町は町民と共に、活性化に向けた取り組みを強化すべ
き。
- リタイヤ組の組織(有識者会議など)をつくり町の向上を図
るなどどうでしょうか。リタイヤ組は長年生きてこられた知
恵も有り高齢者対策にもなると思えます。
- 家族が皆健康で過ごし少しでも色々なことに参加できれば
と思っています。
- 瑞穂町が、より住みよくなればとても嬉しいです。アンケ
ートでよければ、いくらでも協力します。頑張ってください。
- 財源の確保の為に町民とのコミュニケーションをくり返し
理解と町政への参画を呼びかける。
- 仕事が町外のため、行政サービスに関心はあっても利用する
機会がありません。出産を控え、町や地域のことを知らな
ければと思っています。
- 勤務地が羽村につき、生活のほとんどが羽村へ向いてしまっ
ています。瑞穂の中の事に少々無関心になっておりました。
- あまり町政のことを知らなくて情けなく思いました。今後は
関心を持って、知る努力をしていきたいと思っています。

	性別	年齢	居住地区
<ul style="list-style-type: none"> 他の自治体の事も勉強してより良い住みよい町に、他から羨まれる町作りを期待したい。古い体質を脱皮して思い切った新しい町作り、住民も積極的な参加と応援をして行きたいと思う。 	(女)	75~79歳	元狭山)

広域行政の推進

<ul style="list-style-type: none"> 近隣市部との合併を希望します。財政基盤が小さい町では限界があり、生活向上感が実感できない中、変化を期待したい。瑞穂という地名は、都内でさえ認知度低く誇りが持てない。 	(男)	55~59歳	石畑)
<ul style="list-style-type: none"> 広域行政の推進。 	(男)	65~69歳	武蔵野)
<ul style="list-style-type: none"> 合併の話を目にしましたが反対です。小さい町であってこそ皆の意見が尊重され反映され、税金の無駄使いも少ないと思われたい。 	(女)	55~59歳	箱根ヶ崎)
<ul style="list-style-type: none"> 近隣との合併を望む。 	(女)	60~64歳	箱根ヶ崎)

8 その他

町内放送

<ul style="list-style-type: none"> 学校の長期休暇になったら、お昼時も、防災チャイムを鳴してほしい。 	(女)	30~39歳	武蔵野)
<ul style="list-style-type: none"> 夏は日が高いので、夕方30分おきに2度ぐらい防災チャイムを鳴してほしい。 	(女)	30~39歳	武蔵野)
<ul style="list-style-type: none"> 町内放送をもっと活用。町内放送を理解出来るため繰り返ししてほしい。 	(女)	80歳以上	武蔵野)

その他

<ul style="list-style-type: none"> 勤め先と自宅の往復のみで町のことほとんど知らず申し訳ありません。 	(男)	30~39歳	元狭山)
<ul style="list-style-type: none"> 個人的には行政にはあまり期待しておりません。自分や家族は、自分自身で守り養っていかねばと思っています(自己責任)。 	(男)	40~49歳	元狭山)
<ul style="list-style-type: none"> 瑞穂町には公共施設がありますが小・中学校以外ほとんど利用したことは、ありません。 	(男)	55~59歳	長岡)
<ul style="list-style-type: none"> 私自身高齡の為、色々活動したいのですが残念ながら出来ません。皆様の御活躍を願っております。 	(男)	70~74歳	元狭山)
<ul style="list-style-type: none"> 「ジュラク」という車が通ります。町の車ですか。目的は、誰が乗るの。 	(男)	70~74歳	元狭山)
<ul style="list-style-type: none"> よくわからない。 	(女)	20~29歳	殿ヶ谷)
<ul style="list-style-type: none"> お疲れさまです。「瑞穂町」は住みよい町です。よろしくお願ひします。 	(女)	20~29歳	元狭山)
<ul style="list-style-type: none"> 大型店の入口付近にポストを置いてほしい。 	(女)	60~64歳	元狭山)
<ul style="list-style-type: none"> 町の行事で花火をあげるのもヤメ口。うるさい(年寄り死んだらどうする)。 	(女)	75~79歳	箱根ヶ崎)

アンケート

- 町政分野に関して、町が現状どのくらい力をいれているか判らない。比較対象が判らない。 (男 30～39歳 長岡)
- 返信封筒が小さい。 (男 30～39歳 石畑)
- ムダなアンケートやめる。税金のムダ。 (男 40～49歳 箱根ヶ崎)
- アンケート調査、全てに関心があるが、忙し過ぎて対応が出来ない。 (男 40～49歳 武蔵野)
- アンケートは、自分が居住する町に対して、あらためて考えさせられるので、とても有意義だと感じました。 (男 40～49歳 武蔵野)
- 町政の現状を知らないなので、答えようのないことが多かった。このアンケートは、抽象的すぎて、何を調査したいのか、意図不明でした。 (男 55～59歳 箱根ヶ崎)
- この様なアンケートが町政に反映されているのか、不明確では。 (男 55～59歳 箱根ヶ崎)
- 62歳で元気で有りながら働く場所がなく、この先の事はどうしたらいいかアンケートも何が、何やら分からない状態で軽く答えてしまいました。 (男 60～64歳 長岡)
- 無作為アンケートは的外れで苦痛です。できれば、家庭を持った家族の方を抽選で人選して下さい。 (男 60～64歳 箱根ヶ崎)
- アンケート作成も大変でしょうが、答える皆様方の心の内を少しでも出せるアンケート文が作ればと考えるばかりです。 (男 70～74歳 不明)
- 選び方はどういうふうを選ぶのですか。あまりありがたく有りません (男 70～74歳 元狭山)
- 高齢の為、質問が読めず、量も多いのでとてもアンケートには答えられません。アトラダムに人選をしていると思いますが、無理があるようです。 (男 80歳以上 不明)
- 町民意識調査票のこうもくが多すぎてかったるかった。 (女 20～29歳 元狭山)
- まず、この意識調書の見直しが必要では。一般住民では難しい問題と思うが。 (女 20～29歳 石畑)
- 質問がわかりづらく回答欄もわかりづらかった。 (女 20～29歳 殿ヶ谷)
- 複数選択枝は、3つ選択と、1つしか選択しなかったとでは、一票の価値が違うため、できる限り複数選択は作らない方がよい。 (女 20～29歳 石畑)
- 度数を測るアンケートの場合、選択枝が奇数個あると、大抵真ん中付近に票が集中するためあまり良くない。そのため、選択枝は偶数個で作ると良いと思います。 (女 20～29歳 石畑)
- 何度か、アンケート記入の機会があるのですが、本当に、アンケートは活かされているのでしょうか。正直言うと、何が変わったの分かりません。 (女 30～39歳 箱根ヶ崎)
- 無作為に選ぶのも結構ですが、同じ人ばかりに送って意味がないものとなってしまいます。沢山の方々の意見が聞ける様、選出方法を考えてみてはいかがでしょうか (女 40～49歳 殿ヶ谷)
- まず質問の多さにびっくり。 を付けるだけでも大変だ。2度とアンケートには答えたくない (女 50～54歳 元狭山)

	性別	年齢	居住地区
• アンケートについて、わかりづらい(コウレイシャには、カンジガオオク、ワカリズライヨ)。ブンショウモワカリヅライ。コンナアンケートをヤッテモ、ムダ、エコジャナイ。	(女)	50~54歳	長岡)
• どういう町政をめざしているのか。町の状態がどの様になっているのか。理解出来てない事が多くて、中途半端な解答になってしまいました。	(女)	50~54歳	長岡)
• 質問内容が多すぎて、返答に困ります。	(女)	50~54歳	箱根ヶ崎)
• 無作為に抽出されるのは良いのですが、今回、夫婦共に調査票が届きましたが、1家族に1人で良いのではないのでしょうか。	(女)	50~54歳	元狭山)
• アンケートは、町政が瑞穂町をどの方向に導きたいのか、どんな町作りを目指しているのかを示し、それに対して意見を問う形にしてほしかった。	(女)	50~54歳	箱根ヶ崎)
• どれ1つを取ってみても私達の税金で成り立っており、大切に使ってほしいです。アンケートを書いている途中で、またお願いの葉書が届きましたが無駄じゃないですか。もっと町民を信じてほしい。	(女)	50~54歳	武蔵野)
• 項目が多すぎです。疲れました。	(女)	55~59歳	箱根ヶ崎)
• 紙面になると(あらたまると)?になってしまいました。今よりもっと瑞穂町が発展していく様望みます。	(女)	55~59歳	元狭山)
• 問6について。我家は子どもがいないので、基本的に満足度欄は“わからない”状況です。どちらともいえないにほとんどしましたが、“わからない”欄が欲しかったです。	(女)	60~64歳	石畑)
• 前回もこのアンケート調査が来ました。とてもアトランダムに抽出されたとは思えません。	(女)	60~64歳	箱根ヶ崎)
• 大切な意識調査ですが、内容が難しすぎる事と、年齢を分けて(例えば10と11)年代別のほうが答えやすいと思いました。	(女)	65~69歳	武蔵野)
• 大変難しかったです。	(女)	65~69歳	箱根ヶ崎)
• アンケートについて一言。役人言葉でなくわかりやすい言葉で願います。	(女)	70~74歳	長岡)
• この意識調査の重要性もわかるが、各質問について皆重要に思われて答えがむずかしく、わからなくなるような気がした。	(女)	70~74歳	石畑)
• 質問内容が一部大雑把で選ぶのに困りました。	(女)	70~74歳	武蔵野)
• このアンケートはこれからの町を良くするためにもう少し若い人達の意見を聞いた方が良いと思います	(女)	70~74歳	元狭山)
• もうすぐ80歳になるおばあさんにかかせないで下さい。お願いします。	(女)	75~79歳	箱根ヶ崎)
• 「どちらともいえない」の多くは勉強不足であり、決算時の内容もさらっと見て来たので今後はきちんとした意見を持つ様にしたいと思う。	(女)	75~79歳	元狭山)

	性別	年齢	居住地区
<ul style="list-style-type: none"> アンケートを元にどのような計画を立て、結果どのように変わったのか随時詳細を町報などで各課ごと公表して欲しい。町の声を活かされなければ単なる実績作りにしかなりませんから。 	(女)	不明	不明)
<ul style="list-style-type: none"> 質問がたくさんあって、回答がしにくい形の為、回答記入後「これは私の本当の声だろうか」と思ってしまいました。手間でも生の声を聞く(相対して質問-回答)方が良いと思います。 	(不明)	40~49歳	殿ヶ谷)
<ul style="list-style-type: none"> 調査に初めて参加し、とてもいい事だと思います。人の和がよいので住みやすい街となりました。これからも友好の輪を広げていきたいと思います。 	(不明)	55~59歳	長岡)
<ul style="list-style-type: none"> 老人には大変むずかしい調査票です。自分で記入する人は少ないでしょう。もう少し若い方の意見を調査にしたら如何でしょうか。 	(不明)	80歳以上	箱根ヶ崎)

參考資料

1 調査票

町民意識調査票

【調査ご協力をお願い】

町民の皆様には、日頃より町政全般にわたり、ご理解、ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、瑞穂町では平成13年度から平成22年度の10年間を計画期間として「人と自然が織りなすまち みずほ - 快適な生活環境をめざして - 」を将来都市像とした長期総合計画をもとに各施策を推進していますが、計画期間が本年度を含めて2か年度で終了することから、現在、平成23年度からスタートする新たな長期総合計画の策定に取り組んでいます。

今回の調査は、瑞穂町にお住まいの皆様に日頃のお考えをお聞きし、新たな計画づくりの基礎資料のひとつといたく行うものです。町内にお住まいの18歳以上の方の中から3,000人を無作為に抽出させていただいた結果、あなた様にご協力をお願いすることとなりました。

つきましては、お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、上記の趣旨をご理解の上、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、調査結果はすべて統計処理され、回答者ご自身にご迷惑をおかけすることはありませんので、率直なご意見をお聞かせくださいますようお願い申し上げます。

平成21年7月

瑞穂町長 **石塚 幸右衛門**

...ご記入にあたって...

- 1 宛名のご本人がお答えください。なお、宛名の方が病気等によりお一人で答えることが難しい場合には、ご家族またはお世話をされている方にお手伝いいただくか、その方が、ご本人の立場に立って代わりにお答えください。
- 2 お答えは、質問ごとに「1つ選び」や「2つ以内で」など、それぞれ選び方が指定されていますので、ご注意ください。回答は番号を（丸印）で囲むようにつけてください。
- 3 「その他」にあてはまる時には、その番号を で囲むとともに、（ ）の中に具体的な内容を記入してください。
- 4 ご記入いただいた調査票は同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、**平成21年8月10日（月）までに** 郵便ポストにご投函ください。

このアンケート調査についてご不明な点や質問等がございましたら、
瑞穂町 企画総務部 企画財政課 企画係（電話557-7468 直通）
までお問い合わせください。

はじめに、あなた自身のことについておたずねします。
該当する番号に をつけてください。

性別 1 男 2 女

年齢 (7月1日現在)

1	18～19歳	7	60～64歳
2	20～29歳	8	65～69歳
3	30～39歳	9	70～74歳
4	40～49歳	10	75～79歳
5	50～54歳	11	80歳以上
6	55～59歳		

職業(主なもの1つに をつけてください)

1	農業	7	学生
2	工業(自営)	8	派遣社員・アルバイト・パート
3	商業・サービス業(自営)	9	専業主婦・主夫
4	会社・団体役員	10	無職
5	会社員・公務員・団体職員	11	その他
6	自由業		

職場もしくは通学先

1	自宅	4	都内23区	6	通っていない(無職)
2	町内	5	埼玉県	7	その他
3	多摩地区市町村				

町内の居住年数(瑞穂町に住みはじめてから何年になりますか)

1	2年未満	4	10～19年
2	2～4年	5	20～29年
3	5～9年	6	30年以上

お住まいの地区

- 1 殿ヶ谷地区 (町内会名: 安住町、表町、仲町、中芝町)
- 2 石畑地区 (町内会名: 東砂町、西砂町、丸町、神明町、表東町、表上町、上仲町、旭町)
- 3 箱根ヶ崎地区 (町内会名: 東1丁目、西1丁目、2丁目、東3丁目、中3丁目、西3丁目、4丁目、5丁目、6丁目、7丁目、8丁目、9丁目、松原町)
- 4 長岡地区 (町内会名: 長岡町、東長岡町、春日町、愛宕町、水保町)
- 5 元狭山地区 (町内会名: 二本木町、駒形町、高根町、富士山町、栗原町、松山町)
- 6 武蔵野地区 (町内会・自治会名: 旭が丘、さかえ町、富士見町、南平町)

瑞穂町の生活についてご意見をおたずねします。

問1 あなたは、瑞穂町を住みよいと感じていますか、それとも住みにくいと感じていますか。次の中から適当と思われるものを1つ選び、その番号をで囲んでください。

- 1 非常に住みよい
- 2 まあ住みよい
- 3 普通
- 4 やや住みにくい
- 5 非常に住みにくい

問2 あなたは、これからもずっと瑞穂町に住み続けたいと思いますか。それとも他のところへ移りたいと思いますか。次の中から適当と思われるものを1つ選び、その番号を で囲んでください。

- 1 ずっと住んでいたい 問2 - 1へお進みください
- 2 できれば引っ越したい 問2 - 2へお進みください
- 3 どちらともいえない 問3へお進みください
- 4 その他 () 問3へお進みください

問2 - 1 (問2で「1 ずっと住んでいたい」とお答えになった方だけ答えてください) その理由は、主として次のどれに当てはまりますか。当てはまるものをすべて選び、その番号を で囲んでください。

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1 自然環境がよい | 9 騒音、悪臭などがなく生活環境がよい |
| 2 下水道や道路など、都市施設が整っている | 10 商業やその他事業に有利 |
| 3 公共施設が十分である | 11 仕事の都合 |
| 4 交通が便利 | 12 住宅の都合 |
| 5 買物が便利 | 13 家族の都合 |
| 6 子どもの教育環境がよい | 14 学校の都合 |
| 7 友人・知人などがいる | 15 その他 |
| 8 近隣との人間関係がよい | () |

問3へお進みください

問2 - 2 (問2で「2 できれば引っ越したい」とお答えになった方だけ教えてください)その理由は、主として次のどれに当てはまりますか。当てはまるものをすべて選び、その番号を で囲んでください。

1 自然環境が悪い	9 騒音、悪臭などがあり生活環境が悪い
2 下水道や道路など、都市施設が整っていない	10 商業やその他事業に不向き
3 公共施設が不十分である	11 仕事の都合
4 交通が不便	12 住宅の都合
5 買物が不便	13 家族の都合
6 子どもの教育環境が悪い	14 学校の都合
7 友人・知人などがいない	15 その他
8 近隣との人間関係が悪い	()

問3へお進みください

問3 以下のような行動をとる場合、あなたはどこへ出かけますか。(1)～(8)のそれぞれについて、もっともよく行くと思われる地域を1つずつ選び、その番号を で囲んでください。

	瑞穂町内	福生市	羽村市	武蔵村山市	昭島市	立川市	八王子市	青梅市	東京23区	埼玉県	その他
(1) 日常生活品(食料品・家庭用品など)の購入	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
(2) 休日のショッピング(衣料品、電化製品など)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
(3) 診療(通院)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
(4) 入院や手術	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
(5) 美術館や博物館等の文化施設の利用	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
(6) 外食	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
(7) スポーツ活動	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
(8) 公園及び遊び場の利用	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11

次に瑞穂町の将来像や現状の評価についておたずねします。

問4 あなたは瑞穂町がどのようなまちになってほしいと思いますか。次の中から適当と思われるものを3つ以内で選び、その番号を で囲んでください。

- 1 企業立地が進み、職場と住居が近接したまち
- 2 道路や鉄道などの交通網の発達したまち
- 3 商業や流通機能が整備され、消費生活が便利なまち
- 4 良好な住宅環境を備えた住みやすいまち
- 5 遊び場や施設が整備され、安心して子どもを育てられるまち
- 6 豊かな自然を活かした農業の充実したまち
- 7 公園や緑地、街路樹などが整備された緑豊かなまち
- 8 文化施設や歴史的施設が整備された文化的なまち
- 9 学校施設や生涯学習施設などが整備された教育環境のよいまち
- 10 集会施設などが整備された地域活動が活発なまち
- 11 病院や診療所など医療体制が整ったまち
- 12 高齢者や障がいのある人のための施設や生活環境の整った福祉を重視するまち
- 13 水質汚濁や騒音、振動などが少ない環境のよいまち
- 14 ボランティア活動やスポーツ活動など町民が活発に活動するまち
- 15 その他 ()

問5 これからの社会は何を重視するべきと考えますか。次の中から適当と思われるものを3つ以内で選び、その番号を で囲んでください。

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1 安心して暮らせること | 9 地域の中でお互いに助け合うこと |
| 2 健康的に生活できること | 10 交流の活発なこと |
| 3 住み慣れたところで住み続けられること | 11 思いやりの心に満ちていること |
| 4 自分の適性や能力を活かせること | 12 心の豊かさを実感できること |
| 5 経済発展などによる活力のあること | 13 生きがいを持ち自己実現できること |
| 6 物質的な豊かさを実感できること | 14 自己責任や自立自助に基づくこと |
| 7 地域や家庭を重視すること | 15 その他 |
| 8 時間的なゆとりを実感できること | () |

問6 あなたは現在、次に掲げる町政分野について、どの程度満足していますか。また、どの程度重視していますか。それぞれの項目ごとにあなたのお気持ちに最も近いものをそれぞれ1つずつ選びその番号を で囲んでください。(カッコ内は施策の例示)

町政の分野 (カッコ内は施策の例示)	満足度					重要度				
	満足している	満足している どちらかといえば	どちらともいえない	不満である	不満である どちらかといえば	非常に重要である	重要である どちらかといえば	どちらともいえない	重要ではない どちらかといえば	重要ではない
(1) 住宅(良好な居住環境の整備等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(2) 公園・緑地(公園の整備拡充、平地林の保全等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(3) 循環型社会(資源循環型社会づくり等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(4) ごみ・し尿(ごみの減量と再資源化等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(5) エネルギー(電気・ガスの安定供給、エネルギーの有効利用等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(6) 環境保全(監視体制の充実、公害の未然防止等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(7) 環境美化(環境美化の推進、悪化の抑制等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(8) 景観(町の個性を活かした景観の形成等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(9) 水道(災害時における連携等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(10) 下水道(汚水・雨水対策の推進等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(11) 基地対策(軍民共用化反対、生活環境の保全の推進等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(12) 土地利用(計画的な土地利用、市街地整備の促進等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(13) 土地区画整理(一体的な基盤整備の推進、指導・助成、計画づくりの支援等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(14) 道路(幹線道路の整備、維持管理等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(15) 河川(河川環境の整備、治水対策等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(16) 公共交通(鉄道の充実、バス交通の拡充等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

町政の分野 (カッコ内は施策の例示)	満足度					重要度				
	満足している	満足している どちらかといえば	どちらともいえない	不満である	不満である どちらかといえば	非常に重要である	重要である	どちらかといえば	どちらともいえない	重要ではない
(17) 防災(防災体制の確立、防災施設の整備充実等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(18) 情報化(総合的情報化の推進等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(19) コミュニティ(コミュニティ活動の推進、施設の整備等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(20) スポーツ・レクリエーション(スポーツ施設の整備・充実、活動の推進等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(21) イベントと観光(イベントの拡充、観光の振興等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(22) 交通安全(交通環境の整備、交通安全思想の普及等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(23) 防犯(安全・安心まちづくりの推進等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(24) 消費生活(消費生活の向上、資源などの有効利用等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(25) 葬祭(施設の充実等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(26) 商業(魅力ある商店街の創出、経営基盤の強化等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(27) 工業(都市型工業の誘致、企業経営の安定等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(28) 農業(農地と環境の保全、多様な担い手の確保等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(29) 保健・医療(健康の保持・増進、医療サービスの充実等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(30) 地域福祉(地域保健福祉活動の支援、ボランティアの育成等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(31) 高齢者福祉(多様なニーズに応じた福祉サービスの推進等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(32) 児童福祉(安心して子育てができる生活環境の整備等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(33) 障害者(児)福祉(就労や地域活動への参加支援、生活の安定の促進等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

町政の分野 (カッコ内は施策の例示)	満足度					重要度				
	満足している	満足している どちらかといえば	どちらともいえない	不満である	不満である どちらかといえば	非常に重要である	重要である どちらかといえば	どちらともいえない	重要ではない どちらかといえば	重要ではない
(34) ひとり親福祉(自立・就労支援等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(35) 低所得者福祉(自立援助の推進、生活安定のための支援等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(36) 社会保険制度(国民健康保険事業、介護保険事業、年金相談等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(37) 学校教育(教育内容の充実、教育環境の整備等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(38) 生涯学習(推進体制・環境の整備、多彩な学習ニーズへの対応等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(39) 社会教育(自主性を重視した社会教育活動の促進、図書館活動の充実等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(40) 青少年健全育成(地域に根ざした青少年育成活動の展開等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(41) 国際化(国際化の推進等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(42) 文化・芸術(文化・芸術活動の振興、文化拠点の維持管理等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(43) 町民総参画社会(男女共同参画社会の推進、町民の主体性を活かしたまちづくりの仕組みづくり等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(44) 効率的かつ効果的な行財政の運営(行政改革の推進、効率的な財政運営等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(45) 町民との協働によるまちづくり(町民主体のまちづくりの推進等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(46) 広域行政の推進(広域的行政課題への対応、新たな広域連携のあり方の研究等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問7 あなたは現在、町政にどの程度満足していますか。あなたのお気持ちに最も近いものを1つ選び、その番号を で囲んでください。

- 1 満足している
- 2 どちらかといえば満足している
- 3 わからない
- 4 どちらかといえば不満である
- 5 不満である

問8 町では第3次行政改革大綱に沿って行政改革を進めています。あなたは特に何が重要であると考えますか。次の中から3つ以内で選び、その番号を で囲んでください。

- 1 町の施設を利用したり、サービスを受ける場合、利用者がある程度の費用を負担するのは当然である
- 2 町の職員は、民間企業同様のコスト意識をもって事務事業を実施し、効率的な運営に努めるべきである
- 3 町が新しい事業や施策に取り組んでいくためには、現在の事務事業の見直しや補助金・交付金などの見直しもやむをえない
- 4 夜間や休日窓口等、サービス時間の拡大を図るべきである
- 5 町役場、その他町の施設の職員数はなるべく増やさないようにし、事務の委託化や臨時職員の採用など、工夫して事務事業を行うべきである
- 6 近隣の市や町と連携して共同で事業を実施したり、スポーツ施設や文化施設の共同利用をもっと進めるべきである
- 7 情報化にもっと力を入れるべきである
- 8 その他 ()
- 9 特にない
- 10 わからない

瑞穂町において今後力を入れるべきことについておたずねします。

問9 住宅地、商業地、工業地、公共施設、農地などのありかたについて、重要と思われるものを3つ以内で選び、その番号を で囲んでください。

- 1 再開発などによりマンションなどの集合住宅を中心とした住宅地を開発整備する
- 2 建築制限などにより一戸建てを中心とした住宅地を形成する
- 3 生活道路、下水道、公園などの身近な生活環境を整備する
- 4 基地や幹線道路などの騒音、振動などの対策を講じる
- 5 幹線道路沿いにショッピングセンターを誘致する
- 6 再開発や遊休地（低未利用地）の有効活用による商業の拠点づくりを行う
- 7 既存市街地の商店街の活性化を図る
- 8 住宅地の周辺に商業施設を分散配置する
- 9 公営駐車場をつくり買物がしやすいようにする
- 10 今後、工業用地は減少させ、住宅地や商業地を形成する
- 11 今後、新しい工業用地を造成し、工業地の拡大を図る
- 12 各地区に公共施設を配置する
- 13 拠点となる場所に公共施設を集中させる
- 14 農地は積極的に保全する
- 15 農地は積極的に住宅地などへ転換する
- 16 その他 []
- 17 特にない

問 10 安心して子どもを生み、育てられる環境づくりを進めるため、重要と思われるものを3つ以内で選び、その番号を で囲んでください。

- 1 女性が働きやすい労働環境の整備
- 2 男性が育児・子育てに協力しやすい労働環境の整備
- 3 職場への託児施設の設置促進
- 4 多様な保育サービスの充実（長時間保育など）
- 5 放課後児童対策の充実（学童クラブなど）
- 6 子どもの遊び場の整備
- 7 幅広い歩道の確保
- 8 学校教育の推進・教育環境の充実
- 9 母子保健医療体制の充実
- 10 医療費補助や児童手当など子育てに伴う費用の軽減や支援の充実
- 11 子育てボランティアなど地域ぐるみで子育てを支援する体制の整備
- 12 男女がともに家事や育児に関わる意識の啓発
- 13 その他 []

問 11 これからの高齢社会に向けて、重要と思われるものを3つ以内で選び、その番号を で囲んでください。

- 1 高齢者の就業対策
- 2 生涯を通じた健康づくり対策
- 3 ホームヘルパーの派遣や通所介護などの在宅福祉サービスの充実
- 4 ひとり暮らし高齢者への援助
- 5 寝たきりや認知症の高齢者のいる家族への援助
- 6 高齢者の趣味・学習対策
- 7 老人ホームや老人福祉センターなどの施設の充実
- 8 道路、公園、商店街等を高齢者等が安全で快適に利用できるバリアフリーの推進
- 9 徒歩圏内で生活できる利便性の高いまち
- 10 高齢者のための住宅対策
- 11 相談・指導活動の強化
- 12 介護サービスに携わる人材の育成や拡大への対策
- 13 その他 []

問 12 環境問題への取り組みの中で、重要と思われるものを3つ以内で選び、その番号を で囲んでください。

- 1 緑地、農地などの緑の保全
- 2 河川や池、水路などの水質の保全
- 3 動植物など、自然生態系の保全
- 4 太陽や風などを利用した自然エネルギーの活用
- 5 自動車などのクリーンエネルギーへの転換
- 6 節電などの省エネルギー活動
- 7 過剰包装の自粛や生ごみ処理機等の活用など、ごみの減量化
- 8 ビン、カン、ペットボトル、新聞、雑誌などの資源物のリサイクルや再利用
- 9 農薬や化学肥料などの利用自粛、有機型農業（環境保全型農業）の推進
- 10 子どもから大人まで、環境問題に対する学習機会や意識づけの継続的な実施
- 11 歩道、公園、緑地など市街地の緑化
- 12 その他 []

問 13 地震や水害等の災害を教訓とし、今後の防災対策として、重要と思われるものを3つ以内で選び、その番号を で囲んでください。

- 1 地震情報や被害情報などの収集・伝達体制や町民への情報提供体制の整備
- 2 避難所の耐震化の推進
- 3 高齢者、障がい者等の避難誘導と安全確保の体制整備
- 4 救助・救急、応急医療体制の強化
- 5 食料、水、日用品などの災害用品の備蓄
- 6 ボランティア活動の推進や受入体制の整備
- 7 防災活動の原動力となる地域防災組織や消防団の育成や活動支援
- 8 被災者の生活再建支援体制の整備
- 9 町民の防災意識を高めるための講習会や防災訓練の実施
- 10 緊急輸送道路や消防活動のための防災道路の整備
- 11 電気、上下水道、電話などのライフライン施設の耐震化の推進
- 12 住宅の耐震化の推進
- 13 町の危機管理体制の強化
- 14 その他 []

問 14 教育や文化などの振興について、重要と思われるものを3つ以内で選び、その番号を で囲んでください。

- 1 図書館などの生涯学習施設の整備
- 2 学習成果を活かした地域づくりの推進
- 3 子ども達が生きる力を育む義務教育の充実
- 4 環境、国際化等に対応できる教育の充実
- 5 家庭の教育力を高める条件の整備
- 6 豊かな心を育てる文化活動の推進
- 7 歴史や文化財の保護と活用
- 8 陸上競技場や体育館等のスポーツ施設の整備
- 9 スポーツ活動の推進
- 10 スポーツや生涯学習を通じた地域間交流や連携の推進
- 11 男女共同参画や女性問題の対応の推進
- 12 その他 []

問 15 産業振興について、重要と思われるものを3つ以内で選び、その番号を で囲んでください。

- 1 既存の企業（工業）の振興
- 2 新たな企業用地の確保と企業の誘致
- 3 情報、福祉、教育など新たな産業の誘致、育成
- 4 既存の商店や商店街の振興
- 5 観光・レジャー産業の振興
- 6 地域の物産や土産品などの開発・振興
- 7 農業の振興
- 8 新規作物の導入による産地化
- 9 融資や助成制度の充実
- 10 町民による新たな起業やコミュニティビジネス などへの支援
- 11 その他 []

コミュニティビジネス...住民やNPO法人等が主体となり、ビジネスの手法を用いて地域が抱える課題の解決や地域資源の有効活用を図るために行う事業。

問 16 町民の皆様のゆとりある生活を支えるため、余暇の活用や保養の増進について、瑞穂町はどのようなサービスを提供すればよいと思いますか。次の中からお考えに近いと思われるものを2つ以内で選び、その番号を で囲んでください。

- 1 保養・宿泊・レジャー施設等を町が所有、借り上げあるいは割引契約し、町民が安価で利用できるようにする
- 2 近隣自治体の所有する施設を町民も利用できるようにする
- 3 保養施設や契約施設があっても利用しようとは思わない
- 4 保養やレジャーは個人の問題であり、町が今以上のことをする必要はない
- 5 自由に運動や軽スポーツができる公園や広場を町内に整備する
- 6 今ある各種集会・スポーツ施設等の整備や充実を図る
- 7 その他 []

最後に行政と町民の役割などについておたずねします。

問 17 地域づくりの主役は町民一人ひとりであり、よりよいまちを創るためには、町民の方々の主体的な活動が期待されています。これからの社会において、あなた自身はどのような活動を行いたいと考えますか。次の中から重要と思われるものを3つ以内で選び、その番号を で囲んでください。

- 1 ボランティア活動に積極的に参加する
- 2 地域社会の活動（町内会・自治会など）に積極的に参加する
- 3 社会貢献活動（NPO活動など）に積極的に参加する
- 4 自分と異なる世代（幼児・子ども・お年寄りなど）と積極的に交流する
- 5 育児や教育、介護など、家庭でできることをしっかりと行う
- 6 男性も育児や介護などを積極的に行い、女性も社会参画を積極的に行う
- 7 自分のできることは自分で行うという自立自助の意識を持つ
- 8 食生活や生活リズム、運動などに配慮し、自分の健康管理を行う
- 9 その他 []
- 10 わからない

問 18 行政への町民参加についてどのようにお考えですか。次の中から重要と思われるものを3つ以内で選び、その番号を で囲んでください。

- 1 町民の自主的な集まり（まちづくりのグループ等）があれば参加したい
- 2 公聴会があれば参加したい
- 3 町政モニター(頼まれて、町政について意見を述べる人)として意見を述べたい
- 4 町長や議員との懇談会や対話集会があれば参加したい
- 5 町長への手紙やホームページへの書き込みで、提案・意見を述べたい
- 6 陳情・請願等により意見を述べたい
- 7 世論調査やアンケートで参加したい
- 8 議員や町職員、専門家にまかせておけばよいので、参加する必要はない
- 9 町内会・自治会を通じて参加したい
- 10 わずらわしいので参加したくない
- 11 関心がない
- 12 その他 []
- 13 わからない

問 19 行政への町民参加をより一層進めるための手法として、あなたはどのようなことが必要とお考えですか。次の中から重要と思われるものを3つ以内で選び、その番号を で囲んでください。

- 1 情報公開を推進し、情報を提供する
- 2 アンケートなどにより町民の声を聞く
- 3 町ホームページ等の活用により、町民から意見、提案を聞く
- 4 各種審議会、委員会等の公募委員を増やす
- 5 住民活動団体やNPOへの支援を充実する
- 6 コミュニティ活動を充実させ、町民との協働を推進する
- 7 「パブリック・コメント(住民意見提出手続)」により町民の意見を募集する
- 8 住民活動を通して、人材育成を積極的に推進する
- 9 高齢者が、積極的にボランティアとして参加できる体制を整備する
- 10 その他 ()

問 20 瑞穂町には、町民会館や地区会館、スカイホール、図書館、中央体育館、町営グラウンドなど、町民の皆様が利用するさまざまな公共施設があります。これらの施設をより効果的かつ効率的に活用するにあたり、重視すべき点は何ですか。次の中から重要と思われるものを2つ以内で選び、その番号を で囲んでください。

- 1 施設の利用方法について町民の意見を十分に取り入れ、町が運営する
- 2 施設の利用方法について町民が検討する場を設け、その結果を尊重し町が運営する
- 3 施設の運営を町民参加で行う
- 4 施設の運営を民間に委託する
- 5 施設を町外の方にも利用しやすいようにして広域的に活用する
- 6 その他 ()
- 7 わからない

問 21 その他、ご意見・ご提案がございましたら下欄にご記入ください。

これで調査は終わりです。貴重な時間、ご協力ありがとうございました。

瑞穂町町民意識調査報告書

～「第4次瑞穂町長期総合計画」策定に向けて～

発行日 平成22年3月
発行 瑞穂町 企画総務部 企画財政課
〒190-1292 東京都西多摩郡瑞穂町大字箱根ヶ崎 2335 番地
TEL 042-557-0501 (代表)
URL <http://www.town.mizuho.tokyo.jp/>



古紙配合率 100%再生紙を使用しています